
令和 2 年度

裾野市市民意識調査報告書



裾野市

目 次

■調査概要	1
1) 調査目的.....	1
2) 調査方法.....	1
3) 回収状況.....	1
■調査結果	3
回答者の属性	3
① 性別.....	3
② 年齢.....	3
③ 結婚の有無.....	3
④ 子どもの段階（一番下の子どもの年齢）.....	4
⑤ 世帯状況.....	4
⑥ 居住地区.....	5
⑦ 居住年数.....	5
裾野市の市政全般	6
(1) 裾野市の政策全体.....	6
(2) 裾野市が行っている取組や生活環境に対する満足度・重要度.....	8
(3) 生活の満足度.....	35
(4) 裾野市での定住意向.....	37
(5) ワークライフバランス.....	39
(6) 性別に関わりなく個性や能力を発揮できる機会が確保されているか.....	41
健康づくりやスポーツ活動	43
(1) 健康状態.....	43
(2) かかりつけ医の有無.....	45
(3) スポーツや運動の頻度.....	47
(4) スポーツや運動を頻繁にできない理由.....	49

(5) 習慣的な運動による健康維持	51
(6) 利用しているスポーツ施設	53
生涯学習、青少年育成	55
(1) 過去1年間の学習状況	55
(2) 青少年育成活動への参加	57
防災	59
(1) 自然災害に対する備え	59
(2) 食料・水の備蓄状況	61
(3) 家具等の転倒防止	63
(4) 「一時避難地」「広域避難地」の認知度	65
(5) 住宅用火災報知器の設置状況	67
墓地	69
(1) お墓の所有状況	69
電子決済	71
(1) 電子決済の利用状況	71
公共交通	73
(1) 地域での現在の外出状況	73
(2) 地域での移動に対する将来の不安	79
(3) 運行ルートリニューアル後の『すそのーる』の利用状況	85
(4) 『すそのーる』の利用頻度	87
(5) 『すそのーる』を利用しない理由	89
(6) 『すそのーる』運行サービスの満足度	91
広報紙	99
(1) 「広報すその」でよく読むコーナー	99
(2) 市の情報の入手方法	101
市民協働によるまちづくりや地域活動	103

（１）市政のあり方やまちづくりを考える場への参加意向.....	103
（２）地域活動への参加状況.....	105
（３）地域や団体などの活動の満足度.....	107

裾野市や地域への愛着度.....	109
-------------------------	------------

裾野市議会について.....	114
-----------------------	------------

（１）市議会の活動内容への興味・関心.....	114
-------------------------	-----

設問中のその他の回答.....	116
------------------------	------------

自由意見.....	121
------------------	------------

■調査票.....	140
------------------	------------

■ 調査概要

1) 調査目的

裾野市民の市政に対する認識や要望、市民生活に関する意識を調査し、その結果を分析して、市政運営や施策立案に反映させ、現状の市の取組を検証することを目的とする。

2) 調査方法

- ・調査地域：裾野市全域
- ・調査対象：裾野市在住の20歳以上の男女1,000人
- ・調査方法：無作為抽出による郵送配布、郵送回収またはインターネット回収
- ・調査期間：令和2年7月3日（金）～令和2年7月20日（月）

3) 回収状況

発送数	有効回答数	有効回収率（昨年度調査）
1,000 票	568 票(うちインターネット回答 101 票)	56.8% (55.9%)

※回答割合は小数点以下第2位で四捨五入しているため、合計が100%とならない場合がある。

◎ 留意事項

- 回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してある。
- 百分率は小数点以下第2位を四捨五入して算出した。このため、構成比合計が100%にならないことがある。
- 設問には、1つの質問に1つの選択肢を回答できる“単一回答”の設問と、1つの質問に2つ以上の選択肢を回答できる“複数回答可”の設問がある。“複数回答可”の場合は、回答比率の合計が100%を超える場合がある。
- 図表中の構成比「0.0」は四捨五入の結果（構成比が0.05未満）か、回答者が皆無であることを表している。
- 選択肢の文章が長い場合、グラフ上では省略して表記していることがある。
- サンプル数が少ないものについては、コメントを割愛している。

◎クロス集計各種

- 設問の内容に応じて、属性別クロス集計結果を掲載している。
- クロス集計で使用する分析軸は、「性別」、「年代別」、「居住地区別」、属性④の回答を反映させた「家族形成期別」、属性⑤の回答を反映させた「世帯状況別」、属性⑦の回答を反映させた「居住年数別」の全6種類である。各分析軸についての説明は以下の通りである。

性別 …………… 回答者を、男性・女性の2種類に分類し、回答の傾向を比較したもの。

年代別 …………… 回答者を、20代・30代・40代・50代・60代・70代・80代以上の7種類の年代に分類し、回答の傾向を比較したもの。

居住地区別 …………… 回答者を、居住地区に応じて、「東地区」・「西地区」・「深良地区」・「富岡地区」・「須山地区」の5種類に分類し、回答の傾向を比較したもの。

家族形成期別 …… 回答者を、【④子どもの段階】の回答に応じて、“就学前家族”・“就学中家族”・“就学後家族”の3種類に分類し、回答の傾向を比較したもの。分類は以下の表の通りに行った。

家族形成期	回答
就学前家族	「1. 子どもはいない」・「2. 小学校入学前」
就学中家族	「3. 小学生」・「4. 中学生」・「5. 高校生」・ 「6. 専門学校・短大・大学・大学院に在学」
就学後家族	「7. 社会人」・「8. その他」

世帯状況別 …………… 回答者を、【⑤世帯状況】の回答に応じて、「1人暮らし」・「夫婦のみ」・「親と子（2世代）」・「祖父母と親と子（3世代）」・「その他」の5種類に分類し、回答の傾向を比較したもの。

居住年数別 …………… 回答者を、【⑦居住年数】の回答に応じて、「5年未満」・「5～10年未満」・「10～20年未満」・「20～30年未満」・「30年以上」の5種類に分類したもの。

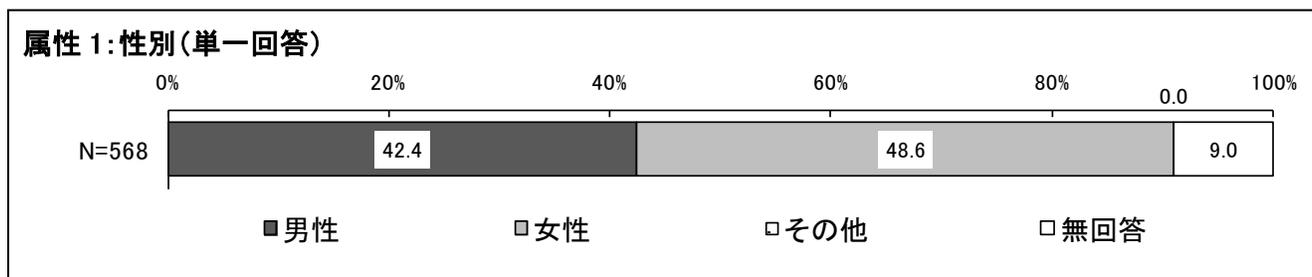
- “複数回答可”の設問にて掲載しているクロス集計の集計表では、最も多かった回答を **77.7**、2番目に多かった回答を **77.7** のようにマーカーで識別して表示した。

■ 調査結果

回答者の属性

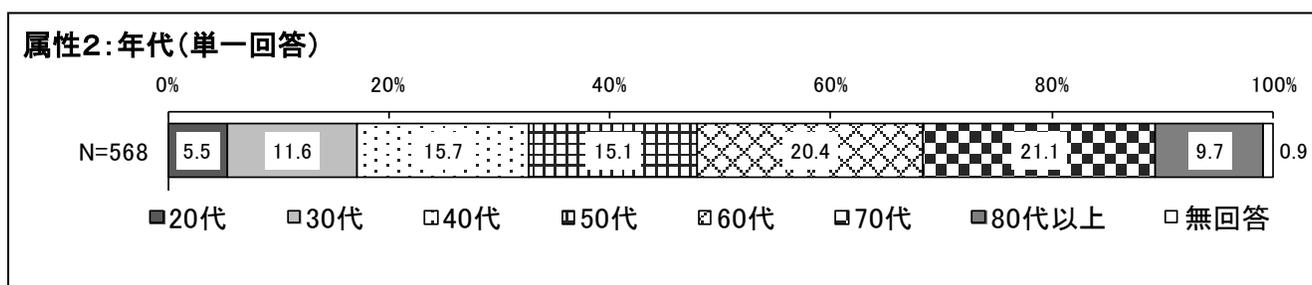
① 性別

男女構成は、「男性」が42.4%、「女性」が48.6%、「その他」が0.0%だった。



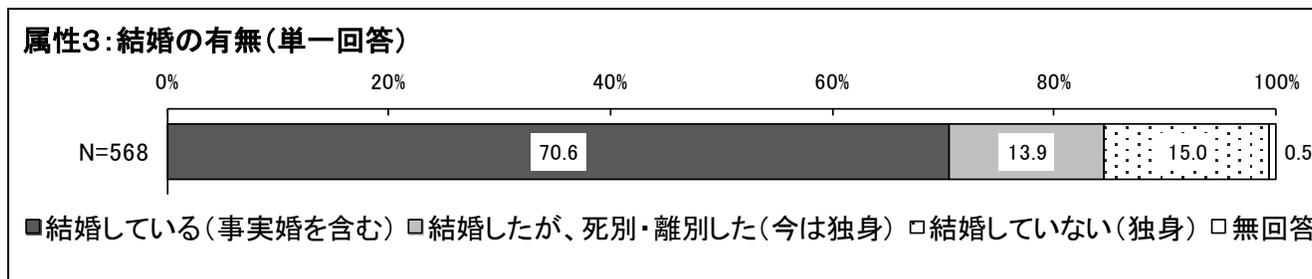
② 年齢

年齢構成は、「70代」が21.1%と最も多く、以下、「60代」20.4%、「40代」15.7%、「50代」15.1%と続いた。



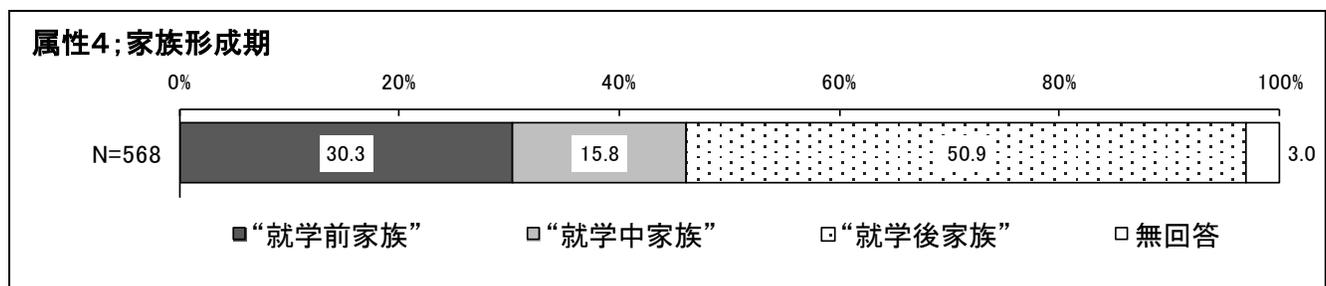
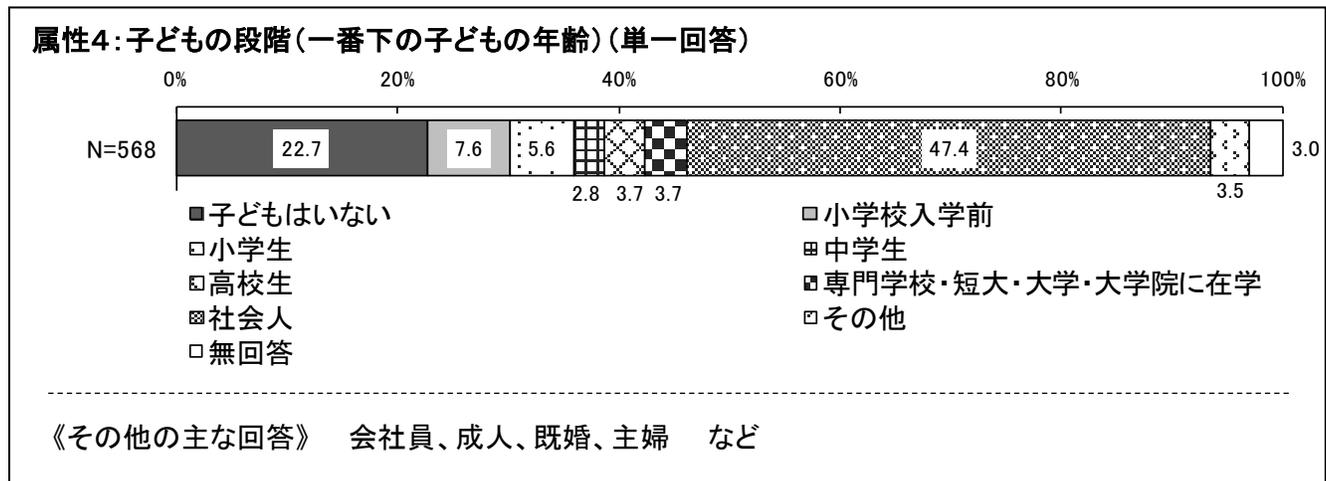
③ 結婚の有無

結婚の有無は、「結婚している(事実婚を含む)」が70.6%と最も多く、次いで「結婚していない(独身)」が15.0%、「結婚したが、死別・離別した(今は独身)」が13.9%だった。



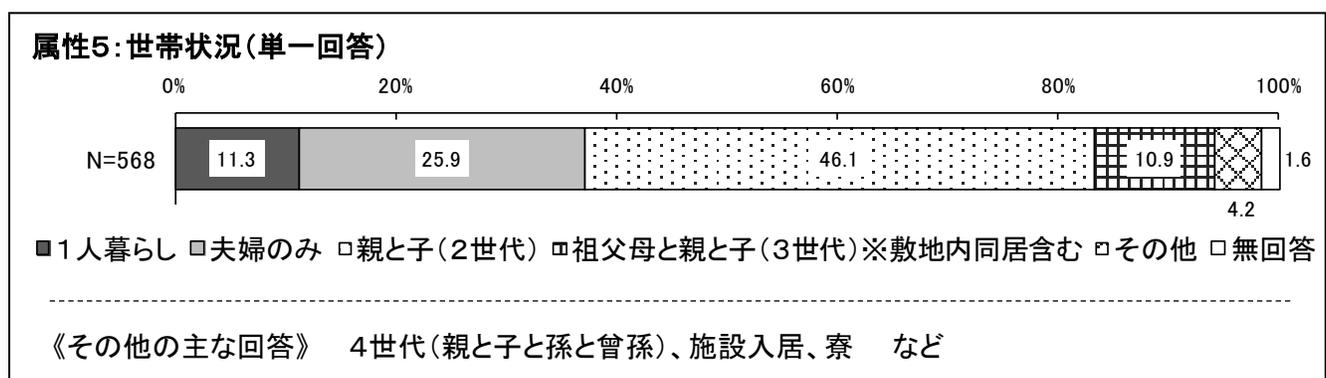
④ 子どもの段階（一番下の子どもの年齢）

子どもの段階・家族形成期は、「社会人」と「その他」を合わせた“就学後家族” 50.9%が最も多かった。以下、“就学前家族” 30.3%、“就学中家族” 15.8%と続いた。



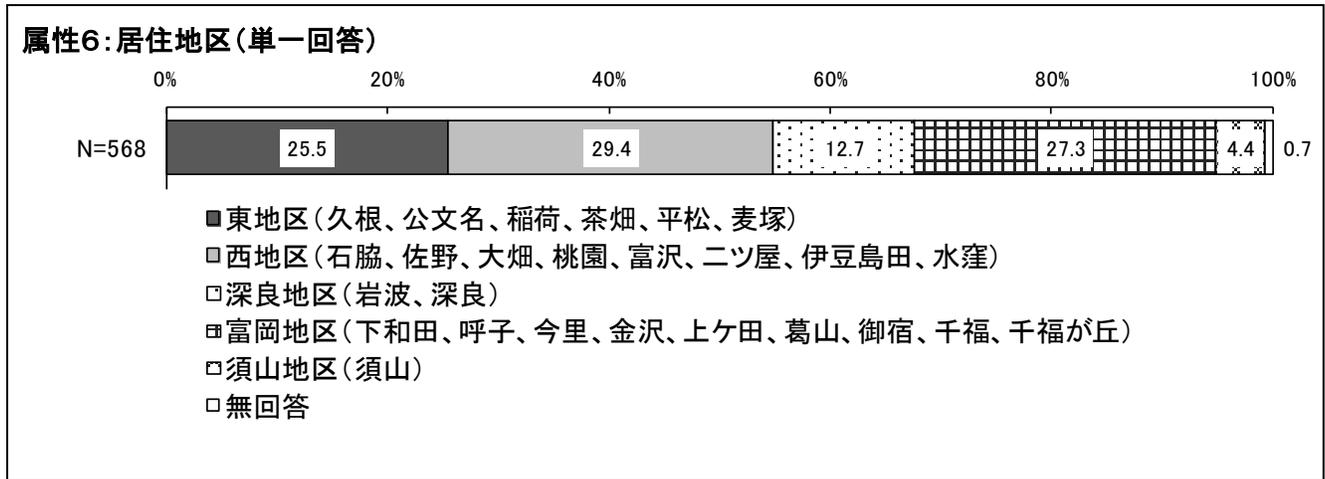
⑤ 世帯状況

世帯状況は、「親と子（2世代）」が 46.1%と最も多く、以下、「夫婦のみ」25.9%、「1人暮らし」11.3%、「祖父母と親と子（3世代）※敷地内同居含む」10.9%と続いた。



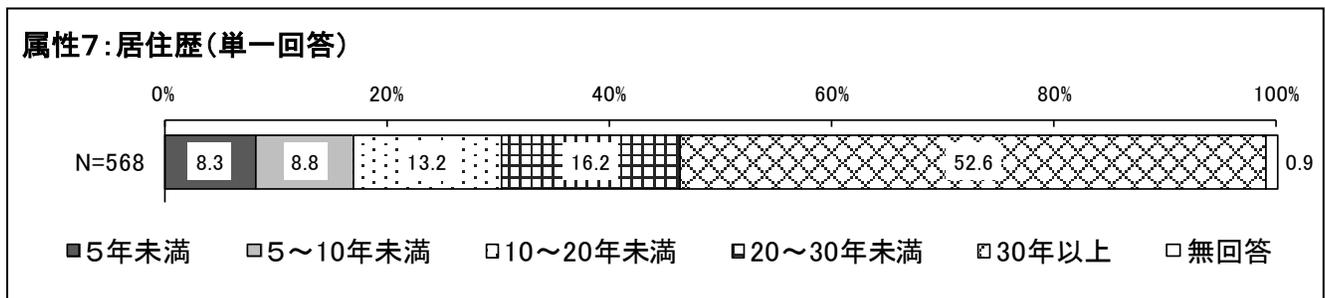
⑥ 居住地区

回答者の居住地区は、「西地区」29.4%、「富岡地区」27.3%、「東地区」25.5%、「深良地区」12.7%、「須山地区」4.4%だった



⑦ 居住年数

居住年数は、「30年以上」52.6%が最も多く、以下、「20～30年未満」16.2%、「10～20年未満」13.2%、「5～10年未満」8.8%、「5年未満」8.3%と続いた。



裾野市の市政全般

(1) 裾野市の政策全体

裾野市の政策全体についての満足度は、「普通」42.8%が最も多かった。「満足している」3.2%と「まあまあ満足している」16.2%を合計した“満足”は 19.4%、「やや不満である」17.1%と「不満である」10.2%を合計した“不満”は 27.3%だった。

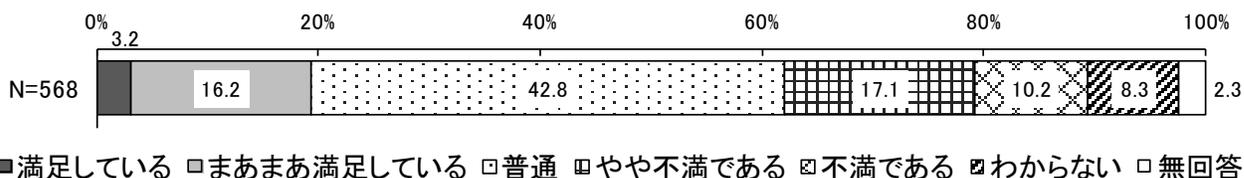
令和元年度と比較して、“満足”は 3.3 ポイント増加し、“不満”は 9.4 ポイント減少した。

年代別で見ると、“満足”が最も多いのは 20 代で、“不満”が最も多いのは 60 代だった。

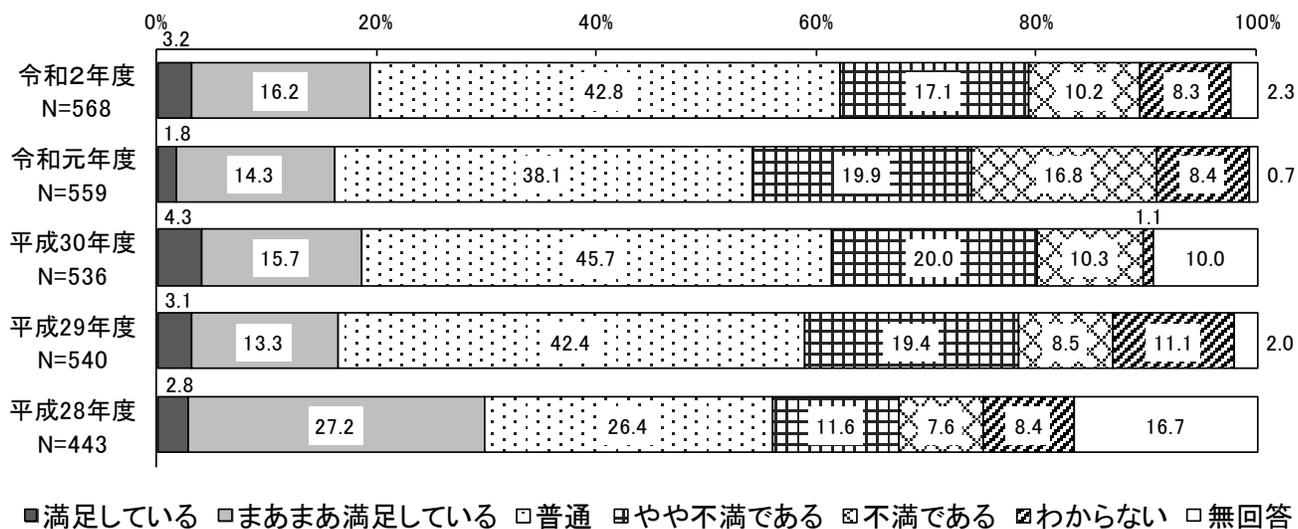
家族形成期別で見ると、“満足”が最も多いのは就学中家族で、“不満”が最も多いのは“就学後家族”だった。

居住地区別では、“満足”・“不満”ともに須山地区が最も多く、とくに“不満”が 48.0%と多かった。

問 1:あなたは裾野市の政策全体についてどの程度満足していますか。(単一回答)

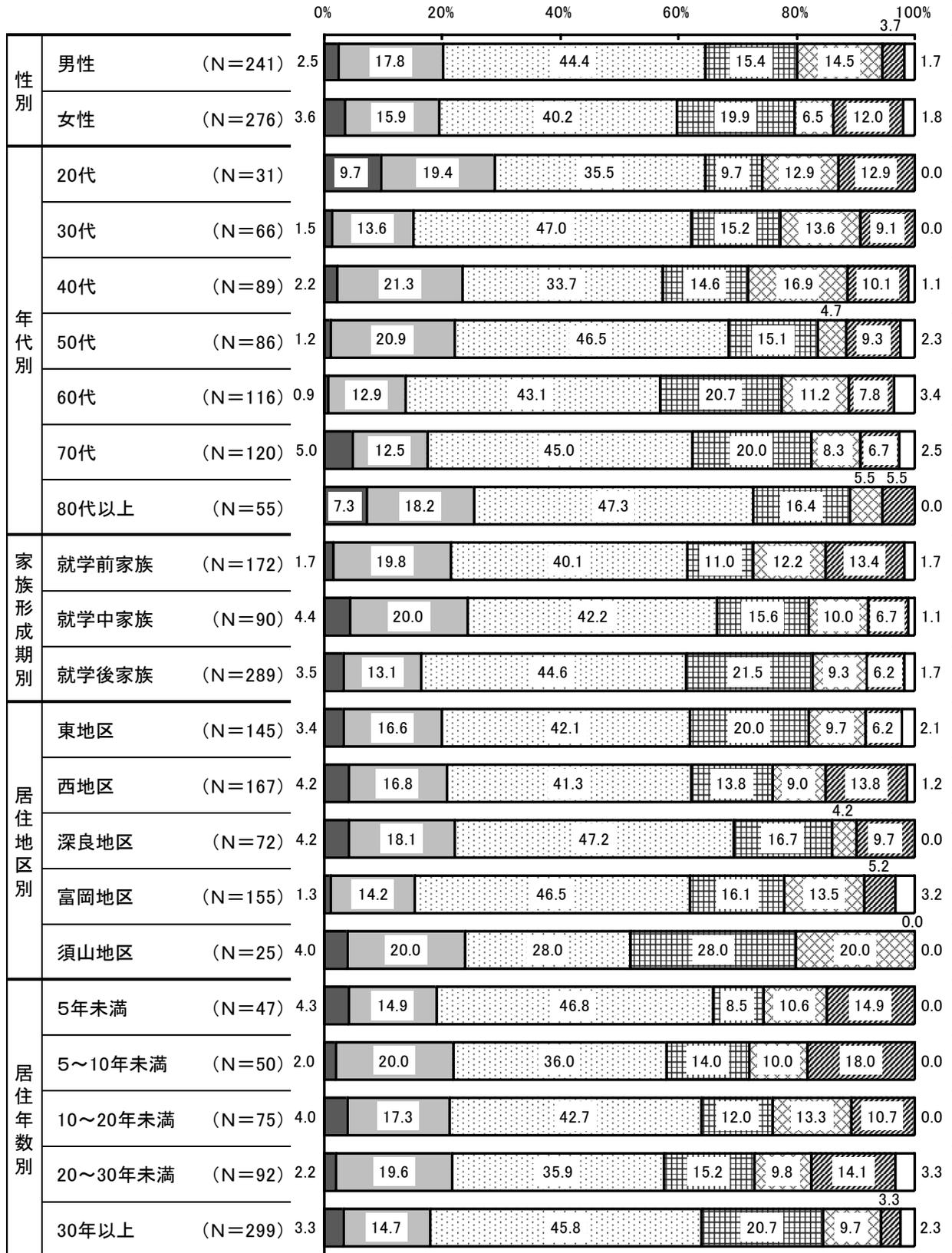


【経年比較】



【クロス集計】

問 1:あなたは裾野市の政策全体についてどの程度満足していますか。(単一回答)



■満足している □まあまあ満足している □普通 □やや不満である □不満である □わからない □無回答

(2) 裾野市が行っている取組や生活環境に対する満足度・重要度

問2 裾野市が行っている取組や生活環境についてどのように感じていますか。あなたの生活における「満足度」と「重要度」それぞれについてお答えください。

裾野市が行っている取組や裾野市の生活環境など全 35 項目を客観的に評価する分析手法として、満足度・重要度に関する回答をそれぞれ得点化し、比較した。

満足度・重要度の各選択肢の得点は下表に示す通りである。なお、無回答は算定外とした。

満足度の各回答の得点

回答	点数
満足	2点
まあ満足	1点
普通	0点
やや不満	-1点
不満	-2点

重要度の各回答の得点

回答	点数
重要	2点
まあ重要	1点
普通	0点
やや重要でない	-1点
重要でない	-2点

上記の通り得点化した回答を、それぞれの選択回答者数による加重平均により、算出した。

◎ 満足度・重要度の高い項目上位5項目

最も満足度が高かったのは、「良質な水道水の安定供給」の0.71点で、以下、「ごみの適正処理、資源の再利用」0.45点、「病院、かかりつけ医による医療」0.35点、「市民の健康づくりへの支援」0.24点、「安心・安全で快適な住環境」0.23点と続いている。

最も重要度が高かったのは、「地震・水害などへの防災対策」の1.43点で、以下、「良質な水道水の安定供給」1.42点、「救急医療体制の充実」1.30点、「病院、かかりつけ医による医療」と「安心・安全で快適な住環境」がともに1.23点と続いている。

問2：満足度・重要度の高い項目上位5項目

満足度			重要度		
順位	項目名	得点	順位	項目名	得点
1	良質な水道水の安定供給	0.71	1	地震・水害などへの防災対策	1.43
2	ごみの適正処理、資源の再利用	0.45	2	良質な水道水の安定供給	1.42
3	病院、かかりつけ医による医療	0.35	3	救急医療体制の充実	1.30
4	市民の健康づくりへの支援	0.24	4	病院、かかりつけ医による医療	1.23
5	安全・安心で快適な住環境	0.23		安全・安心で快適な住環境	1.23

※35項目中、満足度・重要度の高い項目上位5項目を掲載

◎ 満足度・重要度の点数差が大きい項目上位5項目

最も満足度と重要度の点数差が大きかったのは、「市街地・駅周辺部での快適な暮らし」と「幹線道路や生活道路の整備」、「バス路線や便数」の-1.56点で、以下、「買い物しやすい環境」-1.51点、「地震・水害などへの防災対策」-1.38点と続いている。

公共交通や道路に関する項目が、同率1位に2項目入る結果だった。

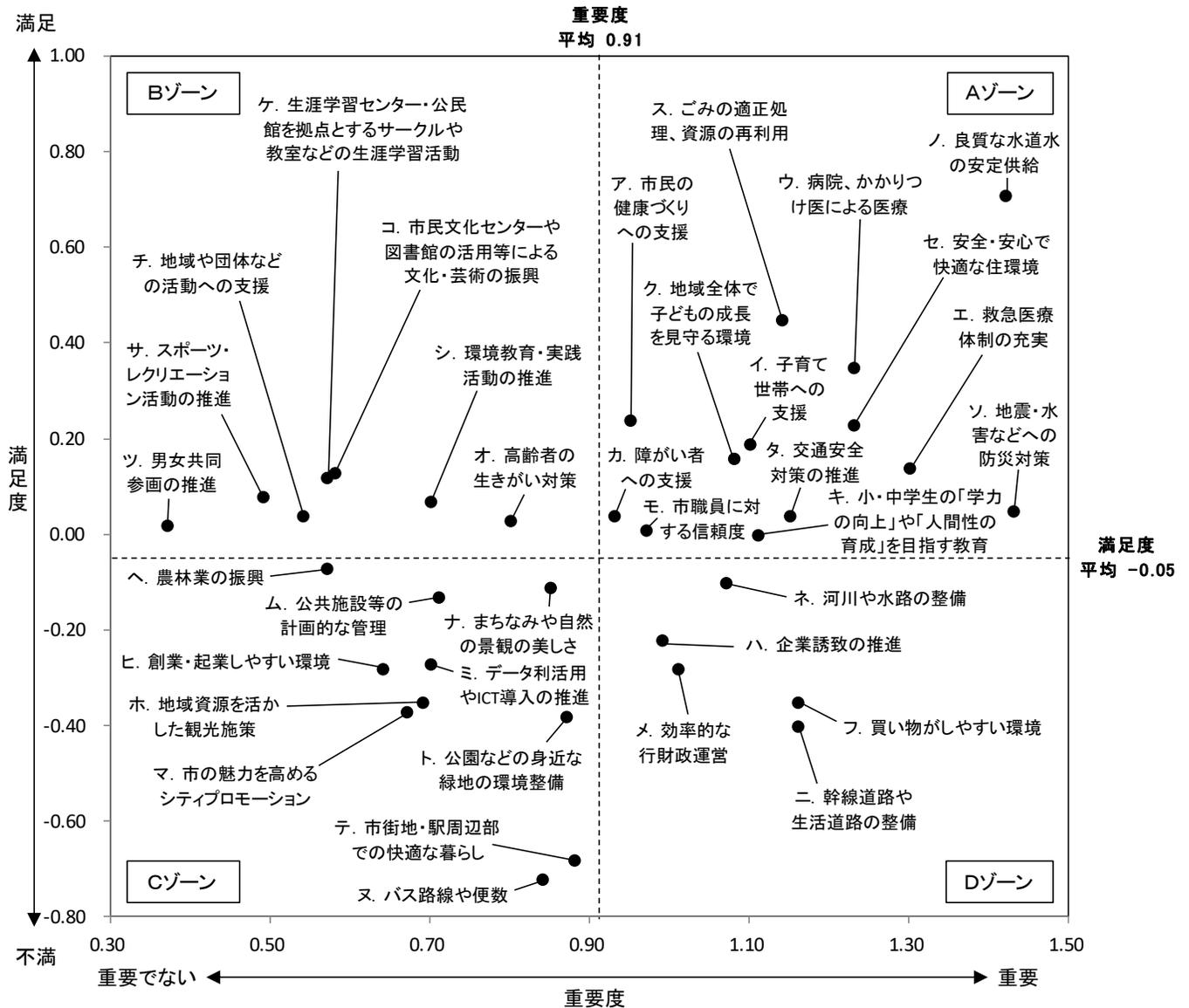
問2：満足度・重要度の点数差が大きい項目上位5項目

現状の満足度・重要度の点数差が大きい項目				
順位	項目名	満足度	重要度	点数差(※)
1	市街地・駅周辺部での快適な暮らし	-0.68	0.88	-1.56
	幹線道路や生活道路の整備	-0.40	1.16	-1.56
	バス路線や便数	-0.72	0.84	-1.56
4	買い物しやすい環境	-0.35	1.16	-1.51
5	地震・水害などへの防災対策	0.05	1.43	-1.38

※点数差=(満足度-重要度)。満足度と重要度の点数差を求めることで、満足度が低く、重要度が高い、今後の重点課題として検討すべき項目を数値化したもの。

◎ 散布図

取組・生活環境の全 35 項目について、算出した満足度と重要度の得点をもとに、各項目の満足度と重要度の関係を散布図上に反映させたところ、以下の図のようになった。



【散布図を4分割した各ゾーンの評価の目安】

Bゾーン 重要度は低いが、満足度が高い項目	Aゾーン 満足度・重要度がともに高い項目
Cゾーン 満足度・重要度がともに低い項目	Dゾーン 重要度は高いが、満足度が低い項目

散布図右上・Aゾーンの満足度・重要度がともに高い項目は、「ノ. 良質な水道水の安定供給」・「ス. ごみの適正処理、資源の再利用」・「ウ. 病院、かかりつけ医による医療」などである。

一方、散布図右下・Dゾーンの重要度は高いが満足度が低い項目は、「ニ. 幹線道路や生活道路の整備」・「フ. 買い物がしやすい環境」・「メ. 効率的な行財政運営」などである。

① Aゾーン…満足度・重要度がともに高い項目

項目名	満足度	重要度
ノ 良質な水道水の安定供給	0.71	1.42
ス ごみの適正処理、資源の再利用	0.45	1.14
ウ 病院、かかりつけ医による医療	0.35	1.23
ア 市民の健康づくりへの支援	0.24	0.95
セ 安全・安心で快適な住環境	0.23	1.23
イ 子育て世帯への支援	0.19	1.10
ク 地域全体で子どもの成長を見守る環境	0.16	1.08
エ 救急医療体制の充実	0.14	1.30
ソ 地震・水害などへの防災対策	0.05	1.43
タ 交通安全対策の推進	0.04	1.15
カ 障がい者への支援	0.04	0.93
モ 市職員に対する信頼度	0.01	0.97
キ 小・中学生の「学力の向上」や「人間性の育成」を目指す教育	0.00	1.11

② Bゾーン…重要度は低いが、満足度が高い項目

項目名	満足度	重要度
コ 市民文化センターや図書館の活用等による文化・芸術の振興	0.13	0.58
ケ 生涯学習センター・公民館を拠点とするサークルや教室などの生涯学習活動	0.12	0.57
サ スポーツ・レクリエーション活動の推進	0.08	0.49
シ 環境教育・実践活動の推進	0.07	0.70
チ 地域や団体などの活動への支援	0.04	0.54
オ 高齢者の生きがい対策	0.03	0.80
ツ 男女共同参画の推進	0.02	0.37

③ Cゾーン…満足度・重要度がともに低い項目

項目名	満足度	重要度
ヌ バス路線や便数	-0.72	0.84
テ 市街地・駅周辺部での快適な暮らし	-0.68	0.88
ト 公園などの身近な緑地の環境整備	-0.38	0.87
マ 市の魅力を高めるシティプロモーション	-0.37	0.67
ホ 地域資源を活かした観光施策	-0.35	0.69
ヒ 創業・起業しやすい環境	-0.28	0.64
ミ データ利活用やICT導入の推進	-0.27	0.70
ム 公共施設等の計画的な管理	-0.13	0.71
ナ まちなみや自然の景観の美しさ	-0.11	0.85
ヘ 農林業の振興	-0.07	0.57

④ Dゾーン…重要度は高いが、満足度が低い項目

項目名	満足度	重要度
ニ 幹線道路や生活道路の整備	-0.40	1.16
フ 買い物がしやすい環境	-0.35	1.16
メ 効率的な行財政運営	-0.28	1.01
ハ 企業誘致の推進	-0.22	0.99
ネ 河川や水路の整備	-0.10	1.07

◎全 35 項目の満足度・重要度の順位

裾野市の取組・生活環境の全 35 項目を満足度・重要度の高い順にそれぞれ並べ替えた結果は以下の通りである。

問2:全 35 項目の満足度・重要度の順位

満足度		順位	重要度	
項目名	得点		得点	項目名
ノ 良質な水道水の安定供給	0.71	1	1.43	ソ 地震・水害などへの防災対策
ス ごみの適正処理、資源の再利用	0.45	2	1.42	ノ 良質な水道水の安定供給
ウ 病院、かかりつけ医による医療	0.35	3	1.30	エ 救急医療体制の充実
ア 市民の健康づくりへの支援	0.24	4	1.23	ウ 病院、かかりつけ医による医療
セ 安全・安心で快適な住環境	0.23	5	1.23	セ 安全・安心で快適な住環境
イ 子育て世帯への支援	0.19	6	1.16	ニ 幹線道路や生活道路の整備
ク 地域全体で子どもの成長を見守る環境	0.16	7	1.16	フ 買い物がしやすい環境
エ 救急医療体制の充実	0.14	8	1.15	タ 交通安全対策の推進
コ 市民文化センターや図書館の活用等による文化・芸術の振興	0.13	9	1.14	ス ごみの適正処理、資源の再利用
ケ 生涯学習センター・公民館を拠点とするサークルや教室などの生涯学習活動	0.12	10	1.11	キ 小・中学生の「学力の向上」や「人間性の育成」を目指す教育
サ スポーツ・レクリエーション活動の推進	0.08	11	1.10	イ 子育て世帯への支援
シ 環境教育・実践活動の推進	0.07	12	1.08	ク 地域全体で子どもの成長を見守る環境
ソ 地震・水害などへの防災対策	0.05	13	1.07	ネ 河川や水路の整備
カ 障がい者への支援	0.04	14	1.01	メ 効率的な行財政運営
タ 交通安全対策の推進	0.04	15	0.99	ハ 企業誘致の推進
チ 地域や団体などの活動への支援	0.04	16	0.97	モ 市職員に対する信頼度
オ 高齢者の生きがい対策	0.03	17	0.95	ア 市民の健康づくりへの支援
ツ 男女共同参画の推進	0.02	18	0.93	カ 障がい者への支援
モ 市職員に対する信頼度	0.01	19	0.88	テ 市街地・駅周辺部での快適な暮らし
キ 小・中学生の「学力の向上」や「人間性の育成」を目指す教育	0.00	20	0.87	ト 公園などの身近な緑地の環境整備
ヘ 農林業の振興	-0.07	21	0.85	ナ まちなみや自然の景観の美しさ
ネ 河川や水路の整備	-0.10	22	0.84	ヌ バス路線や便数
ナ まちなみや自然の景観の美しさ	-0.11	23	0.80	オ 高齢者の生きがい対策
ム 公共施設等の計画的な管理	-0.13	24	0.71	ム 公共施設等の計画的な管理
ハ 企業誘致の推進	-0.22	25	0.70	シ 環境教育・実践活動の推進
ミ データ利活用やICT導入の推進	-0.27	26	0.70	ミ データ利活用やICT導入の推進
ヒ 創業・起業しやすい環境	-0.28	27	0.69	ホ 地域資源を活かした観光施策
メ 効率的な行財政運営	-0.28	28	0.67	マ 市の魅力を高めるシティプロモーション
フ 買い物がしやすい環境	-0.35	29	0.64	ヒ 創業・起業しやすい環境
ホ 地域資源を活かした観光施策	-0.35	30	0.58	コ 市民文化センターや図書館の活用等による文化・芸術の振興
マ 市の魅力を高めるシティプロモーション	-0.37	31	0.57	ケ 生涯学習センター・公民館を拠点とするサークルや教室などの生涯学習活動
ト 公園などの身近な緑地の環境整備	-0.38	32	0.57	ヘ 農林業の振興
ニ 幹線道路や生活道路の整備	-0.40	33	0.54	チ 地域や団体などの活動への支援
テ 市街地・駅周辺部での快適な暮らし	-0.68	34	0.49	サ スポーツ・レクリエーション活動の推進
ヌ バス路線や便数	-0.72	35	0.37	ツ 男女共同参画の推進

※得点の高い項目順に、小数点以下第2位までを掲載。

◎全 35 項目の満足度・重要度の点数差の順位

裾野市の取組・生活環境の全 35 項目を満足度と重要度の点数差が大きい順にそれぞれ並べ替えた結果は以下の通りである。

問2:全 35 項目の満足度と重要度の点数差の順位				
現状の満足度と重要度の点数差				
順位	項目名	満足度	重要度	点数差
1	テ 市街地・駅周辺部での快適な暮らし	-0.68	0.88	-1.56
	ニ 幹線道路や生活道路の整備	-0.40	1.16	-1.56
	ヌ バス路線や便数	-0.72	0.84	-1.56
4	フ 買い物がしやすい環境	-0.35	1.16	-1.51
5	ソ 地震・水害などへの防災対策	0.05	1.43	-1.38
6	メ 効率的な行財政運営	-0.28	1.01	-1.29
7	ト 公園などの身近な緑地の環境整備	-0.38	0.87	-1.25
8	ハ 企業誘致の推進	-0.22	0.99	-1.21
9	ネ 河川や水路の整備	-0.10	1.07	-1.17
10	エ 救急医療体制の充実	0.14	1.30	-1.16
11	キ 小・中学生の「学力の向上」や「人間性の育成」を目指す教育	0.00	1.11	-1.11
	タ 交通安全対策の推進	0.04	1.15	-1.11
13	ホ 地域資源を活かした観光施策	-0.35	0.69	-1.04
	マ 市の魅力を高めるシティプロモーション	-0.37	0.67	-1.04
15	セ 安全・安心で快適な住環境	0.23	1.23	-1.00
16	ミ データ利活用やICT導入の推進	-0.27	0.70	-0.97
17	ナ まちなみや自然の景観の美しさ	-0.11	0.85	-0.96
	モ 市職員に対する信頼度	0.01	0.97	-0.96
19	ク 地域全体で子どもの成長を見守る環境	0.16	1.08	-0.92
	ヒ 創業・起業しやすい環境	-0.28	0.64	-0.92
21	イ 子育て世帯への支援	0.19	1.10	-0.91
22	カ 障がい者への支援	0.04	0.93	-0.89
23	ウ 病院、かかりつけ医による医療	0.35	1.23	-0.88
24	ム 公共施設等の計画的な管理	-0.13	0.71	-0.84
25	オ 高齢者の生きがい対策	0.03	0.80	-0.77
26	ア 市民の健康づくりへの支援	0.24	0.95	-0.71
	ノ 良質な水道水の安定供給	0.71	1.42	-0.71
28	ス ごみの適正処理、資源の再利用	0.45	1.14	-0.69
29	ヘ 農林業の振興	-0.07	0.57	-0.64
30	シ 環境教育・実践活動の推進	0.07	0.70	-0.63
31	チ 地域や団体などの活動への支援	0.04	0.54	-0.50
32	ケ 生涯学習センター・公民館を拠点とするサークルや教室などの生涯学習活動	0.12	0.57	-0.45
	コ 市民文化センターや図書館の活用等による文化・芸術の振興	0.13	0.58	-0.45
34	サ スポーツ・レクリエーション活動の推進	0.08	0.49	-0.41
35	ツ 男女共同参画の推進	0.02	0.37	-0.35

※点数差の大きい項目順に、小数点以下第2位までを掲載。

◎満足度の経年比較（参考）

今回調査を行った全 35 項目の、経年比較を行った。

この経年比較は、今回の調査結果と、令和元年度に行った調査結果を比較することで、各取組・生活環境に対する市民の意識の変化を把握することを目的としたものである。

各設問の、最も多かった回答をマーカーで識別している。

問2：満足度の経年比較（参考）

単位：%

No	項目名	年度	満足	まあ満足	普通	やや不満	不満	無回答
ア	市民の健康づくりへの支援	今回	6.7	23.6	55.1	8.1	2.8	3.7
		元年度	4.5	16.8	60.8	11.8	3.4	2.7
イ	子育て世帯への支援	今回	7.2	19.7	53.0	7.4	4.8	7.9
		元年度	-	-	-	-	-	-
ウ	病院、かかりつけ医による医療	今回	11.4	26.9	45.6	9.7	3.2	3.2
		元年度	7.7	25.9	44.9	14.7	3.9	2.9
エ	救急医療体制の充実	今回	6.7	21.1	51.9	11.4	4.9	3.9
		元年度	-	-	-	-	-	-
オ	高齢者の生きがい対策	今回	3.5	15.7	61.6	11.6	4.2	3.3
		元年度	-	-	-	-	-	-
カ	障がい者への支援	今回	2.6	13.2	65.5	8.8	3.2	6.7
		元年度	-	-	-	-	-	-
キ	小・中学生の「学力の向上」や「人間性の育成」を目指す教育	今回	3.0	14.1	60.4	10.2	4.8	7.6
		元年度	3.0	13.8	61.7	13.6	3.6	4.3
ク	地域全体で子どもの成長を見守る環境	今回	4.9	20.8	54.4	11.1	2.5	6.3
		元年度	-	-	-	-	-	-
ケ	生涯学習センター・公民館を拠点とするサークルや教室などの生涯学習活動	今回	4.0	17.3	61.6	10.6	1.6	4.9
		元年度	3.6	14.3	63.7	11.6	2.9	3.9
コ	市民文化センターや図書館の活用等による文化・芸術の振興	今回	4.9	19.5	57.6	10.6	3.3	4.0
		元年度	4.1	22.0	49.9	19.0	2.3	2.7
サ	スポーツ・レクリエーション活動の推進	今回	3.2	15.3	64.3	9.2	2.6	5.5
		元年度	-	-	-	-	-	-
シ	環境教育・実践活動の推進	今回	3.0	12.5	67.1	5.6	3.2	8.6
		元年度	-	-	-	-	-	-
ス	ごみの適正処理、資源の再利用	今回	13.0	30.3	43.7	7.2	2.8	3.0
		元年度	13.6	32.6	38.1	9.3	4.1	2.3
セ	安全・安心で快適な住環境	今回	8.8	23.8	49.1	10.0	4.8	3.5
		元年度	9.3	34.2	38.8	11.1	3.6	3.0
ソ	地震・水害などへの防災対策	今回	4.9	21.0	50.2	13.9	6.2	3.9
		元年度	-	-	-	-	-	-
タ	交通安全対策の推進	今回	4.0	16.0	58.6	11.6	4.6	5.1
		元年度	-	-	-	-	-	-

今回：N=568、令和元年度：N=559

問2:満足度の経年比較(参考)

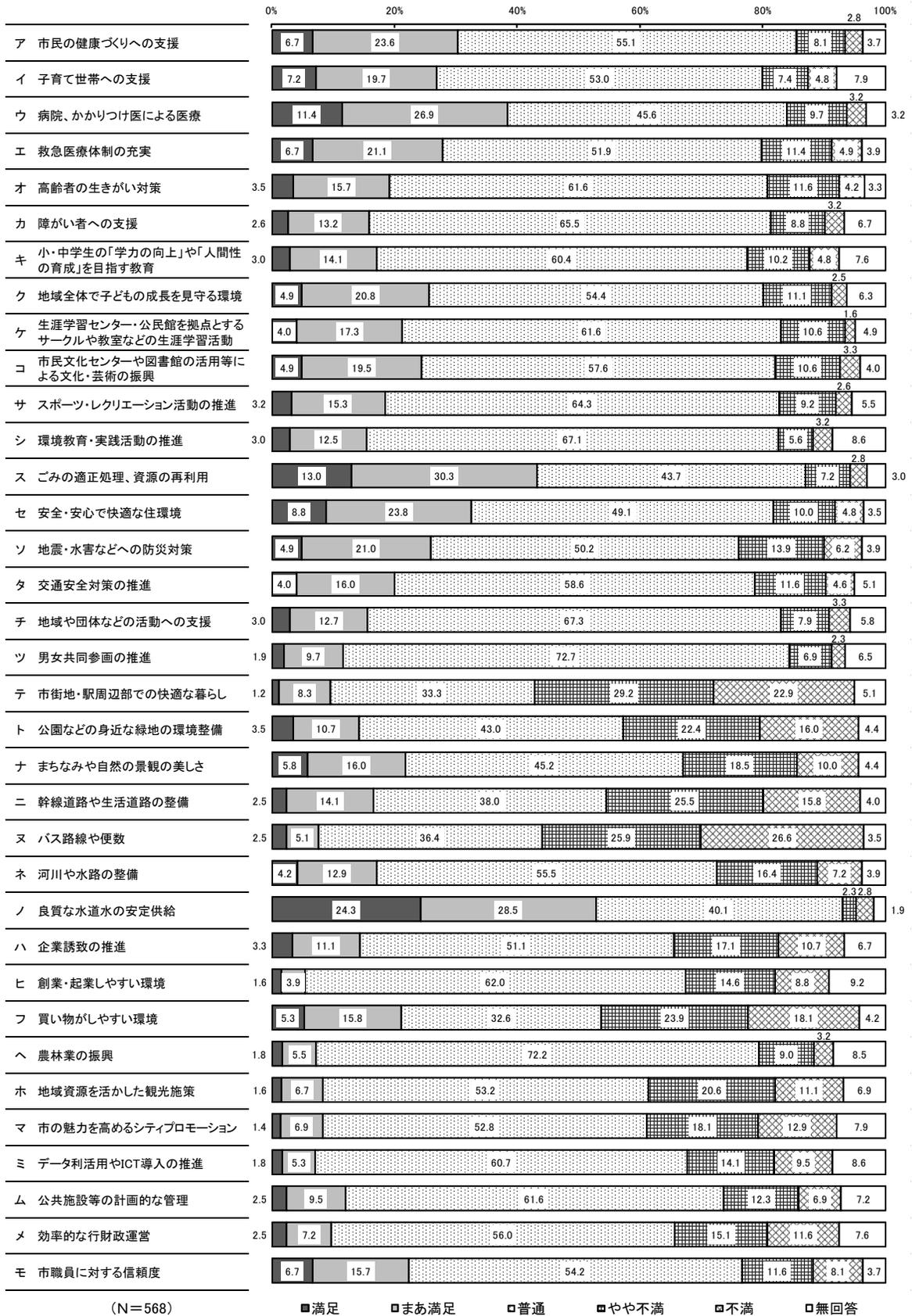
単位: %

No	項目名	年度	満足	まあ満足	普通	やや不満	不満	無回答
チ	地域や団体などの活動への支援	今回	3.0	12.7	67.3	7.9	3.3	5.8
		元年度	3.0	18.2	62.6	10.6	2.5	3.0
ツ	男女共同参画の推進	今回	1.9	9.7	72.7	6.9	2.3	6.5
		元年度	2.3	10.2	73.3	8.1	1.4	4.7
テ	市街地・駅周辺部での快適な暮らし	今回	1.2	8.3	33.3	29.2	22.9	5.1
		元年度	2.0	12.0	39.5	24.9	19.3	2.3
ト	公園などの身近な緑地の環境整備	今回	3.5	10.7	43.0	22.4	16.0	4.4
		元年度	3.0	15.6	47.2	18.8	13.4	2.0
ナ	まちなみや自然の景観の美しさ	今回	5.8	16.0	45.2	18.5	10.0	4.4
		元年度	5.5	21.5	50.6	14.1	6.1	2.1
ニ	幹線道路や生活道路の整備	今回	2.5	14.1	38.0	25.5	15.8	4.0
		元年度	2.3	15.0	43.3	22.7	15.0	1.6
ヌ	バス路線や便数	今回	2.5	5.1	36.4	25.9	26.6	3.5
		元年度	0.4	4.3	22.9	32.4	37.6	2.5
ネ	河川や水路の整備	今回	4.2	12.9	55.5	16.4	7.2	3.9
		元年度	3.0	16.5	58.9	13.6	5.5	2.5
ノ	良質な水道水の安定供給	今回	24.3	28.5	40.1	2.3	2.8	1.9
		元年度	-	-	-	-	-	-
ハ	企業誘致の推進	今回	3.3	11.1	51.1	17.1	10.7	6.7
		元年度	-	-	-	-	-	-
ヒ	創業・起業しやすい環境	今回	1.6	3.9	62.0	14.6	8.8	9.2
		元年度	-	-	-	-	-	-
フ	買い物がしやすい環境	今回	5.3	15.8	32.6	23.9	18.1	4.2
		元年度	-	-	-	-	-	-
ヘ	農林業の振興	今回	1.8	5.5	72.2	9.0	3.2	8.5
		元年度	-	-	-	-	-	-
ホ	地域資源を活かした観光施策	今回	1.6	6.7	53.2	20.6	11.1	6.9
		元年度	-	-	-	-	-	-
マ	市の魅力を高めるシティプロモーション	今回	1.4	6.9	52.8	18.1	12.9	7.9
		元年度	-	-	-	-	-	-
ミ	データ利活用やICT導入の推進	今回	1.8	5.3	60.7	14.1	9.5	8.6
		元年度	-	-	-	-	-	-
ム	公共施設等の計画的な管理	今回	2.5	9.5	61.6	12.3	6.9	7.2
		元年度	-	-	-	-	-	-
メ	効率的な行財政運営	今回	2.5	7.2	56.0	15.1	11.6	7.6
		元年度	1.6	10.4	49.4	23.8	12.2	2.7
モ	市職員に対する信頼度	今回	6.7	15.7	54.2	11.6	8.1	3.7
		元年度	3.4	12.9	56.0	16.8	8.9	2.0

今回: N=568、令和元年度: N=559

◎各項目の満足度・重要度の単純集計結果

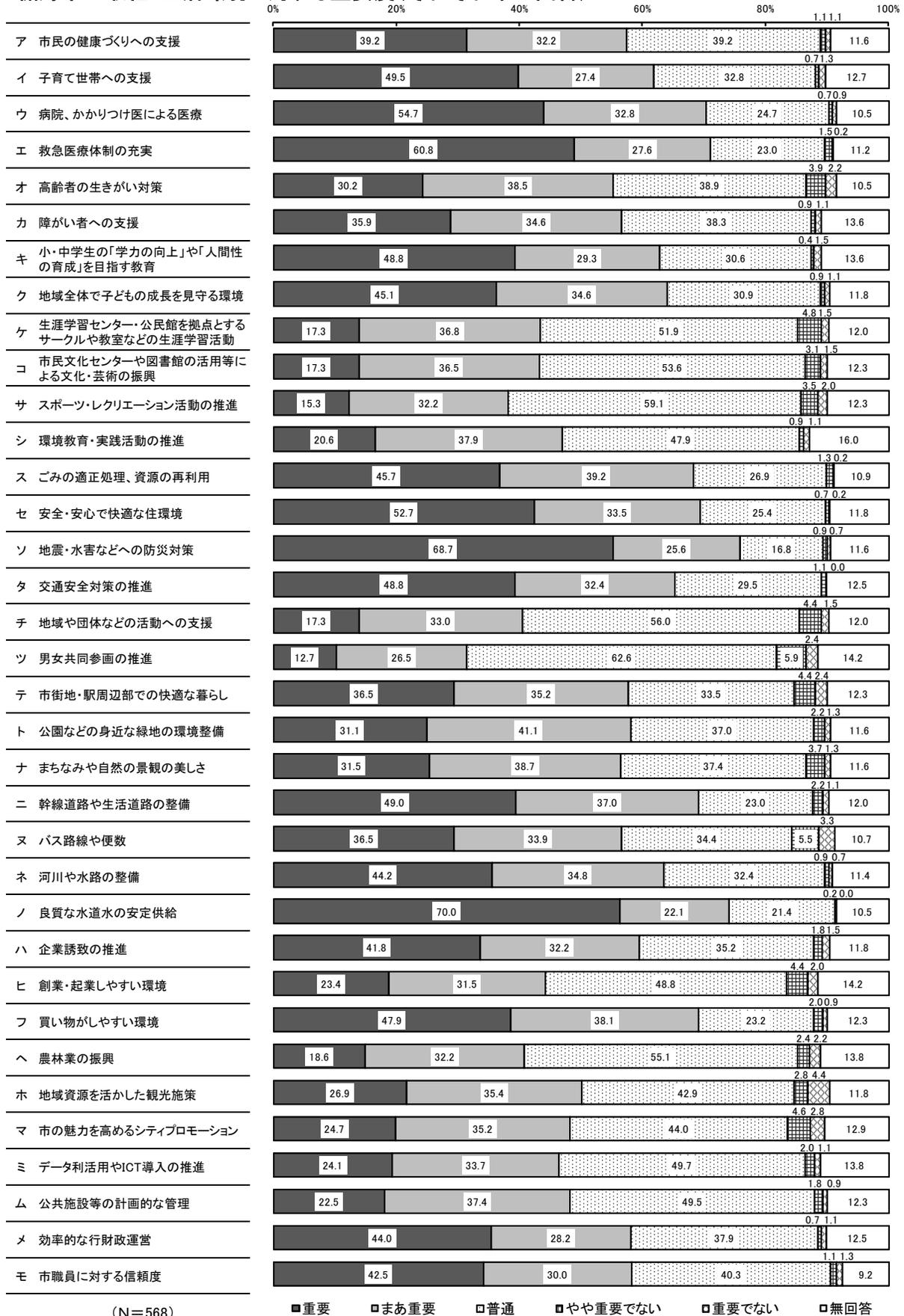
問2: 裾野市の取組・生活環境に対する満足度(それぞれ単一回答)



(N=568)

■満足 □まあ満足 □普通 □やや不満 □不満 □無回答

問2: 裾野市の取組・生活環境に対する重要度(それぞれ単一回答)

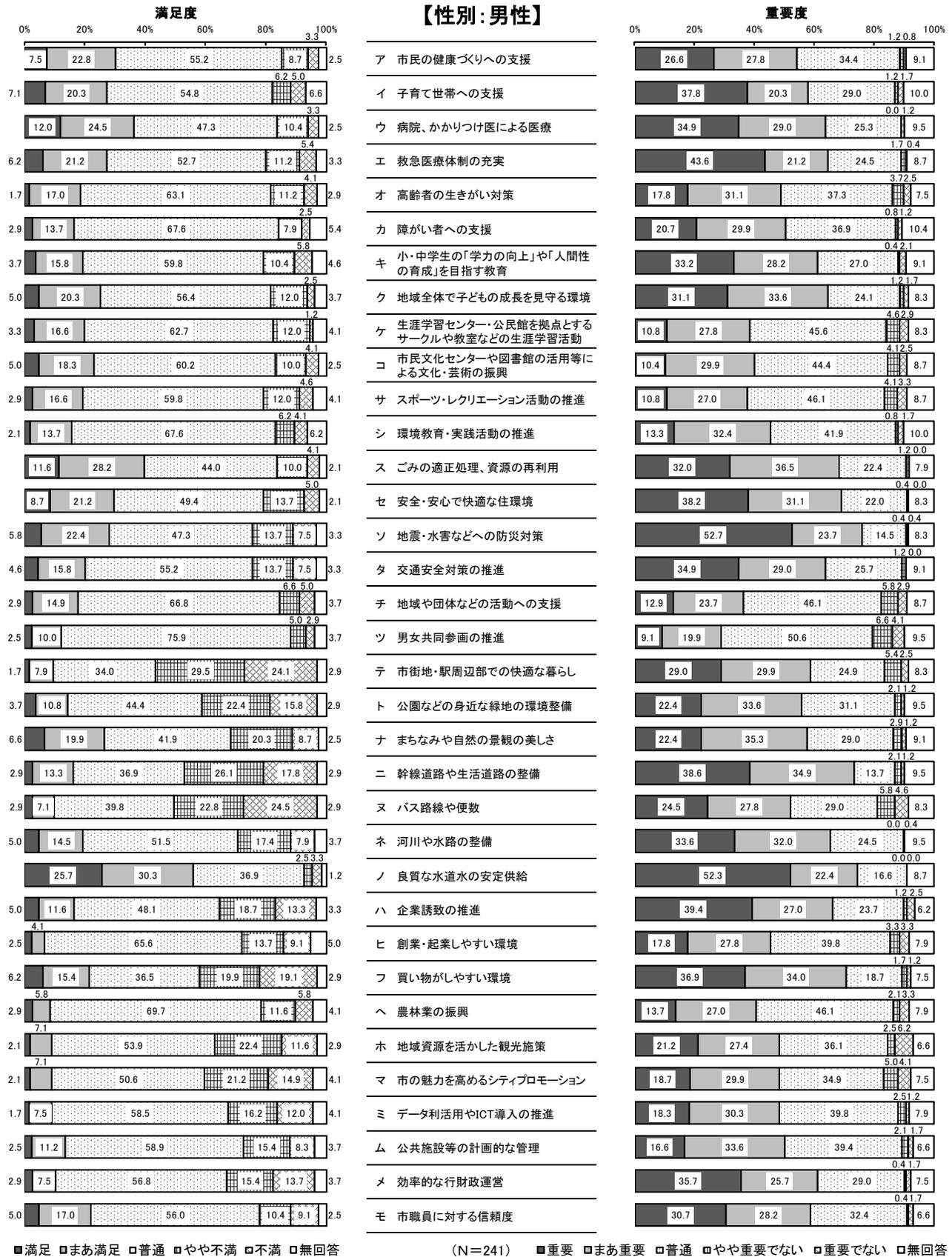


(N=568)

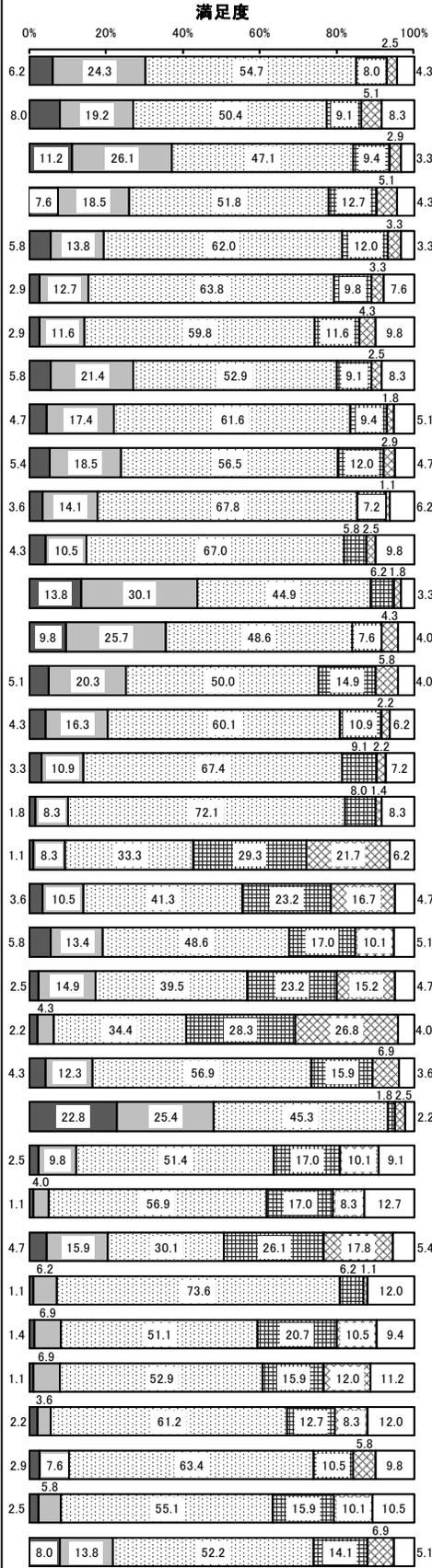
■重要 □まあ重要 □普通 □やや重要でない □重要でない □無回答

◎各項目の満足度・重要度 クロス集計各種

問2: 裾野市の取組・生活環境に対する満足度・重要度(それぞれ単一回答)

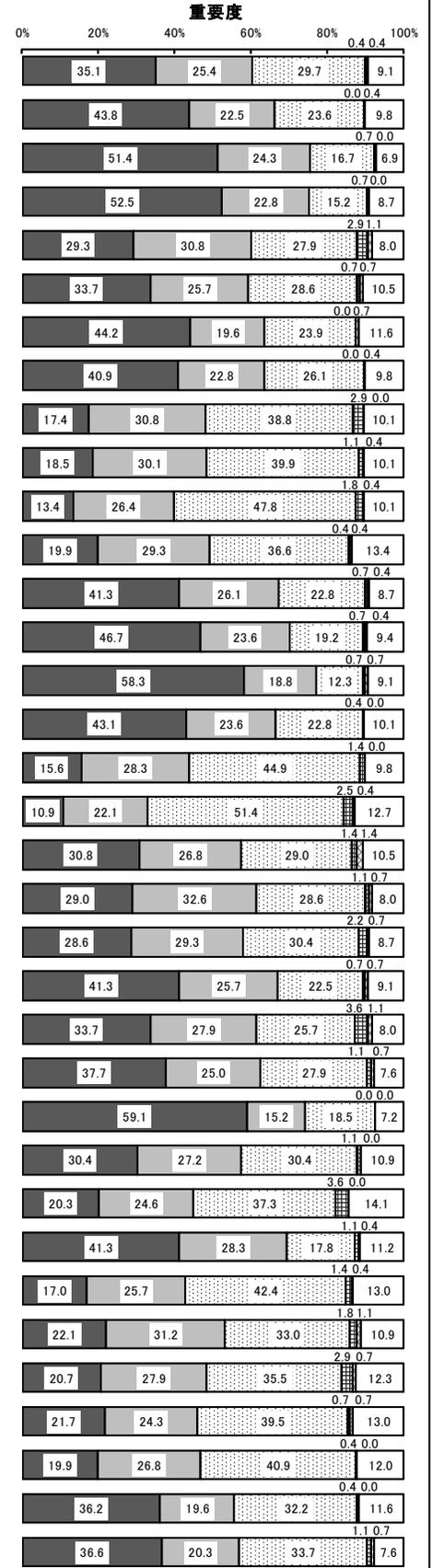


問2: 裾野市の取組・生活環境に対する満足度・重要度(それぞれ単一回答)



【性別: 女性】

- ア 市民の健康づくりへの支援
- イ 子育て世帯への支援
- ウ 病院、かかりつけ医による医療
- エ 救急医療体制の充実
- オ 高齢者の生きがい対策
- カ 障がい者への支援
- キ 小・中学生の「学力の向上」や「人間性の育成」を目指す教育
- ク 地域全体で子どもの成長を見守る環境
- ケ 生涯学習センター・公民館を拠点とするサークルや教室などの生涯学習活動
- コ 市民文化センターや図書館の活用等による文化・芸術の振興
- サ スポーツ・レクリエーション活動の推進
- シ 環境教育・実践活動の推進
- ス ごみの適正処理、資源の再利用
- セ 安全・安心して快適な住環境
- ソ 地震・水害などへの防災対策
- タ 交通安全対策の推進
- チ 地域や団体などの活動への支援
- ツ 男女共同参画の推進
- テ 市街地・駅周辺部での快適な暮らし
- ト 公園などの身近な緑地の環境整備
- ナ まちなみや自然の景観の美しさ
- ニ 幹線道路や生活道路の整備
- ヌ バス路線や便数
- ネ 河川や水路の整備
- ノ 良質な水道水の安定供給
- ハ 企業誘致の推進
- ヒ 創業・起業しやすい環境
- フ 買い物がしやすい環境
- ヘ 農林業の振興
- ホ 地域資源を活かした観光施策
- マ 市の魅力を高めるシティプロモーション
- ミ データ活用やICT導入の推進
- ム 公共施設等の計画的な管理
- メ 効率的な行財政運営
- モ 市職員に対する信頼度

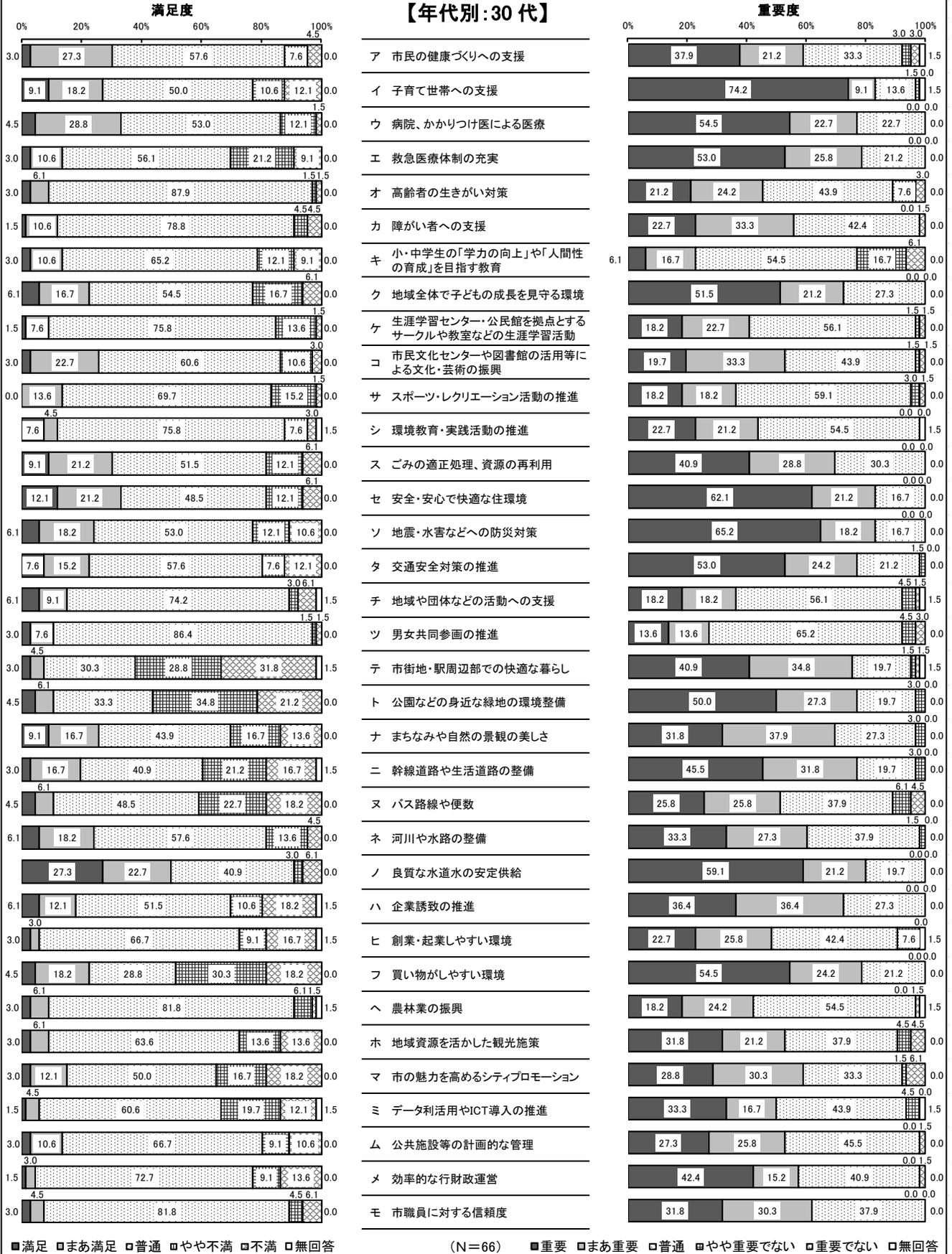


■満足 □まあ満足 □普通 □やや不満 □不満 □無回答

(N=276)

■重要 □まあ重要 □普通 □やや重要でない □重要でない □無回答

問2: 裾野市の取組・生活環境に対する満足度・重要度(それぞれ単一回答)

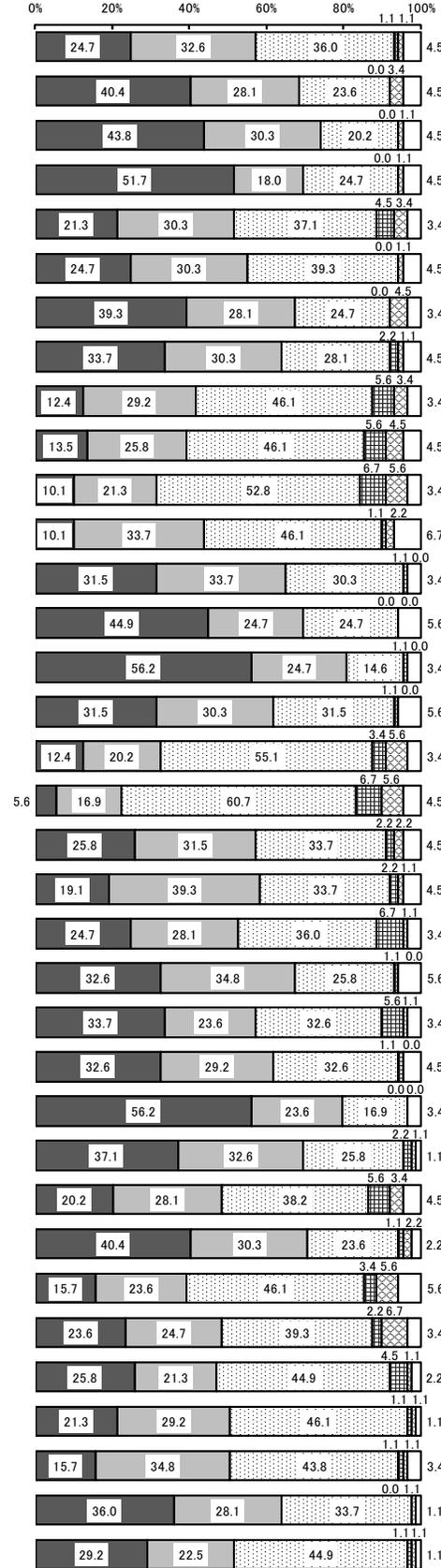
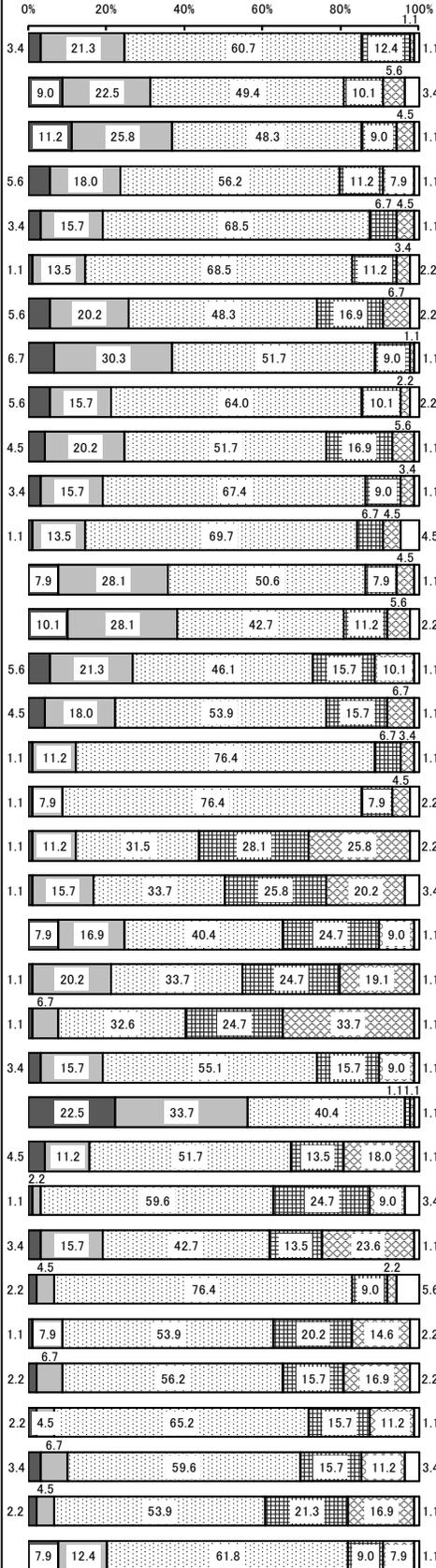


問2: 裾野市の取組・生活環境に対する満足度・重要度(それぞれ単一回答)

満足度

【年代別: 40代】

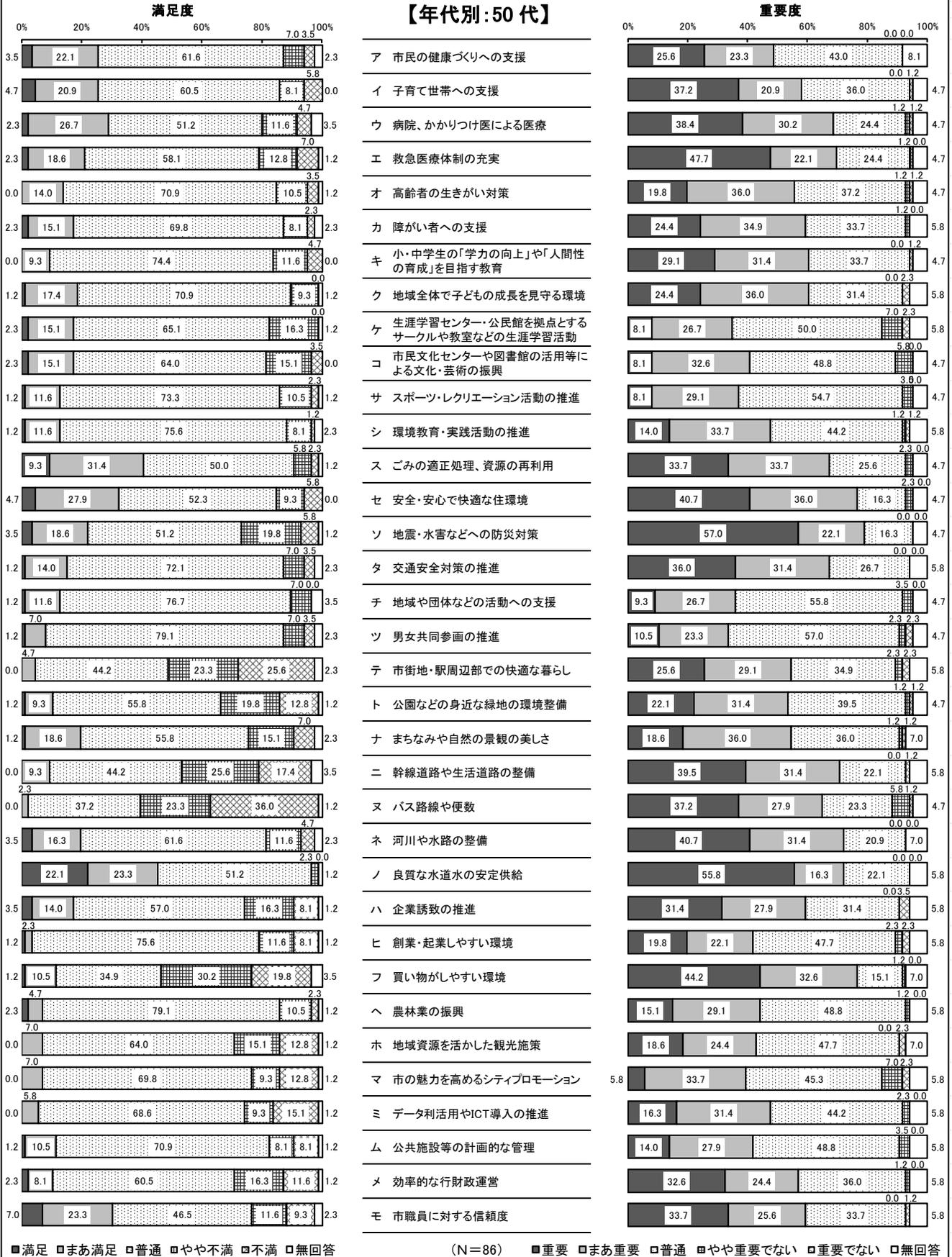
重要度



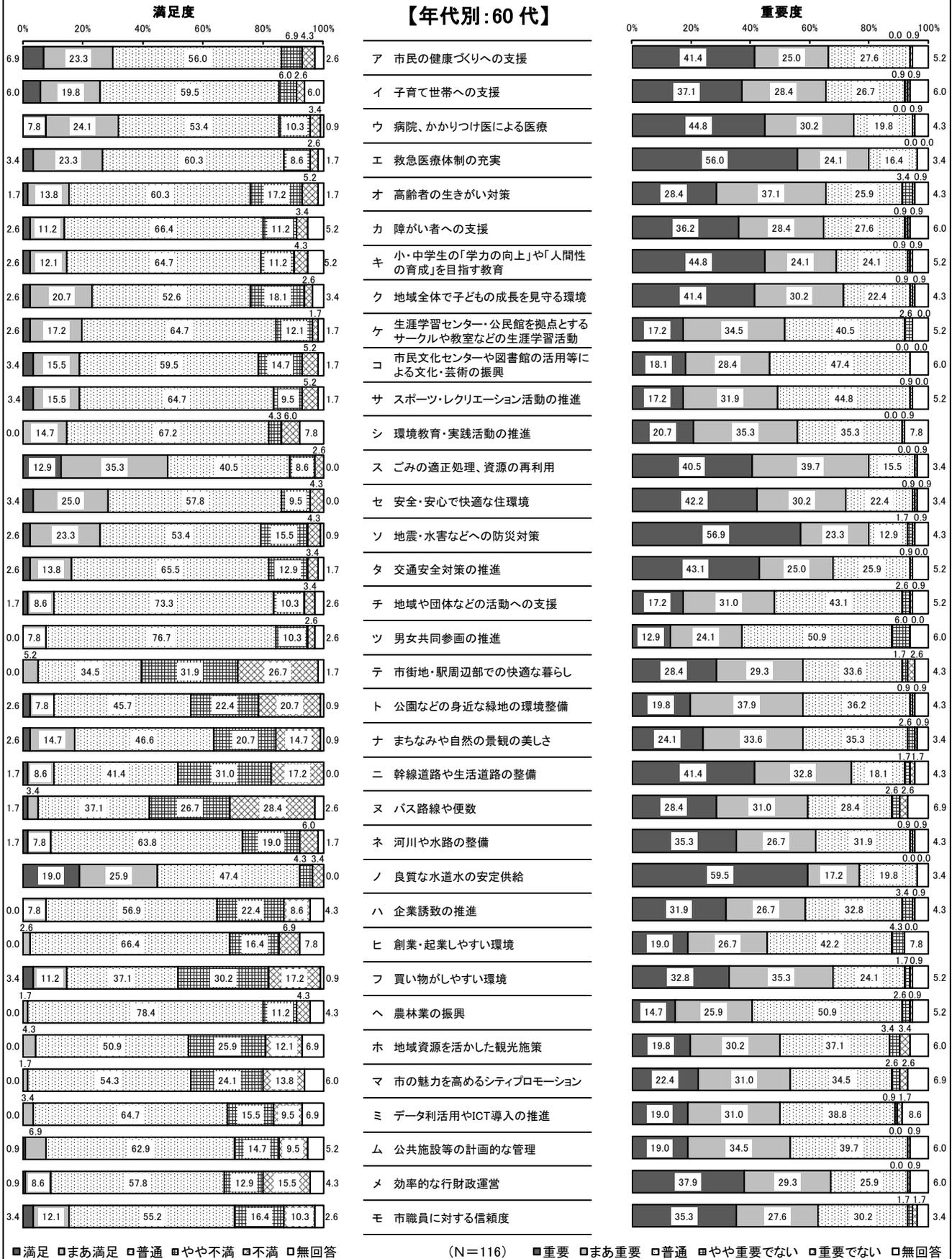
■満足 □まあ満足 □普通 □やや不満 □不満 □無回答

(N=89) ■重要 □まあ重要 □普通 □やや重要でない □重要でない □無回答

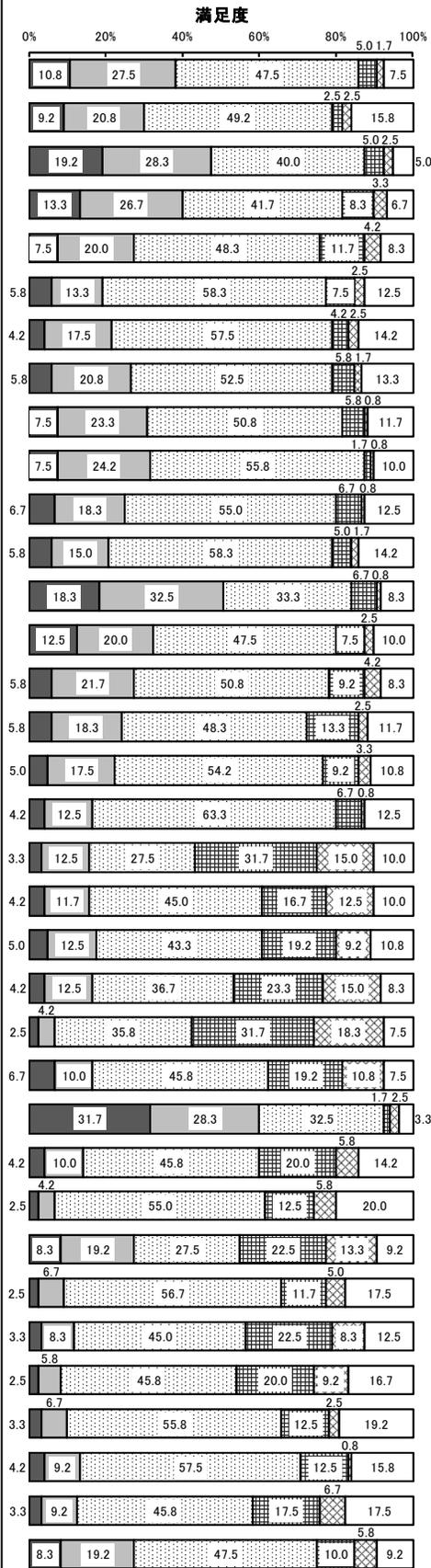
問2: 裾野市の取組・生活環境に対する満足度・重要度(それぞれ単一回答)



問2: 裾野市の取組・生活環境に対する満足度・重要度(それぞれ単一回答)

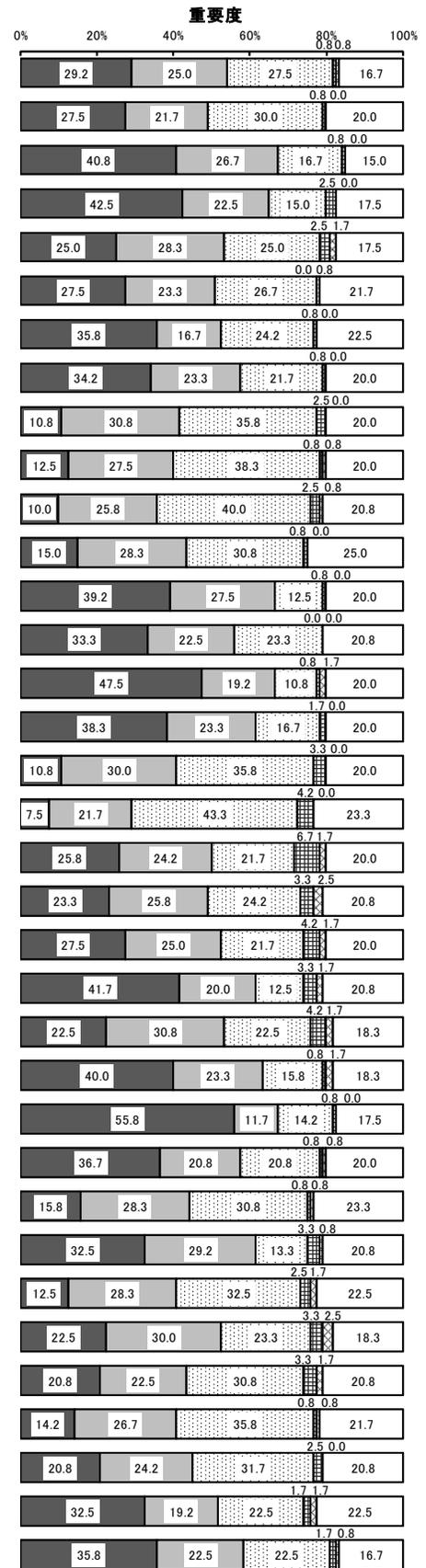


問2: 裾野市の取組・生活環境に対する満足度・重要度(それぞれ単一回答)



【年代別: 70代】

- ア 市民の健康づくりへの支援
- イ 子育て世帯への支援
- ウ 病院、かかりつけ医による医療
- エ 救急医療体制の充実
- オ 高齢者の生きがい対策
- カ 障がい者への支援
- キ 小・中学生の「学力の向上」や「人間性の育成」を目指す教育
- ク 地域全体で子どもの成長を見守る環境
- ケ 生涯学習センター・公民館を拠点とするサークルや教室などの生涯学習活動
- コ 市民文化センターや図書館の活用等による文化・芸術の振興
- サ スポーツ・レクリエーション活動の推進
- シ 環境教育・実践活動の推進
- ス ごみの適正処理、資源の再利用
- セ 安全・安心で快適な住環境
- ソ 地震・水害などへの防災対策
- タ 交通安全対策の推進
- チ 地域や団体などの活動への支援
- ツ 男女共同参画の推進
- テ 市街地・駅周辺部での快適な暮らし
- ト 公園などの身近な緑地の環境整備
- ナ まちなみや自然の景観の美しさ
- ニ 幹線道路や生活道路の整備
- ヌ バス路線や便数
- ネ 河川や水路の整備
- ノ 良質な水道水の安定供給
- ハ 企業誘致の推進
- ヒ 創業・起業しやすい環境
- フ 買い物がしやすい環境
- ヘ 農林業の振興
- ホ 地域資源を活かした観光施策
- マ 市の魅力を高めるシティプロモーション
- ミ データ活用やICT導入の推進
- ム 公共施設等の計画的な管理
- メ 効率的な行財政運営
- モ 市職員に対する信頼度



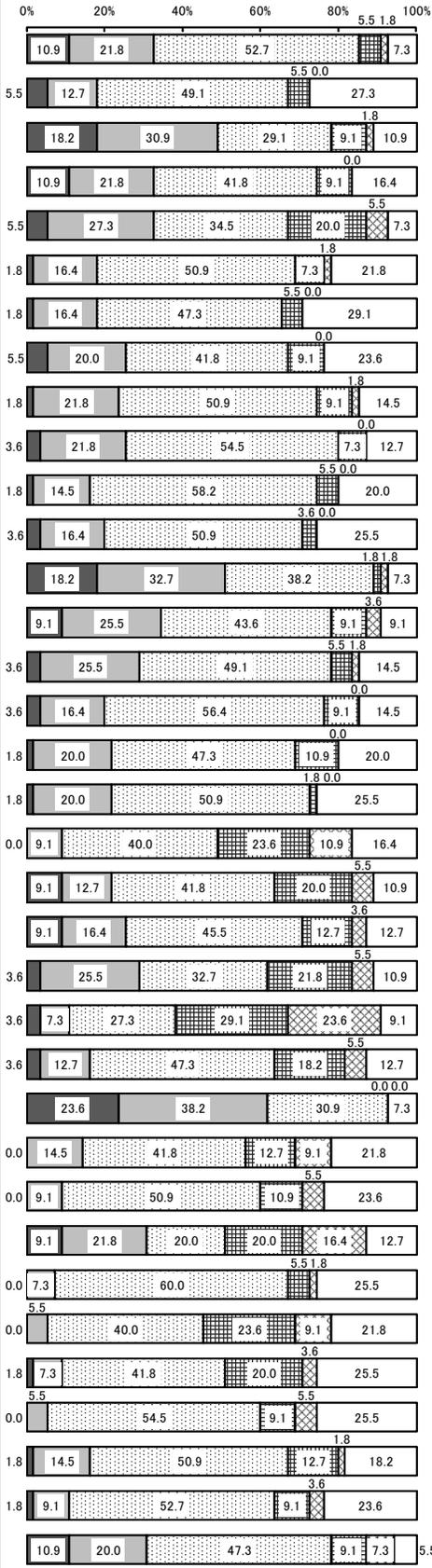
■満足 □まあ満足 □普通 □やや不満 □不満 □無回答

(N=120)

■重要 □まあ重要 □普通 □やや重要でない □重要でない □無回答

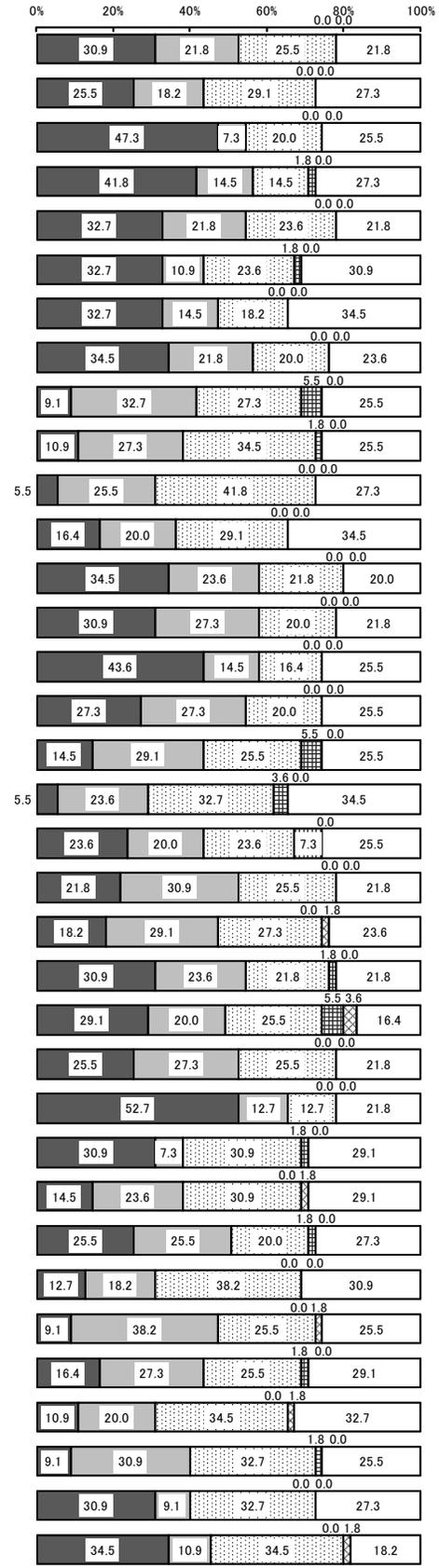
問2: 裾野市の取組・生活環境に対する満足度・重要度(それぞれ単一回答)

満足度



【年代別: 80代以上】

重要度

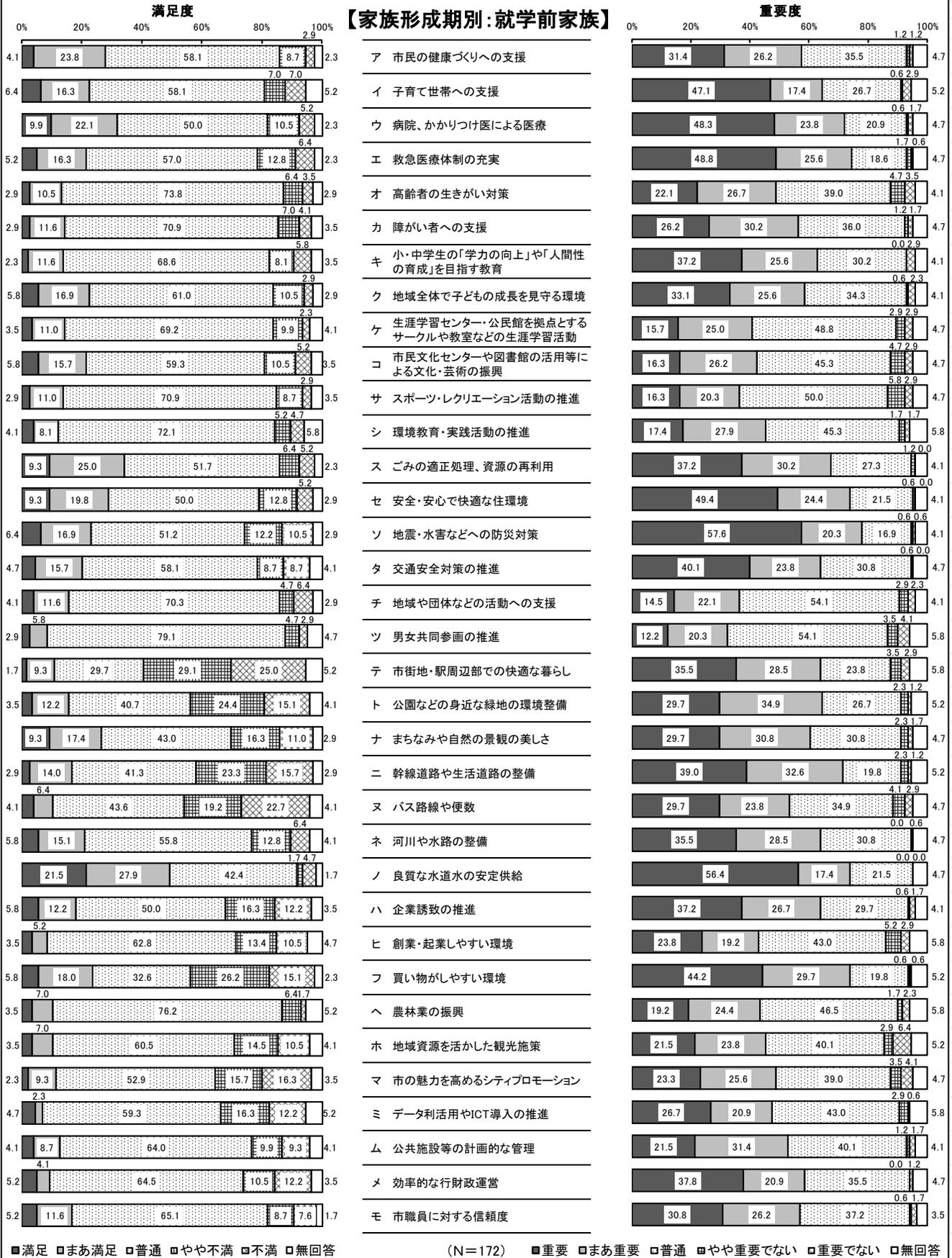


■満足 ■まあ満足 □普通 ■やや不満 □不満 □無回答

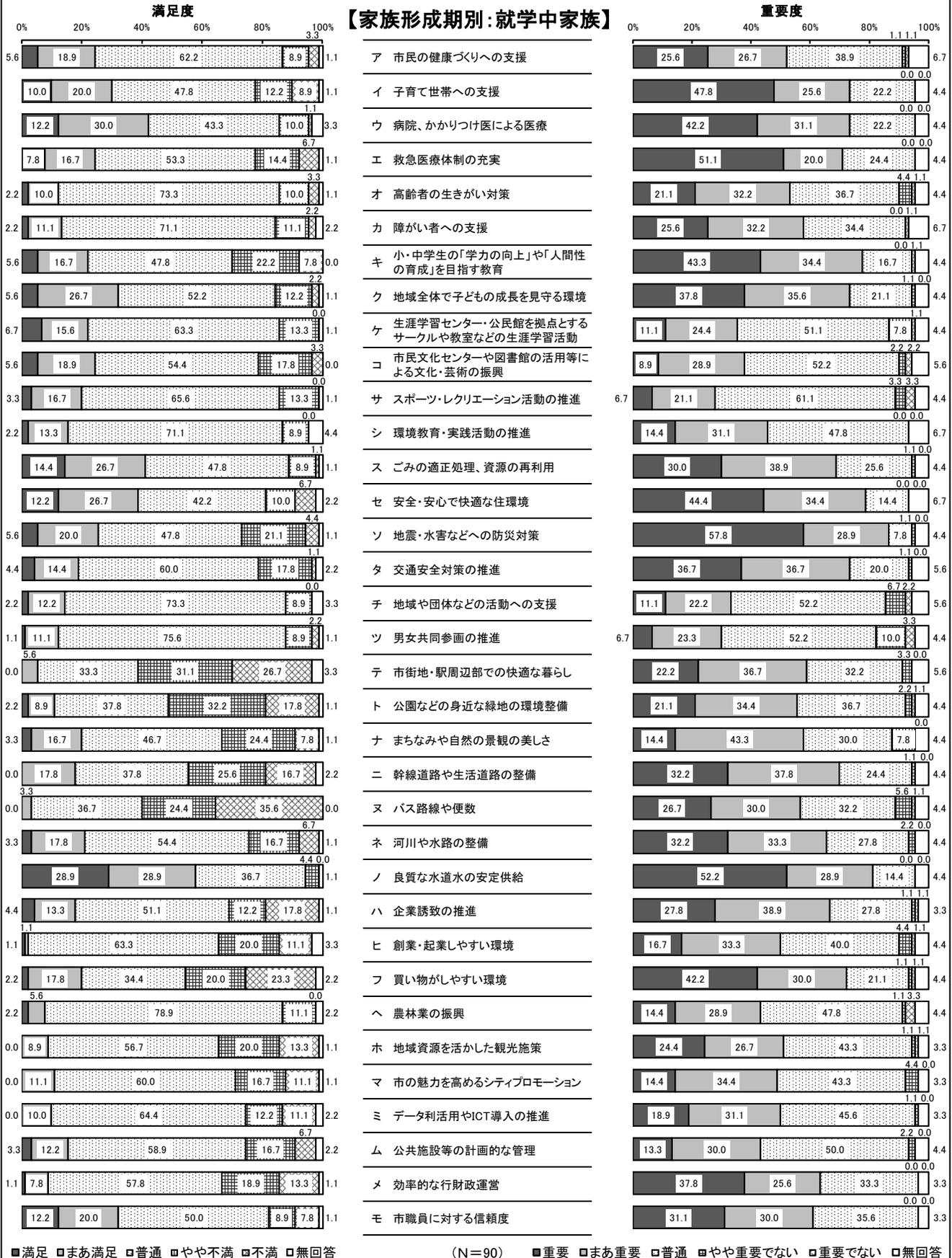
(N=55)

■重要 ■まあ重要 □普通 ■やや重要でない □重要でない □無回答

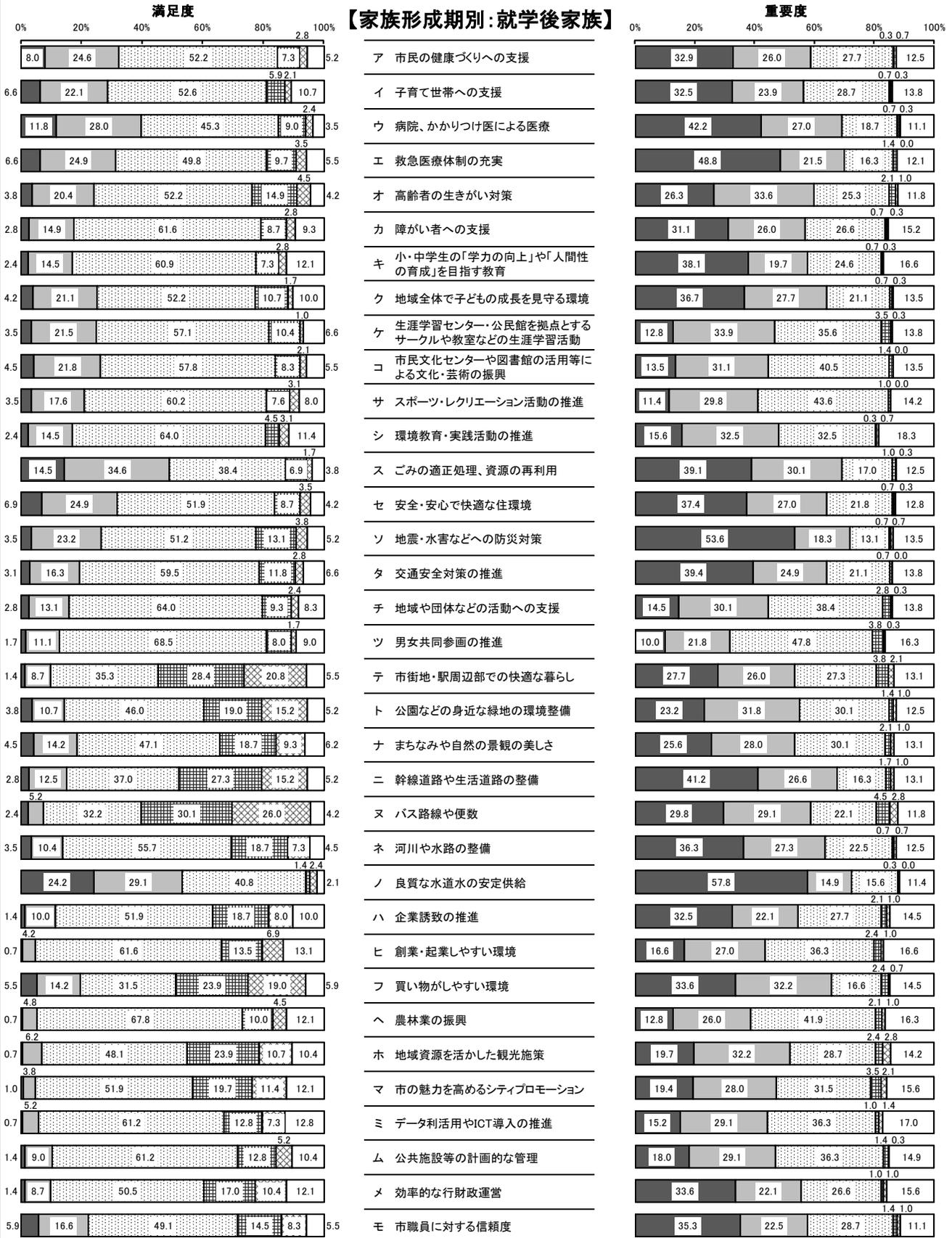
問2: 裾野市の取組・生活環境に対する満足度・重要度(それぞれ単一回答)



問2: 裾野市の取組・生活環境に対する満足度・重要度(それぞれ単一回答)



問2: 裾野市の取組・生活環境に対する満足度・重要度(それぞれ単一回答)

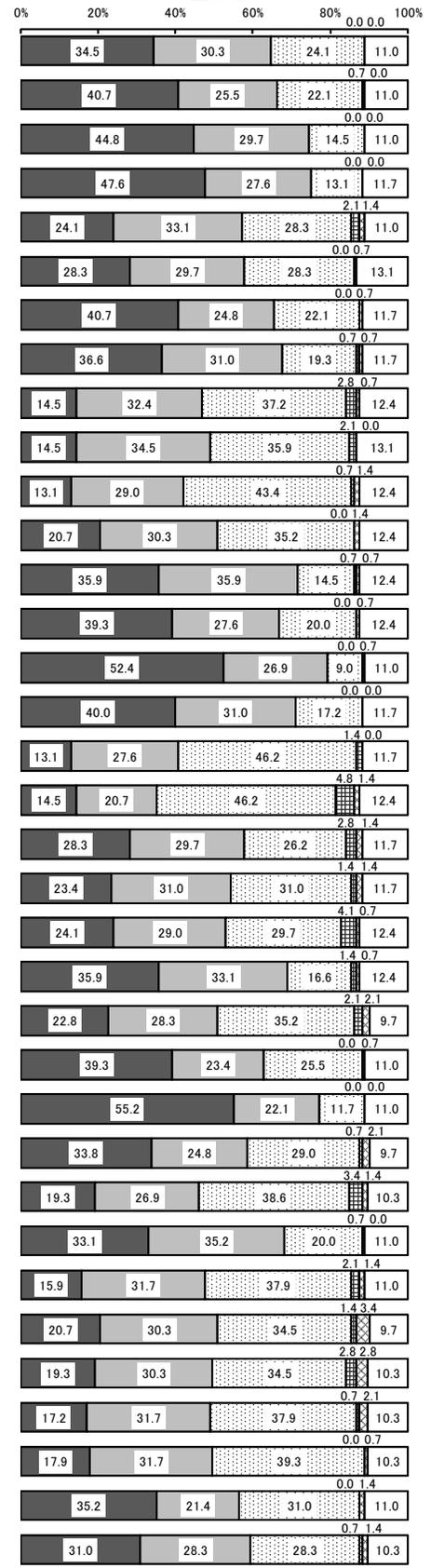
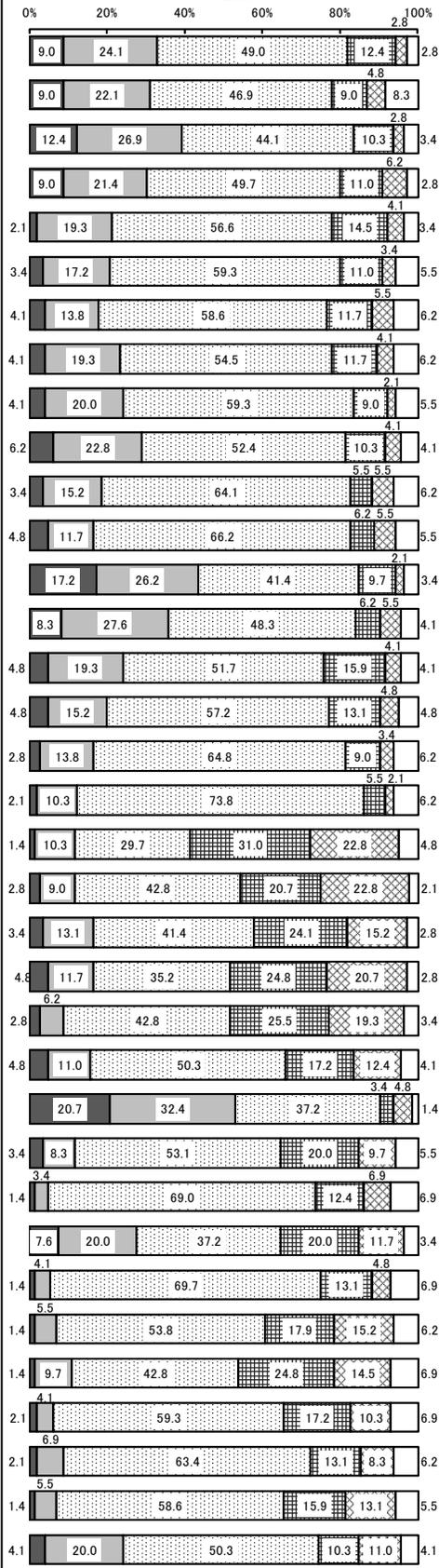


問2: 裾野市の取組・生活環境に対する満足度・重要度(それぞれ単一回答)

満足度

【居住地区別: 東地区】

重要度

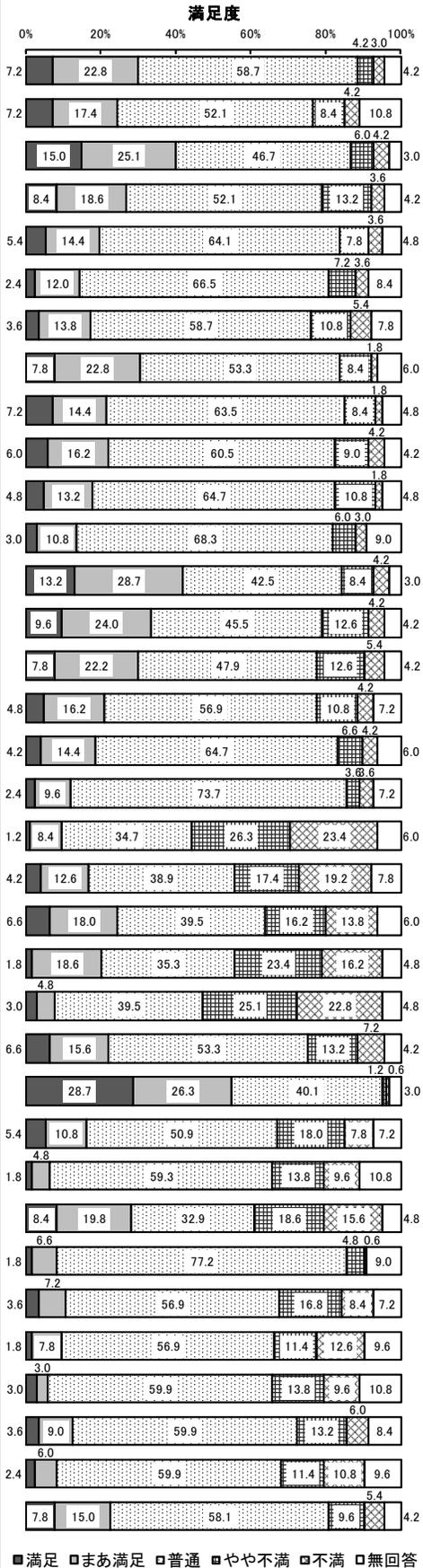


■満足 ■まあ満足 □普通 ■やや不満 □不満 □無回答

(N=145)

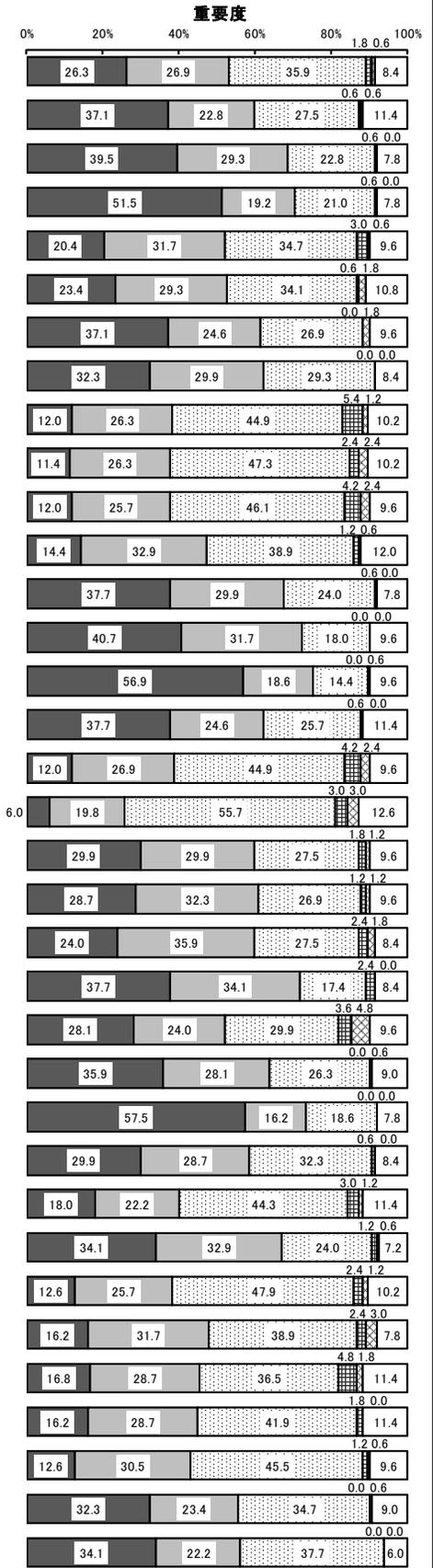
■重要 ■まあ重要 □普通 ■やや重要でない □重要でない □無回答

問2: 裾野市の取組・生活環境に対する満足度・重要度(それぞれ単一回答)



【居住地区別：西地区】

- ア 市民の健康づくりへの支援
- イ 子育て世帯への支援
- ウ 病院、かかりつけ医による医療
- エ 救急医療体制の充実
- オ 高齢者の生きがい対策
- カ 障がい者への支援
- キ 小・中学生の「学力の向上」や「人間性の育成」を目指す教育
- ク 地域全体で子どもの成長を見守る環境
- ケ 生涯学習センター・公民館を拠点とするサークルや教室などの生涯学習活動
- コ 市民文化センターや図書館の活用等による文化・芸術の振興
- サ スポーツ・レクリエーション活動の推進
- シ 環境教育・実践活動の推進
- ス ごみの適正処理、資源の再利用
- セ 安全・安心で快適な住環境
- ソ 地震・水害などへの防災対策
- タ 交通安全対策の推進
- チ 地域や団体などの活動への支援
- ツ 男女共同参画の推進
- テ 市街地・駅周辺部での快適な暮らし
- ト 公園などの身近な緑地の環境整備
- ナ まちなみや自然の景観の美しさ
- ニ 幹線道路や生活道路の整備
- ヌ バス路線や便数
- ネ 河川や水路の整備
- ノ 良質な水道水の安定供給
- ハ 企業誘致の推進
- ヒ 創業・起業しやすい環境
- フ 買い物がしやすい環境
- ヘ 農林業の振興
- ホ 地域資源を活かした観光施策
- マ 市の魅力を高めるシティプロモーション
- ミ データ活用やICT導入の推進
- ム 公共施設等の計画的な管理
- メ 効率的な行財政運営
- モ 市職員に対する信頼度

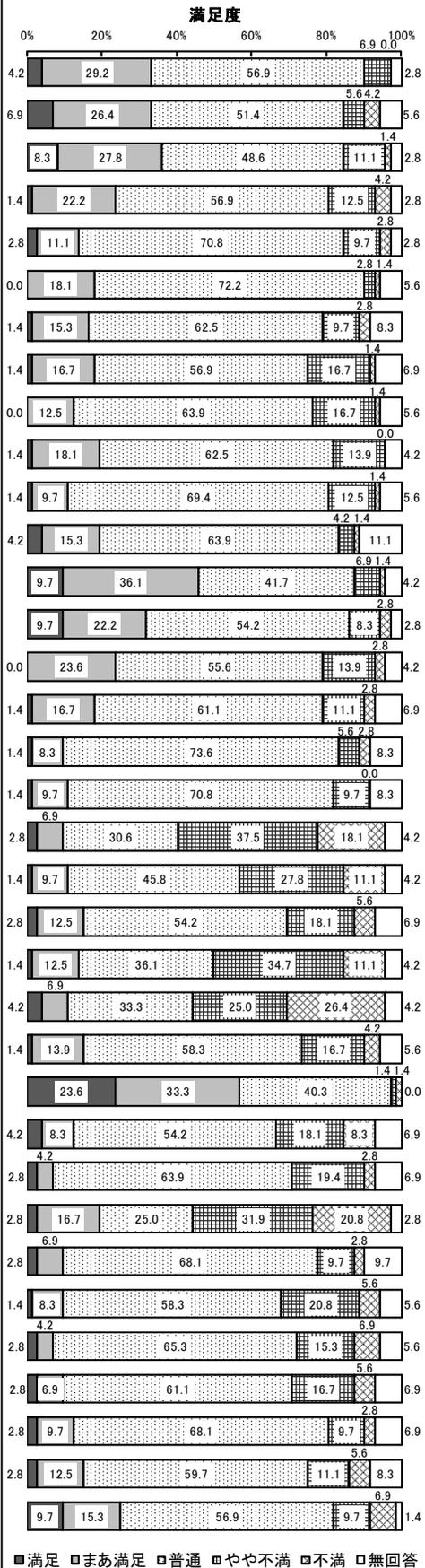


■満足 ■まあ満足 □普通 ■やや不満 □不満 □無回答

(N=167)

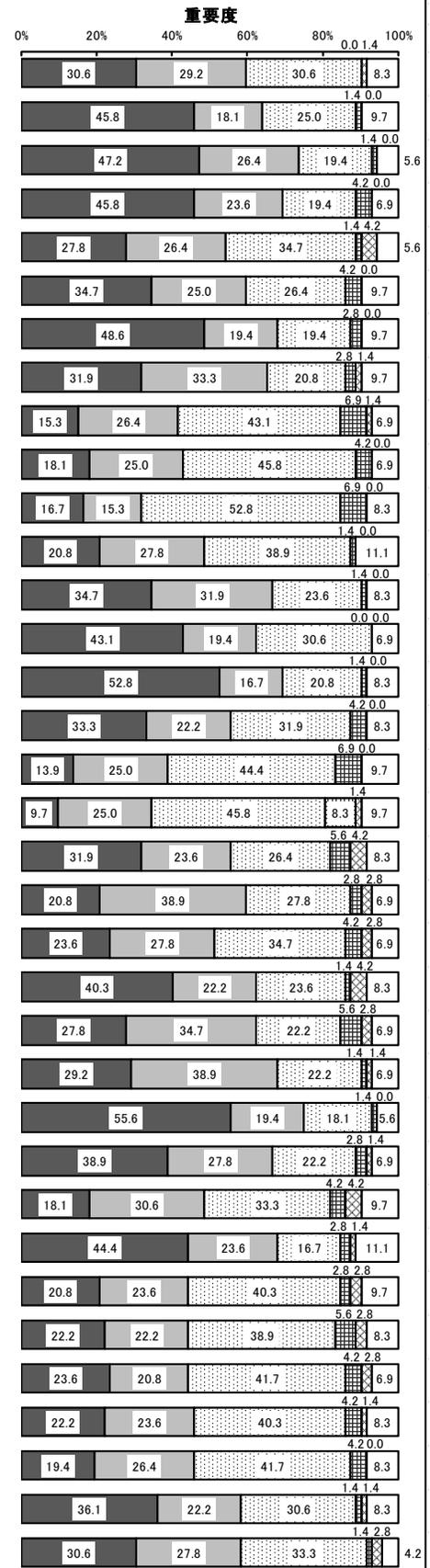
■重要 ■まあ重要 □普通 ■やや重要でない □重要でない □無回答

問2: 裾野市の取組・生活環境に対する満足度・重要度(それぞれ単一回答)



【居住地区別: 深良地区】

- ア 市民の健康づくりへの支援
- イ 子育て世帯への支援
- ウ 病院、かかりつけ医による医療
- エ 救急医療体制の充実
- オ 高齢者の生きがい対策
- カ 障がい者への支援
- キ 小・中学生の「学力の向上」や「人間性の育成」を目指す教育
- ク 地域全体で子どもの成長を見守る環境
- ケ 生涯学習センター・公民館を拠点とするサークルや教室などの生涯学習活動
- コ 市民文化センターや図書館の活用等による文化・芸術の振興
- サ スポーツ・レクリエーション活動の推進
- シ 環境教育・実践活動の推進
- ス ごみの適正処理、資源の再利用
- セ 安全・安心で快適な住環境
- ソ 地震・水害などへの防災対策
- タ 交通安全対策の推進
- チ 地域や団体などの活動への支援
- ツ 男女共同参画の推進
- テ 市街地・駅周辺部での快適な暮らし
- ト 公園などの身近な緑地の環境整備
- ナ まちなみや自然の景観の美しさ
- ニ 幹線道路や生活道路の整備
- ヌ バス路線や便数
- ネ 河川や水路の整備
- ノ 良質な水道水の安定供給
- ハ 企業誘致の推進
- ヒ 創業・起業しやすい環境
- フ 買い物がしやすい環境
- ヘ 農林業の振興
- ホ 地域資源を活かした観光施策
- マ 市の魅力を高めるシティプロモーション
- ミ データ活用やICT導入の推進
- ム 公共施設等の計画的な管理
- メ 効率的な行財政運営
- モ 市職員に対する信頼度



■満足 ■まあ満足 □普通 ■やや不満 □不満 □無回答

(N=72)

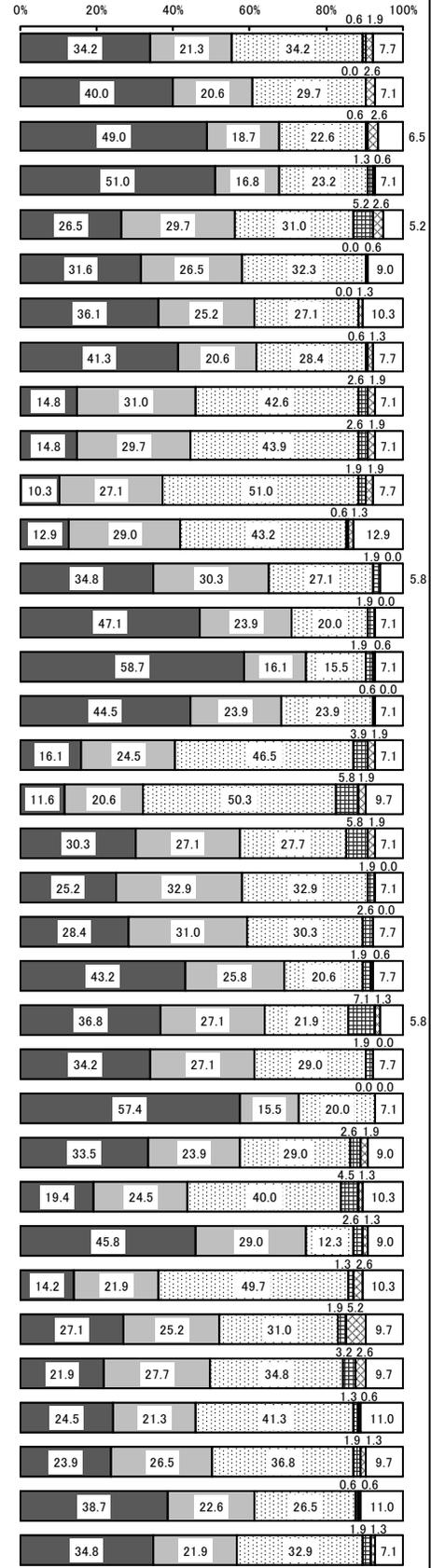
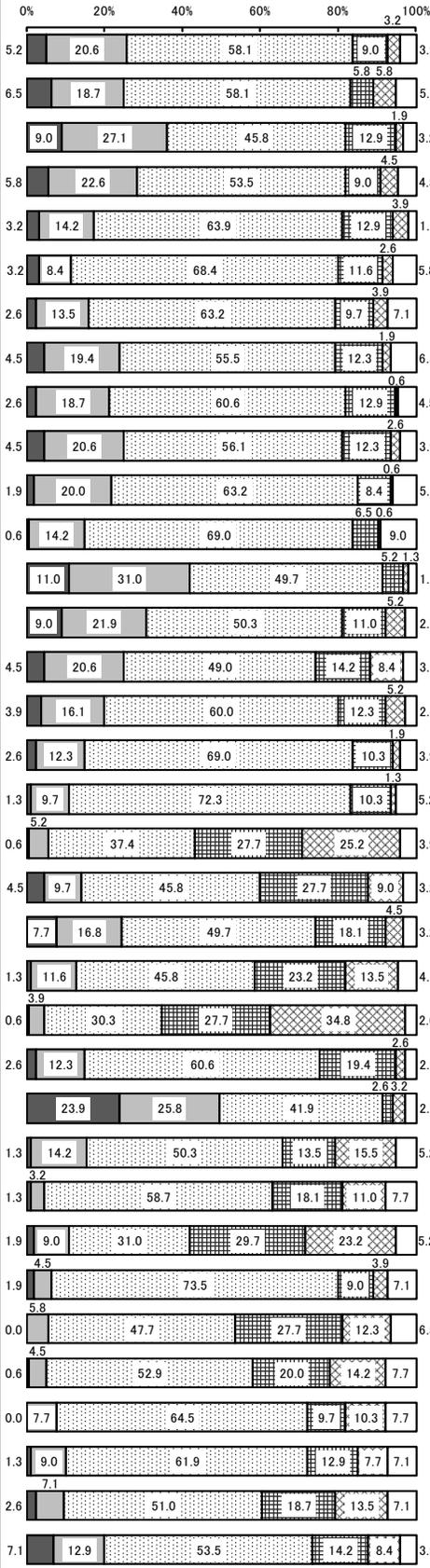
■重要 ■まあ重要 □普通 ■やや重要でない □重要でない □無回答

問2: 裾野市の取組・生活環境に対する満足度・重要度(それぞれ単一回答)

満足度

【居住地区別: 富岡地区】

重要度

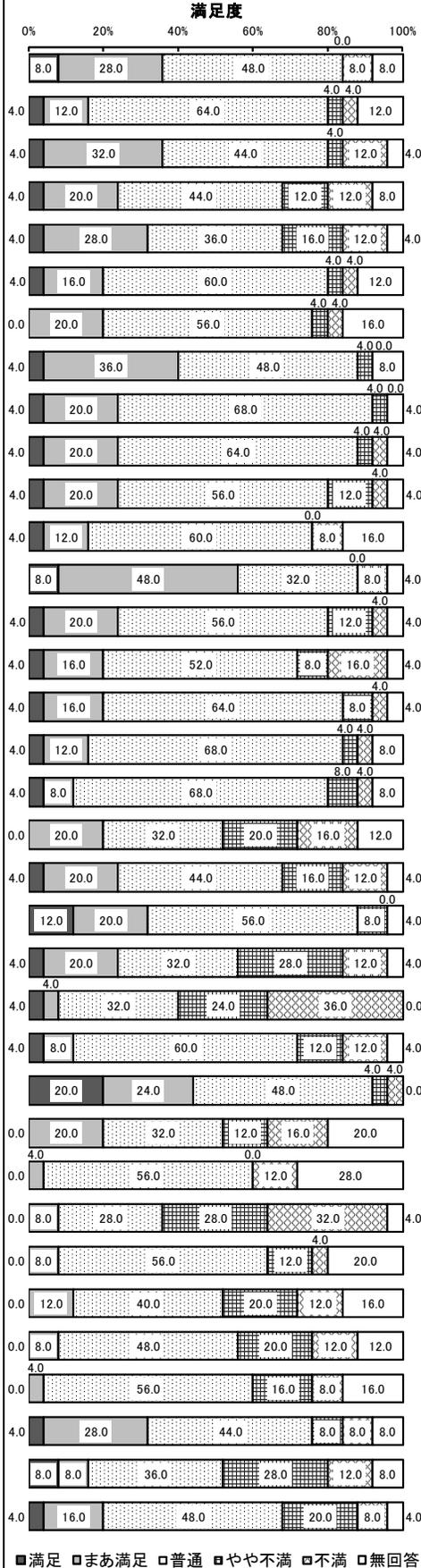


■満足 □まあ満足 □普通 □やや不満 □不満 □無回答

(N=155)

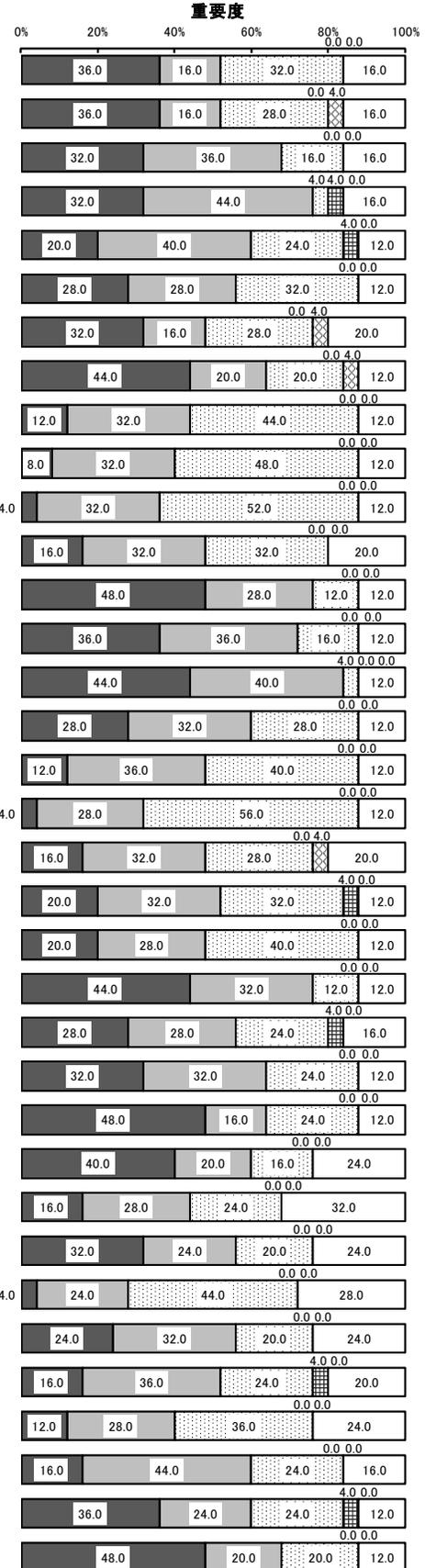
■重要 □まあ重要 □普通 □やや重要でない □重要でない □無回答

問2: 裾野市の取組・生活環境に対する満足度・重要度(それぞれ単一回答)



【居住地区別: 須山地区】

- ア 市民の健康づくりへの支援
- イ 子育て世帯への支援
- ウ 病院、かかりつけ医による医療
- エ 救急医療体制の充実
- オ 高齢者の生きがい対策
- カ 障がい者への支援
- キ 小・中学生の「学力の向上」や「人間性の育成」を目指す教育
- ク 地域全体で子どもの成長を見守る環境
- ケ 生涯学習センター・公民館を拠点とするサークルや教室などの生涯学習活動
- コ 市民文化センターや図書館の活用等による文化・芸術の振興
- サ スポーツ・レクリエーション活動の推進
- シ 環境教育・実践活動の推進
- ス ごみの適正処理、資源の再利用
- セ 安全・安心で快適な住環境
- ソ 地震・水害などへの防災対策
- タ 交通安全対策の推進
- チ 地域や団体などの活動への支援
- ツ 男女共同参画の推進
- テ 市街地・駅周辺部での快適な暮らし
- ト 公園などの身近な緑地の環境整備
- ナ まちなみや自然の景観の美しさ
- ニ 幹線道路や生活道路の整備
- ヌ バス路線や便数
- ネ 河川や水路の整備
- ノ 良質な水道水の安定供給
- ハ 企業誘致の推進
- ヒ 創業・起業しやすい環境
- フ 買い物しやすい環境
- ヘ 農林業の振興
- ホ 地域資源を活かした観光施策
- マ 市の魅力を高めるシティプロモーション
- ミ データ活用やICT導入の推進
- ム 公共施設等の計画的な管理
- メ 効率的な財政運営
- モ 市職員に対する信頼度



■満足 ■まあ満足 □普通 ■やや不満 □不満 □無回答

(N=25)

■重要 ■まあ重要 □普通 ■やや重要でない ■重要でない □無回答

(3) 生活の満足度

生活の満足度は、「満足している」13.9%と「まあまあ満足している」37.0%を合計した“満足”が 50.9%、「やや不満」と「不満」を合計した“不満”が 12.3%だった。

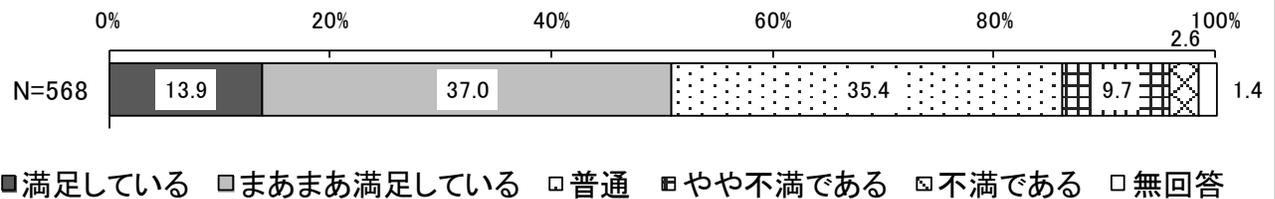
性別で見ると、女性の方が男性より“満足”が 6.9 ポイント多く、男性は“不満”が 2.9 ポイント多かった。

年代別で見ると、“満足”が多かったのは 80 代以上の 60.0%や 70 代の 57.5%などで、“不満”が多かったのは 20 代の 19.3%や 40 代の 19.1%などだった。

居住地区別で最も“満足”が多かったのは須山地区 64.0%で、“不満”が多かったのは富岡地区 17.4%だった。

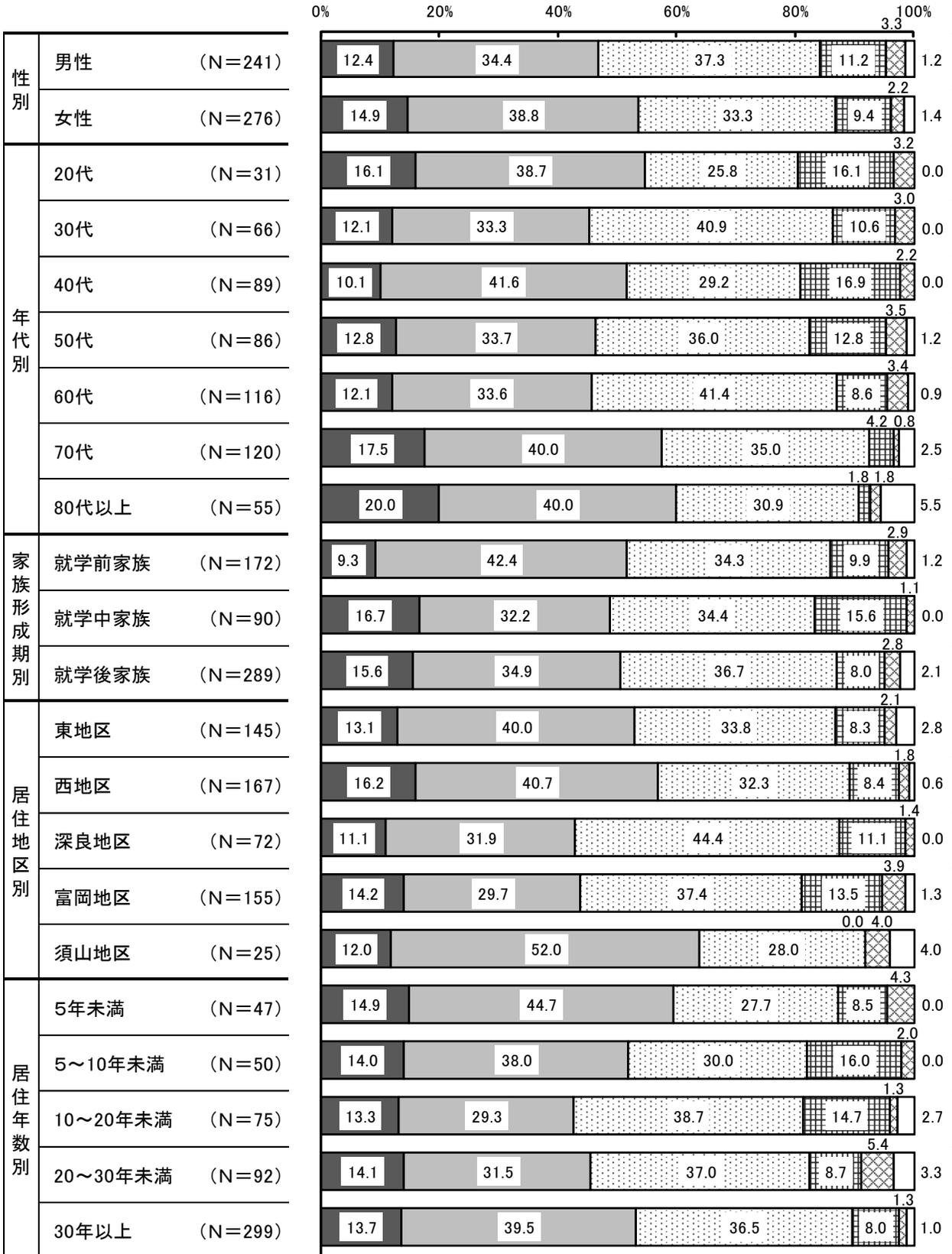
居住年数別で最も“満足”が多かったのは 5 年未満 59.6%で、“不満”が多かったのは 5～10 年未満 18.0%だった。

問3 現在のご自分の生活に満足していますか。(単一回答)



【クロス集計】

問3 現在のご自分の生活に満足していますか。(単一回答)



■満足している □まあまあ満足している □普通 □やや不満である □不満である □無回答

(4) 裾野市での定住意向

これからも裾野市に住み続けたいかについては、「ずっと住み続けたい」が31.7%、「どちらかといえば住み続けたい」が40.5%で、合計して72.2%が“住み続けたい”と回答した。「いずれは市外に転出したい」と「市外に転出したい」を合計した“転出したい”は12.8%だった。

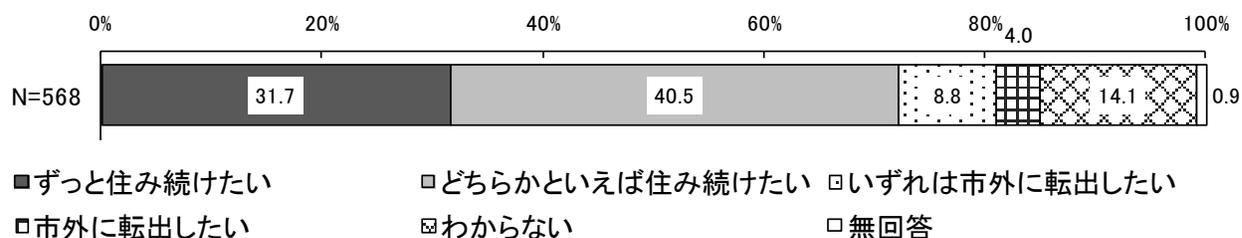
令和元年度と比較して、“住み続けたい”は5.1ポイント増加した。

年代別で見ると、“住み続けたい”が最も多いのは80代以上90.9%で、年代が上がるほど増える傾向が見られた。“転出したい”が最も多いのは20代29.1%だった。

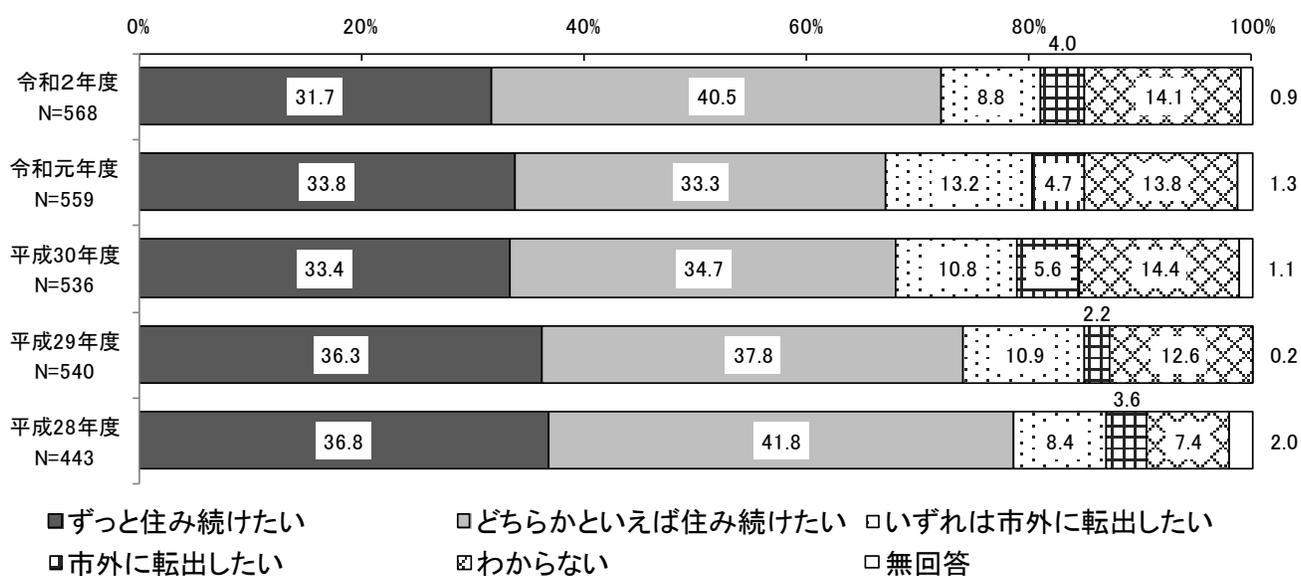
居住地区別では、“住み続けたい”が最も多いのは西地区76.6%で、“転出したい”が最も多いのは須山地区16.0%だった。

居住年数別では、“住み続けたい”が最も多いのは30年以上81.3%で、“転出したい”が最も多いのは5年未満21.3%だった。

問4 あなたはこれからも裾野市に住み続けたいと思いますか。(単一回答)

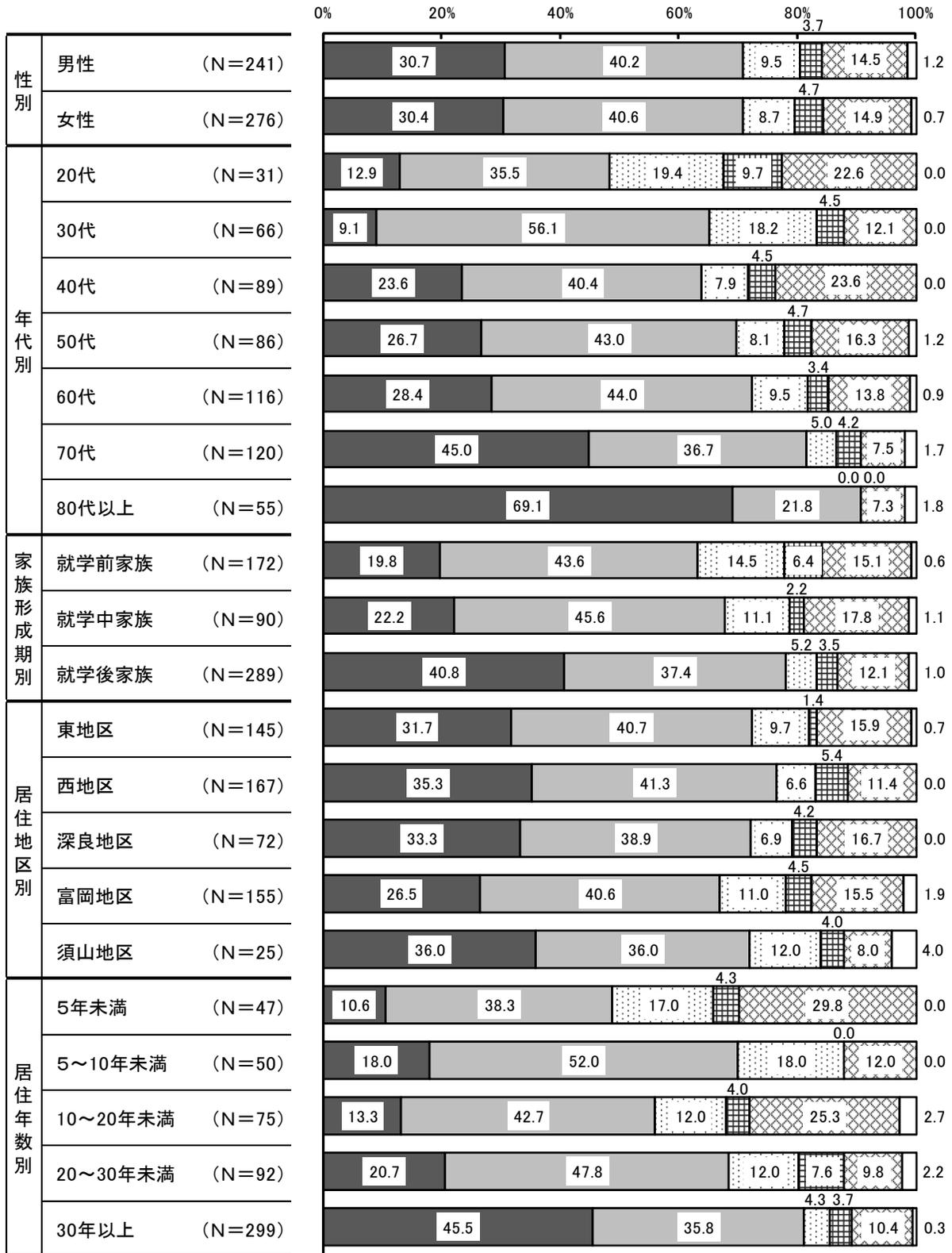


【経年比較】



【クロス集計】

問4 あなたはこれからも裾野市に住み続けたいと思いますか。(単一回答)



- ずっと住み続けたい
- どちらかといえば住み続けたい
- いずれは市外に転出したい
- 市外に転出したい
- わからない
- 無回答

(5) ワークライフバランス

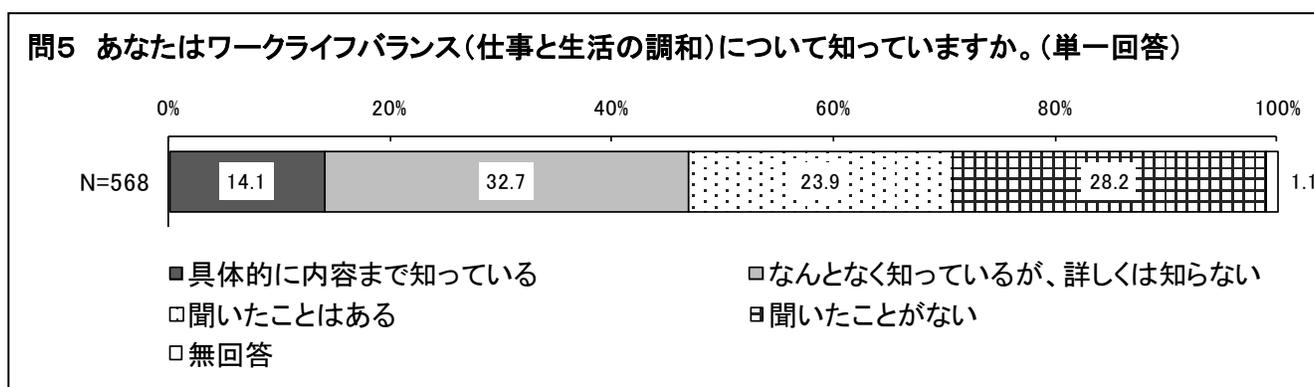
「ワークライフバランス」については、「なんとなく知っているが、詳しくは知らない」が32.7%と最も多く、「具体的に内容まで知っている」と「なんとなく知っているが、詳しくは知らない」を合計した“知っている”は46.8%だった。

令和元年度と比較すると、「聞いたことがない」が6.1ポイント減少し、“知っている”は3.9ポイント増加した。性別で見ると、男性は女性よりも「具体的に内容まで知っている」が7.9ポイント多く、女性は男性よりも「聞いたことがない」が5.3ポイント多かった。

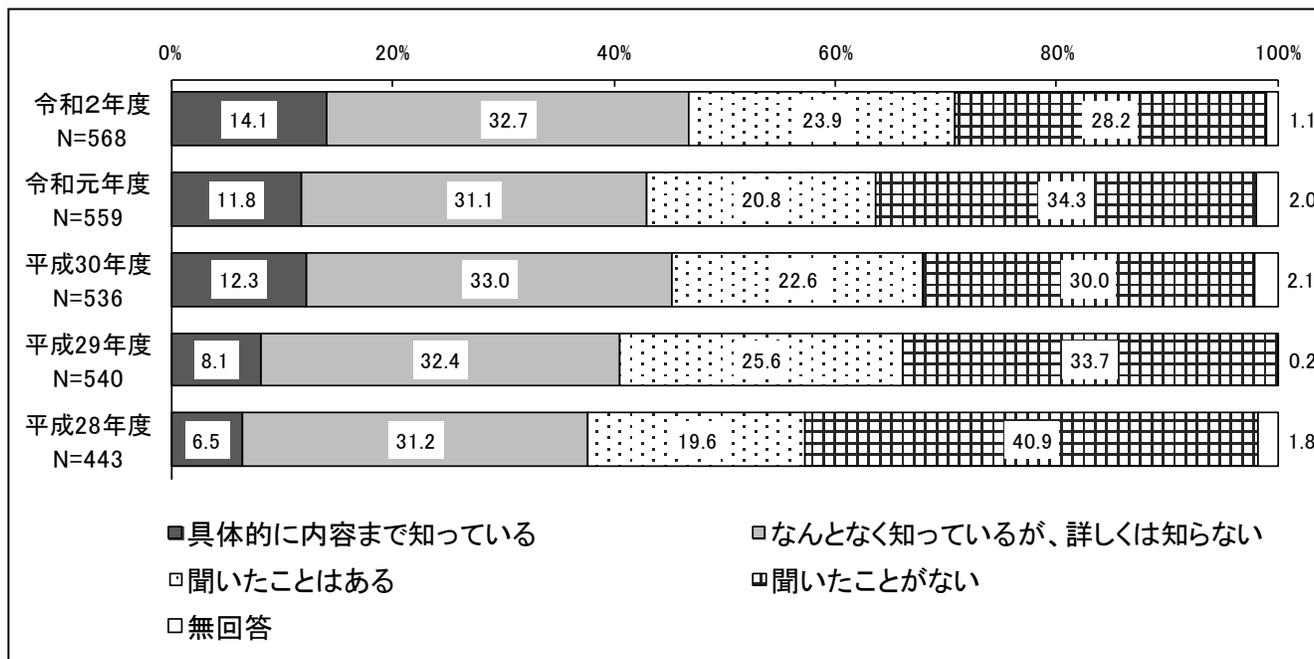
年代別で見ると、“知っている”の割合は20～50代では約6割だが、60代以上では4割未満だった。

居住地区別で見ると、最も“知っている”が多いのは須山地区の64.0%だった。

居住年数別では、5年未満で“知っている”の割合が多く、66.0%だった。

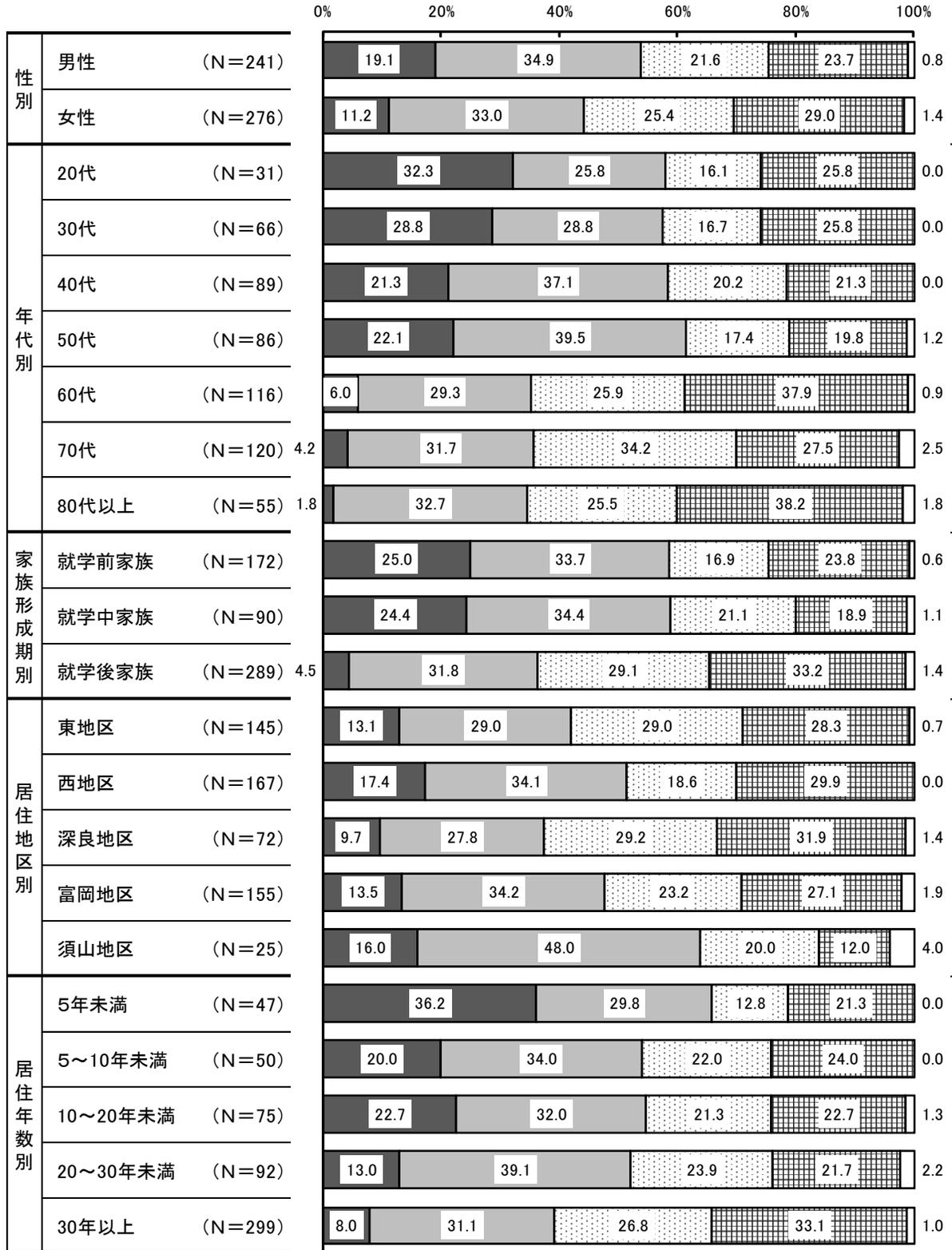


【経年比較】



【クロス集計】

問5 あなたはワークライフバランス(仕事と生活の調和)について知っていますか。(単一回答)



- 具体的に内容まで知っている
- 聞いたことはある
- 聞いたことがない
- 無回答

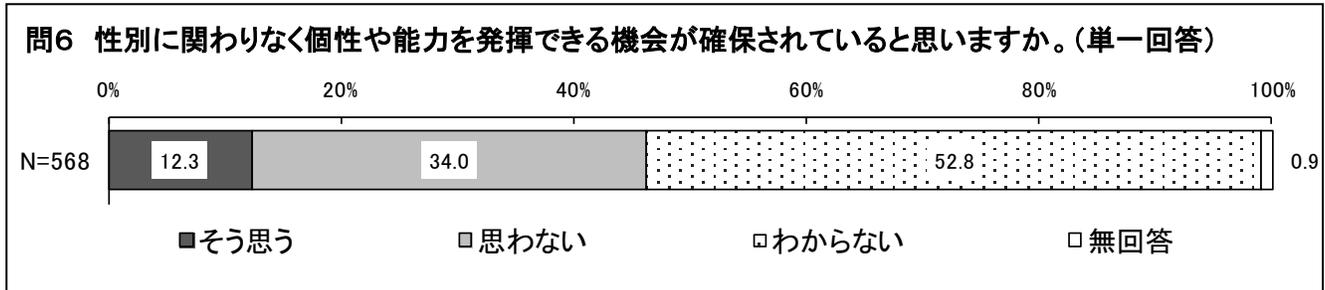
(6) 性別に関わりなく個性や能力を発揮できる機会が確保されているか

性別に関わりなく個性や能力を発揮できる機会が確保されていると思うかについては、「わからない」52.8%が最も多く、以下、「思わない」34.0%、「そう思う」12.3%と続いた。

性別で見ると、「そう思う」の割合は男性の方が女性よりも2.1ポイント多かった。

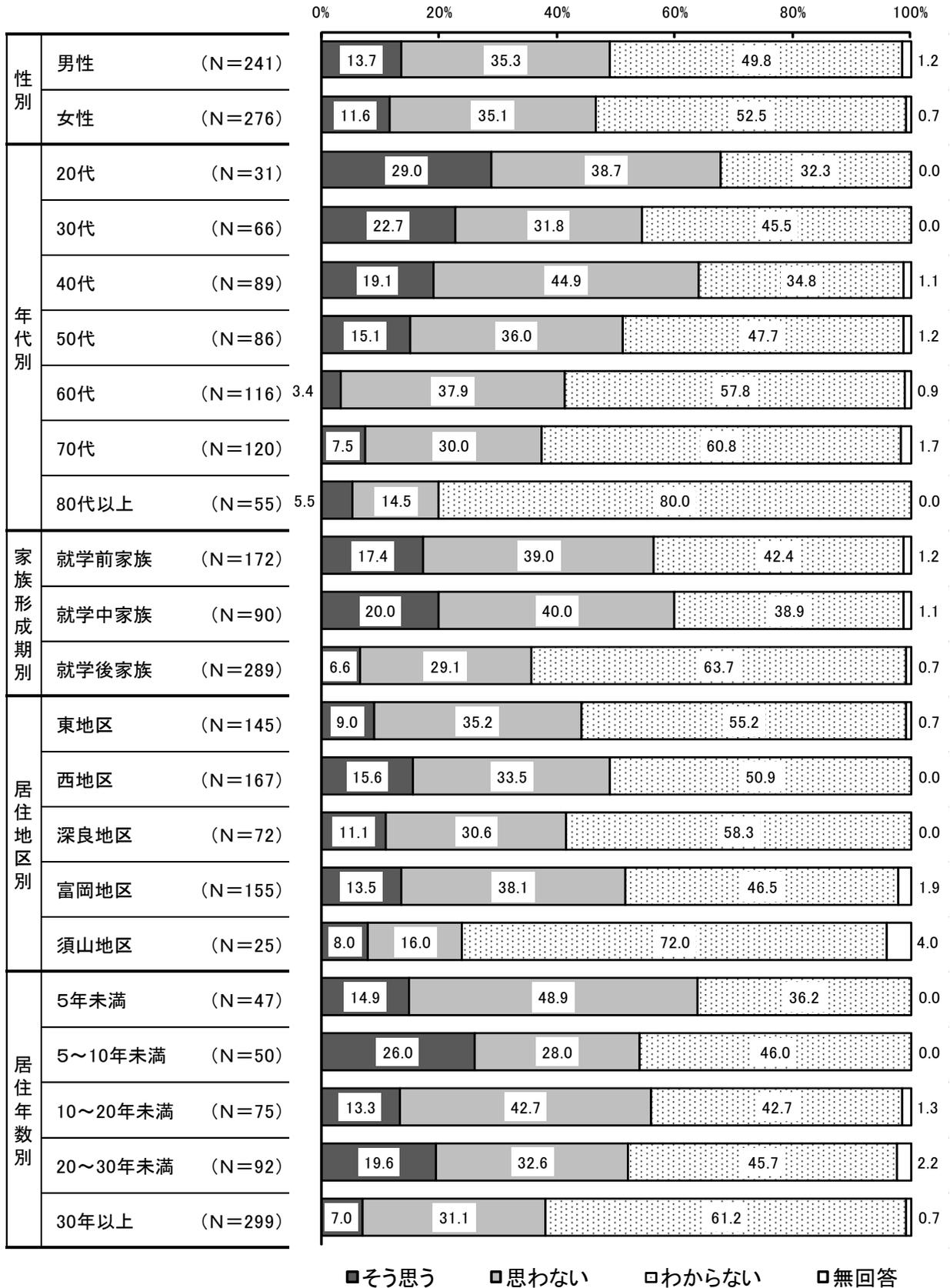
年代別では、「そう思う」の割合は20代29.0%が最も多く、20～60代では年代が上がるごとに減少する傾向が見られた。「思わない」が最も多いのは40代の44.9%だった。

居住地区別では、須山地区の「わからない」が他の地区よりも多かった。



【クロス集計】

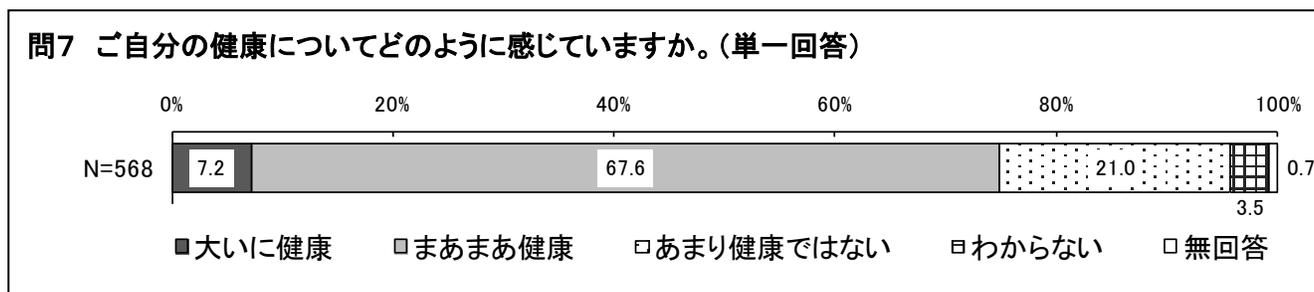
問6 性別に関わりなく個性や能力を発揮できる機会が確保されていると思いますか。(単一回答)



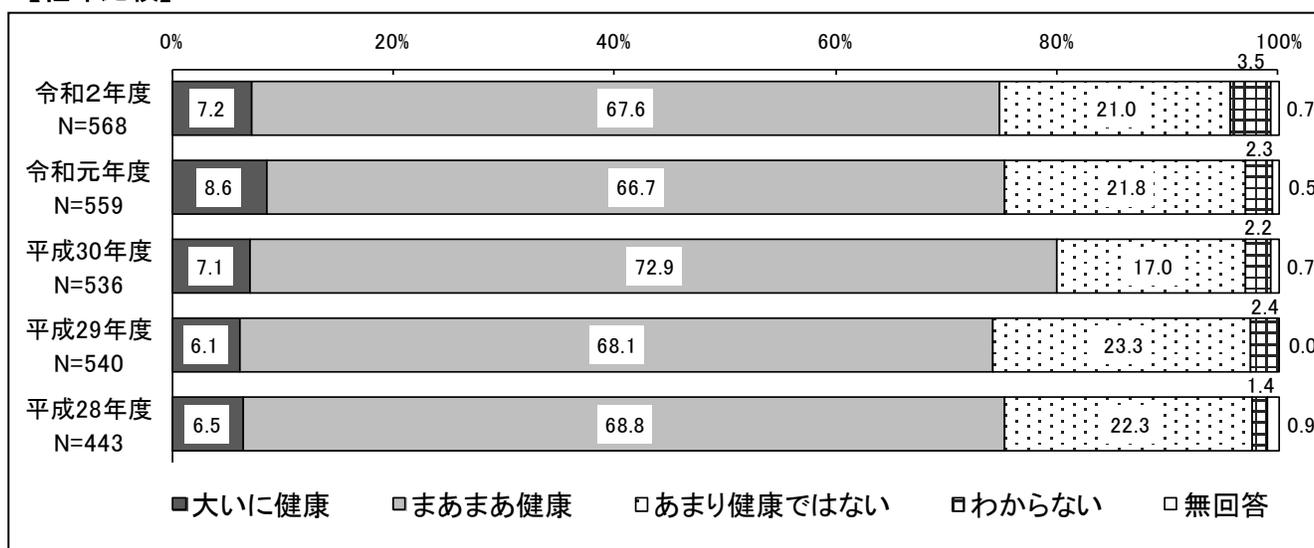
健康づくりやスポーツ活動

(1) 健康状態

自分の健康についてどのように感じるかでは、「まあまあ健康」67.6%が最も多く、以下、「あまり健康ではない」21.0%、「大いに健康」7.2%と続いた。「大いに健康」と「まあまあ健康」を合計した“健康”は74.8%だった。経年比較では、“健康”が令和元年度より0.5ポイント、「あまり健康ではない」が0.8ポイント減少した。性別で見ると、“健康”は男性が72.6%、女性が77.2%で、女性の方が4.6ポイント多くなっている。年代別で見ると、“健康”は30～40代で比較的多く、20代・80代以上ではやや少なかった。居住年数別で観ると、最も“健康”が多かったのは、5～10年未満の86.0%だった。

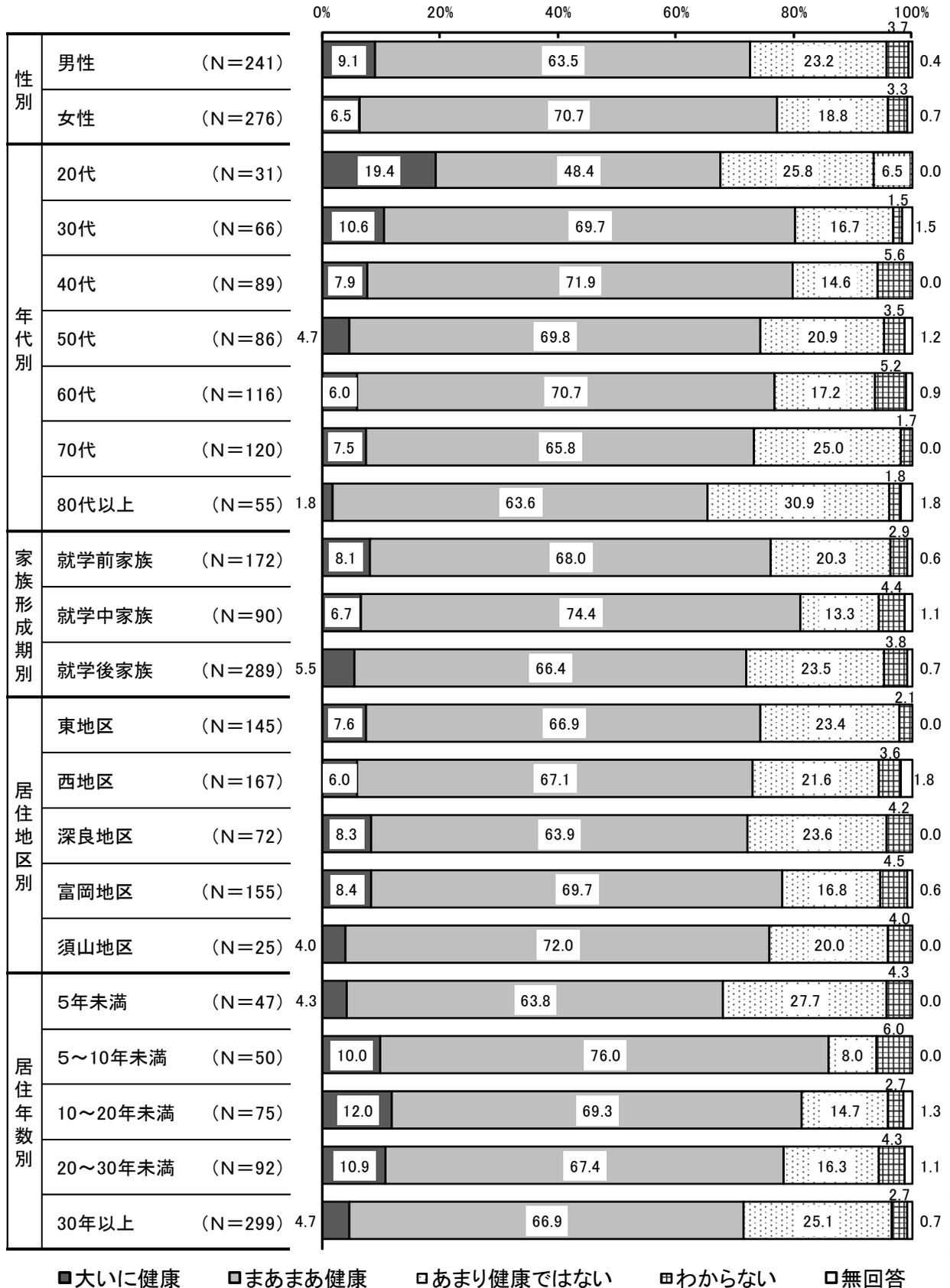


【経年比較】



【クロス集計】

問7 ご自分の健康についてどのように感じていますか。(単一回答)



(2) かかりつけ医の有無

かかりつけ医の有無については、「はい」(いる)が62.1%、「いいえ」(いない)が37.0%だった。

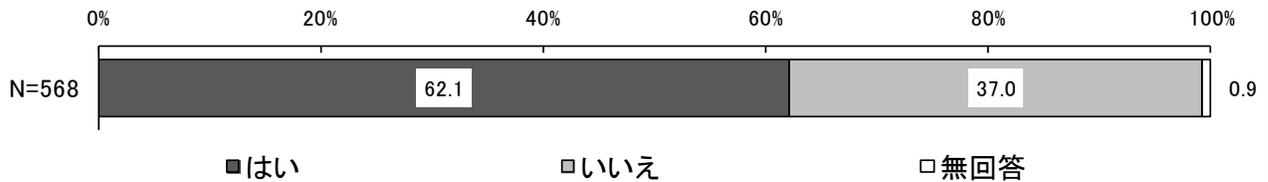
年代別で見ると、かかりつけ医のいる割合は20～30代では4割未満だが、40代から過半数となり、50～60代で6割超、70代で7割超、80代以上で8割超と、年代を追って増加する傾向が見られた。

世帯状況別で見ると、1人暮らし世帯のかかりつけ医のいる割合が他の世帯状況と比べて少ない。

居住地区別で見ると、かかりつけ医のいる割合が最も多いのは富岡地区で、最も少ないのは東地区だった。

居住年数別で見ると、かかりつけ医のいる割合は、20年以上の方が20年未満よりも2～3割程度多かった。

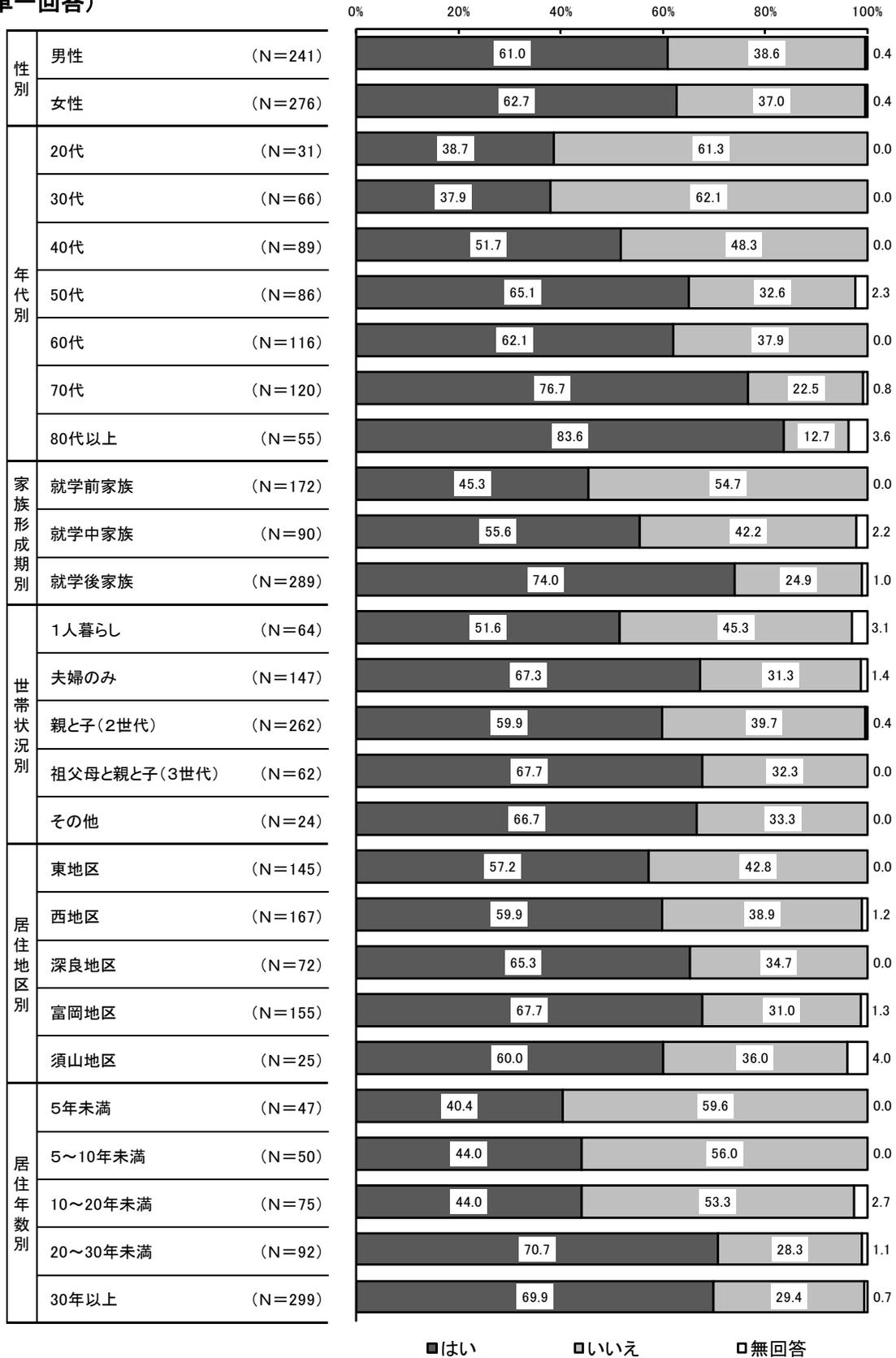
問8 ご自分やご家族の病気の予防や健康管理について相談できる「かかりつけ医」がいますか。
(単一回答)



【クロス集計】

問8 ご自分やご家族の病気の予防や健康管理について相談できる「かかりつけ医」がいますか。

(単一回答)



■はい □いいえ □無回答

(3) スポーツや運動の頻度

この1年間で行ったスポーツや運動の頻度については、「ほとんどスポーツや運動をしていない」30.1%が最も多く、以下、「週に2～3回」19.4%、「週に1回」15.8%、「週に1回未満で、月に1回以上」10.6%と続いた。「週に6～7回」「週に4～5回」「週に2～3回」「週に1回」を合計した“週に1回以上”は53.3%だった。

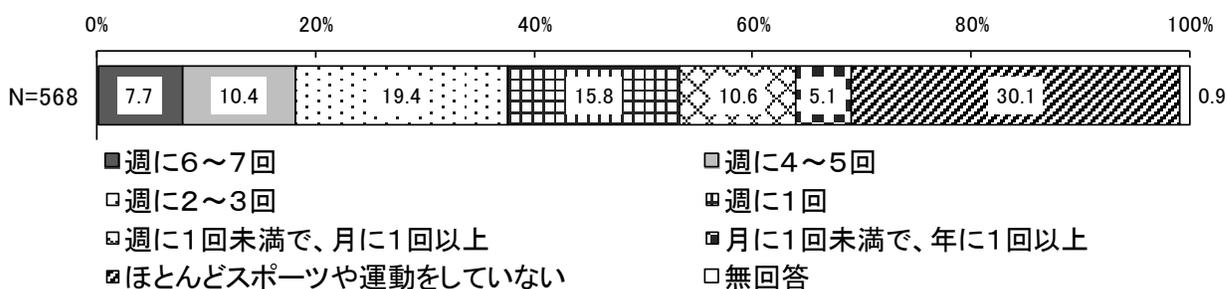
令和元年度と比較すると、“週に1回以上”は3.6ポイント増加し、「ほとんどスポーツや運動をしていない」は0.5ポイント減少した。

性別で見ると、“週に1回以上”は、男性59.3%、女性46.4%で、男性の方が12.9ポイント多かった。

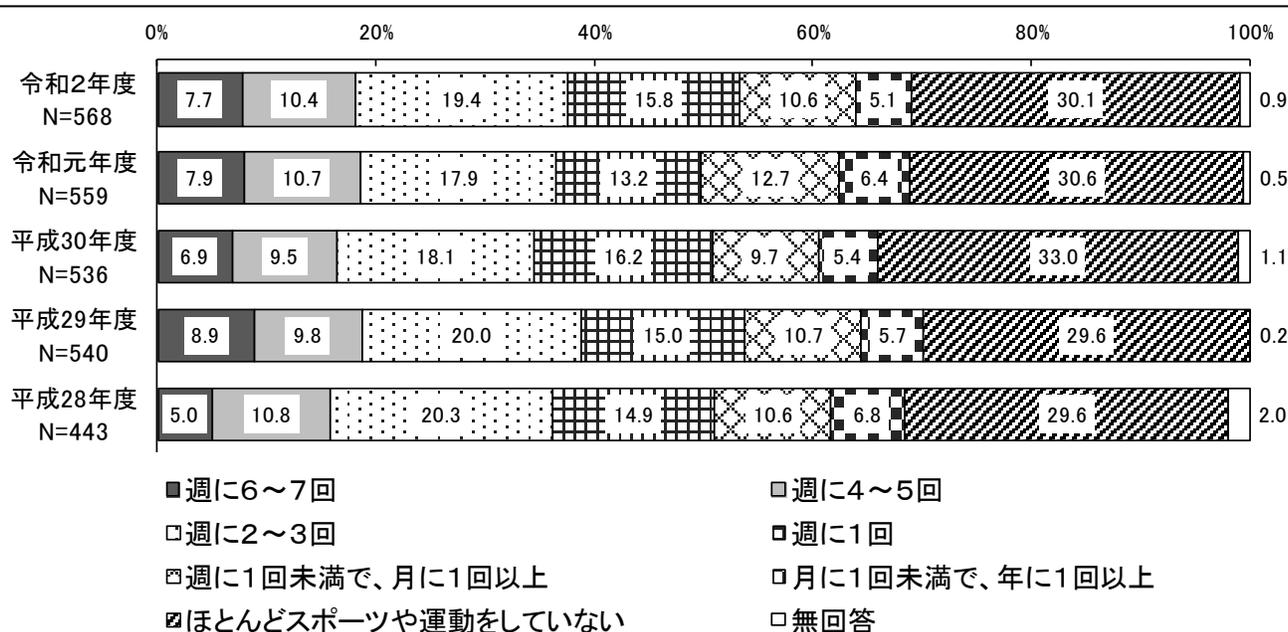
年代別で見ると、“週に1回以上”が比較的多いのは、70代61.7%や60代61.1%などだった。

居住地区別では、須山地区で「週に6～7回」が他の地区より多く、20.0%だった。“週に1回以上”が最も多いのは東地区57.3%で、最も少ないのは深良地区47.3%だった。

問9 あなたはこの1年間でスポーツや運動(1回あたり30分程度以上、散歩・ストレッチ等の軽運動を含む)をどれくらいの頻度で行いましたか。(単一回答)

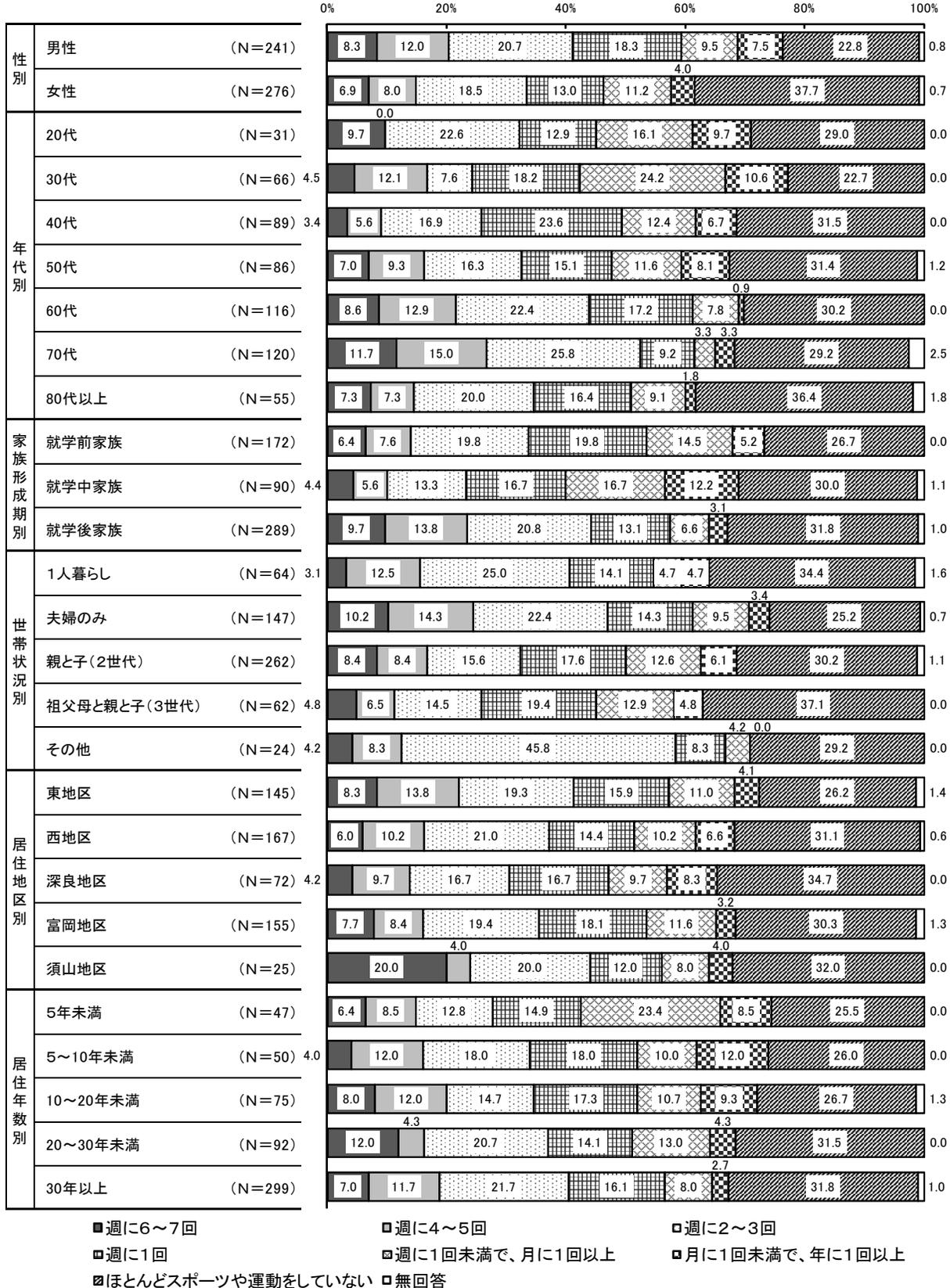


【経年比較】



【クロス集計】

問9 あなたはこの1年間でスポーツや運動(1回あたり30分程度以上、散歩・ストレッチ等の軽運動を含む)をどれくらいの頻度で行いましたか。(単一回答)



(4) スポーツや運動を頻繁にできない理由

スポーツや運動を頻繁に行うために障害となっている理由については、「場所や施設が近くにない」32.6%が最も多く、以下、「仕事などで忙しく時間がない」31.0%、「お金がかかる」19.5%と続いた。また、「特に理由はない」は23.6%だった。

性別では、男性は「仕事などで忙しく時間がない」、女性は「場所や施設が近くにない」が最も多かった。

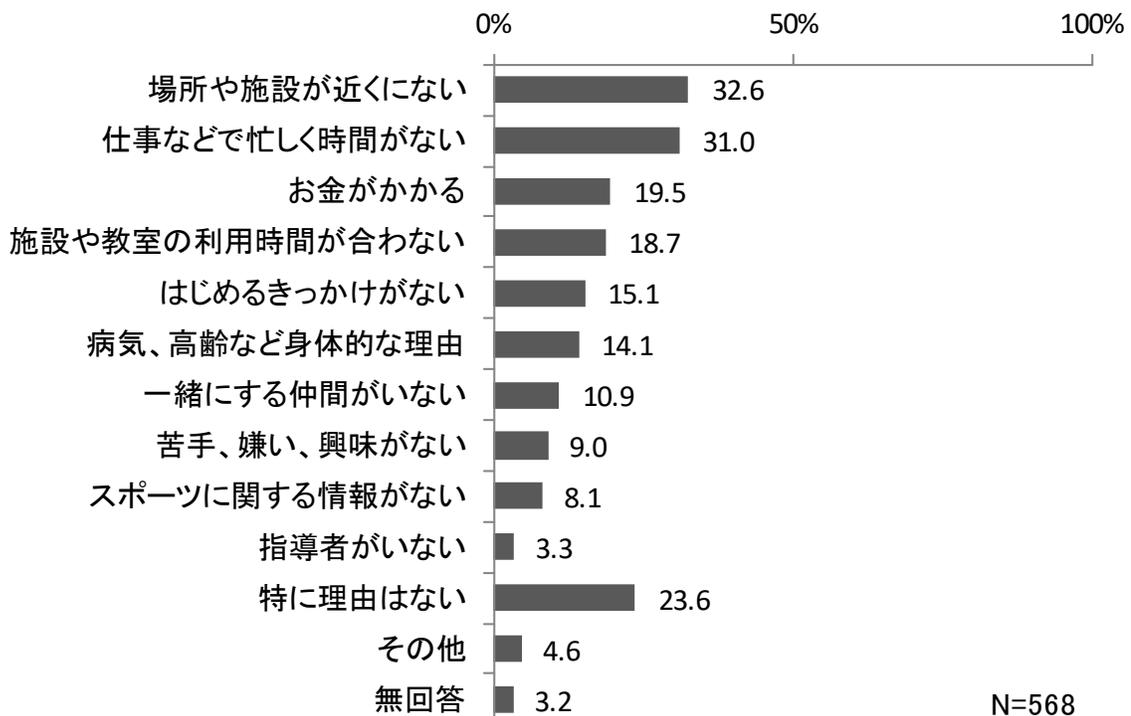
年代別で見ると、20～40代は「仕事などで忙しく時間がない」、50～60代は「場所や施設が近くにない」、70代以上は「病気、高齢など身体的な理由」が最も多かった。

家族形成期別では、就学前・就学中家族の「仕事などで忙しく時間がない」が比較的多かった。

世帯状況別で見ると、1人暮らしは「お金がかかる」、親と子（2世代）は「仕事などで忙しく時間がない」が比較的多かった。

居住地区別で見ると、富岡地区は他の地区と比較して「場所や施設が近くにない」が多く、43.2%だった。

問10 スポーツや運動を頻繁に行うために、障害となっている理由はありますか。(複数回答)



《その他の主な回答》

- ・感染症の流行のため室内のスポーツ施設の利用を控えている
- ・行きやすい、魅力的な施設がないから
- ・安全に散歩できる公園等がない、道路や歩道が狭い
- ・小さい子どもがいるから、子どもの預け先がないから
- ・親の介護をしているため
- ・習慣が続かない など

【クロス集計】

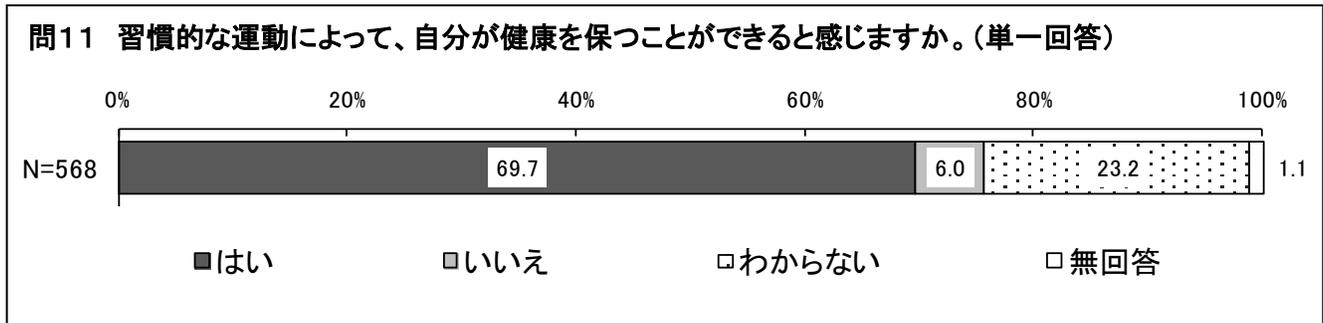
単位: %

区分	有効回答数(件)	ない	場所や施設が近くに	間仕事などで忙しく時間がない	お金がかかる	施設や教室の利用時間	はじめるきっかけがない	病的理由、高齢など身体	一緒にする仲間がない	苦手、嫌い、興味が	スポーツに関する情報がない	指導者がいない	特に理由はない	その他	無回答
全体	568	32.6	31.0	19.5	18.7	15.1	14.1	10.9	9.0	8.1	3.3	23.6	4.6	3.2	
性別															
男性	241	33.2	36.5	18.3	12.9	15.8	11.2	9.5	7.1	8.3	2.1	25.3	3.3	1.2	
女性	276	34.1	31.5	22.8	26.1	15.9	14.9	12.3	10.9	8.0	4.3	20.3	5.1	4.0	
年代別															
20代	31	32.3	67.7	29.0	9.7	25.8	-	19.4	19.4	3.2	3.2	19.4	-	-	
30代	66	40.9	48.5	31.8	22.7	16.7	3.0	18.2	3.0	12.1	3.0	7.6	10.6	-	
40代	89	42.7	58.4	33.7	34.8	20.2	1.1	15.7	11.2	7.9	3.4	10.1	5.6	1.1	
50代	86	40.7	33.7	31.4	34.9	10.5	4.7	8.1	9.3	7.0	3.5	23.3	2.3	2.3	
60代	116	35.3	21.6	12.1	12.9	18.1	7.8	8.6	10.3	12.9	2.6	26.7	5.2	2.6	
70代	120	20.0	12.5	7.5	9.2	12.5	25.0	6.7	7.5	5.0	2.5	37.5	4.2	8.3	
80代以上	55	18.2	3.6	-	-	7.3	60.0	9.1	5.5	5.5	5.5	29.1	1.8	3.6	
家族形成期別															
就学前家族	172	37.8	45.3	27.9	22.7	18.6	5.2	14.5	8.7	7.6	2.3	15.1	5.8	0.6	
就学中家族	90	38.9	50.0	32.2	33.3	15.6	-	11.1	10.0	8.9	3.3	20.0	4.4	2.2	
就学後家族	289	28.4	17.0	10.7	12.1	12.8	23.5	8.3	9.3	8.7	3.5	30.4	4.2	4.2	
世帯状況別															
1人暮らし	64	25.0	23.4	25.0	9.4	15.6	18.8	6.3	9.4	7.8	6.3	23.4	1.6	3.1	
夫婦のみ	147	28.6	19.0	15.0	17.0	11.6	17.7	8.2	8.8	7.5	2.7	27.9	4.8	4.8	
親と子(2世代)	262	36.6	38.9	21.0	20.6	16.0	10.7	13.7	10.3	8.8	3.4	20.6	5.3	3.4	
祖父母と親と子	62	35.5	32.3	22.6	25.8	24.2	8.1	11.3	4.8	6.5	-	25.8	6.5	-	
その他	24	33.3	29.2	12.5	16.7	4.2	29.2	4.2	8.3	4.2	-	25.0	-	-	
居住地区別															
東地区	145	21.4	25.5	16.6	13.8	15.9	20.7	14.5	9.7	7.6	3.4	25.5	4.1	2.8	
西地区	167	31.1	37.7	24.0	20.4	14.4	13.8	7.2	10.2	8.4	3.6	23.4	4.2	3.0	
深良地区	72	34.7	27.8	18.1	16.7	19.4	9.7	8.3	8.3	6.9	1.4	25.0	5.6	2.8	
富岡地区	155	43.2	33.5	19.4	21.3	13.5	10.3	12.9	8.4	8.4	3.2	21.9	4.5	3.2	
須山地区	25	36.0	16.0	12.0	24.0	16.0	12.0	8.0	4.0	8.0	-	20.0	8.0	8.0	
居住年数別															
5年未満	47	48.9	55.3	36.2	27.7	21.3	6.4	19.1	14.9	4.3	-	4.3	4.3	-	
5~10年未満	50	38.0	46.0	22.0	20.0	30.0	2.0	16.0	10.0	8.0	2.0	16.0	2.0	-	
10~20年未満	75	32.0	44.0	29.3	22.7	20.0	1.3	14.7	6.7	13.3	5.3	24.0	4.0	2.7	
20~30年未満	92	34.8	33.7	22.8	22.8	10.9	8.7	10.9	8.7	10.9	3.3	20.7	3.3	6.5	
30年以上	299	28.8	21.1	12.7	14.4	11.7	22.1	8.0	8.7	6.7	3.3	28.8	5.7	3.3	

(5) 習慣的な運動による健康維持

習慣的な運動によって自分が健康を保つことができると感じるかについては、「はい」69.7%が最も多く、以下、「わからない」23.2%、「いいえ」6.0%と続いた。

年代別で見ると、「はい」が最も多いのは 30 代の 78.8%で、最も少ないのは 80 代以上の 54.5%だった。
地区別で見ると、「はい」が最も多いのは須山地区の 76.0%で、最も少ないのは東地区の 65.5%だった。



【クロス集計】

問11 習慣的な運動によって、自分が健康を保つことができると感じますか。(単一回答)



(6) 利用しているスポーツ施設

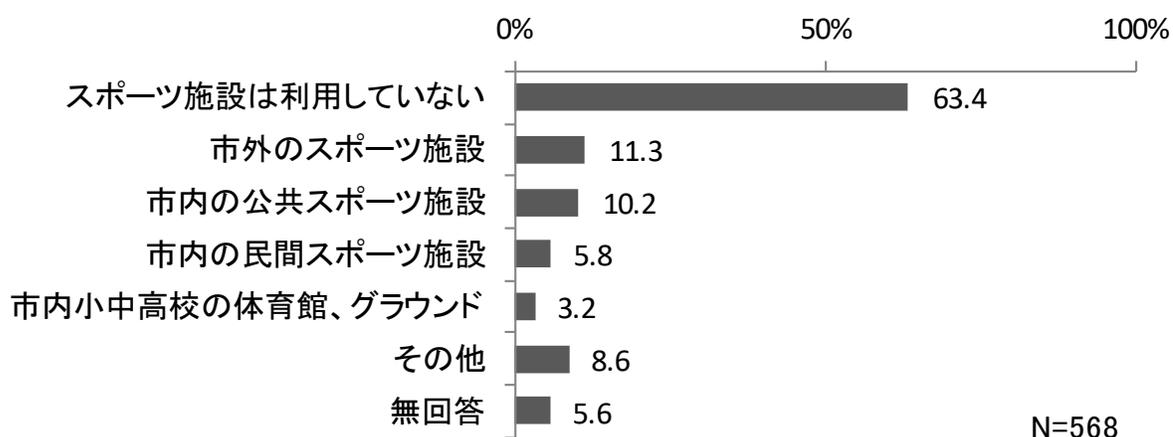
利用しているスポーツ施設については、「スポーツ施設は利用していない」63.4%が最も多く、以下、「市外のスポーツ施設」11.3%、「市内の公共スポーツ施設」10.2%、「市内の民間スポーツ施設」5.8%と続いた。

性別に見た最も利用しているスポーツ施設は、男性では「市外のスポーツ施設」、女性では「市外のスポーツ施設」と「市内の公共スポーツ施設」だった。

年代別に見た最も利用しているスポーツ施設は、20代・60代は「市内の公共スポーツ施設」、30～50代は「市外のスポーツ施設」だった。

居住地区別に見た最も利用しているスポーツ施設は、東地区・深良地区・須山地区では「市内の公共スポーツ施設」、西地区・富岡地区では「市外のスポーツ施設」だった。

問12 ふだん利用するスポーツ施設はどれですか。(複数回答)



《その他の主な回答》

- ・自宅又は自宅周辺
- ・福祉施設(リハビリ施設、デイサービスなど)
- ・生涯学習センター
- ・温浴施設
- ・ウォーキングのため施設は使わない
- ・市内外の公道(ランニング)
- ・公園、空き地、農地、畑 など

【クロス集計】

単位：%

区分	有効回答数 (件)	スポーツ施設は 利用 していない	市外の スポーツ 施設	市内の 公共 施設	市内の 民間 施設	市内 小中 高校 の体 育 館、 ラウ ンド	その他	無 回 答
全 体	568	63.4	11.3	10.2	5.8	3.2	8.6	5.6

性別

男 性	241	65.1	12.4	8.7	5.4	3.3	7.9	5.0
女 性	276	64.5	11.6	11.6	6.5	2.5	7.6	4.3

年代別

20代	31	64.5	12.9	16.1	9.7	6.5	6.5	3.2
30代	66	60.6	21.2	15.2	3.0	4.5	3.0	4.5
40代	89	74.2	12.4	11.2	4.5	2.2	6.7	1.1
50代	86	60.5	22.1	8.1	4.7	1.2	4.7	3.5
60代	116	62.9	9.5	11.2	10.3	4.3	8.6	1.7
70代	120	60.0	4.2	8.3	4.2	1.7	11.7	12.5
80代以上	55	63.6	-	3.6	3.6	1.8	20.0	12.7

家族形成期別

就学前家族	172	63.4	18.0	14.0	5.2	2.9	5.2	3.5
就学中家族	90	67.8	16.7	7.8	3.3	2.2	6.7	4.4
就学後家族	289	63.7	5.5	8.3	6.6	3.5	11.1	6.6

世帯状況別

1人暮らし	64	62.5	9.4	7.8	3.1	-	10.9	10.9
夫婦のみ	147	59.9	12.9	10.9	7.5	0.7	10.2	6.1
親と子(2世代)	262	65.6	11.8	10.7	4.6	3.8	7.3	4.6
祖父母と親と子	62	64.5	8.1	6.5	8.1	6.5	9.7	4.8
その他	24	66.7	8.3	8.3	4.2	8.3	8.3	-

居住地区別

東地区	145	71.0	9.0	11.0	4.8	2.8	6.2	4.1
西地区	167	60.5	13.2	9.0	6.0	3.6	8.4	6.6
深良地区	72	69.4	5.6	12.5	2.8	4.2	6.9	4.2
富岡地区	155	60.6	14.2	8.4	8.4	1.9	10.3	5.2
須山地区	25	44.0	8.0	16.0	-	4.0	16.0	16.0

居住年数別

5年未満	47	61.7	21.3	12.8	4.3	-	10.6	4.3
5～10年未満	50	76.0	14.0	2.0	6.0	4.0	6.0	-
10～20年未満	75	61.3	14.7	10.7	2.7	1.3	8.0	8.0
20～30年未満	92	58.7	13.0	18.5	7.6	1.1	7.6	5.4
30年以上	299	63.9	8.0	8.4	6.0	4.3	9.4	6.0

生涯学習、青少年育成

(1) 過去1年間の学習状況

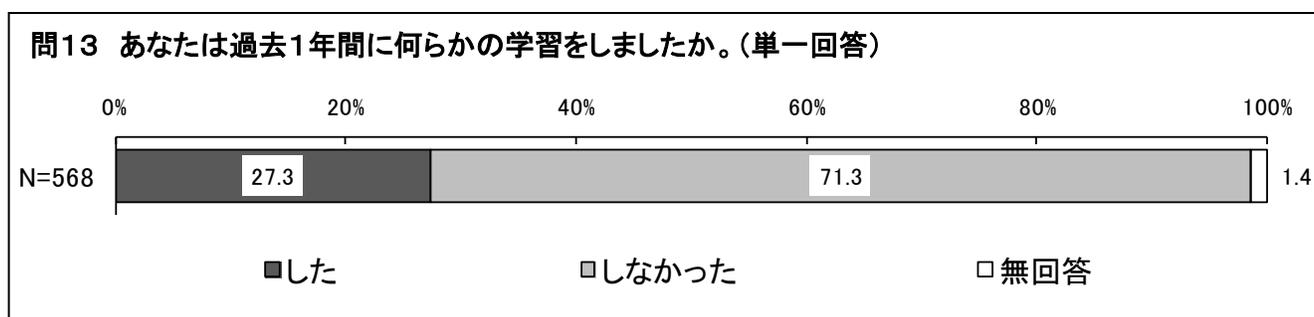
過去1年間に何らかの学習をしたかについては、「した」が27.3%、「しなかった」が71.3%だった。

性別で見ると、「した」の割合は男性30.7%、女性27.2%で、男性の方が3.5ポイント多かった。

年代別で見ると、「した」が比較的多いのは20代の38.7%、50代の36.0%などだった。最も少ないのは60代の17.2%だった。

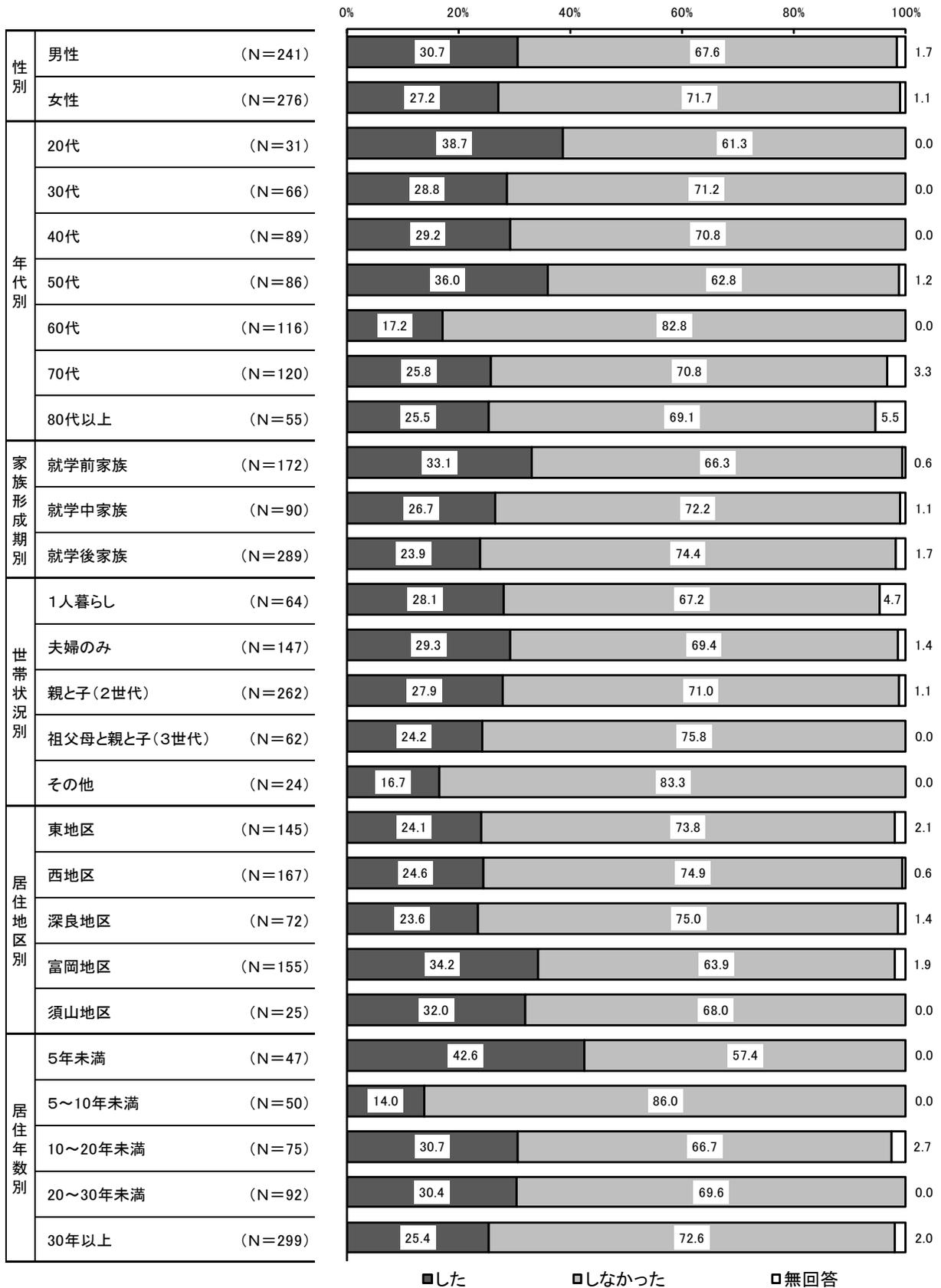
居住地区別で見ると、富岡地区と須山地区で「した」の割合が比較的多かった。

居住年数別で見た「した」の割合は、5年未満が42.6%ととくに多い一方、5～10年未満では14.0%と少なかった。



【クロス集計】

問13 あなたは過去1年間に何らかの学習をしましたか。(単一回答)



(2) 青少年育成活動への参加

過去1年間の青少年育成活動への参加状況については、「参加した」が5.6%、「参加しなかった」が92.8%だった。

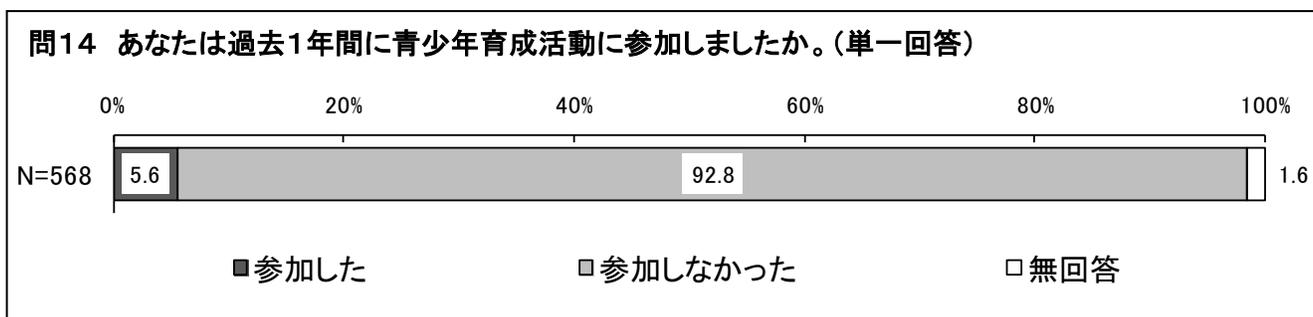
性別で見ると、「参加した」の割合は男性7.9%、女性4.0%で、男性の方が3.9ポイント多かった。

年代別で見ると、「参加した」が比較的多いのは40代の10.1%、70代の6.7%、20代の6.5%などで、80代以上では「参加した」と回答した人がいなかった。

世帯状況別で見ると、祖父母と親と子（3世代）の「参加した」が11.3%ととくに多かった。

居住地区別で見ると、富岡地区の「参加した」が7.7%と他の地区と比べて多かった。

居住年数別で見ると、5年未満の「参加した」が8.5%と比較的多い一方、10～20年未満では2.7%と少なかった。



【クロス集計】

問14 あなたは過去1年間に青少年育成活動に参加しましたか。(単一回答)



防災

(1) 自然災害に対する備え

自然災害に対する備えについては、「行っている」が49.6%、「行っていない」が47.2%だった。

性別で見た「行っている」の割合は、男性50.2%、女性52.5%で、女性の方が2.3ポイント多かった。

年代別で見た「行っている」の割合は、50代64.0%が最も多く、以下、30代56.1%、60代53.4%、40代48.3%と続いた。最も少ないのは80代以上の38.2%だった。

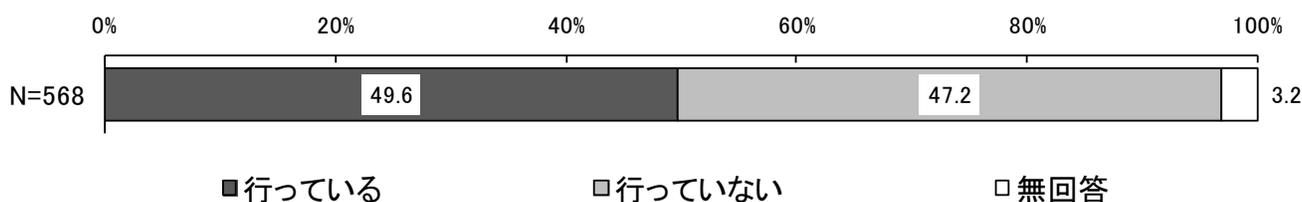
家族形成期別では、就学中家族の「行っている」が58.9%と比較的多かった。

世帯状況別で見ると、1人暮らしの「行っていない」がとくに多く、60.9%だった。

居住地区別で見ると、富岡地区の「行っている」が60.6%と比較的多い一方、東地区と深良地区では「行っていない」が過半数を占めた。

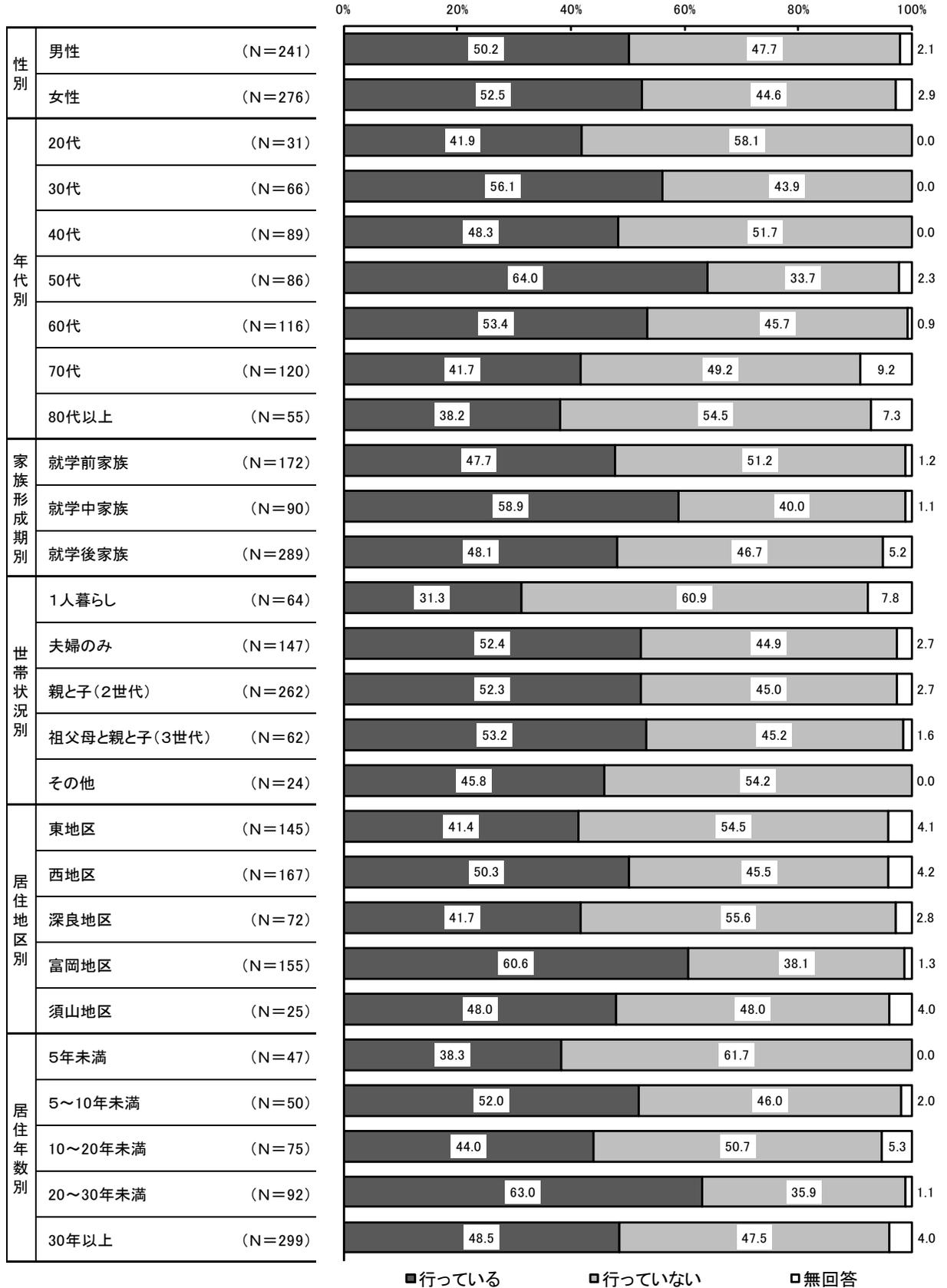
居住年数別で見ると、「行っている」が最も多いのは20～30年未満の63.0%で、最も少ないのは5年未満の38.3%だった。

問15 あなたは、地震、富士山火山、土砂災害等自然災害に対する備えを行っていますか。(単一回答)



【クロス集計】

問15 あなたは、地震、富士山火山、土砂災害等自然災害に対する備えを行っていますか。(単一回答)



(2) 食料・水の備蓄状況

食料・水の備蓄状況については、「2～3日分」49.1%が最も多く、以下、「約5日分」10.6%、「1日分」8.8%、「約7日分」6.0%と続いた。「1日分」から「8日分以上」までを合計した“備蓄している”は76.6%だった。一方、「実施していない」は22.4%だった。

性別で見ると、“備蓄している”の割合は男性75.6%、女性78.0%で、女性の方が2.4ポイント多かった。

年代別では、20代の「実施していない」51.6%がとくに多かった。“備蓄している”の割合は、多い順に50代82.6%、60代81.9%、40代78.6%、70代75.9%、80代以上74.6%、30代72.7%、20代48.4%だった。

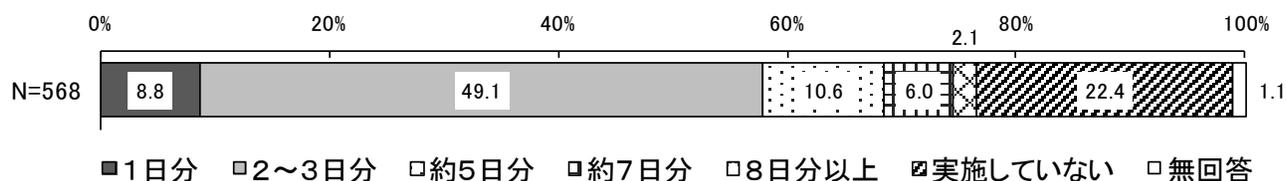
家族形成期別で見ると、“備蓄している”が最も多いのは就学中家族の88.8%で、その内訳では「2～3日分」が最も多かった。

世帯状況別で見ると、“備蓄している”が最も多いのは祖父母と親と子（3世代）の80.6%で、最も少ないのは1人暮らしの64.2%だった。

居住地区別で見ると、“備蓄している”が最も多いのは富岡地区82.6%で、以下、西地区77.9%、須山地区76.0%、深良地区72.2%、東地区71.1%と続いた。

居住年数別で見た“備蓄している”の割合は、5年未満55.3%がとくに少なかった。

問16 あなたは、食料・水の備蓄を実施していますか。(単一回答)



【クロス集計】

問16 あなたは、食料・水の備蓄を実施していますか。(単一回答)



(3) 家具等の転倒防止

家具等の転倒防止については、「一部実施している」35.6%が最も多く、以下、「半分くらい実施している」16.5%、「概ね実施している」15.1%、「寝室のみ実施している」3.0%と続いた。それら4項目を合計した“実施している”は70.2%、「実施していない」は28.7%だった。

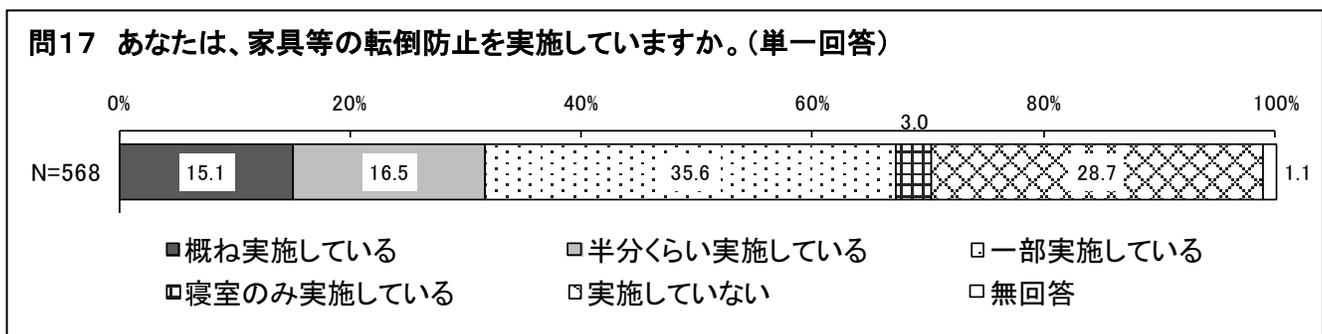
性別で見ると、“実施している”は男性71.8%、女性68.4%で、男性の方が3.4ポイント多かった。

年代別で見ると、20代の「実施していない」61.3%が他の年代と比べてとくに多かった。“実施している”の割合は、多い順に60代82.8%、80代以上76.4%、50代72.1%、40代71.8%、70代65.9%、30代59.1%、20代38.8%だった。

家族形成期別で見ると、就学中家族の「概ね実施している」20.0%がとくに多く、“実施している”の割合は、多い順に就学中家族75.6%、就学後家族73.8%、就学前家族61.1%だった。

世帯状況別で見ると、1人暮らしの「実施していない」46.9%がとくに多く、“実施している”は50.1%だった。

居住年数別では、“実施している”の割合は居住年数が長いほど増える傾向が見られた。“実施している”が最も多いのは30年以上の77.2%で、最も少ないのは5年未満の46.8%だった。



【クロス集計】

問17 あなたは、家具等の転倒防止を実施していますか。(単一回答)



■概ね実施している □半分くらい実施している □一部実施している □寝室のみ実施している □実施していない □無回答

(4) 「一時避難地」「広域避難地」の認知度

「一時避難地」「広域避難地」の認知度については、『「一時避難地」「広域避難地」とも知っている』57.2%が最も多く、以下、『「一時避難地」は知っているが「広域避難地」は知らない』18.8%、『「一時避難地」「広域避難地」とも知らない』14.1%、『「一時避難地」は知らないが「広域避難地」は知っている』8.3%と続いた。

性別で見ると、『「一時避難地」「広域避難地」とも知っている』は男性 60.6%、女性 52.9%で、男性の方が7.7ポイント多かった。

年代別では20代の認知度がとくに低く、『「一時避難地」「広域避難地」とも知っている』は22.6%だった。

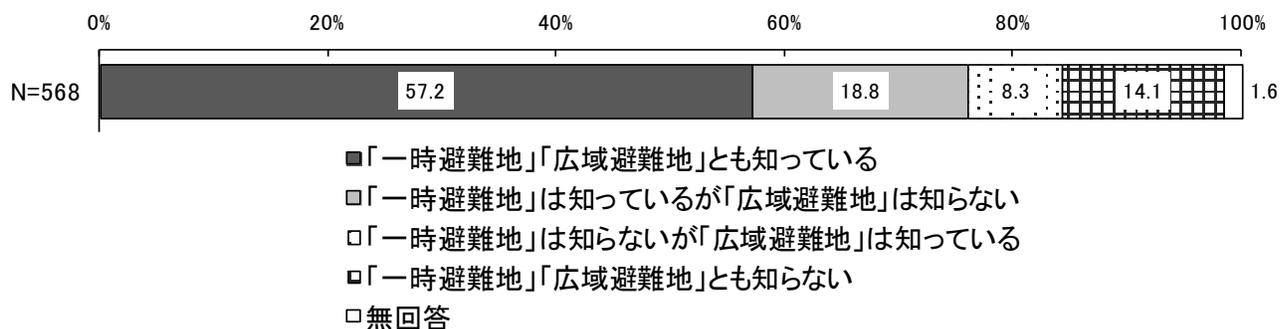
家族形成期別で見ると、就学中・就学後と比べ、就学前家族では『「一時避難地」「広域避難地」とも知っている』が少なく、『「一時避難地」「広域避難地」とも知らない』が多かった。

世帯状況別で見ると、他の世帯と比べ、1人暮らしの『「一時避難地」「広域避難地」とも知っている』が少なく、『「一時避難地」「広域避難地」とも知らない』が多かった。

居住地区別で見ると、『「一時避難地」「広域避難地」とも知っている』は須山地区 64.0%が最も多く、以下、深良地区 61.1%、西地区 56.3%、富岡地区 56.1%、東地区 55.9%と続いた。

居住年数別では、居住年数が高いほど『「一時避難地」「広域避難地」とも知っている』の割合が多くなる傾向が見られた。

問18 あなたは「一時避難地」「広域避難地」はどこか知っていますか。(単一回答)



【クロス集計】

問18 あなたは「一時避難地」「広域避難地」はどこか知っていますか。(単一回答)



- 「一時避難地」「広域避難地」とも知っている
- 「一時避難地」は知らないが「広域避難地」は知っている
- 「一時避難地」は知っているが「広域避難地」は知らない
- 「一時避難地」「広域避難地」とも知らない
- 無回答

(5) 住宅用火災報知器の設置状況

住宅用火災報知器の設置状況については、「設置している」が64.3%と最も多く、以下、「設置していない」23.6%、「一部設置している」10.9%と続いた。

年代別で見ると、20～40代では「設置している」がいずれも7割超である一方、最も少ない60代では54.3%だった。

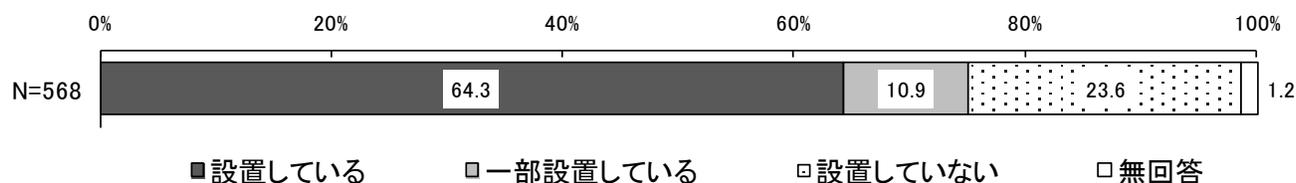
家族形成期別で見ると、就学後家族の「設置している」の割合が就学前・就学中と比べて少なかった。

世帯状況別では、「設置している」が最も多いのは、1人暮らしの71.9%だった。

居住地区別で見た「設置している」の割合は、西地区76.0%が最も多く、以下、東地区67.6%、深良地区59.7%、富岡地区54.2%、須山地区44.0%と続いた。

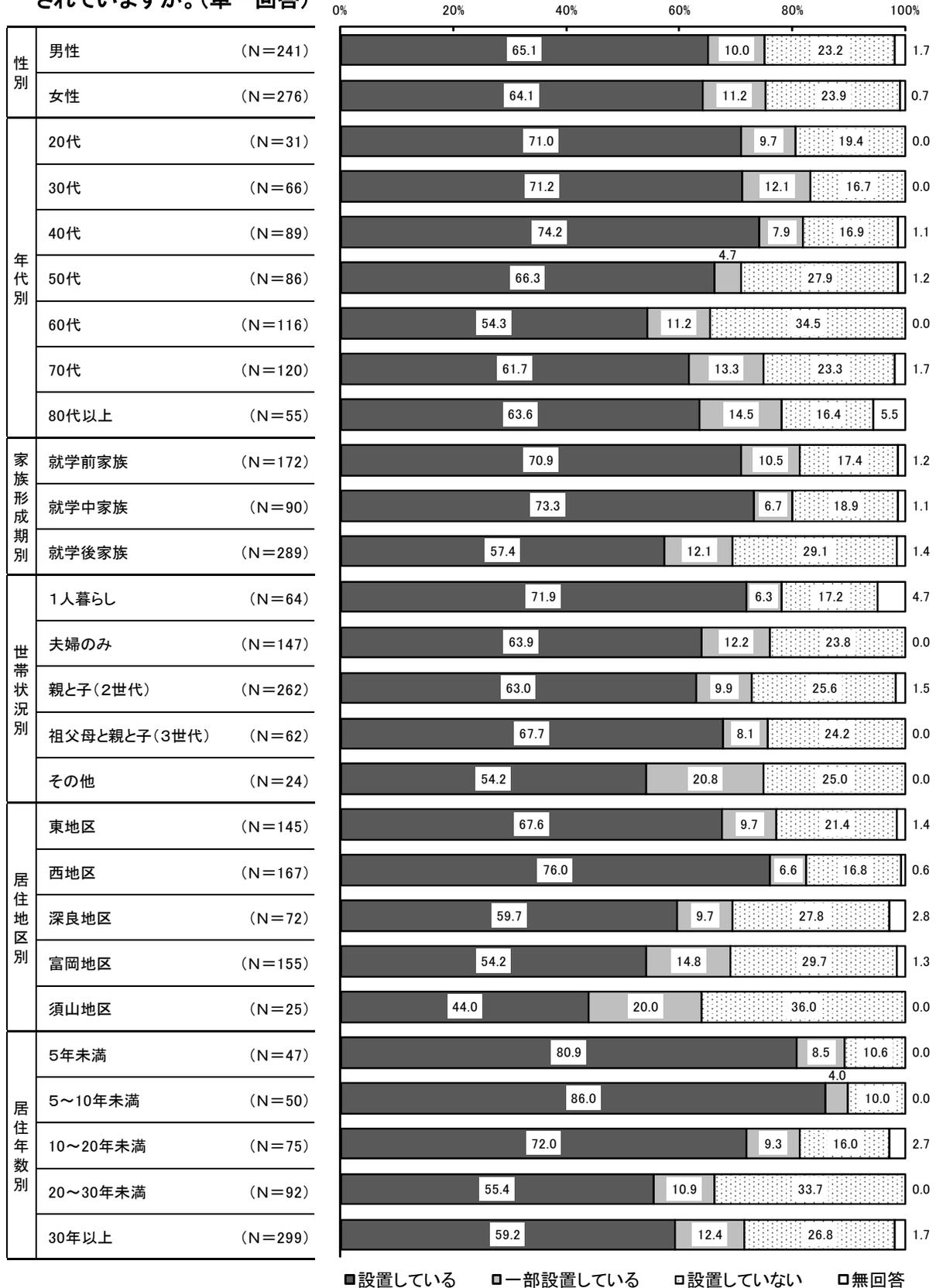
居住年数別で見た「設置している」の割合は、10年未満がいずれも8割超であるのに対し、10～20年未満は約7割、20年以上は6割未満と、居住年数が長いほど設置率が低くなる傾向が見られた。

問19 お住まいの住宅には、条例により設置が義務づけられている部分に住宅用火災報知器が設置されていますか。(単一回答)



【クロス集計】

問19 お住まいの住宅には、条例により設置が義務づけられている部分に住宅用火災報知器が設置されていますか。(単一回答)



墓地

(1) お墓の所有状況

お墓の所有状況については、「市営墓地以外の場所にお墓を持っている」52.8%が最も多く、以下、「今はまだ考えていない」23.4%、「既に市営墓地にお墓を持っている」13.4%と続いた。「既に市営墓地にお墓を持っている」と「市営墓地以外の場所にお墓を持っている」を合計した“お墓を持っている”は66.2%だった。

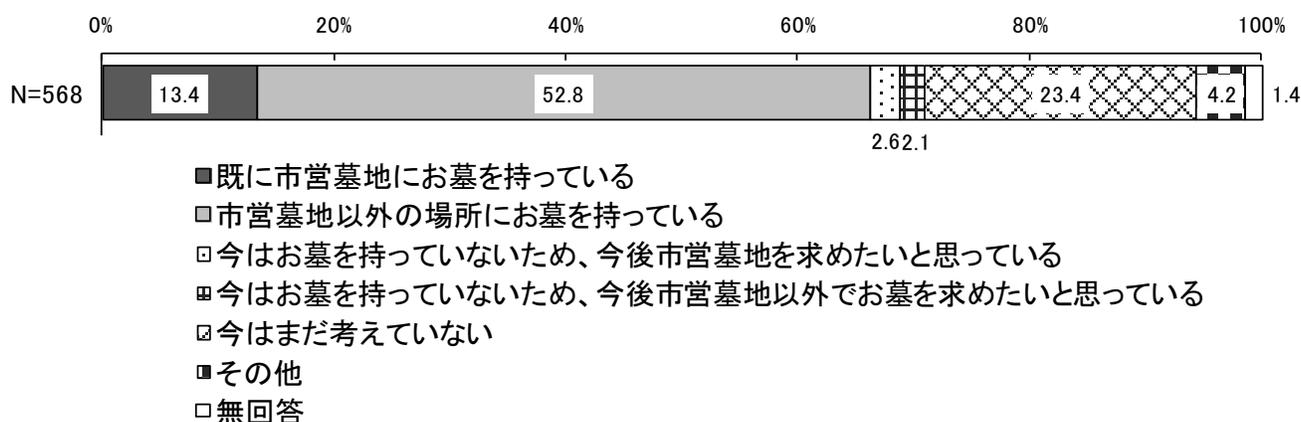
年代別で見ると、“お墓を持っている”が最も少ないのは30代の43.9%で、最も多いのは80代以上の87.3%だった。

世帯状況別で見ると、祖父母と親と子（3世代）の“お墓を持っている”85.5%がとくに多い。

居住地区別で見ると、深良地区と東地区は他の地区と比較して“お墓を持っている”が多く、7割超だった。

居住年数別で見た“お墓を持っている”の割合は、5～10年未満の36.0%が最も少なく、30年以上の79.2%が最も多かった。

問20 あなた、またはあなたのご家族は、お墓をお持ちですか。（単一回答）

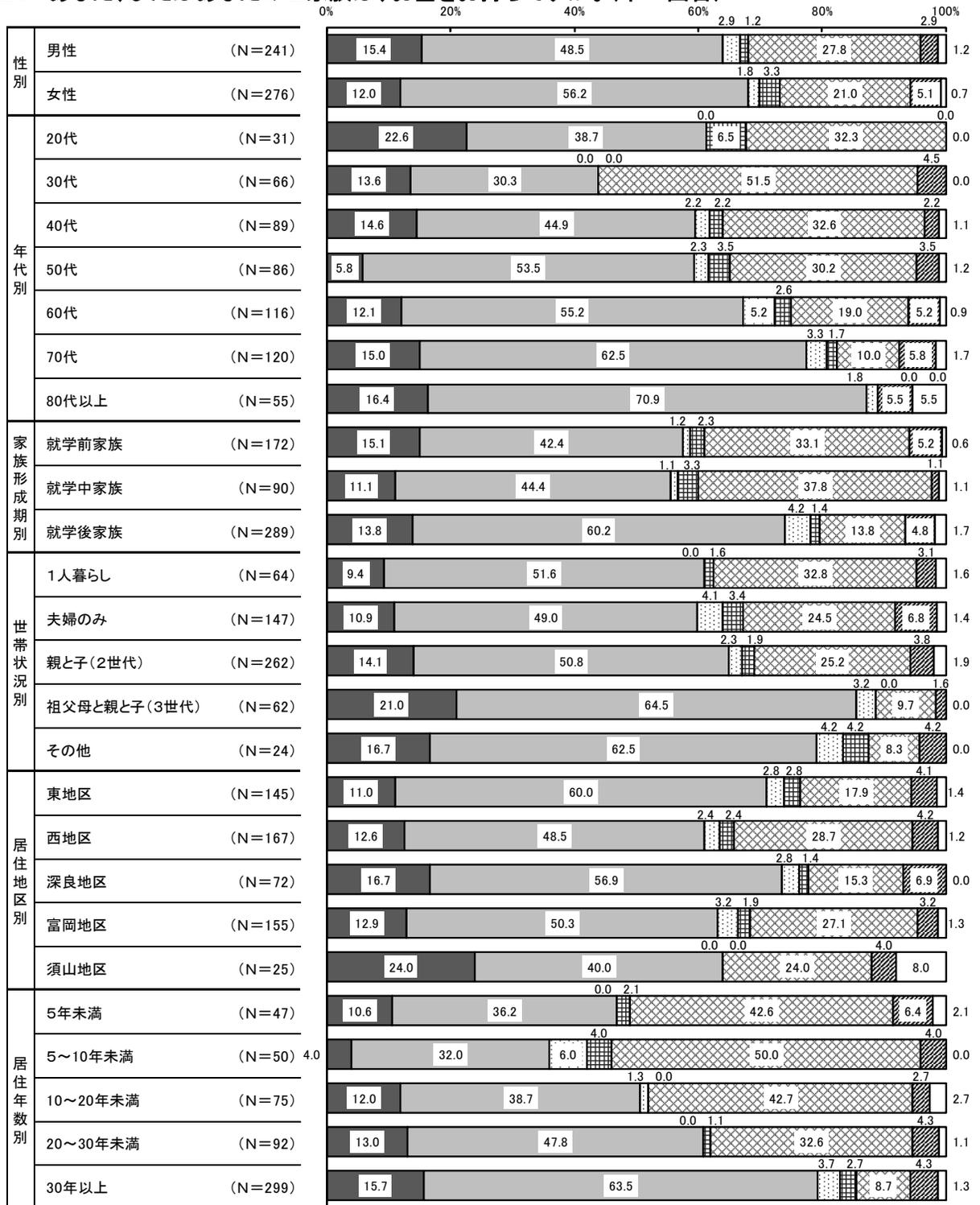


《その他の主な回答》

- ・土地はあるがお墓はまだ建てていない
- ・共同墓地を考えている
- ・お寺で永代供養
- ・お墓を持つつもりはない
- ・樹木葬等を考えている など

【クロス集計】

問20 あなた、またはあなたのご家族は、お墓をお持ちですか。(単一回答)



- 既に市営墓地にお墓を持っている
- 市営墓地以外の場所にお墓を持っている
- 今はお墓を持っていないため、今後市営墓地を求めたいと思っている
- 今はお墓を持っていないため、今後市営墓地以外でお墓を求めたいと思っている
- 今はまだ考えていない
- その他
- 無回答

電子決済

(1) 電子決済の利用状況

電子決済の利用状況については、「よく利用している」41.9%が最も多く、以下、「ときどき利用している」26.4%、「全く利用しない」18.1%、「ほとんど利用しない」9.2%と続いた。「よく利用している」と「ときどき利用している」を合計した“利用している”は68.3%だった。

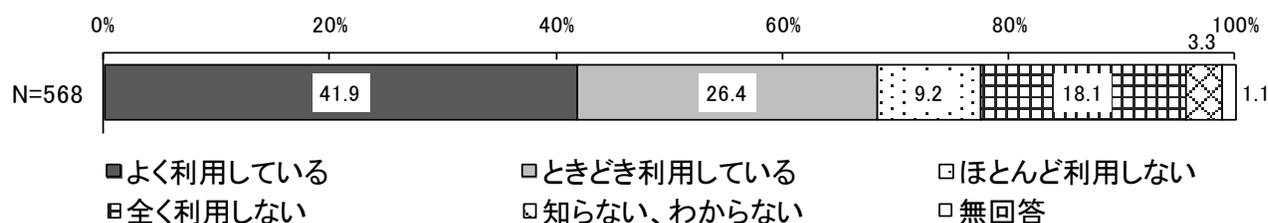
性別で見ると、“利用している”の割合は男性66.8%、女性71.4%で、女性の方が4.6ポイント多かった。

年代別で見ると、「よく利用している」は30代65.2%と20代61.3%がとくに多く、30代以降は年代が上がるにつれて減少する傾向が見られた。80代以上では、「よく利用している」が16.4%であるのに対し、「全く利用しない」は43.6%を占めた。

居住地区別で見ると、須山地区の「全く利用しない」32.0%が他の地区と比べて多かった。

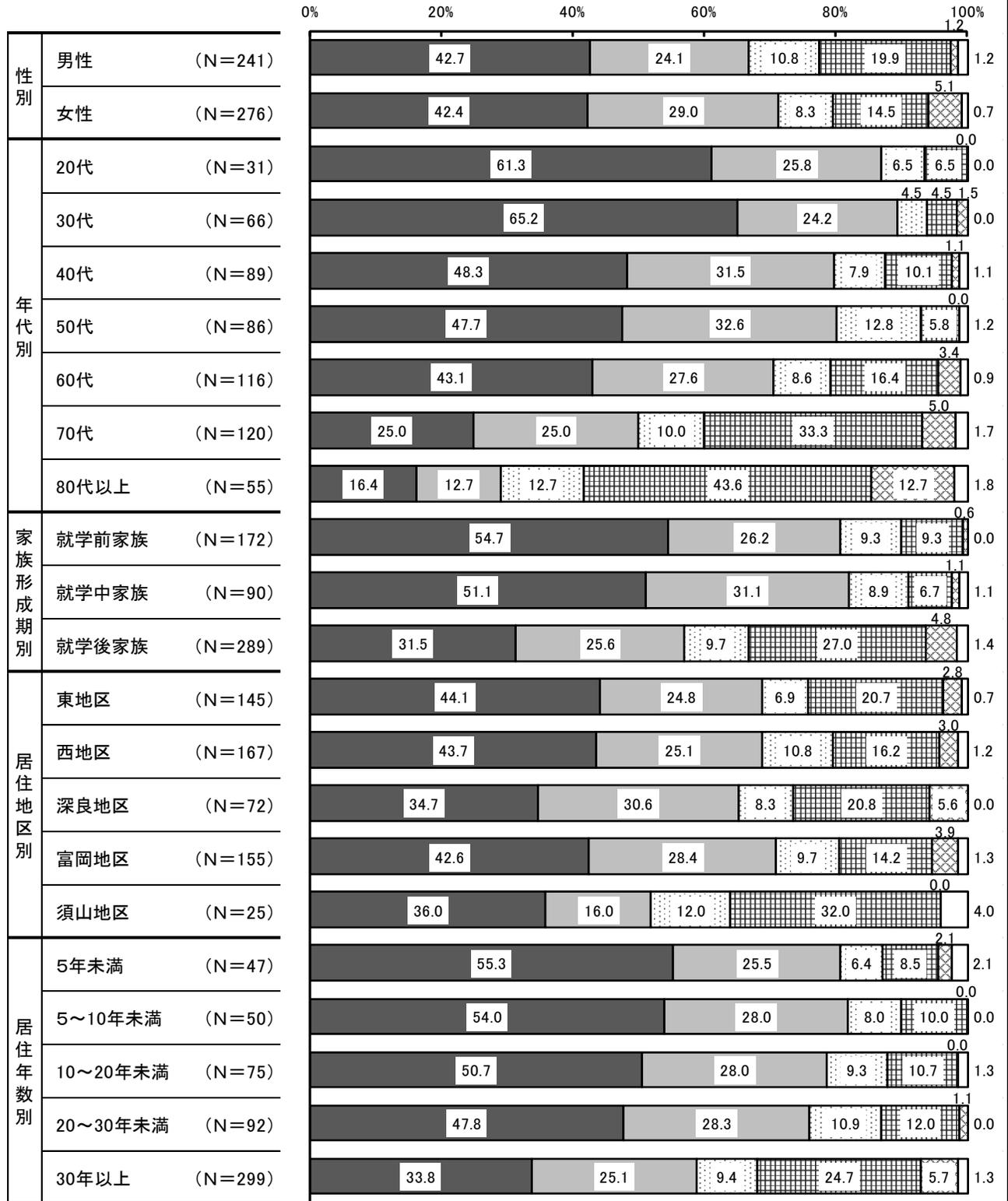
居住年数別では、居住年数が長いほど「よく利用している」が減少し、「全く利用しない」が増加する傾向が見られた。

問21 あなたは、日頃の買い物で「電子決済」を利用していますか。(単一回答)



【クロス集計】

問21 あなたは、日頃の買い物で「電子決済」を利用していますか。(単一回答)



■よく利用している □ときどき利用している □ほとんど利用しない □全く利用しない □知らない、わからない □無回答

公共交通

(1) 地域での現在の外出状況

地域での現在の外出状況を移動先別に尋ねたところ、『職場・学校先』については、「ひとりで十分できる」が60.6%と最も多く、次いで「無回答」が34.0%だった。（回答する条件を「通勤・通学者のみ」としたことから、総数568から無回答193を除いた375を母数として算出した参考値は、「ひとりで十分できる」が91.7%、「ひとりで何とかできる」が6.1%、「誰かの助けがあればできる」が1.3%、「できない」が0.8%だった。）その他の移動先については、いずれも「ひとりで十分できる」が8割前後、「ひとりで何とかできる」が1割弱で、両者を合計した“ひとりでできる”が約9割を占めた。

性別で見ると、いずれの移動先でも、男性の方が女性より「ひとりで十分できる」の割合がやや多かった。

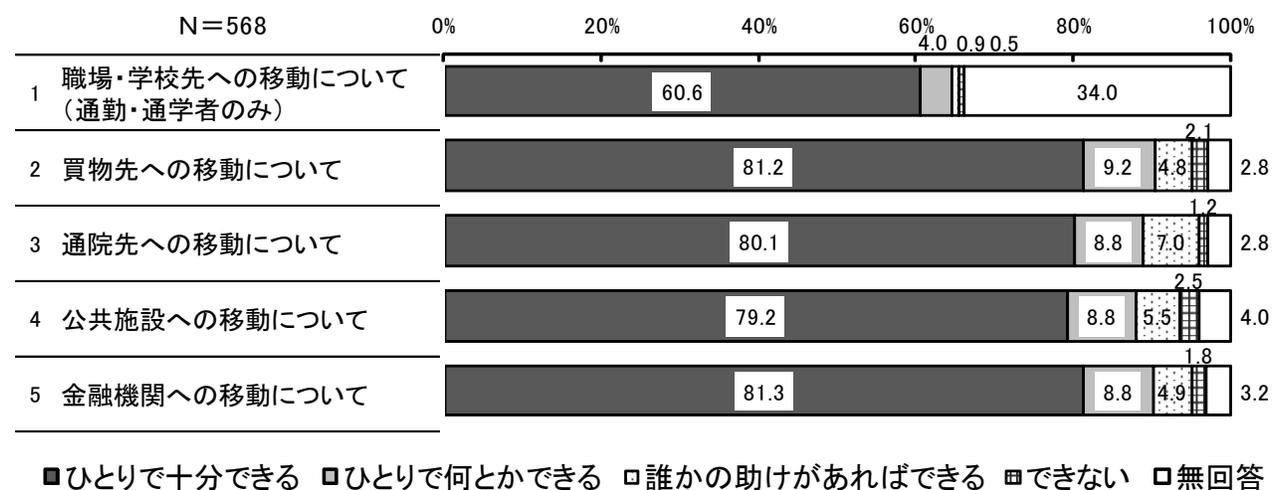
年代別で見ると、職場・学校先への移動では、通勤・通学者が減る60代以降で「無回答」が多く、20～50代では約9割が“ひとりでできる”と回答した。その他の移動先については、70代で「ひとりで十分できる」の割合が減少し、80代以上で「誰かの助けがあればできる」と「できない」が増加する傾向が見られた。

世帯状況別で見ると、職場・学校先では親と子（2世代）の「ひとりで十分できる」が最も多く、その他の移動先については祖父母と親と子（3世代）の「ひとりで十分できる」が9割超と多かった。

居住地区別で見ると、職場・学校先への移動では、須山地区の「無回答」56.0%がとくに多かった。その他の移動先では、“ひとりでできる”は深良地区がいずれも9割超と最も多く、「誰かの助けがあればできる」と「できない」を合計した“ひとりでできない”は富岡地区で他の地区よりやや多かった。

居住年数別の「ひとりで十分できる」の割合は、職場・学校先では10～20年未満が最も多く、その他の移動先ではいずれも5～10年未満をピークに居住年数が長いほど減少していく傾向が見られた。

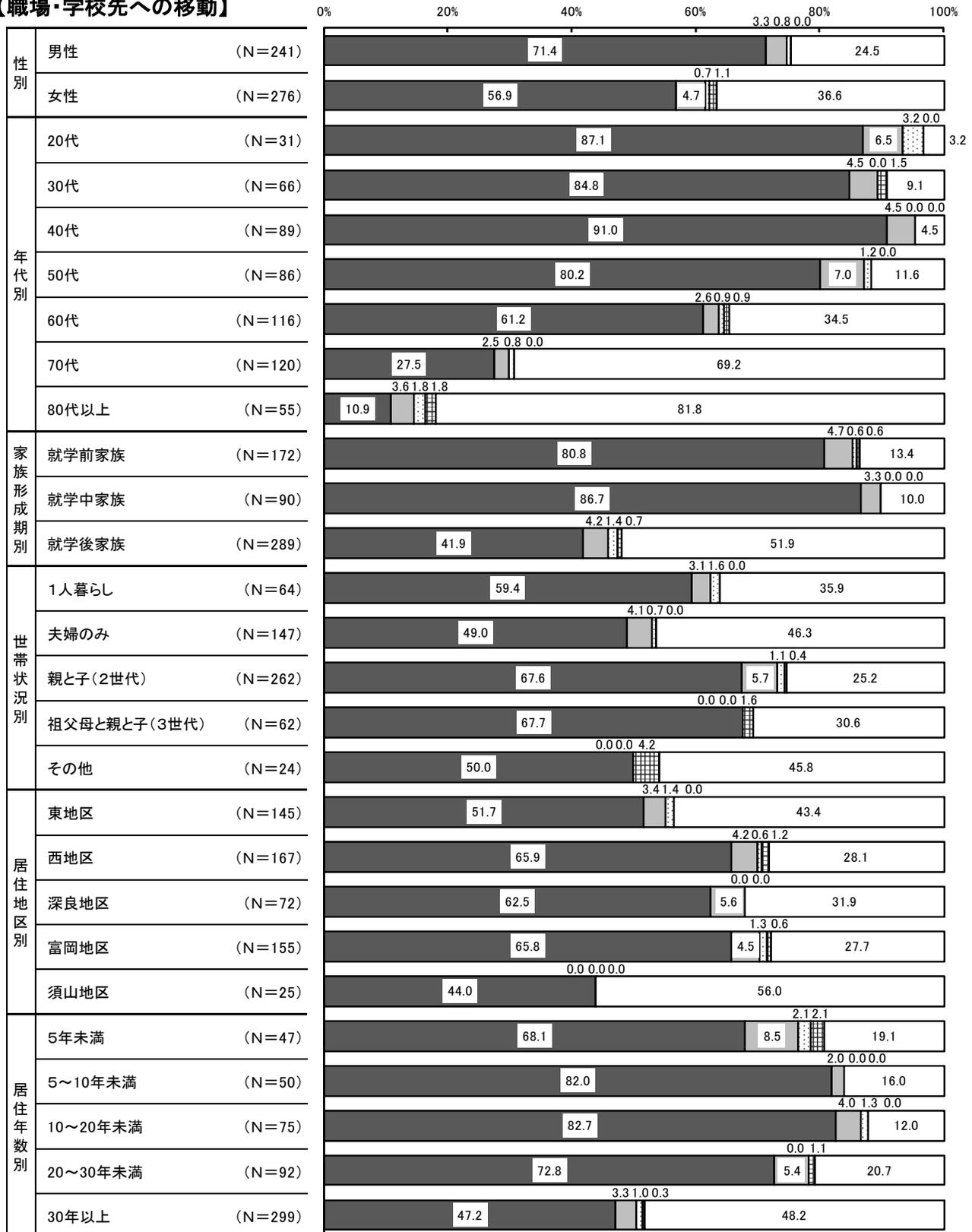
問22 お住まいの地域での移動に対する現在の外出状況について、お答えください。（単一回答）



【クロス集計】

問22 お住まいの地域での移動に対する現在の外出状況について、お答えください。(単一回答)

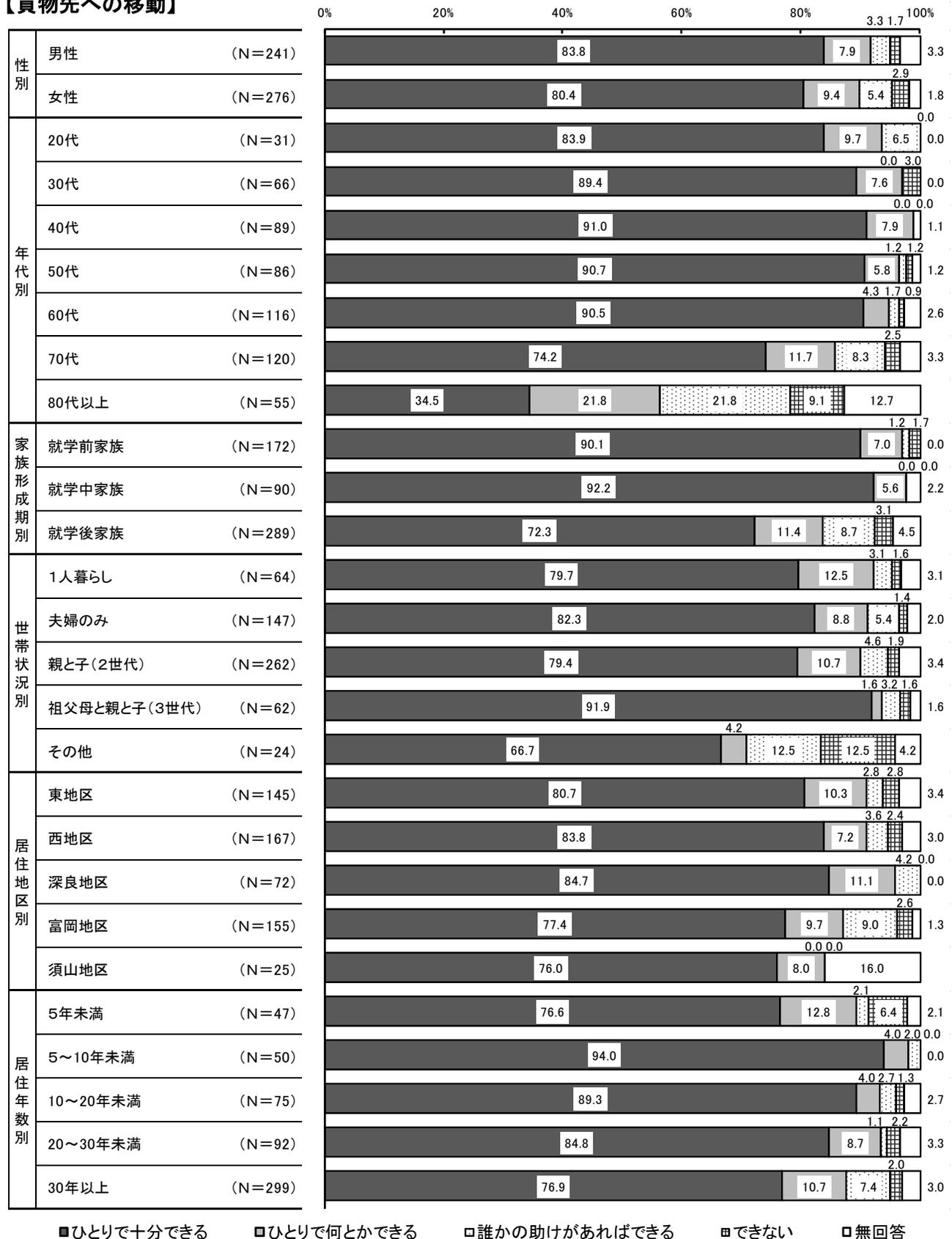
【職場・学校先への移動】



■ひとりで十分できる □ひとりで何とかできる □誰かの助けがあればできる □できない □無回答

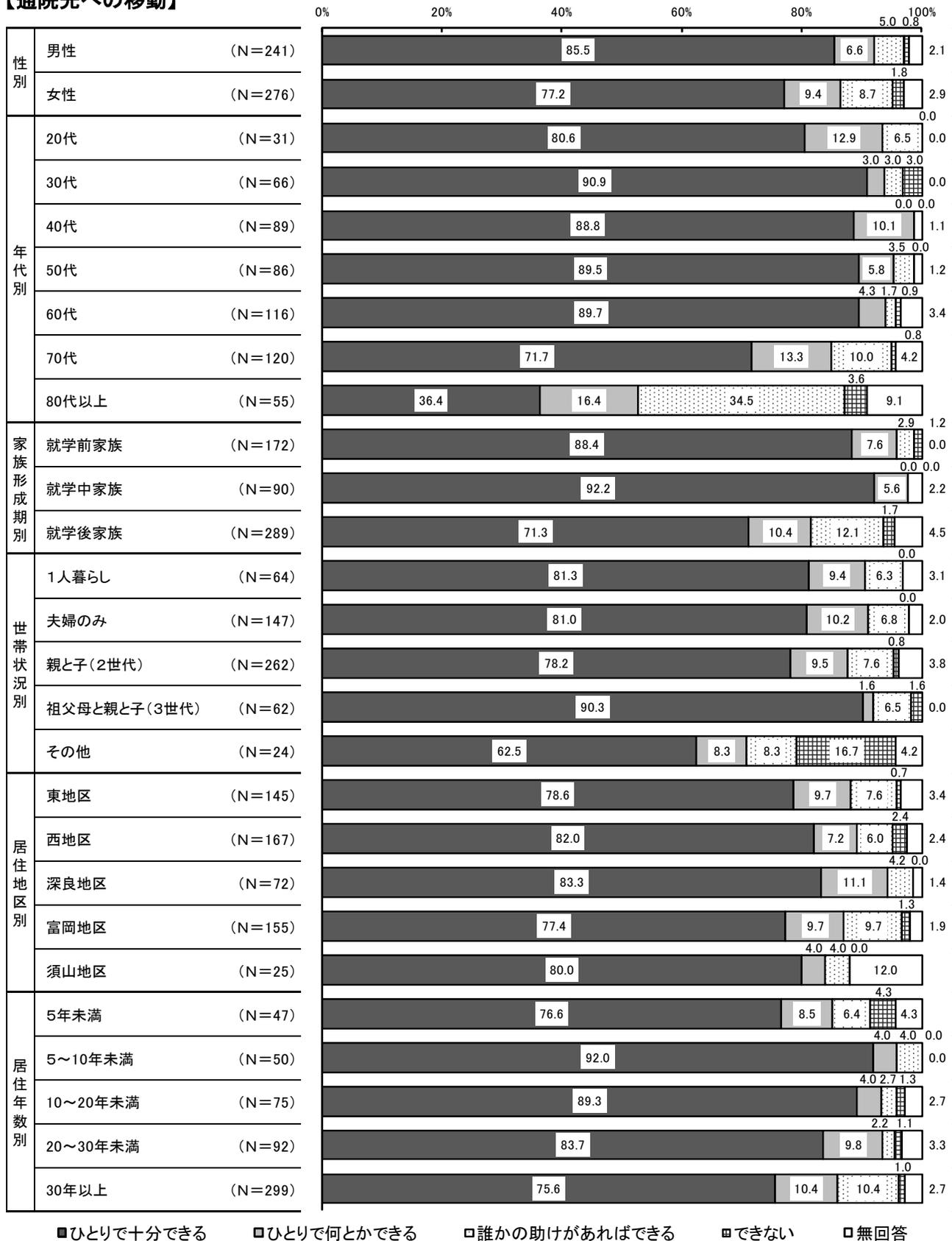
問22 お住まいの地域での移動に対する現在の外出状況について、お答えください。(単一回答)

【買物先への移動】



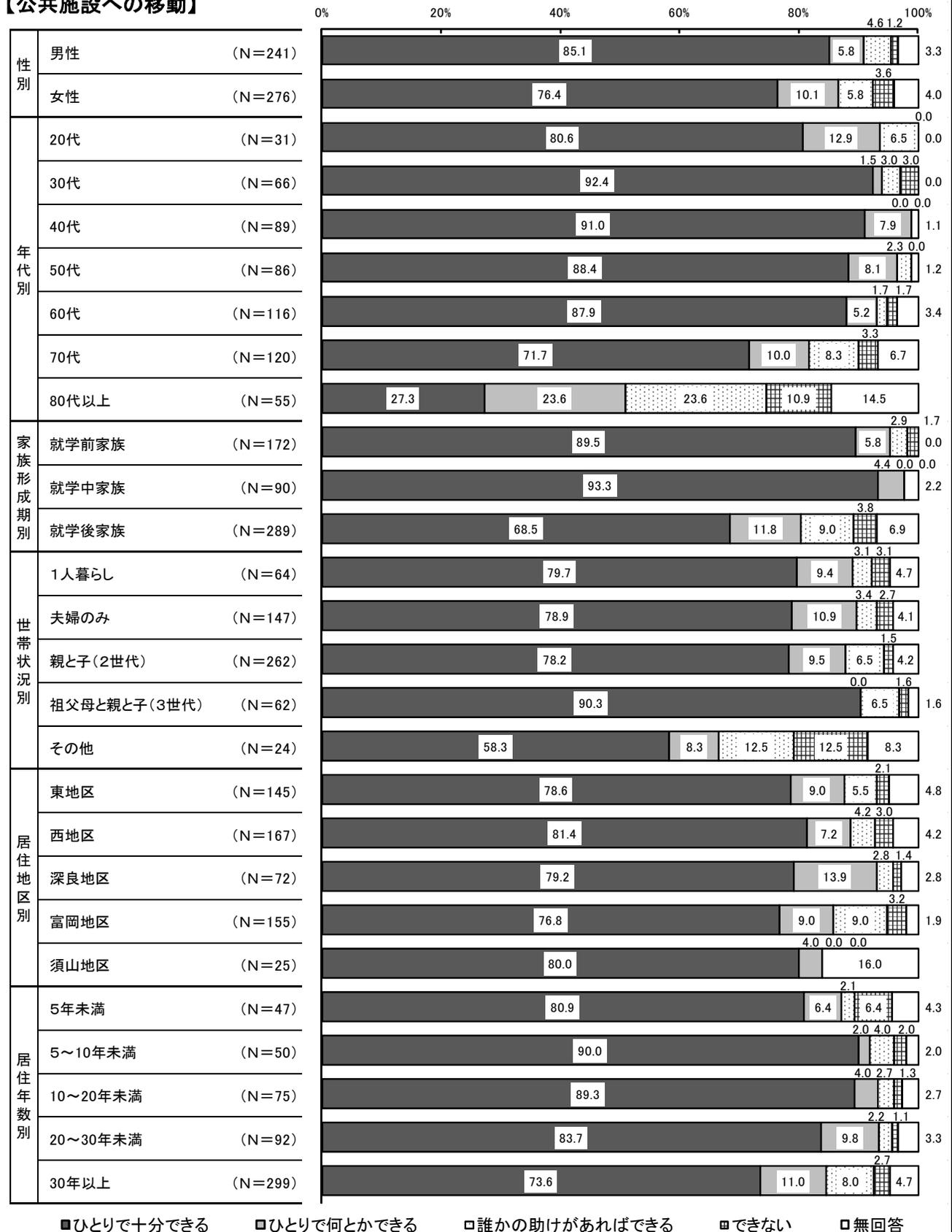
問22 お住まいの地域での移動に対する現在の外出状況について、お答えください。(単一回答)

【通院先への移動】



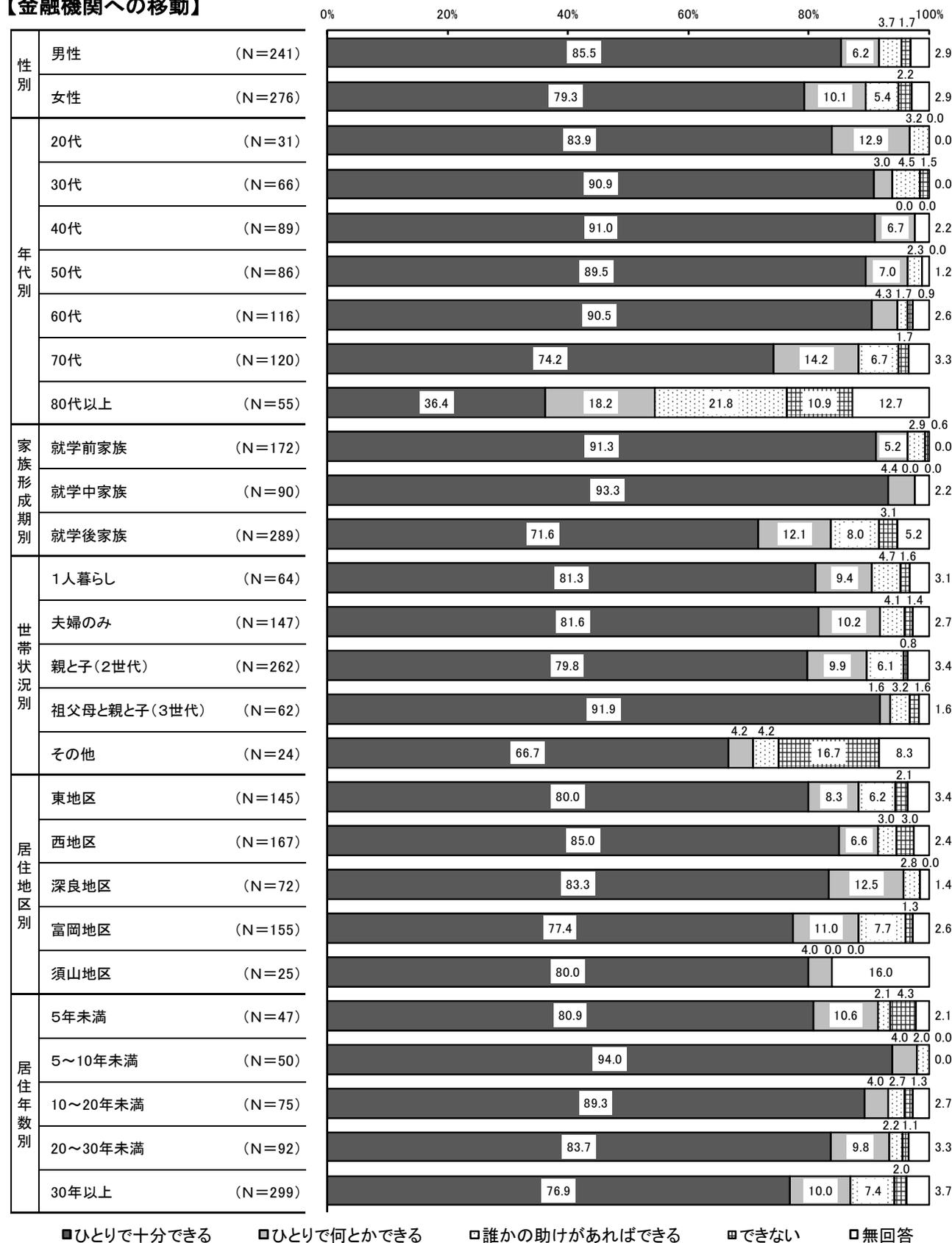
問22 お住まいの地域での移動に対する現在の外出状況について、お答えください。(単一回答)

【公共施設への移動】



問22 お住まいの地域での移動に対する現在の外出状況について、お答えください。(単一回答)

【金融機関への移動】



(2) 地域での移動に対する将来の不安

地域での移動に対する将来の不安を移動先別に尋ねたところ、職場・学校先については、「不安がない」が41.7%、「不安がある」が24.5%だった。（前問同様、総数568から無回答192を除いた376を母数とした場合の参考値は、「不安がない」が63.0%、「不安がある」が37.0%だった。）買物先及び通院先、公共施設については、いずれも「不安がない」が5割をやや上回った。金融機関については、「不安がない」の割合が91.4%で、5項目中でとくに多かった。

性別で見ると、金融機関への移動では男性の方が「不安がある」が多かったが、その他の移動先についてはいずれも女性の方が「不安がある」が多かった。

年代別で見ると、職場・学校先への移動では、20～60代では「不安がない」の方が多かったが、70代以上では「不安がある」が「不安がない」を上回った。金融機関への移動では、いずれの年代も「不安がない」が9割前後を占めた。その他の移動先については、年代が上がるにつれ「不安がある」の割合が増える傾向が見られた。

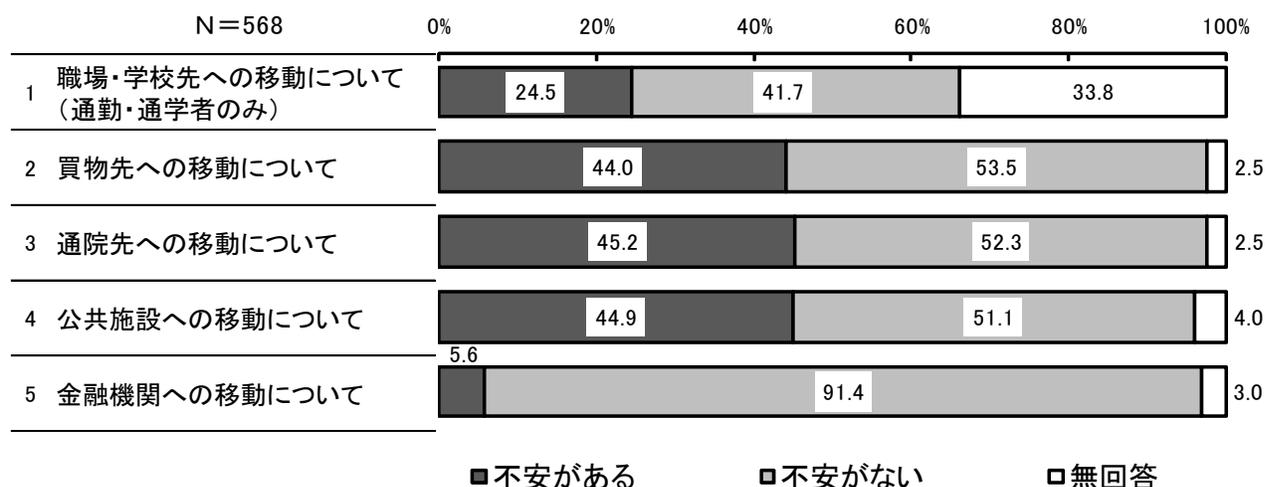
家族形成期別で見ると、金融機関への移動ではいずれも「不安がない」が9割前後を占めたが、その他の移動先では就学後家族の「不安がある」が「不安がない」を上回った。

世帯状況別で見ると、金融機関への移動では、いずれも「不安がない」が多くを占めた。買物先・通院先・公共施設への移動では、夫婦のみの「不安がある」がほかの世帯状況と比べやや多かった。

居住地区別で見ると、職場・学校先への移動では、須山地区の「無回答」が52.0%ととくに多かった。買物先・通院先・公共施設への移動では、深良・富岡・須山地区で「不安がある」が過半数だった。金融機関への移動では、須山地区の「不安がある」が他の地区よりやや多かった。

居住年数別では、金融機関への移動では10～20年未満の「不安がある」が他よりやや多かった。その他の移動先については、居住年数5年を境に年数が長いほど「不安がある」が増加していく傾向が見られた。

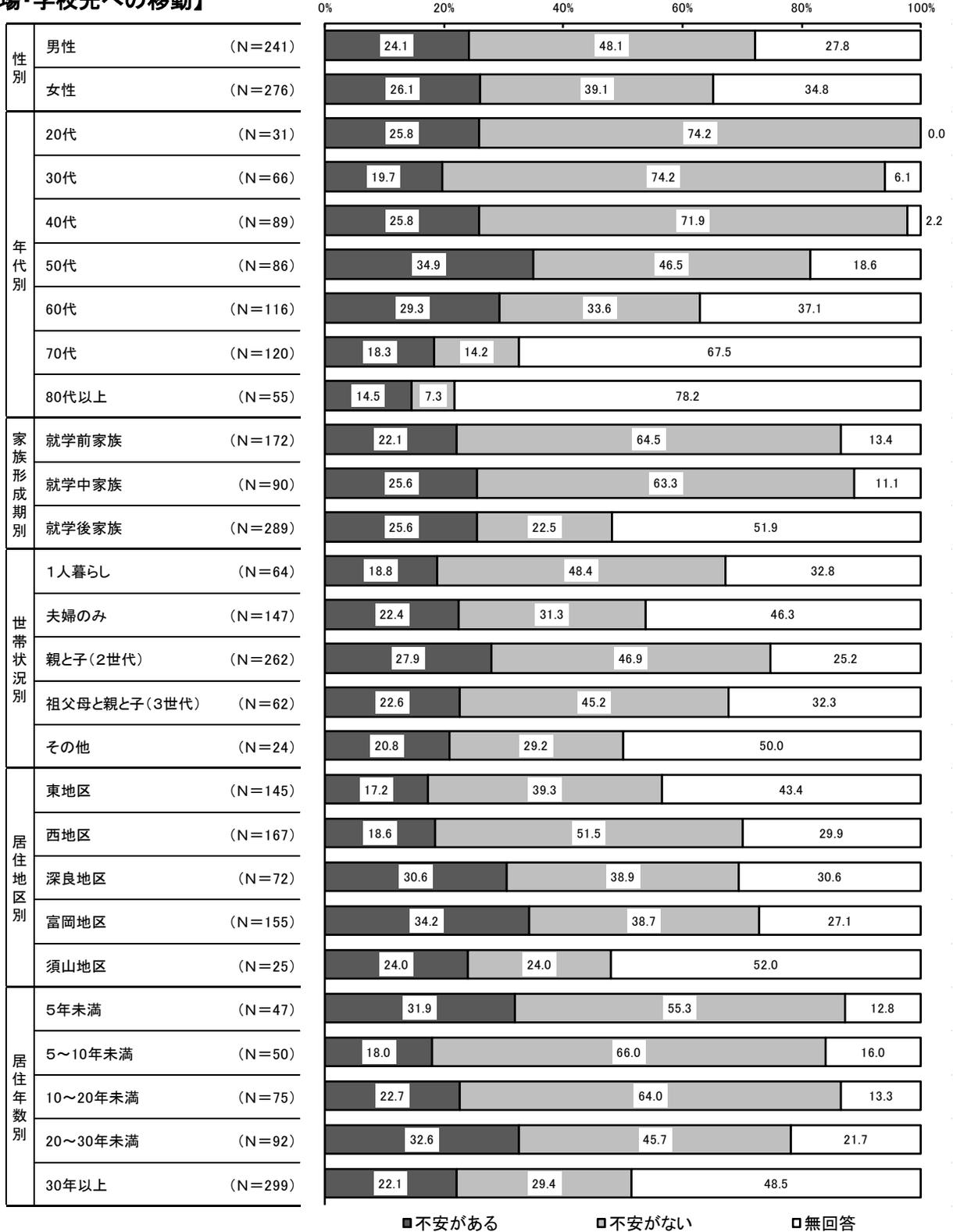
問23 お住まいの地域での移動に対する将来の不安について、お答えください。将来については10年後、現在のお住まいで生活していたと仮定し、家族構成、家族の年齢等を考えてお答えください。（単一回答）



【クロス集計】

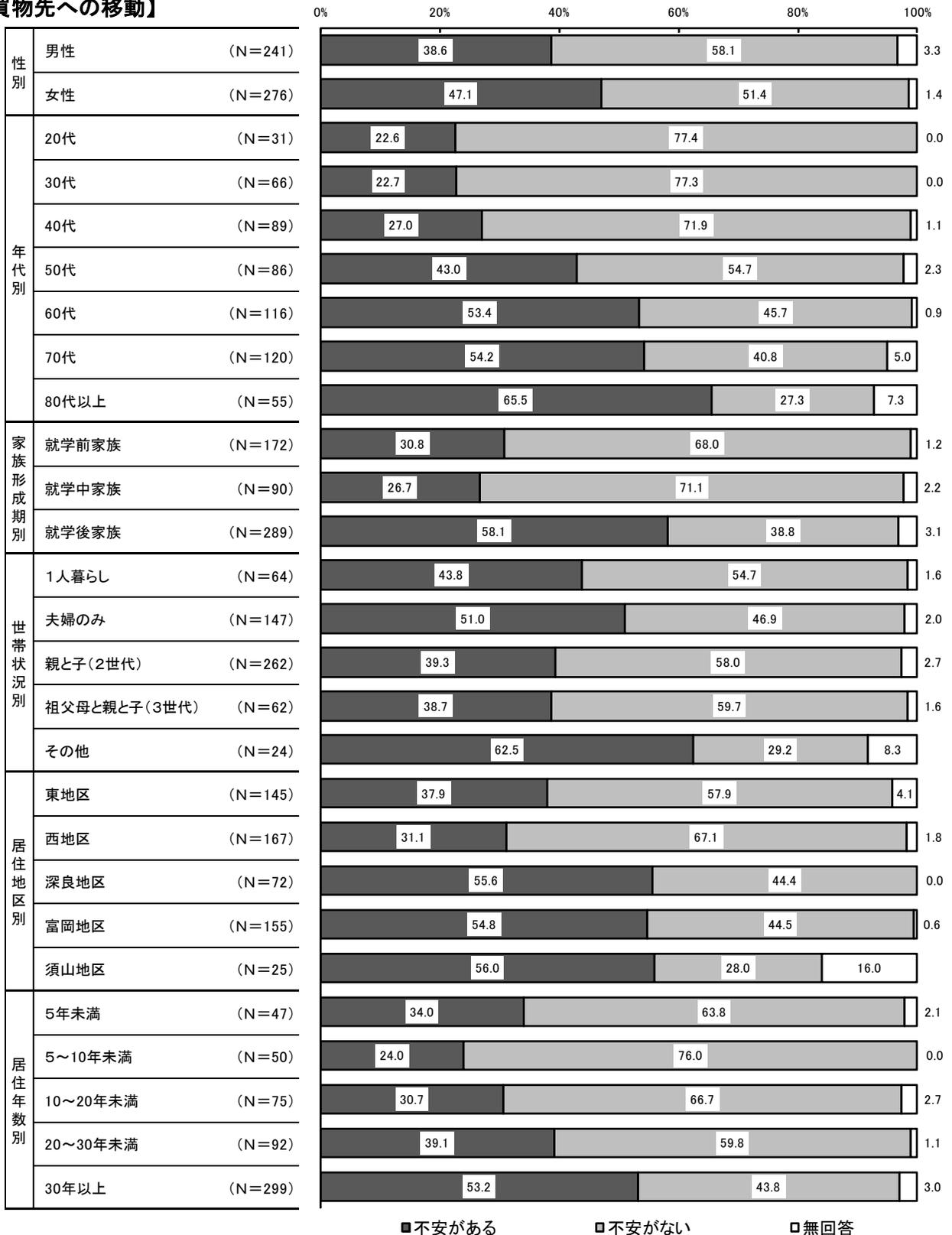
問23 お住まいの地域での移動に対する将来の不安について、お答えください。将来については10年後、現在のお住まいで生活していたと仮定し、家族構成、家族の年齢等を考えてお答えください。
(単一回答)

【職場・学校先への移動】



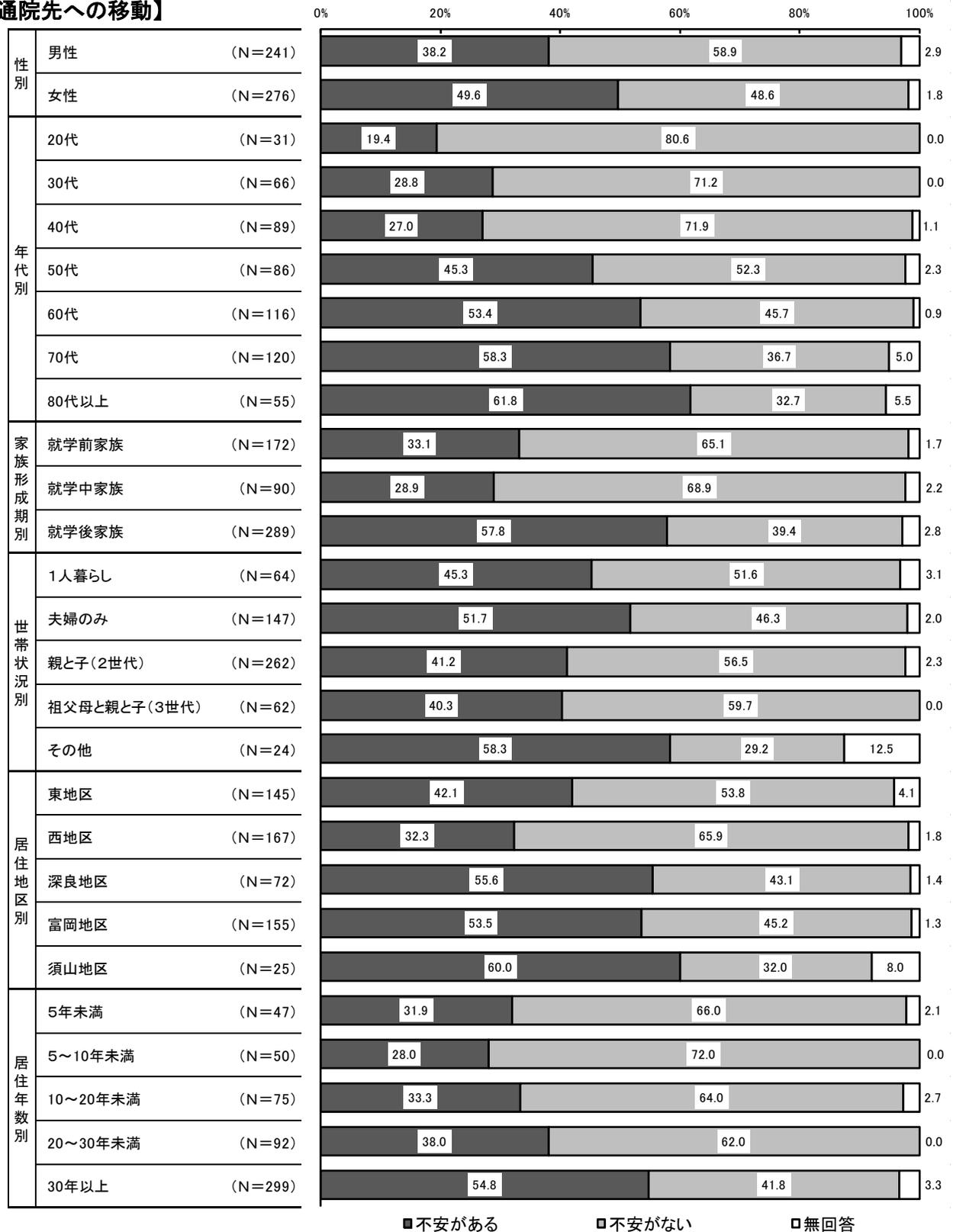
問23 お住まいの地域での移動に対する将来の不安について、お答えください。将来については10年後、現在のお住まいで生活していたと仮定し、家族構成、家族の年齢等を考えてお答えください。
(単一回答)

【買物先への移動】



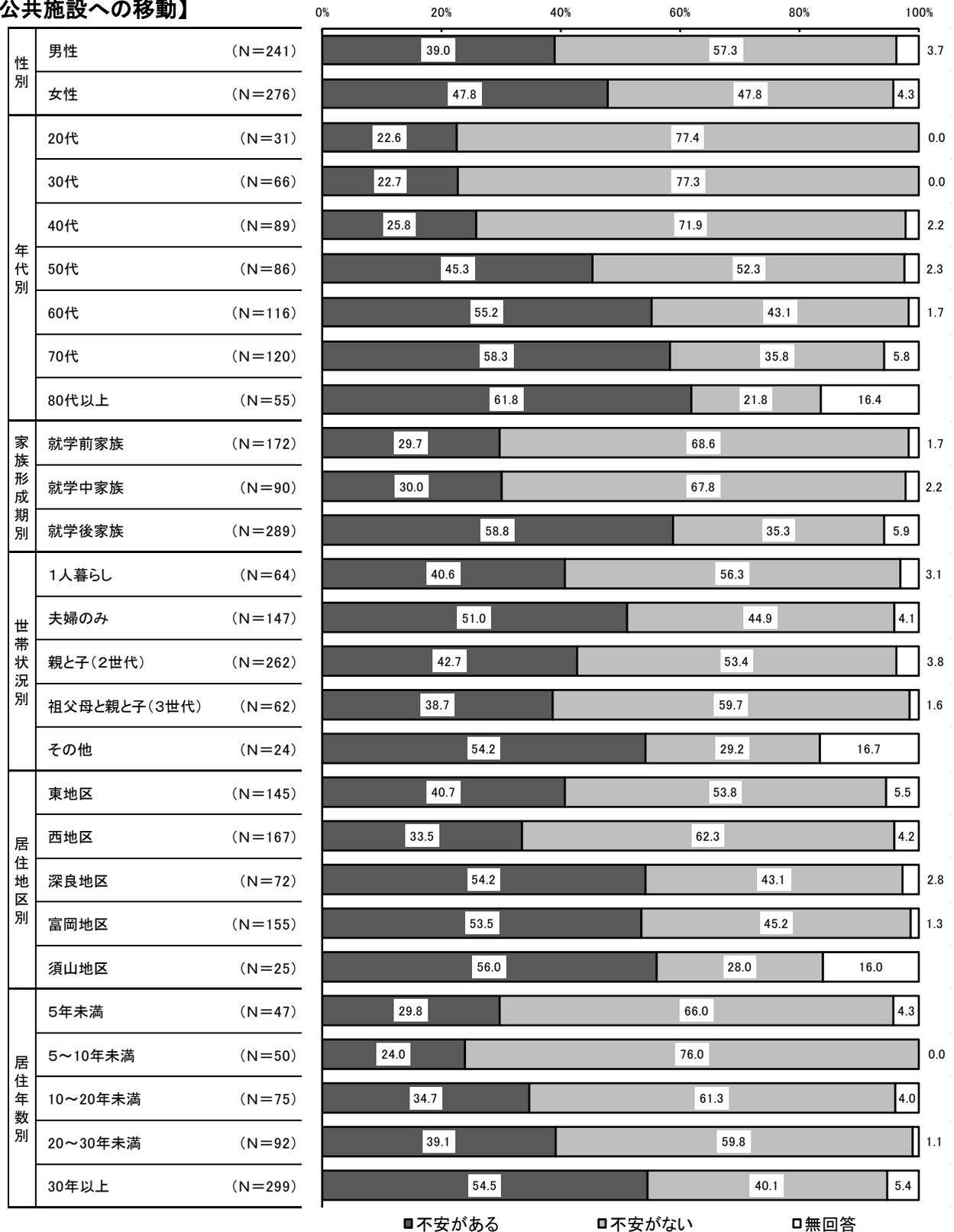
問23 お住まいの地域での移動に対する将来の不安について、お答えください。将来については10年後、現在のお住まいで生活していたと仮定し、家族構成、家族の年齢等を考えてお答えください。
(単一回答)

【通院先への移動】



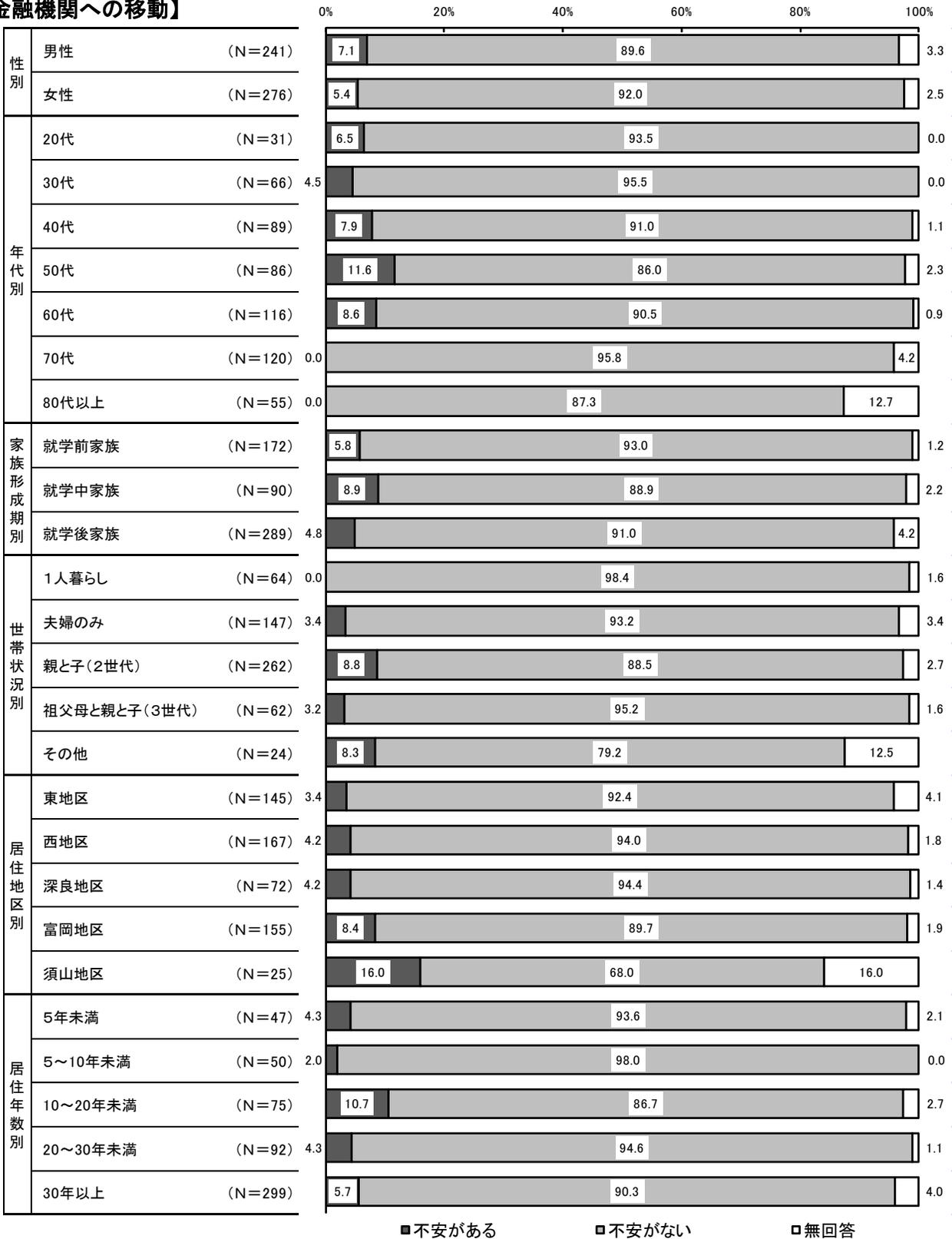
問23 お住まいの地域での移動に対する将来の不安について、お答えください。将来については10年後、現在のお住まいで生活していたと仮定し、家族構成、家族の年齢等を考えてお答えください。
(単一回答)

【公共施設への移動】



問23 お住まいの地域での移動に対する将来の不安について、お答えください。将来については10年後、現在のお住まいで生活していたと仮定し、家族構成、家族の年齢等を考えてお答えください。
(単一回答)

【金融機関への移動】



(3) 運行ルートリニューアル後の『すそのーる』の利用状況

運行ルートリニューアル後の『すそのーる』の利用状況については、「以前から利用しておらず、リニューアル後も利用していない」が87.9%と最も多く、以下、「利用頻度は変わらない」4.2%、「以前より利用しなくなった」4.0%、「以前より利用するようになった」0.9%と続いた。「以前より利用するようになった」「利用頻度は変わらない」「以前より利用しなくなった」を合計した“利用している”は9.1%だった。

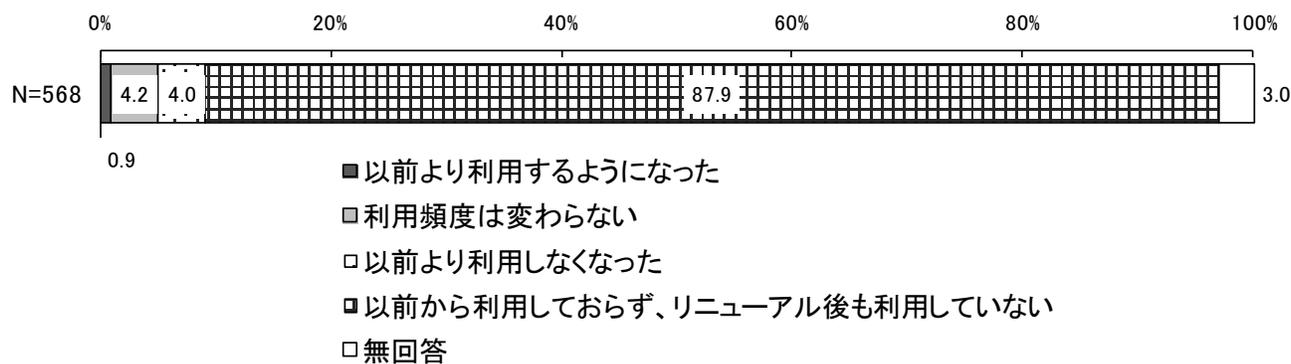
性別で見ると、男性は「利用頻度は変わらない」が、女性は「以前より利用しなくなった」が2番目に多かった。

年代別で見ると、“利用している”の割合は80代以上の23.6%が最も多く、以下、20代12.9%、70代10.8%と続き、最も少ない30代は4.5%だった。30代・40代・60代では「利用頻度は変わらない」が、20代・50代・80代以上では「以前より利用しなくなった」が2番目に多かった。

世帯状況別で見ると、夫婦のみの“利用している”が13.0%と比較的多かった。

居住地区別で見ると、“利用している”の割合は深良地区14.0%が最も多く、以下、富岡地区10.3%、西地区8.4%、東地区7.6%、須山地区4.0%と続いた。その内訳として「利用頻度は変わらない」が多いのは深良地区・富岡地区・須山地区で、「以前より利用しなくなった」が多いのは東地区・西地区だった。

問24 『すそのーる』は平成31年4月1日から運行ルートを変更しました。平成31年4月1日以降の利用状況について教えてください。(単一回答)



【クロス集計】

問24 『すそのーる』は平成31年4月1日から運行ルートを更新しました。平成31年4月1日以降の利用状況について教えてください。(単一回答)



- 以前より利用するようになった
- 以前より利用しなくなった
- 無回答
- 利用頻度は変わらない
- 以前から利用しておらず、リニューアル後も利用していない

(4) 『すそのーる』の利用頻度

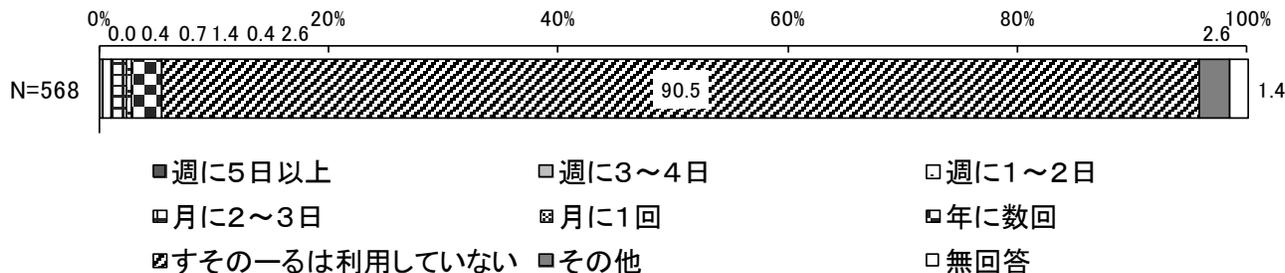
『すそのーる』の利用頻度については、「すそのーるは利用していない」90.5%が最も多く、以下、「年に数回」が2.6%、「月に2～3日」1.4%、「週に1～2日」0.7%と続いた。「週に5日以上」から「年に数回」までを合計した“利用する”は5.5%だった。

年代別で見た“利用する”の割合は、80代以上の18.2%がとくに多く、その内訳は多い順に「月に2～3日」7.3%、「年に数回」5.5%、「月に1回」3.6%、「週に1～2日」1.8%だった。20代では「月に2～3日」、30～50代・70代では「年に数回」、60代では「週に1～2日」が多かった。

世帯状況別で見た“利用する”の割合は、1人暮らしの「月に2～3日」、夫婦のみ・親と子（2世代）の「年に数回」が比較的多く、祖父母と親と子（3世代）では“利用する”は0.0%だった。

居住地区別で見た“利用する”の割合は、深良地区9.7%、富岡地区6.5%、東地区4.9%、西地区4.2%の順に多く、須山地区は0.0%だった。

問25-1 外出時の交通手段に、市内で運行中の『すそのーる』を利用していますか。(単一回答)



《その他の主な回答》

- ・居住地域で運行していない
- ・近くにバス停がない
- ・時間、ルートなどが不明で使いにくい
- ・感染症予防のため使わない など

【クロス集計】

問25-1 外出時の交通手段に、市内で運行中の『すその一』を利用していますか。(単一回答)



■週に5日以上 □週に3~4日 □週に1~2日 □月に2~3日 □月に1回 □年に数回 □すその一は利用していない □その他 □無回答

(5) 『すそのーる』を利用しない理由

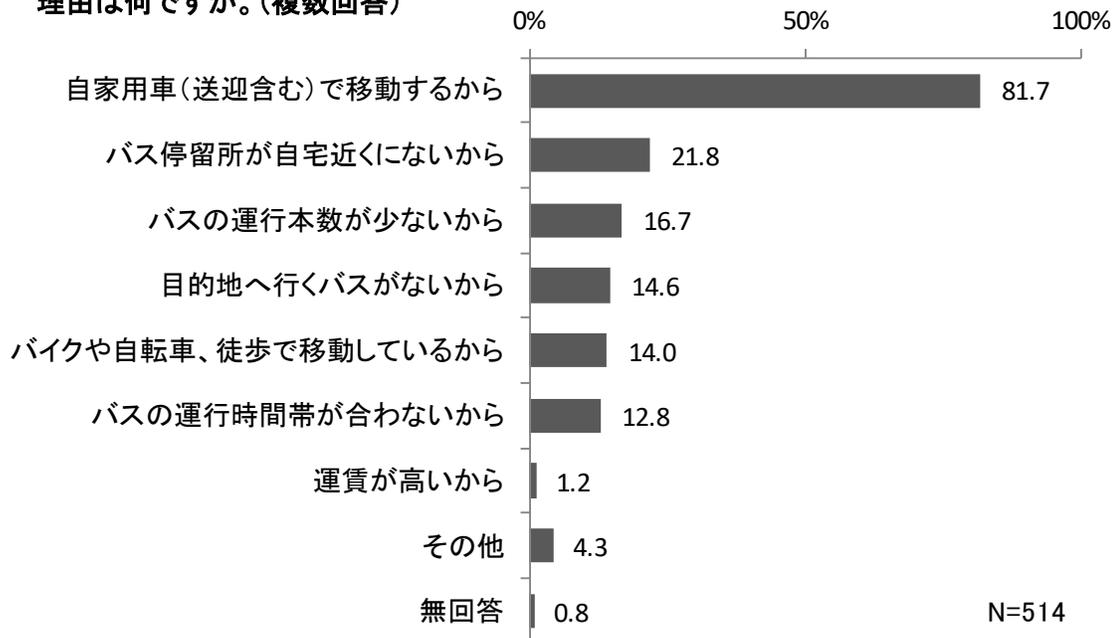
前問で「すそのーるは利用していない」と回答した人に尋ねた理由は、「自家用車（送迎含む）で移動するから」81.7%が最も多く、以下、「バス停留所が自宅近くにないから」21.8%、「バスの運行本数が少ないから」16.7%、「目的地へ行くバスがないから」14.6%と続いた。

年代別で見ると、20～30代は「バイクや自転車、徒歩で移動しているから」、40代は「バスの運行本数が少ないから」、50代以上は「バス停留所が自宅近くにないから」が2番目に多かった。

世帯状況別で見ると、「自家用車（送迎含む）で移動するから」は親と子（2世代）、夫婦のみ、祖父母と親と子（3世代）、1人暮らしの順に多かった。

居住地区別で見ると、東地区・西地区では「バイクや自転車、徒歩で移動しているから」、深良地区では「バスの運行本数が少ないから」、富岡地区・須山地区では「バス停留所が自宅近くにないから」が2番目に多かった。

問25-2 「7. すそのーるは利用していない」とお答えの方にお聞きます。『すそのーる』を利用しない理由は何ですか。（複数回答）



《その他の主な回答》

- ・居住地域で運行していないから
- ・いろいろ回り、目的地まで時間がかかるから
- ・目的地までの乗り継ぎが難しい
- ・スーパーや病院が近くにあるので、利用する必要がない
- ・歩行困難なため利用できない
- ・車を運転しなくなったら利用したい
- ・ルートがわからない、よく知らない など

【クロス集計】

単位：%

区分	有効回答数（件）	らむ自家用車で移動する（送迎含む）	近バスに停所がないから自宅	少バスの運行本数が	目的の地へ行くバス	る徒歩や移動して、	徒バイクや自転車の	がバスの運行時間帯	運賃が高いから	その他	無回答
全体	514	81.7	21.8	16.7	14.6	14.0	12.8	1.2	4.1	1.0	

性別

男性	223	81.6	22.4	15.2	14.3	16.6	10.8	1.3	2.7	1.8
女性	249	82.7	20.9	18.1	15.3	11.6	15.3	1.2	5.6	0.4

年代別

20代	28	71.4	25.0	17.9	17.9	28.6	14.3	-	3.6	-
30代	64	81.3	15.6	18.8	17.2	20.3	9.4	1.6	1.6	-
40代	83	86.7	21.7	26.5	14.5	14.5	21.7	3.6	3.6	-
50代	79	81.0	27.8	24.1	19.0	10.1	22.8	1.3	2.5	1.3
60代	107	88.8	17.8	15.9	12.1	10.3	12.1	0.9	2.8	2.8
70代	109	78.9	25.7	8.3	11.0	16.5	5.5	-	5.5	0.9
80代以上	40	70.0	20.0	5.0	15.0	5.0	2.5	-	12.5	-

家族形成期別

就学前家族	160	78.8	20.6	15.0	15.6	20.6	15.0	1.9	3.1	1.3
就学中家族	85	84.7	23.5	28.2	18.8	11.8	21.2	2.4	4.7	-
就学後家族	254	82.3	22.0	14.2	12.2	9.4	9.1	0.4	4.7	1.2

世帯状況別

1人暮らし	57	71.9	22.8	7.0	14.0	19.3	8.8	1.8	7.0	3.5
夫婦のみ	129	82.9	23.3	11.6	11.6	14.0	10.9	-	3.1	-
親と子（2世代）	240	84.2	23.3	22.1	13.3	13.8	15.0	2.1	2.9	0.4
祖父母と親と子（3世代）	61	80.3	16.4	19.7	26.2	11.5	16.4	-	8.2	1.6
その他	19	78.9	10.5	5.3	15.8	10.5	5.3	-	-	5.3

居住地区別

東地区	133	84.2	14.3	15.0	12.0	21.1	10.5	0.8	2.3	0.8
西地区	155	81.9	12.9	21.3	16.8	22.6	20.0	1.3	5.2	0.6
深良地区	62	85.5	17.7	22.6	6.5	8.1	8.1	1.6	1.6	1.6
富岡地区	136	78.7	37.5	14.0	15.4	2.9	11.8	1.5	5.1	-
須山地区	24	79.2	45.8	-	25.0	-	-	-	8.3	8.3

居住年数別

5年未満	44	77.3	13.6	11.4	9.1	20.5	9.1	-	4.5	-
5～10年未満	46	93.5	13.0	15.2	10.9	15.2	19.6	2.2	-	-
10～20年未満	71	77.5	22.5	31.0	22.5	18.3	23.9	2.8	1.4	1.4
20～30年未満	84	79.8	31.0	15.5	20.2	13.1	13.1	3.6	6.0	-
30年以上	265	82.3	21.9	14.7	12.1	12.1	9.4	-	4.9	1.5

(6) 『すそのーる』運行サービスの満足度

『すそのーる』運行サービスの満足度について、7項目の中で最も満足度が高いのは『運賃』で、「満足」と「まあ満足」を合計した“満足”が 19.3%、「やや不満」と「不満」を合計した“不満”が 13.0%だった。その他の項目は、いずれも“満足”よりも“不満”の方が多く、“不満”の割合が多い順に、『運行ルート』（“満足”7.9%、“不満”43.7%）、『運行本数』（“満足”7.2%、“不満”41.2%）、『運行時間帯』（“満足”6.2%、“不満”39.2%）、『他のバスや鉄道との乗り継ぎのしやすさ』（“満足” 7.2%、“不満” 32.6%）、『時刻表・路線図等の運行情報案内』（“満足” 8.8%、“不満” 31.0%）、『全般のサービス』（“満足” 8.6%、“不満” 26.9%）だった。

性別で見ると、男女ともに『運賃』では“満足”が“不満”を上回った。“不満”の割合は、男性では『運行ルート』44.0%、『運行本数』38.2%、『運行時間帯』37.0%の順に多く、女性では『運行本数』44.2%、『運行時間帯』及び『運行ルート』42.8%の順に多かった。

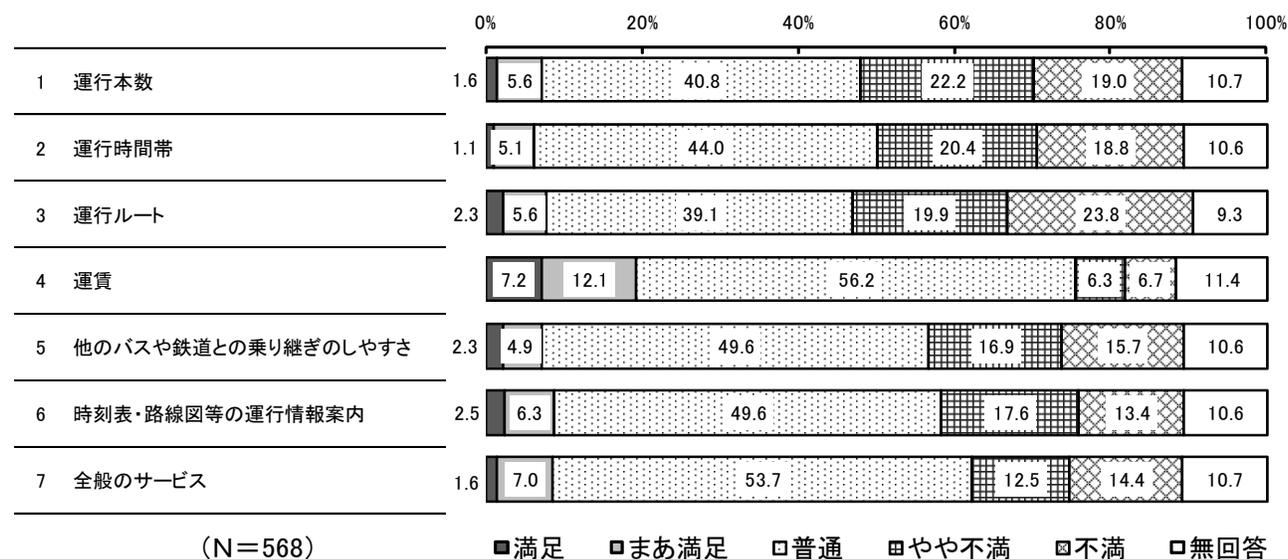
年代別で見た“満足”の割合は、20代の『運賃』38.7%がとくに多かった。『運行本数』『運行時間帯』『運行ルート』では、40～50代の“不満”がとくに多かった。

家族形成期別で見ると、『運行ルート』で“就学中家族”の“不満”56.6%がとくに多かった。

世帯状況別で見ると、祖父母と親と子（3世代）の『運賃』の“満足”30.6%がとくに多かった。

居住地区別で見ると、須山地区では『運賃』と『全般のサービス』を除く全ての項目で“満足”が 0.0%だった。『運行ルート』については“不満”が須山地区 64.0%と富岡地区 55.5%でとくに多かった。

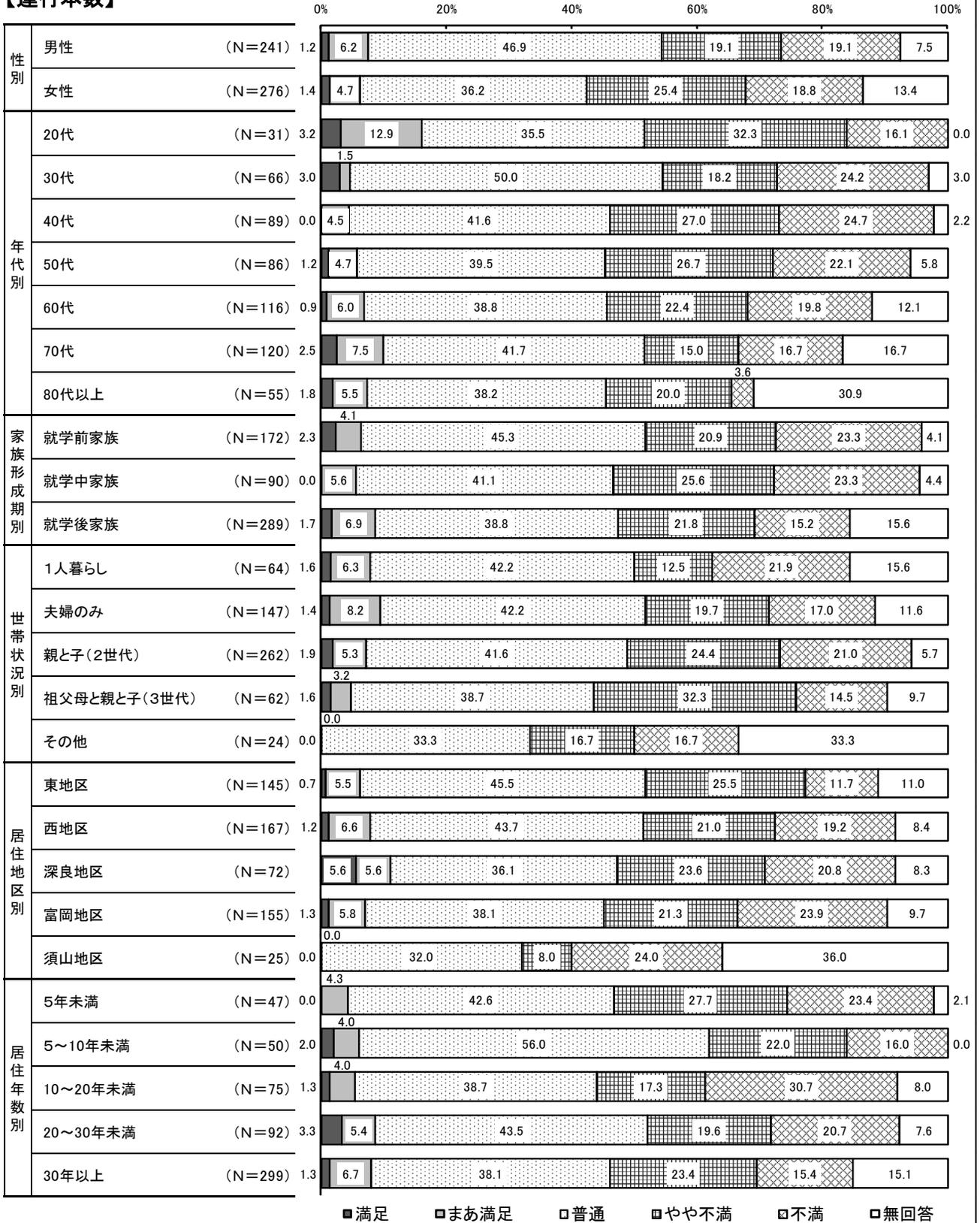
問26 『すそのーる』の運行サービスについて、あなたのお考え(利用していない方はイメージ)をお答えください。(項目ごとに単一回答)



【クロス集計】

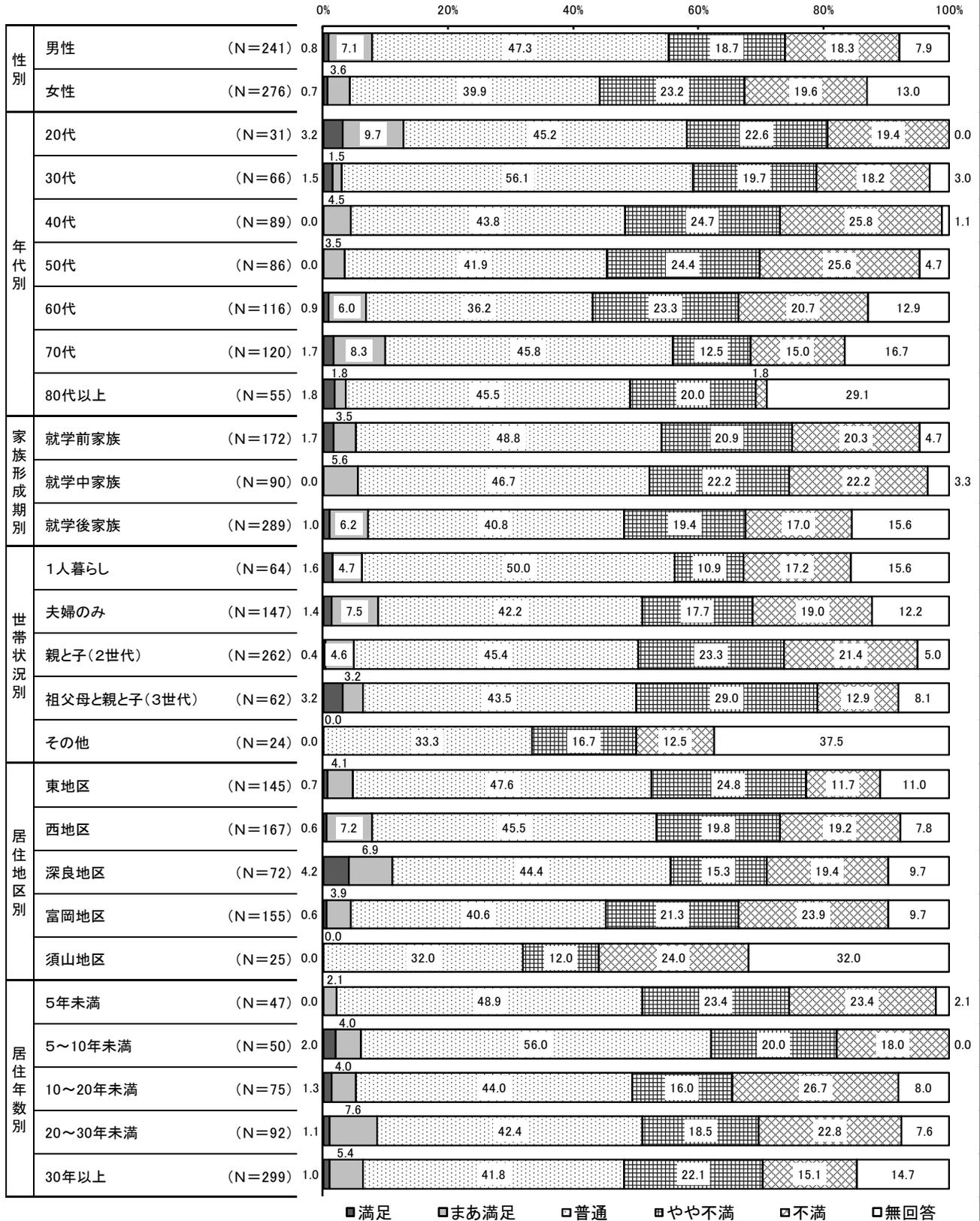
問26 『すそのーる』の運行サービスについて、あなたのお考え(利用していない方はイメージ)をお答えください。(項目ごとに単一回答)

【運行本数】



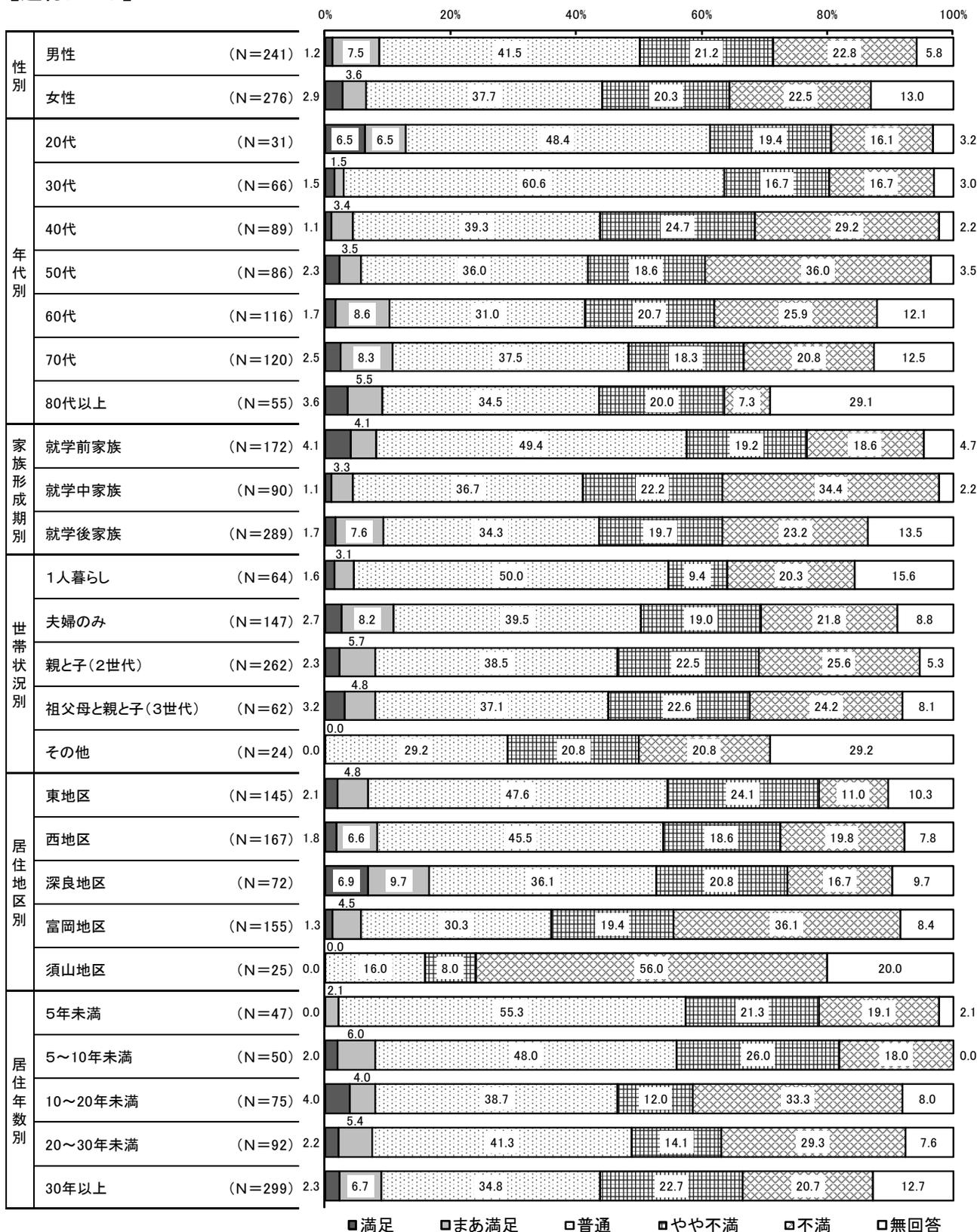
問26 『すそのーる』の運行サービスについて、あなたのお考え(利用していない方はイメージ)をお答えください。(項目ごとに単一回答)

【運行時間帯】



問26 『すそのーる』の運行サービスについて、あなたのお考え(利用していない方はイメージ)をお答えください。(項目ごとに単一回答)

【運行ルート】



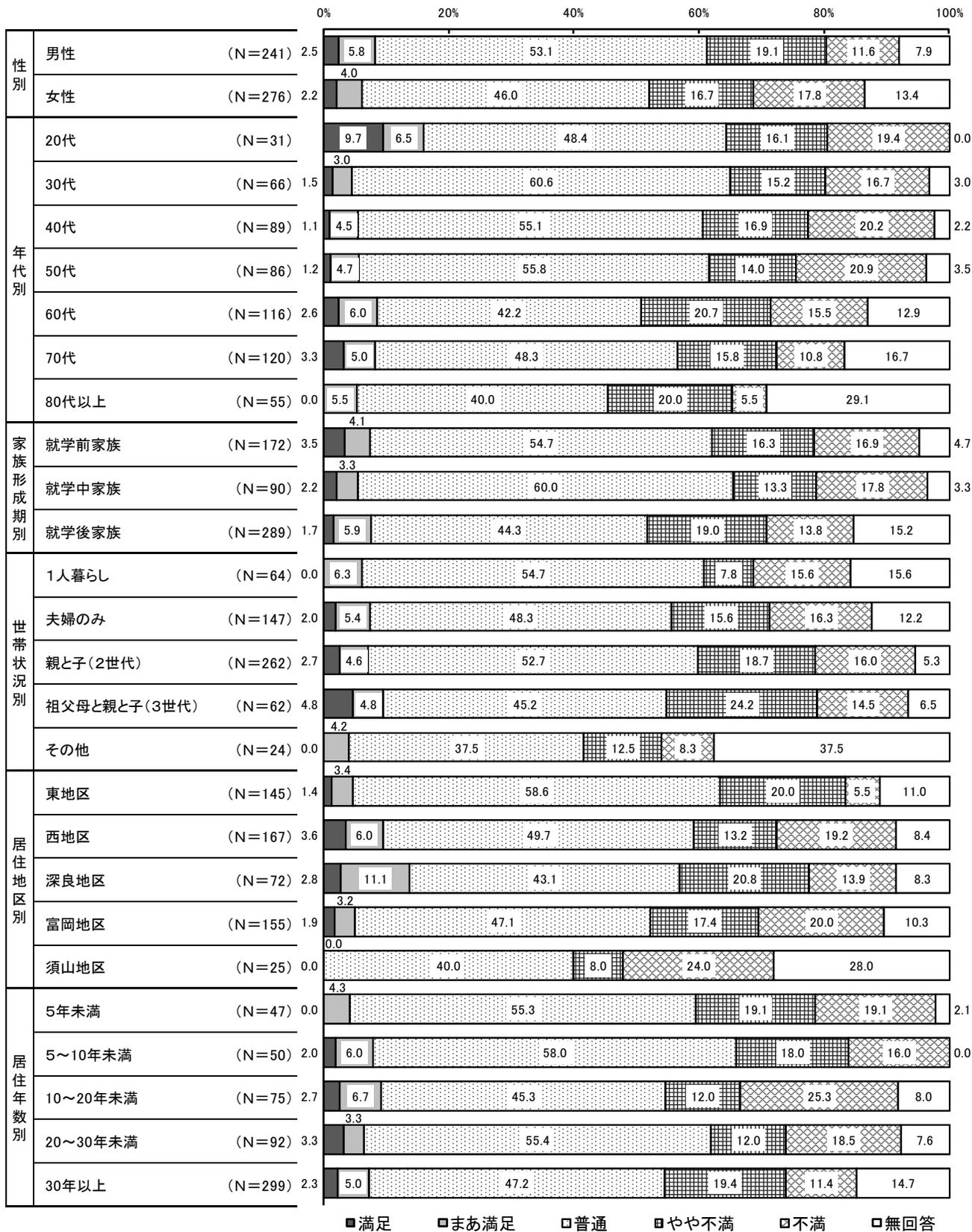
問26 『すそのーる』の運行サービスについて、あなたのお考え(利用していない方はイメージ)をお答えください。(項目ごとに単一回答)

【運賃】



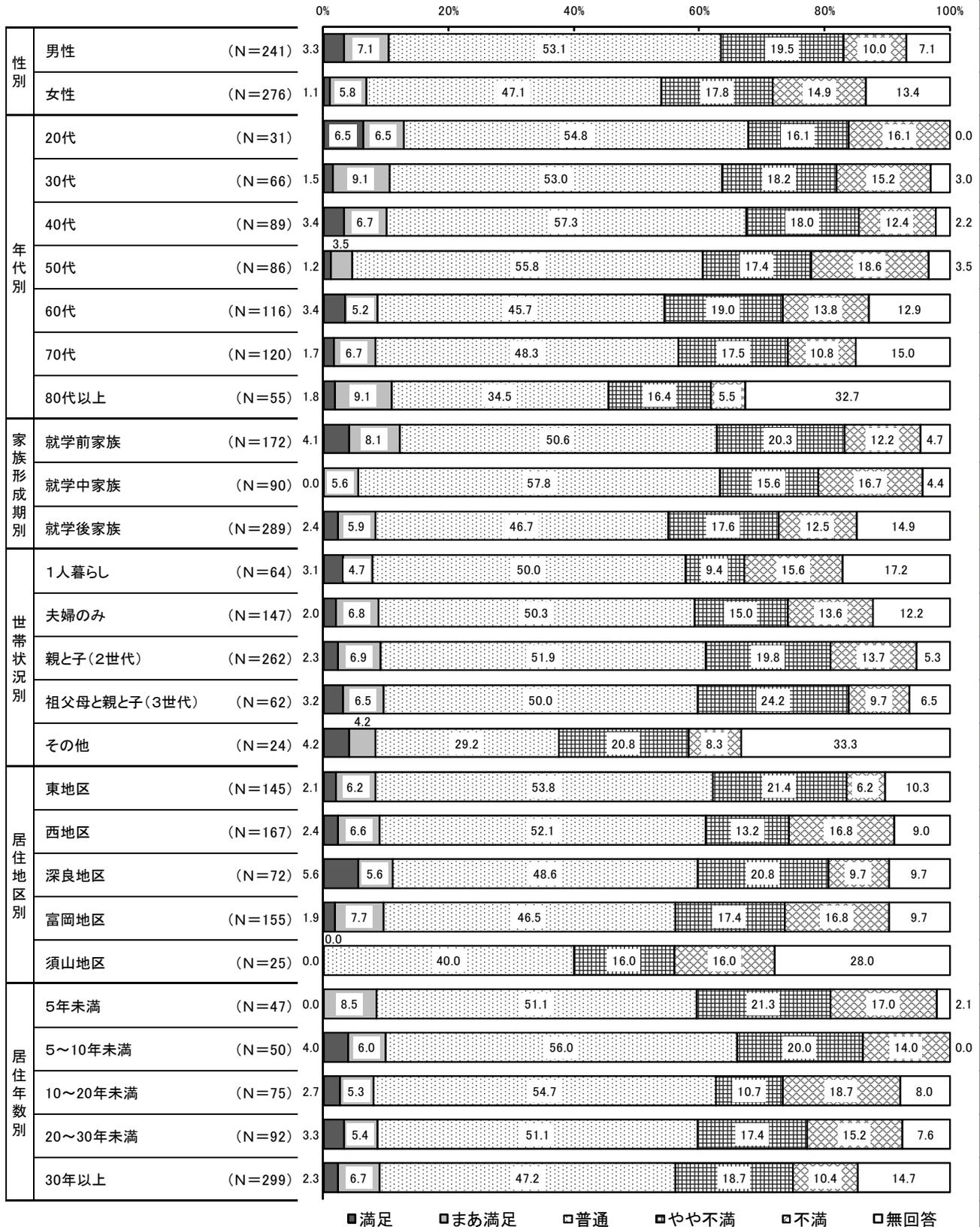
問26 『すそのーる』の運行サービスについて、あなたのお考え(利用していない方はイメージ)をお答えください。(項目ごとに単一回答)

【他のバスや鉄道との乗り継ぎのしやすさ】



問26 『すそのーる』の運行サービスについて、あなたのお考え(利用していない方はイメージ)をお答えください。(項目ごとに単一回答)

【時刻表・路線図等の運行情報案内】



問26 『すそのーる』の運行サービスについて、あなたのお考え(利用していない方はイメージ)をお答えください。(項目ごとに単一回答)

【全般のサービス】



広報紙

(1) 「広報すその」でよく読むコーナー

「広報すその」でよく読むコーナーについては、「インフォメーション（お知らせ）」62.3%が最も多く、以下、「特集ページ」40.7%、「救急協力医」40.3%、「フォトグラフ」16.9%、「すそのびと」14.6%と続いた。

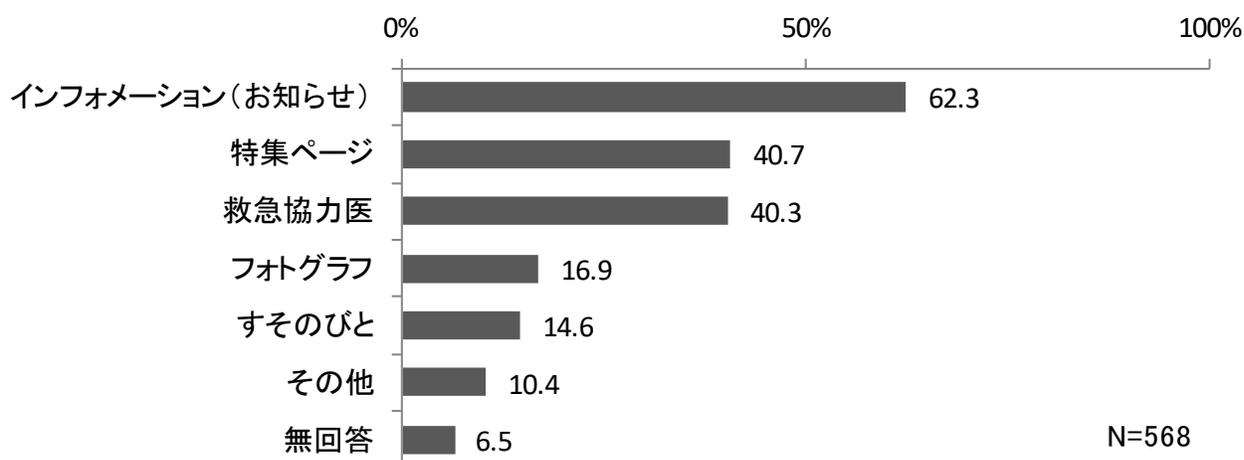
性別で見ると、男性は女性よりも「特集ページ」が 5.3 ポイント多く、女性は男性よりも、「救急協力医」が 17.2 ポイント多かった。

年代別で見ると、20代は「特集ページ」が、その他の年代はいずれも「インフォメーション（お知らせ）」が最も多かった。

家族形成期別では、就学中家族と就学後家族で「救急協力医」が2番目に多かった。

居住地区別で見ると、須山地区は他の地区と比較して「救急協力医」が多く、48.0%だった。

問27 「広報すその」の内容のうち、どのコーナーをよく読んでいますか。（複数回答）



《その他の主な回答》

- ・全てよく読んでいる
- ・表紙
- ・催し物情報
- ・図書館だより
- ・税金関係のお知らせ
- ・広報紙が配布されていない
- ・あまり読んでいない など

【クロス集計】

単位：％

区分	有効回答数 (件)	インフォメーション (お知らせ)	特集ページ	救急協力医	フォトグラフ	すそのびと	その他	無回答
全体	568	62.3	40.7	40.3	16.9	14.6	10.4	6.5

性別

男性	241	57.7	42.3	30.3	14.1	12.0	12.4	6.2
女性	276	64.9	37.0	47.5	18.1	15.6	9.1	6.9

年代別

20代	31	25.8	32.3	12.9	22.6	9.7	19.4	22.6
30代	66	50.0	37.9	34.8	15.2	7.6	7.6	6.1
40代	89	64.0	29.2	36.0	13.5	14.6	12.4	3.4
50代	86	60.5	40.7	36.0	15.1	14.0	12.8	3.5
60代	116	69.8	44.8	47.4	20.7	15.5	10.3	4.3
70代	120	71.7	47.5	48.3	18.3	20.8	8.3	8.3
80代以上	55	63.6	41.8	41.8	12.7	10.9	7.3	7.3

家族形成期別

就学前家族	172	46.5	33.7	29.7	15.1	10.5	15.1	9.3
就学中家族	90	66.7	38.9	45.6	15.6	14.4	6.7	4.4
就学後家族	289	69.6	44.3	45.0	17.3	16.3	9.3	5.2

居住地区別

東地区	145	65.5	44.8	38.6	17.2	14.5	11.0	9.0
西地区	167	63.5	46.7	42.5	17.4	16.8	10.2	5.4
深良地区	72	55.6	29.2	34.7	15.3	6.9	11.1	4.2
富岡地区	155	63.2	36.8	40.6	17.4	14.8	9.7	7.1
須山地区	25	52.0	24.0	48.0	12.0	20.0	12.0	4.0

居住年数別

5年未満	47	51.1	27.7	34.0	21.3	14.9	19.1	8.5
5～10年未満	50	58.0	38.0	44.0	14.0	12.0	6.0	4.0
10～20年未満	75	53.3	25.3	44.0	8.0	6.7	10.7	8.0
20～30年未満	92	63.0	42.4	38.0	18.5	10.9	14.1	4.3
30年以上	299	66.9	46.2	40.5	18.1	18.1	8.7	6.7

(2) 市の情報の入手方法

市の情報の入手方法については、「広報すその（広報紙）」62.5%が最も多く、以下、「ウェブ（ページ）サイト」42.1%、「広報無線」35.9%、「新聞記事」16.5%と続いた。

性別で見ると、女性は男性よりも、「広報無線」が9.2ポイント多かった。

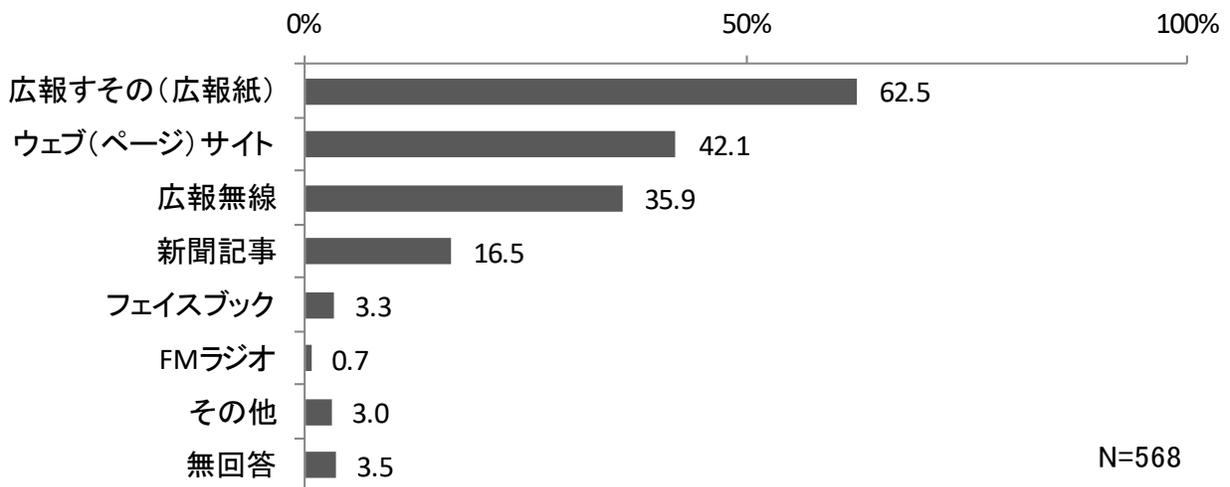
年代別で見ると、20～50代では「ウェブ（ページ）サイト」、「広報すその（広報紙）」の順に多く、60代以上では「広報すその（広報紙）」、「広報無線」の順に多かった。

家族形成期別で見ると、就学前・就学中家族では「ウェブ（ページ）サイト」が、就学後家族では「広報すその（広報紙）」が最も多かった。

居住地区別で見ると、須山地区で「新聞記事」が他の地区より多かった。

居住年数別で見ると、20年未満では「ウェブ（ページ）サイト」が、20年以上では「広報すその（広報紙）」が最も多かった。

問28 市の情報を調べる際に、何を使用して情報を得ますか。（複数回答）



《その他の主な回答》

- ・インターネットや Twitter、携帯アプリなど
- ・家族や知人に聞く
- ・自治会
- ・回覧板 など

【クロス集計】

単位：%

区分	有効回答数 (件)	広報すその (広報紙)	ウェブ(ページ) サイト	広報無線	新聞記事	フェイスブック	F M ラジオ	その他	無回答
全体	568	62.5	42.1	35.9	16.5	3.3	0.7	3.0	3.5
性別									
男性	241	61.4	44.8	30.3	17.4	3.3	0.8	3.3	3.3
女性	276	62.3	42.0	39.5	15.6	3.6	0.7	1.8	3.6
年代別									
20代	31	29.0	51.6	9.7	3.2	-	-	16.1	9.7
30代	66	47.0	71.2	16.7	3.0	6.1	1.5	3.0	1.5
40代	89	51.7	67.4	23.6	12.4	7.9	-	-	2.2
50代	86	53.5	66.3	30.2	14.0	4.7	1.2	1.2	-
60代	116	75.0	30.2	39.7	19.8	1.7	1.7	1.7	3.4
70代	120	73.3	15.0	58.3	23.3	1.7	-	3.3	6.7
80代以上	55	81.8	9.1	43.6	30.9	-	-	3.6	1.8
家族形成期別									
就学前家族	172	49.4	59.9	19.8	8.1	3.5	-	5.8	2.3
就学中家族	90	55.6	64.4	28.9	6.7	7.8	-	-	1.1
就学後家族	289	71.6	24.9	46.7	23.9	2.1	1.0	2.1	4.5
居住地区別									
東地区	145	66.2	40.7	40.0	15.2	2.1	-	2.8	4.1
西地区	167	64.1	44.9	34.1	16.8	3.0	1.2	3.0	3.0
深良地区	72	63.9	33.3	29.2	16.7	2.8	1.4	2.8	1.4
富岡地区	155	56.8	45.8	35.5	14.8	5.2	0.6	3.2	4.5
須山地区	25	56.0	40.0	40.0	32.0	4.0	-	-	4.0
居住年数別									
5年未満	47	40.4	61.7	10.6	10.6	-	-	8.5	6.4
5～10年未満	50	58.0	66.0	18.0	6.0	8.0	-	2.0	2.0
10～20年未満	75	41.3	62.7	9.3	8.0	2.7	1.3	4.0	2.7
20～30年未満	92	58.7	48.9	34.8	16.3	6.5	1.1	2.2	2.2
30年以上	299	73.2	28.4	49.5	21.4	2.3	0.7	2.0	3.7

市民協働によるまちづくりや地域活動

(1) 市政のあり方やまちづくりを考える場への参加意向

市政のあり方やまちづくりを考える場への参加意向については、「わからない」が 57.9%と最も多く、次いで「参加したくない」が 24.6%、「参加したい」が 15.5%だった。

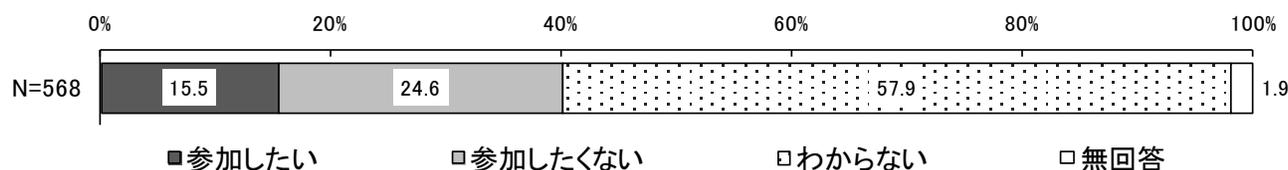
性別で見ると、男性は女性よりも、「参加したい」が 10.7 ポイント多く、女性は「わからない」が多かった。

年代別で見ると、20 代の「参加したくない」45.2%がとくに多かった。「参加したい」が比較的多いのは 20～40 代だった。

家族形成期別では、就学前家族の「参加したい」と、就学中家族の「参加したくない」が比較的多かった。

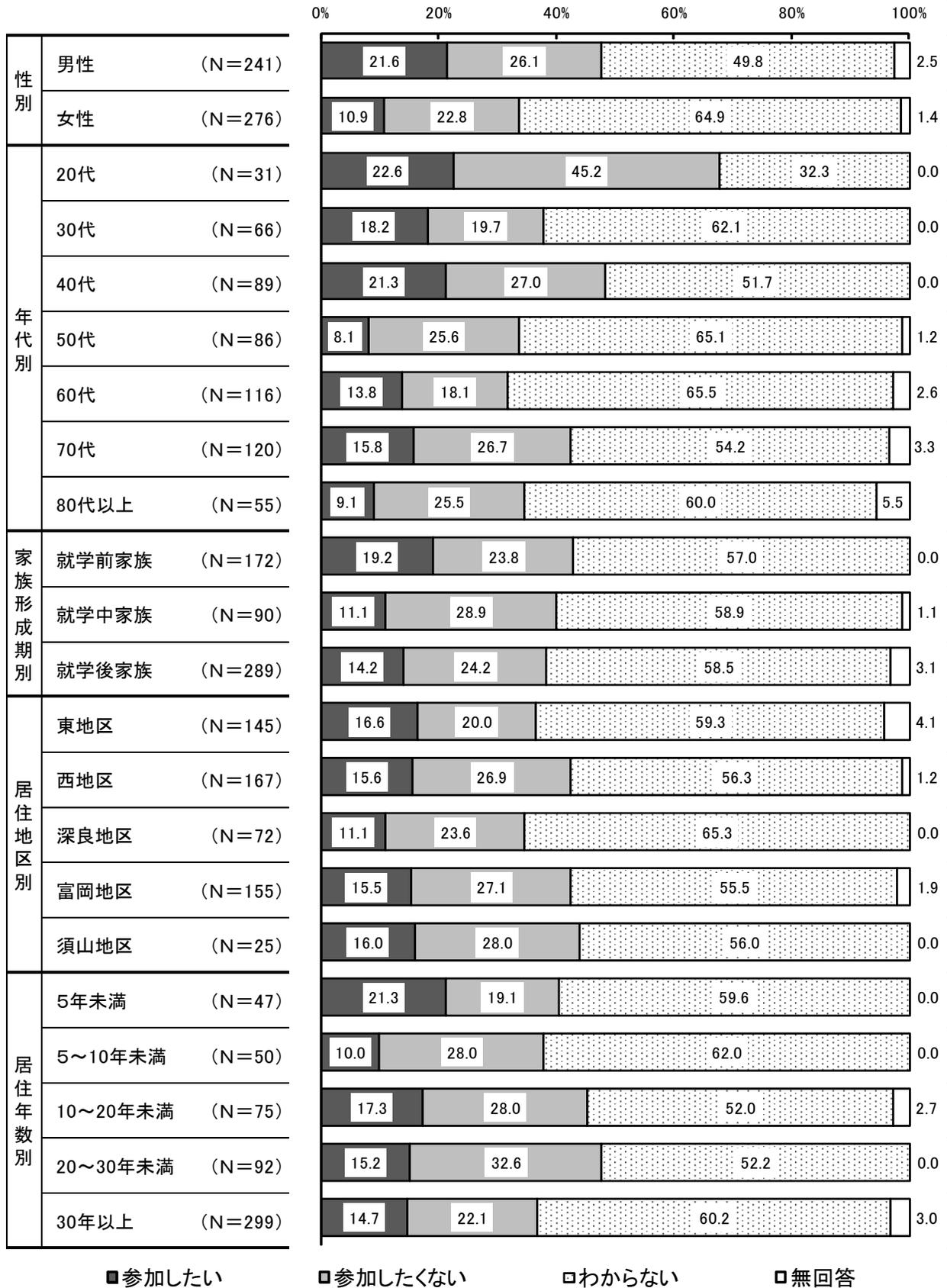
居住年数別で見ると、5 年未満の「参加したい」が比較的多く、5～30 年未満では「参加したくない」が約 3 割を占めた。

問29 あなたは、市政のあり方やまちづくりを考える場へ参加したいと思いますか。(単一回答)



【クロス集】

問29 あなたは、市政のあり方やまちづくりを考える場へ参加したいと思いますか。(単一回答)



(2) 地域活動への参加状況

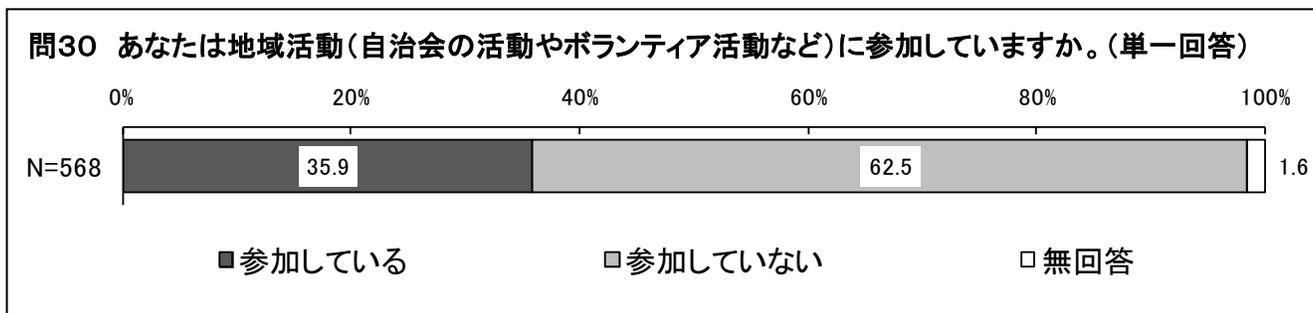
地域活動への参加状況については、「参加している」が 35.9%、「参加していない」が 62.5%だった。

性別では、「参加している」の割合は男性 45.2%、女性 29.0%で、男性の方が 16.2 ポイント多かった。

年代別で見ると、20代は「参加していない」が 93.5%を占めた。30～70代では3人中1人以上が「参加している」と回答した。

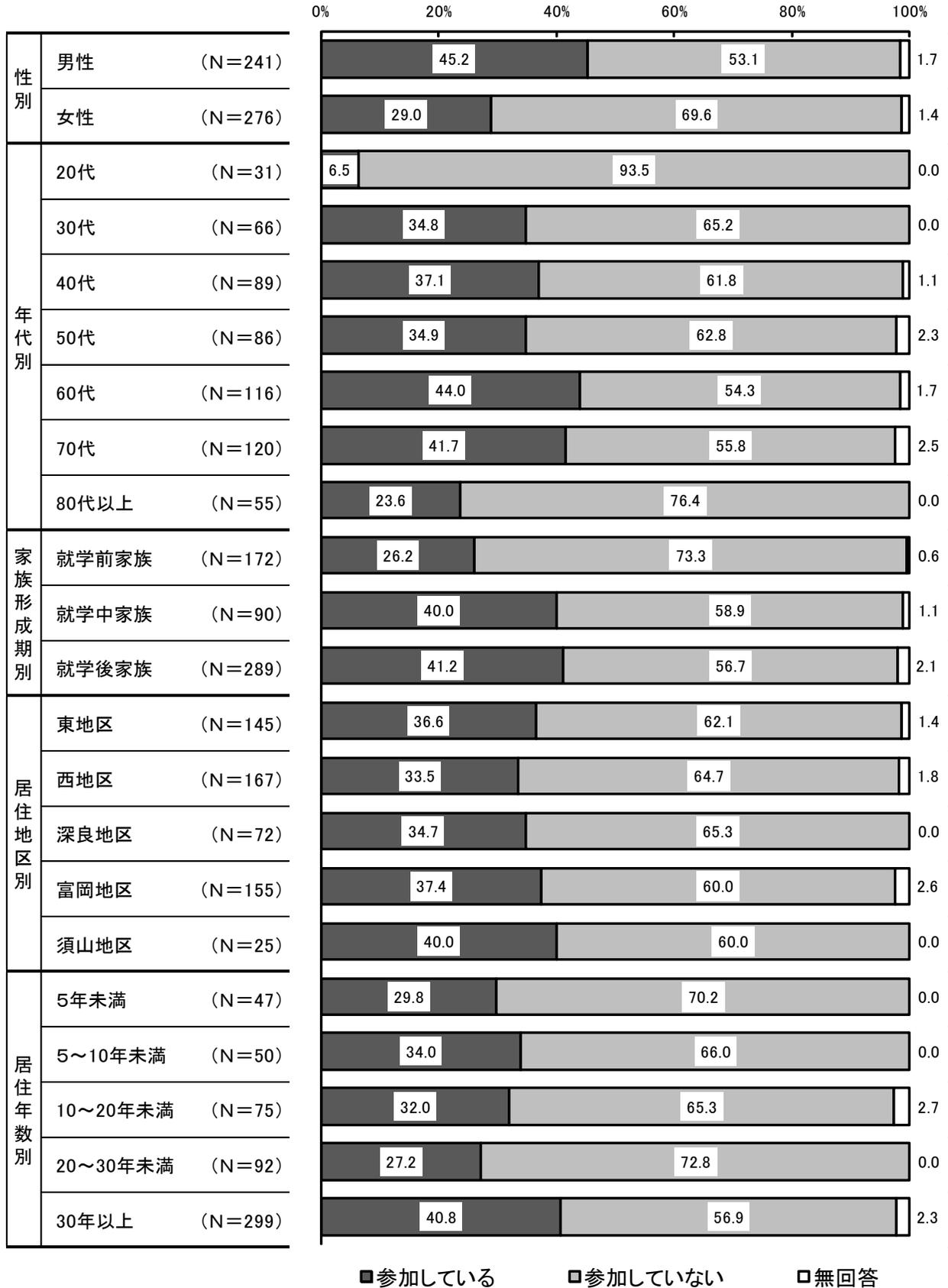
家族形成期別では、就学中・就学後家族の「参加している」は約4割で、就学前家族よりやや多かった。

居住年数別で見ると、30年以上の「参加している」が 40.8%で、30年未満より1割程度多かった。



【クロス集計】

問30 あなたは地域活動(自治会の活動やボランティア活動など)に参加していますか。(単一回答)



(3) 地域や団体などの活動の満足度

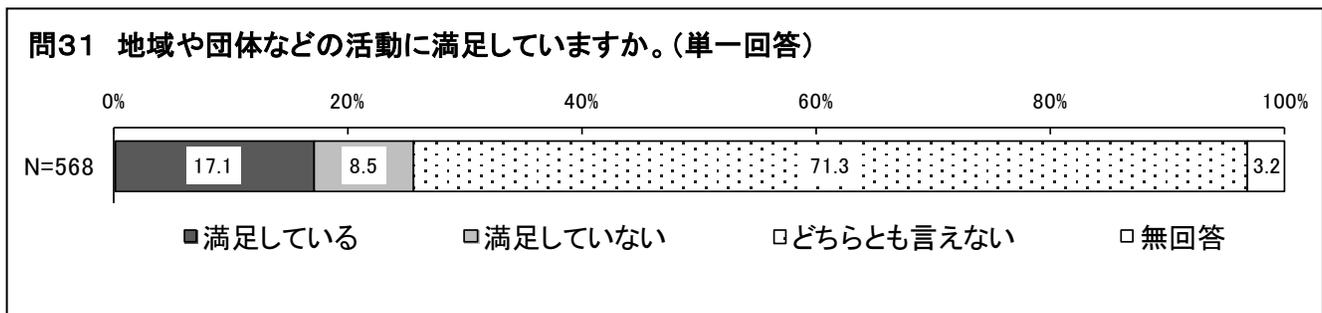
地域や団体などの活動の満足度については、「どちらとも言えない」71.3%が最も多く、以下、「満足している」17.1%、「満足していない」8.5%と続いた。

性別では、「満足している」の割合は男性 18.3%、女性 15.2%で、男性の方が 3.1 ポイント多かった。

年代別で見ると、「満足している」は 50 代・70 代でやや多く、「満足していない」は 30 代で最も多かった。

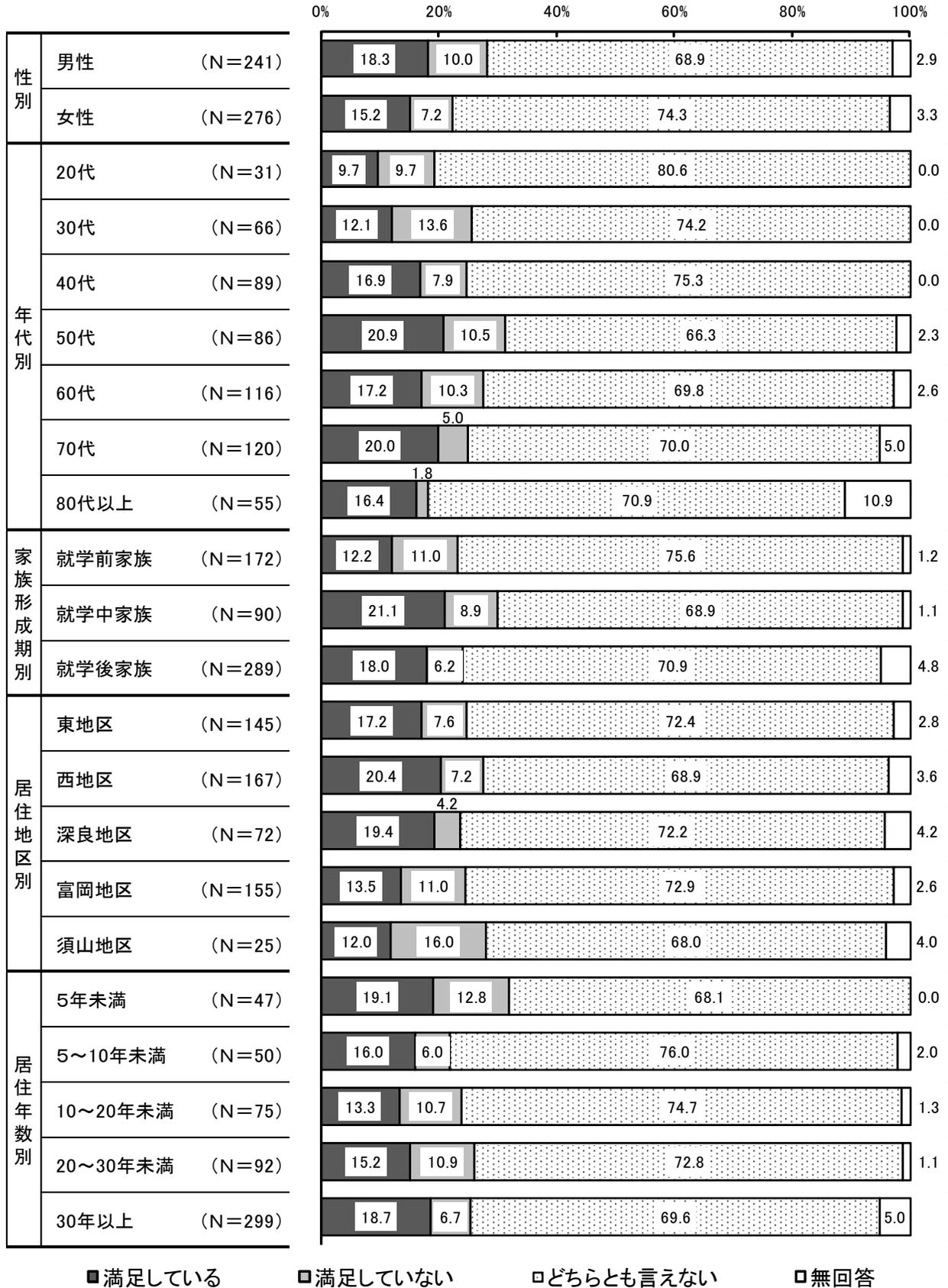
家族形成期別では、就学中家族の「満足している」が最も多かった。

居住地区別の「満足している」の割合は、多い順に西地区 20.4%、深良地区 19.4%、東地区 17.2%、富岡地区 13.5%、須山地区 12.0%だった。須山地区では「満足していない」が 16.0%で、「満足している」を 4 ポイント上回った。



【クロス集計】

問31 地域や団体などの活動に満足していますか。(単一回答)



裾野市や地域への愛着度

裾野市や、回答者が暮らしている「地域」への思い・考え 4 項目を加重平均により得点化し、愛着度として比較した。各選択肢の得点は下表の通りとし、項目ごとに合計点を有効回答者数で除した加重平均点を算出した。なお、無回答は算定外とした。

思い・考えの各回答の得点

回答	点数
そう思う	2点
どちらかというと思う	1点
どちらとも言えない	0点
どちらかというと思わない	-1点
そう思わない	-2点

◎全4項目の愛着度の順位

最も愛着度が高かったのは、「地域が好きだ」の0.82点で、以下、「地域の雰囲気や土地柄が気に入っている」0.71点、「地域は住みやすいと思う」及び「地域にずっと住み続けたい」0.67点と続いた。

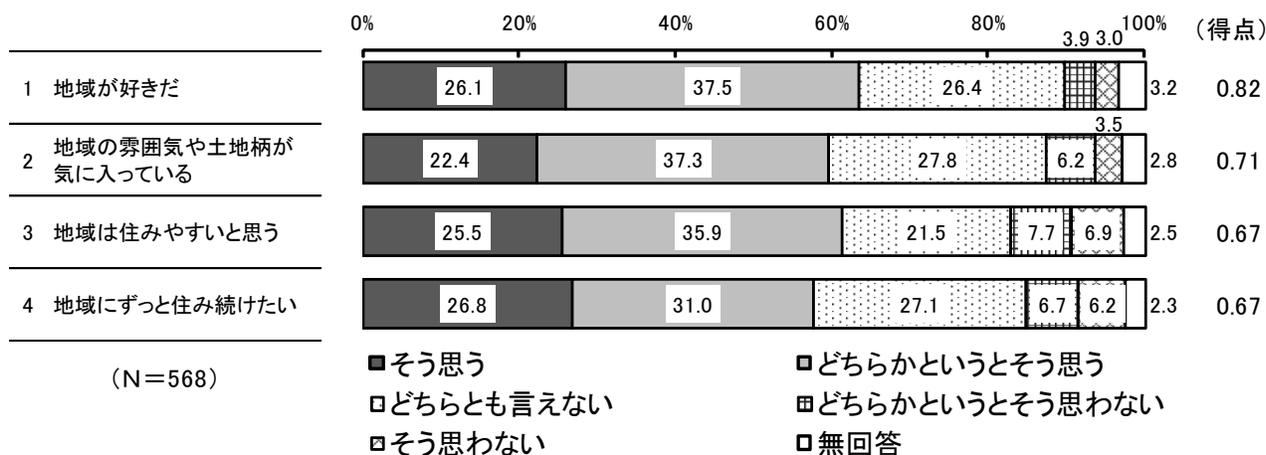
問32:全4項目の愛着度の順位

愛着度		
順位	項目名	得点
1	1 地域が好きだ	0.82
2	2 地域の雰囲気や土地柄が気に入っている	0.71
3	3 地域は住みやすいと思う	0.67
	4 地域にずっと住み続けたい	0.67

※得点の大きい項目順に、小数点第2位までを掲載。

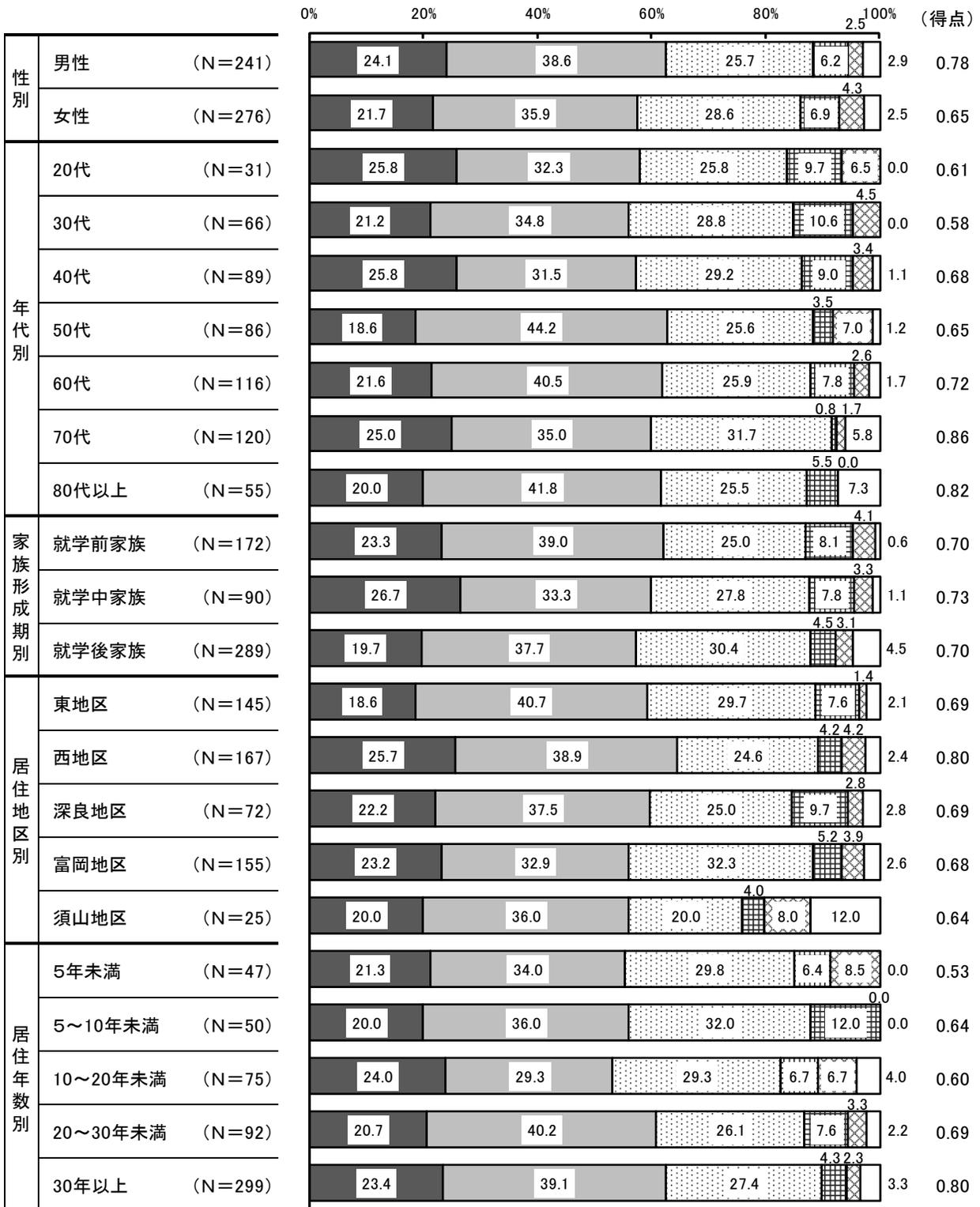
◎全4項目の愛着度の単純集計結果

問32 裾野市や、あなたが暮らしている「地域」への思い・考えをお尋ねします。(項目ごとに単一回答)



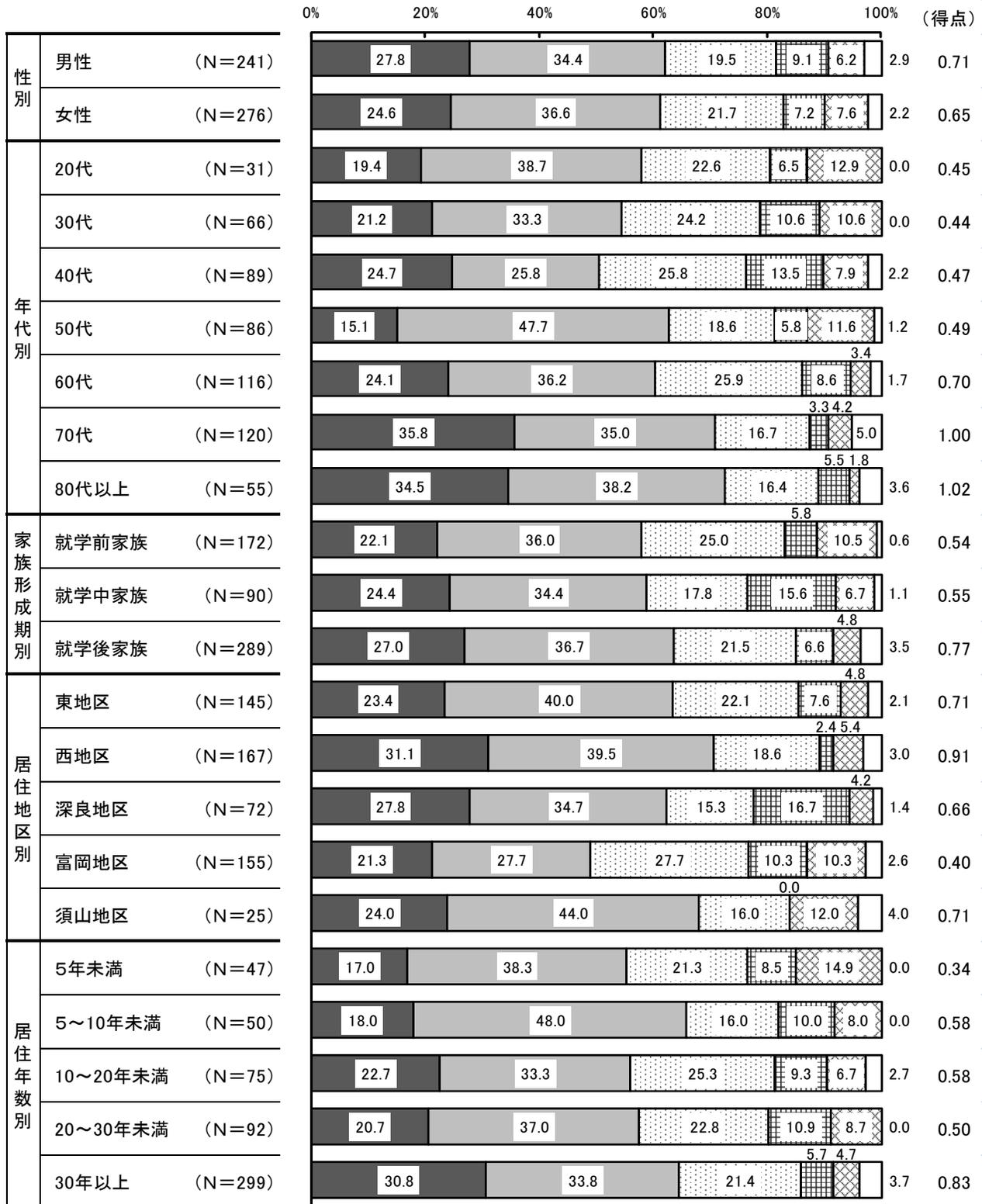
問32 裾野市や、あなたが暮らしている「地域」への思い・考えをお尋ねします。(項目ごとに単一回答)

【2 地域の雰囲気や土地柄が気に入っている】



問32 裾野市や、あなたが暮らしている「地域」への思い・考えをお尋ねします。(項目ごとに単一回答)

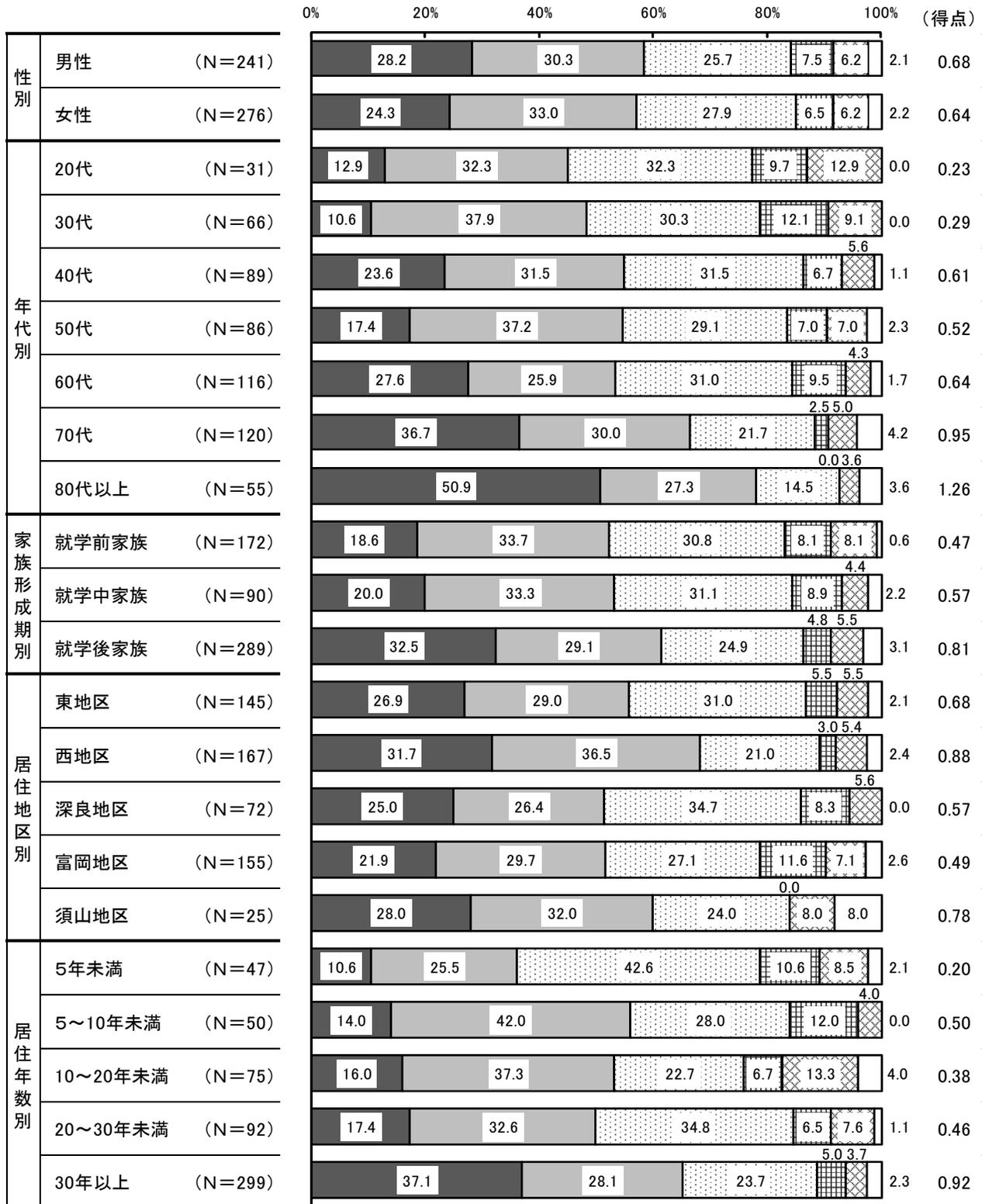
【3 地域は住みやすいと思う】



そう思う どちらかというと思う どちらとも言えない
 どちらかというと思わない そう思わない 無回答

問32 裾野市や、あなたが暮らしている「地域」への思い・考えをお尋ねします。(項目ごとに単一回答)

【4 地域にずっと住みたい】



裾野市議会について

(1) 市議会の活動内容への興味・関心

市議会の活動内容への興味・関心については、「興味・関心が少しある」37.7%が最も多く、次いで「興味・関心がある」と「興味・関心がない」26.4%、「興味・関心はない」18.0%、「興味・関心がある」15.8%と続いた。「興味・関心がある」と「興味・関心が少しある」を合計した「興味・関心がある」は53.5%だった。

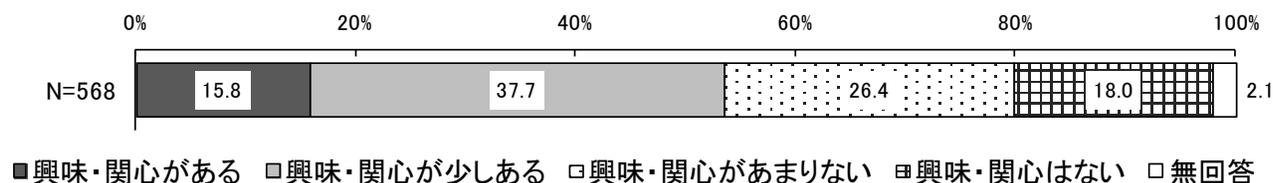
性別では、「興味・関心がある」の割合は男性56.9%、女性50.4%で、男性の方が6.5ポイント多かった。

年代別で見ると、「興味・関心がある」は20代32.3%、80代以上74.5%で、年代が上がるほど増加する傾向が見られた。

家族形成期別では、就学後家族の「興味・関心がある」57.8%が最も多かった。

居住地区別の「興味・関心がある」の割合は、須山地区64.0%が最も多かった。

問33 あなたは市議会の活動内容に興味・関心がありますか。(単一回答)



【クロス集計】

問33 あなたは市議会の活動内容に興味・関心がありますか。(単一回答)



設問中のその他の回答

各設問の選択肢のうち、「その他」の記入欄に寄せられた意見を取りまとめたものを掲載。

属性4：子どもの段階

※数が非常に多いため、代表的な回答のみを記載。

- 38歳（など、子どもの年齢）
- 会社員・パート（など、子どもの職業）
- 主婦
- 結婚している
- 独身
- 自宅にいる
- ニート

属性5：世帯状況

- 同居 【女性/60代/富岡】
- 職場の子と同居 【女性/40代/深良】
- 母、兄 【女性/40代/西】
- 母と子世帯 【男性/60代/東】
- 本人、義母 【女性/60代/富岡】
- 夫婦、母 【男性/70代/東】
- 夫婦と子1人 【女性/70代/富岡】
- 夫婦と子 【男性/70代/富岡】
- 夫婦と娘 【 /70代/富岡】
- 夫婦と、長男夫婦 【男性/70代/東】
- 隣に息子夫婦がおります 【女性/70代/深良】
- 夫婦と次男、母は施設入居 【 /60代/富岡】
- 親と子と孫 【女性/60代/富岡】
- 親、子、孫 【女性/80代以上/東】
- 母と妹夫婦、その子 【女性/40代/富岡】
- 母、妻、子、孫の4世代 【男性/60代/東】
- 子と孫とひ孫 【女性/80代以上/西】
- 施設入居 【女性/80代以上/西】
- 寮 【男性/20代/富岡】
- 5人 【男性/70代/西】

問 10 スポーツや運動の障害

- コロナで練習できない 【 /60代/富岡】
- コロナの影響でジムに行けない 【女性/30代/深良】
- 感染症の流行のため室内のスポーツ施設の利用を控えている 【女性/50代/西】
- ジムでの運動を考えているが、体育館は遠く、あまり綺麗でないので行きたくないし、新しくできたジムは月額費が高くて悩んでしまう 【男性/30代/西】
- 行きやすい、魅力的な施設がないから 【女性/50代/東】
- 安全に散歩する公園等がない 【男性/70代/富岡】
- 道路や歩道が狭い 【女性/40代/東】
- 水泳をしたいが、その為に子供を預ける場がない、又は難しい、保育園の利用条件には書いてあるが、実際にはタブー視されている 【女性/30代/東】
- 子供の習い事、送迎など 【女性/40代/富岡】
- 小さい子がいて、車移動ばかりになり運動不足 【女性/40代/西】
- 小さい子供がいるため 【女性/30代/深良】
- 母の介護をしている為 【女性/60代/西】
- 習慣が続かない 【女性/30代/深良】
- 仕事で疲れて動けない 【女性/30代/富岡】
- 移動が大変 【女性/30代/富岡】
- 会場が遠い 【男性/70代/須山】
- 子供とスポーツをできる場所が近くに無い 【男性/40代/富岡】
- 施設が市内には無い 【男性/60代/東】
- 家事がいそがしい 【女性/80代以上/東】
- プールの使用助成を充実してほしい（長泉のプール） 【男性/40代/西】
- 障害は無し 【 /70代/東】
- 現在の状況で特に問題はない 【男性/60代/西】
- ウェルピアながいずみの施設により、医療費が削減されるでしょう 【男性/70代/富岡】
- ラジオ体操、機械の足ふみ器 【女性/60代/深良】
- 毎日の散歩、特に問題なし 【 /70代/須山】

問 12 利用するスポーツ施設

- 家、自宅、自宅周辺 など（計5件） 【男性/20代/東】ほか
- 芝畑 【女性/70代/富岡】
- 自作農地 【男性/60代/富岡】
- 近所の空き地 【男性/40代/富岡】
- 民間のリハビリ施設 【男性/70代/東】
- 生涯学習センター 【 /70代/東】
- ヘルシーパークで歩き 【女性/80代以上/深良】

- ウェルピアながいずみ 【男性/30代/西】
- 自宅周辺の散歩、長泉町でのプール 【男性/70代/富岡】
- 市外の公園 【男性/80代以上/富岡】
- 市外のデイサービス 【男性/80代以上/富岡】
- 市外の運動場 【女性/50代/西】
- 企業の体育館 【男性/70代/東】
- 市内外の公道（ランニングで使用） 【男性/40代/西】
- 仕事で 【女性/70代/富岡】
- グランドゴルフ 【女性/80代以上/須山】
- ゴルフ 【 /60代/富岡】
- 散歩、金がかからない 【 /70代/深良】
- ウォーキング or 登山なので自然 【女性/60代/西】
- ウォーキングぐらいしかしないので場所はどこでもできる、施設は使わない 【女性/40代/東】
- 寄り道ウォーキング 【女性/60代/西】
- 今日散歩、1時間ぐらい 【 /80代以上/東】
- ドクターストップ中 【男性/80代以上/深良】
- 高齢のため 【男性/80代以上/西】
- 現在なし 【男性/60代/須山】

問 20 お墓の所有状況

- 市内の共同墓地 【女性/30代/須山】
- 私と主人は市外共同墓地に 【女性/70代/西】
- 昔からの共同墓地 【女性/60代/深良】
- 土地だけある 【女性/50代/富岡】
- 市営墓地は持っているが、お墓は持っていない 【 /80代以上/東】
- お墓は作っていないが、墓地は確保済み 【男性/70代/西】
- 市内の寺に有ります 【男性/70代/深良】
- お寺で永代供養 【女性/70代/東】
- 樹木葬で墓自体を必要としない形式を希望しています 【女性/60代/西】
- 夫婦二人の為、樹木葬等を考えている 【男性/60代/東】
- お墓を持つつもりはない（今後管理できる人物がいない） 【男性/70代/東】
- 持つつもりなし 【男性/60代/富岡】
- お墓に対する考え方が変わってきているので、新しい方向が出るのを待って、情報収集している状況 【女性/50代/東】
- 私の実家の墓はあるが、夫の実家には墓がないため、ゆくゆくは墓をどうするか考えないといけない 【女性/40代/西】
- 自分の土地にある 【男性/80代以上/西】

- 先祖の墓 【女性/70代/深良】
- 市外に持っている など (計3件) 【女性/60代/富岡】ほか
- 県外に墓がある など (計3件) 【女性/30代/西】ほか

問 25-1 外出時の『すそのーる』利用

- 前は利用していたが、本茶区で利用できない 【 /80代以上/東】
- 主にタクシー 【女性/80代以上/東】
- 一人行動ができなくなった 【女性/80代以上/東】
- コロナの為、すそのーるは使わない 【 /70代/西】
- 今はしないが、そのうち 【女性/70代/西】
- 時間、ルートなど不明で使いにくい為 【女性/60代/西】
- たまに使う 【女性/20代/深良】
- 学生の時に利用させていただいていました 【女性/20代/富岡】
- バス停が近くにない など (計2件) 【男性/70代/深良】ほか
- 地域で走っていない など (計8件) 【男性/70代/須山】ほか

問 25-2 『すそのーる』を利用しない理由

- スーパー、病院が近いから 【 /80代以上/東】
- いろいろ回ってくれるので、逆に時間がかかる 【男性/60代/東】
- まだ若いので、車を運転しなくなったら利用したい 【女性/50代/東】
- タクシー 【女性/80代以上/西】
- 興味がわからない 【女性/80代以上/西】
- 自分で運転できる 【女性/70代/西】
- むだだと思っている 【女性/70代/西】
- 目的地に行くには乗りかえなくてはならなくて、どのバスにのっていいかわからないそうです 【女性/60代/西】
- どこで停車するか不明 【女性/50代/西】
- 運行時間が通勤向けではない 【女性/40代/西】
- くわしく知らない 【女性/30代/西】
- 歩行困難なため 【男性/80代以上/深良】
- 社会福祉協議会介護タクシー 【女性/70代/富岡】
- 目的地まで時間がかかる 【男性/40代/富岡】
- 知らないから 【女性/20代/富岡】
- 地域で走っていない、ルートがない など (計8件) 【男性/70代/富岡】ほか

問 27 「広報すその」でよく読むコーナー

- 全体、全てよく読んでいる、全部に目を通す など (計9件) 【女性/80代以上/深良】ほか
- 表紙 (計2件) 【男性/60代/東】ほか

- 催し物情報 【男性/30代/東】
- 図書館だより 【女性/40代/東】
- 税金関係のお知らせ 【 /60代/東】
- 広報すそのがない 【女性/50代/富岡】
- 「広報すその」を余り見かけない 【男性/40代/西】
- 日本語の読み書きが完璧でないため読めない 【男性/70代/東】
- その時により 【女性/50代/西】
- 2ヶ月に1度の発行でいいと思う、経費節約！ 【男性/40代/西】
- 見てない、印刷代の無駄なのでWEBで発行してください 【男性/30代/西】
- 知らない 【女性/30代/西】
- あまり読まない、読んでいない、見ていない など（計23件） 【女性/20代/深良】ほか
- 配布されていない、来ていない など（計4件） 【男性/40代/富岡】ほか

問 28 市の情報の入手方法

- Twitter 【女性/20代/富岡】
- 一度アプリを利用したが、チャイルドシート助成のページから担当課に連絡したところ別の課ですと言われ、違う課が担当課として書かれていて不審に思い、あまり更新もされないのので利用しなくなって、以後は電話で問い合わせしている 【男性/20代/東】
- googleのキーワードによりサジェスチョンされた裾野市に関するニュース 【男性/30代/富岡】
- 携帯 【 /60代/東】
- 家族に聞く 【 /70代/西】
- 市内の知人に聞く 【男性/70代/東】
- 町内の人に聞く 【男性/70代/富岡】
- 自治会 【 /80代以上/西】
- 回覧板 【 / / 】
- あまり調べていない、読まない、なし など（計6件） 【男性/20代/深良】ほか

自由意見

調査票の最後に設けた自由意見記入欄に、市民の皆さまから寄せられた提案・意見を取りまとめた。
頂いた提案・意見は主なテーマごとに分類した。

《子育て・教育》

- 年に1度の子供手当の現況届の提出を郵送でも可能にして欲しい。子供の医療費を全額免除して欲しい。
【女性/40代/東】
- こども医療費の制度が、いまだに裾野市だけ、近隣の市町と比較して、小学生から高校生まで助成が全額ではない。三島市、沼津市、清水町、小山町、長泉町は全額助成してくれるが、なぜ裾野はやらないのか。御殿場が近隣だと全額ではないから裾野もやっていないのか。国も保育園や幼稚園を3歳から無料にするなど少子化対策に取り組んでいるように思ったが、裾野は少子化対策について何も考えていないように思う。こども園も無いので、若い世代のニーズ、子育て世代のニーズに応える制度を整えていただきたい。
【男性/20代/東】
- 2人目からのチャイルドシートの補助金がなくなってしまったのが残念です。
【女性/30代/富岡】
- 子育て世帯への補助などの充実度が、周りの市町に比べて少ないと思います。頑張らないと子育て世帯が他の市町へ行って、老人の市になってしまいますよ…。ムリしてでも頑張るべきです。
【女性/40代/西】
- 「お金が無い」この事については理解します。ただ、なぜ一律に予算を削ってしまうのか。教育は将来への投資。良き納税者を育てるのは教育だと思います。是非、教育へは手厚い支援をお願いします。
【女性/40代/西】
- 子育て世帯をもう少し支援して頂きたい。特に、今の時期コロナで収入減となっているので。
【女性/40代/西】
- 人数が少なすぎる小学校（向田小）etc.（中学校もあるのだろうか…）は、人数の多い小学校と統合すべきかと考えます。そして、スクールバスを出せばいいのでは？空いた校舎もビジネスやイベント誘致して…有効活用して盛り上げていけばよいと思います。
【女性/40代/西】
- 乳幼児や小学生が遊べる支援センターが近くにない。不登校の子供の支援が充実してない。相談できる場所が無い。学校に行けない子が教育を受けられる体制になっていない。
【男性/40代/富岡】
- 裾野市だけではなく全体的に言えることですが、「子育て世代」と言われる対象が概ね中学生までと捉えているところに疑問を持っています。支援を考える上でも高校生や大学生の子を持つ世帯はほぼ含まれていません。子供を育てたことのある方には理解していただけることが多いかと思いますが、学費にかかる金額とそれらが生活費のなかで占める割合は格段に大きくなります。様々な要因で景気も上がらず、賃金の上昇も厳しいなかで維持していくことは、どの家庭においても大変だと思います。それらを踏まえた上での市の対応を期待しています。
【女性/50代/西】

《生涯学習》

- 図書館の駐車場が広くなり、ありがたいです。以前より駐車できる場所が増えたため、とても利用しやすくなりました。
【女性/40代/富岡】
- 図書館の蔵書を増やしてほしい。市民文化センターや生涯学習センターももっと活用しては？
【女性/60代/深良】
- 裾野市総合グラウンドに周回コースを作って欲しい。
【女性/20代/富岡】

- セカンドライフの仕事として農業に興味があります。体験や支援などを充実していただけるとありがたいです。
【男性/40代/西】
- 市の講座で毎年講師が変わらず、花は親の代からずっと続けている方がいますが、これはおかしいです。担当の係の方は何とも思いませんか？花の先生は流派によってたくさんの方がいらっしゃいます。1つの流派だけの講座ではなくて、いろんな先生の起用も良いと思っています。これからはもう少し他の流派の立派な先生方のご活躍を期待しています。1人の先生が市の講座で何十万も稼ぐことがおかしいです。花だけではなく他の趣味の講座でもあると思いますが、片寄りはおかしいです。公平な運営をしてほしいと思います。 【女性/60代/西】
- 長泉町の運動施設（ウェルピアながいずみ）のような施設が、裾野市にもあれば良いと思います。それが無理なら、ウェルピアながいずみを長泉町民と同じ料金で利用できるようにしてほしいです。 【女性/40代/東】
- 現在の市民体育館のトレーニング室の利用について大変不満です。私は、かなり平均より多額の市税を納めております。まったく税金を納めていない人と利用に関して同条件なことが不満です。 【女性/40代/深良】
- 現在の住いは便利な場所にあるので、特に不満や心配はなく、会社員と主婦をしながら地域に参加している状況なので、あまり地域の活動に参加できていませんが、退職したら色々してみたいと思います。全体的に住みやすい市だと思っています。運動（スポーツ）についてはサークルや施設等は時間の都合もあり現在行なっていませんが、週1回休日を利用してウォーキング or 登山等で体を動かしています。時間的にゆとりができれば、市内のスポーツ施設の利用も考えています。 【女性/60代/西】
- 職場を持たない老人世帯にとって、婦人会も老人会もとうの昔に解散しており、コミュニティを醸成するきっかけすら無い地域になっています。市の生涯学習を担当する職員による自治会指導が行われることはできないでしょうか。 【女性/70代/富岡】

《福祉・医療》

- 大学病院クラスの病院が裾野にあるとかなりうれしい。（理由として、車が使えない場合、移動に片道で2～3時間かかってしまうので、高齢者の方々や小さいお子さんと一緒だと通院時間だけできつと思います）と言うことは高齢になって病院に通っている場合、どうしても車が必要なので免許証返納しにくくなる？
【女性/30代/富岡】
- 歯科検診が有料なのは理解できない。財源は充分にあるはず。裾野市よりも収入が少ない自治体でも無料な所は山ほどあるので、無料化にして欲しいです。 【女性/40代/東】
- 裾野赤十字病院をもっと充実した病院にして欲しい。外に行かなくても良い様に。 【女性/70代/西】
- 乳がん検診はエコーも対象にしてください。マンモだけでは心配です。 【女性/40代/東】
- 親の介護をしているのですが、介護タクシーの利用について非常に不満です。主に通院での使用になりますが、当日は勿論のこと、数日前の予約ですら取れないことも多く、今では1か月前から予約を入れています。基本的に私が連れていきますが、仕事や家庭の都合でどうしても都合がつかないときには非常に困ります。市民数に対する介護タクシーの割合が少なすぎるというのは如何なものでしょうか。健康文化都市など、申し訳ないのですが「真剣に考えているの？」と思わざるを得ません。今後の高齢化社会を今一度厳しい目で見て考慮していただければと思います。 【女性/50代/西】
- 裾野市も予算が無い様でわかりますが、敬老の日には何も無いですね。せめて何か1つ位あってもいいと思います。楽しみもなくなり寂しいですね。 【女性/60代/富岡】

- コロナがまた広がりつつある中、裾野市ではまだ確認されてはいないが医療体制はどうなのかは気になる所です。
【男性/30代/深良】

《商業施設・企業誘致》

- スーパーマーケットを富岡中付近に作って欲しい。【女性/20代/富岡】
- 246号沿いに富士山ビュースポット付きの道の駅を作って欲しい。【女性/20代/富岡】
- 買物をする場所が家から遠い。スーパーや薬局などは良いが家具や服等買いたい時は困る。出掛けるには大きな道路を通るしかなく、運転が不安。霧の多さも問題。【女性/20代/富岡】
- 居酒屋の件数が少ない。【男性/20代/西】
- 246号沿いに何も無い。旅行者は通過するだけだと思う。ファミレスチェーン店があると良い。商業施設が少ない。若者に居住を訴求できない。【男性/30代/西】
- せっかく東名ICがあるので、県外からも来客が考えられる大型の施設があれば良いと思います。
【女性/30代/富岡】
- 御殿場市・沼津市は大型商業施設、長泉町は子育てに優しい若い世代の町、裾野市は…？と言う印象。全国に誇れる何かがあれば、より活発な市になれると思います。例えば、若い世代を集めるために全国に誇れる子供から大人まで楽しめる巨大なアスレチックパークを作るとか、若い世代が集まれる施設があると楽しいと思います。富士山こどもの国は普段遊びにはちょっと遠い…。買い物は御殿場、沼津に行くので遊びは裾野で。
【男性/30代/富岡】
- 裾野市内に大型のショッピングモールを誘致して欲しい。【女性/40代/東】
- スーパーを増やしてもらいたい。【男性/40代/西】
- 買い物をする場所、魅力あるお店を増やして欲しいです。【男性/40代/富岡】
- JA なんすん富岡支店にふれあい市場を作ってほしい。裾野に1つしかなく混雑。R246に道の駅を作ってほしい。【男性/40代/富岡】
- 買い物をするのに、商業施設がほとんど無い。もっぱら、御殿場、沼津、富士宮など、市外に行かざるを得ない。食事にしても家族で行ける店が2〜3店しか無い。ぜひ市内に誘致を！【男性/60代/深良】
- 市内にはほとんど店屋（ラーメン屋、レストラン、その他）がありません。ほとんどの買い物は三島、沼津、長泉、御殿場などに行かなければならない。【男性/70代/東】
- 商店の元気が無い。【男性/70代/西】
- 国道246（深良～千福）までの間にガソリンスタンドが多く、飲食店が少ない。だから御殿場・沼津まで足を運ばなければならない。ヘルシーパークの（1枚）無料配布券はいつからなくなってしまったのか？他縣市街から裾野に行けば何でも揃うよ！！と思う大型のショッピングモールが必要と思う。車関係の企業では魅力を感じない。【男性/50代/富岡】
- ヘルシーパークの料金が上がったので行かないと言う声が多いです。もう少し考えてください。【女性/70代/深良】
- ヘルシーパーク利用料金の値上げについて。値上げ幅が大きく負担がありすぎて、市民の為の施設から遠のきました。以前は良く行っていました、あれから一度も行っていません。市民の為の利点がほしいです。
【女性/70代/東】

- 調整区域が多すぎて何をすることも何もできない。調整区域の緩和を強く願います。企業が入って来やすい町作りをし、税収入を増やし、豊かな裾野市になってほしいです。空いている土地の有効活用をした方がいいと思います。 【男性/30代/富岡】
- 市街化調整区域の見直しと、中小企業の育つ環境作り。人口増加できる体制作り。地元企業育つ環境作り。 【男性/70代/深良】
- 裾野市の人口を増やすため、調整区域、住宅区域の区分を無くしてもらいたい。(人口増と企業誘致により市の財政増加に注力願いたい。) 【男性/70代/東】
- 店舗がどんどんなくなっているイメージ(レンタルショップ、本屋)。例え裾野でビジネスを始めたとしても、うまくイメージがわからない。ICTなどの取組を積極的に行う必要性を感じる。ウーブン・シティが来て、周辺が活性化していくことを期待する。 【男性/30代/深良】
- ウーブン・シティができるのは良いが、あの辺りの買い物施設はスーパーが1つしかない。供給が足りなくなるのは目に見えているので、積極的に誘致して欲しいが、しかし、交通量自体も増えると思われるので渋滞しない様な道幅が広い幹線道路沿いをお願いしたい。 【男性/30代/富岡】
- 裾野の良い所が目に見えないので、何も良くなっていると思えない。ずっと昔のまま。多分この先もこのまま。せっかくウーブン・シティが来るが、結局生かせず、裾野のためにならず終りそう。色々考えて仕事をして頂いていると思うが、目に見えなければ意味がない。税金いっぱい集めました！！と言われても何も思わない。難しいと思うが、大きなデパート(1カ所しかない)ができる、遊ぶ所ができるなどが無いとつまらない。 【男性/40代/東】
- 企業誘致を是非進めて下さい。 【 /50代/西】
- 裾野市は、環境は良いが、企業誘致が下手である。近隣の市町村は努力され、人口増加や企業誘致されているのに、裾野市だけが取り残されている状態です。 【女性/50代/富岡】
- ウーブン・シティとの裾野市としての連携や戦略、方向性についての情報発信をお願いしたい。関連企業や団体の誘致等、取り組んでいただきたい。 【男性/50代/富岡】
- ウーブン・シティの情報公開。 【女性/50代/西】
- ウーブン・シティと共に発展する街になろう！ 【男性/60代/西】
- 2021年以降、ウーブン・シティ計画が展開される事になり、市との連携が重要視されます。地域の再成にも繋がり、活性化が見込まれます。私が住む地域も2km圏内に在り、周辺地域と思われれます。現在市内の土地利用は市街化調整区域等の規制に縛られ、活用が進んでいない現状です。この現状を鑑み、周辺地域の活性化を図るよう規制緩和の措置の検討をよろしく願います。 【男性/70代/富岡】
- 大企業・大学の誘致、戦略的幹線道路作りが、必要ではないですか。 【男性/70代/富岡】

《駅と周辺》

- 駅周辺を便利にしてほしい、駅周辺を活性化してほしい。 【女性/30代/西】
- 土地は広く富士山の景観もすばらしいのに土地の使い方がうまくない。裾野駅、岩波駅周辺ごちゃごちゃして利用したいと思わない。道が入り組んでいて狭く、住みたくない。かと言って駅から離れると何も無い。 【男性/30代/富岡】
- 駅前の個人商店が区画整理でなくなってしまうのは残念だ。 【女性/40代/東】
- 駅前開発は何かしてもらいたい。いったいあれは何？ 【男性/40代/東】

- 裾野駅周辺は、いつまでゴースト街道のままなのか？閉まっている店舗ばかりで、年々すたれている。新しくなった店舗は、特に生活に必要な店ばかりで実用的ではない。土地を高く売り、高そうな建物を建てて、駅前の住人は街のことより自己満。私は神奈川から来たが、あちらの商店街は買い物がしやすく、人が集まる。裾野は住みやすいが、パチンコ屋ばかりで、活気がない。新しく転入する人は増えないと思う。魅力に欠ける。子供への手当には日々感謝している。ガンバレ！！スソノ市！！ 【女性/40代/富岡】
- 裾野駅前のバス停に屋根がないので、雨で濡れてしまう。駅前商店街のお店が利用しにくい。駐車場が少ない。 【男性/40代/富岡】
- 駅前工事、いつ終わるやら…広場・ベンチができればお年寄も散歩（外出）しやすくなるのでは！？ 【女性/50代/東】
- 岩波駅は電車発着時、歩行者が多く、高架化ができれば良いと思います。駅周辺にスーパー（小さくても）が欲しい。 【女性/50代/深良】
- 駅周辺の活性化。 【女性/50代/西】
- 駅西側南北の商店街がさびれている。駅舎周りを早く整備して欲しい。 【女性/70代/西】
- 裾野駅表口の整備が一向に進んでいない様に見える。建て直しても店をやめ民家になるのなら、駅前は発展しないと思う。 【男性/60代/東】
- 駅前広場の完成に予算を集中し、早期の完成を願いたい。 【男性/70代/東】
- 駅に降りても周辺に店も少なく目的地に行くのに遠くて便が悪い。 【男性/70代/西】
- 駅周辺の整備（特に駅前ロータリー部分）はなかなか終わらない。「住宅地にした」という事は、あまり駅周辺の発展を考えていないのかと思う。 【女性/50代/富岡】
- 駅の工事は何年経てば終わるのか。 【男性/20代/西】
- 裾野駅周辺の開発や道路整備が不完全な状況なのがすごく気になる。もう少し、駅周辺が活発な感じになればいいと思う。 【男性/30代/深良】
- 一日も早く、裾野駅を実現してもらいたいと思います。 【女性/50代/深良】
- 駅前整備を早急に！！ 【 /60代/富岡】
- まわりの市町に比べ魅力が少ない。駅前の整備もただ道路を広げる、綺麗にするではなく、総合的にプロデュースすべき。せめて駅周辺の中心部だけでも電柱を地中へ埋める etc. 駅前に広大な人の集まる公園緑化施設（図書館も一体となったような）をつくるなど大胆な計画が必要だと思う。中途半端が一番ムダ使いになる！！今からプロフェッショナルに頼んで、どうせお金を使うならしっかりやらないといけない。 【女性/40代/西】
- 裾野駅西側の商店街の整備がなかなか進んでいません。このままでは裾野に来られる方に良い印象を与えず、魅力がありません。将来ウーブン・シティがある様ですので、街づくりの専門家をまじえて素敵な街並みにならないものかと考えます。予算を最優先にして整備して頂きたいと思います。 【女性/70代/東】
- 裾野駅前を早期に整備してもらいたい。車で駅前に行こうとしても、入口がわからず出口もわからない。駅前入口の信号機の所に看板を設置してほしい（これからどうなるのかを時系列で完成予想図）。なかなか開発している進捗状況が目に見えてこない。裾野駅前はお客様が初めて裾野市に入る入口ですので、よろしく願います。 【男性/60代/深良】
- 裾野駅西側の整備について。何年計画でやっているのでしょうか？何年たっても変わらず、完成がみえてきません。きれいにしているはずが、さびれていくようにみえます。 【女性/70代/東】

- 駅前を早く整備して下さい。（御殿場線の中で「降りたくない駅 No.1」になっている。） 【女性/70代/東】
- 駅前の開発はこれ以上必要ない。昔の様に人が出がない。 【 / / 】
- 裾野駅西地区区画整理事業内の未実施地区を3年以内に実行、中止のメドを付けてほしい。 【男性/70代/東】
- 高校生の子どもを裾野駅まで送迎する時があります。送迎用の駐車場が少なすぎて不便です。駅のロータリーも、バスやタクシーばかりが優先されて、自家用車はとても不便です。せっかく多額のお金を投じて行っている事業なのだから、もう少し市民や来訪者が利用しやすい裾野駅にして下さい。 【女性/40代/東】
- 裾野駅の駐車場を整備してほしい。利用しづらい。工事が長いし、もっと他の所でもすれば良いのではないのでしょうか。迷惑にも思っています。 【女性/20代/西】

《地域振興、人口対策》

- 良い病院、良い学校、高級スーパー、ショッピングセンターを充実してほしいです。本当はここに住んでも良いと思いますが、良い学校がないため県外へ引越を考えています。病院も都内まで通っています。買物はスーパーすら市外です。必要な物をそろえれば移住者も増えると思います。 【女性/40代/富岡】
- 先の将来を見据えて裾野を開発してくれる人はいないのでしょうか。これから増々人口減少していきます。このままでは裾野は大変な事になるのではないかと…と思っています。 【女性/40代/富岡】
- 若い世代の家族（世帯）と高齢の家族（世帯）がお互いにうまく助けあっていけるような工夫をもっとしてはどうか。お互いにメリットがあれば、自然に住みやすさも感じられてくると思う。相方の困っている部分を補うための企画。施設などを市でもっと作り出してほしい。 【女性/50代/富岡】
- 人が集まる町づくりに期待します。 【女性/60代/東】
- 駅前開発（他の地域も）を早急に実施していただくこともさることながら、ウーブン・シティに沿うようなまちづくり構想を早急に構築して、ワークライフバランスが提唱できるまちづくりをしてほしい。人口2倍化がアウトプット。 【男性/60代/東】
- バイパス沿いの開発をもっと推進してほしい！！富岡地区活性化をお願いします。 【 /60代/富岡】
- 地理的には申し分の無い土地だと思う。気候も一年を通して穏やかだと思う。交通的にも裾野インターもあり、新幹線三島駅も決して遠くない。市が総合的に開発を意識していれば（現状に拘泥せず）環境自体は可能性の高い地域であると思う。ウーブン・シティに拘わると結果を出せないのでは無いと思う。旧弊に取られる。（御殿場線裾野駅が市の中心）と将来的にも発展する事は無いと思う。 【男性/60代/東】
- 道路が狭隘地への住宅建築が野放し状態になっている所が見られる。 【男性/80代以上/西】
- 裾野市は市街化調整区域で野ざらしになったままの土地が多いので、有効活用した方が良いと思います。 【男性/30代/富岡】
- 地区の仕事が多すぎる。（区長や、体育委員、保健委員、班長などの役割）世帯数が少なく、年寄りばかりのため、若い人はすぐに順番が回ってくる。いらぬ役割は無くすか、仕事を減らして欲しい（ソフトボール大会や、バレーは、やりたい人が勝手にやればいい）。仕事で夜遅くまで働いて、休日は区の仕事で休めないのなら、若い人は住みやすい町に移動してしまう。もう昔とは状況が違っているということを知っていただきたい。 【男性/30代/西】

- 1人暮らしで夜勤のある仕事をしているので、行事など出るのはほぼ無理。当番制の事が多すぎて住みづらい。ローンを払っていて生活厳しいのに、公民館を建て替えるのでお金を徴収すると言われても余裕がない。今の時代に必要不可欠なものなのか？疑問に思う。 【男性/40代/西】
- 自治会の有り方を見直すべき。高齢者が多く若い世代が少ない。今までと同じように役員や委員長がある。組の分け方もあいまいで、世帯が多い組、少ない組があり、不公平である。区で話しても決まらない。市の方へ言っても困ることなのかもしれないが、今後どのようにして裾野市に人を集め、永住して頂くかを考えているのであれば、自治会の考え方を改めて欲しい。若い世代は、集まらない。昔は良かったことでも、現在は良くないこともある。もっと新しい考え方を取り込んで欲しい。尚、私は裾野に住んで7年程だが、区でゴミ減量委員長と、体育委員長をやった。20年、30年住んでいる人でも一度もやったことがない人もいる。市に言っても意味がないかもしれない。しかし、不公平であることは、認知して欲しい。 【男性/30代/東】

《公共交通》

- 裾野駅および三島駅への公共交通機関を整備して欲しい。市全体に活気と魅力がなく、一生を終える覚悟を持ってない。子供が成人したら移住を考えている。 【女性/40代/東】
- 三島駅までのアクセスを改善すれば（公共交通機関）都心へのアクセスがよくなり、住民が増えると思います。期待をしています。 【 /50代/西】
- バスの運行場所、本数は利用者が少ない場合商売にならず、難しいかと思えます。（市内独自で新しい取組が必要かと思えます。例：個人タクシー等。） 【男性/40代/富岡】
- 千福が丘のバスがなくなりそうで不安。これが解決されないと、市外転出を検討する。 【男性/60代/富岡】
- ビオパークから都市部へのアクセスが悪く、パノラマロード経由の岩波駅へのバスが欲しい。 【 /70代/須山】
- 「すそのーる」をよく見かけますが、いつも殆ど乗客がいなくて、対象と考えているのは、どの年代なのでしょう？学生は、登校時には合うかもしれませんが、部活後の帰宅時には運行していない。又、高齢者を対象とされているなら、駅よりも、スーパーや銀行、農協、郵便局に停まる方が利用客は増えると思いますが…。何の為のバスなのか、理解できません。 【女性/50代/東】
- 「すそのーる」は、高齢者は無料でいいと思います。 【女性/50代/東】
- 「すそのーる」はいつ見ても乗客はほとんど乗っていません。将来、高齢者が増える事を考えると無くすことはできないと思いますが、マイクロワゴン車や、必要な人が何らかの方法で利用できる様にするなど、工夫できないかと思えます。 【女性/70代/東】
- 「すそのーる」を利用する時は本茶から向田小まで行って利用している。歩くのに大変である。女房は「すそのーる」で通院していたが、今はタクシーで通院。 【男性/80代以上/東】
- 「すそのーる」に多額の税金を使いすぎだと思えます。乗っている人をあまり見ない。ムダなのでは？ 【女性/20代/西】
- 裾野⇄三島（桜堤経由）の路線バスをもう少し増やして欲しい。70歳になったら免許返納しようと思っているが、現状のままで自由に活動できない。「すそのーる」がルート変更で通らなくなったので、不安を感じる。 【女性/60代/西】

- 自営業の事務と主婦と、父母の介護とで、とても自分の自由になる時間が無く、日曜日の1～2時間、中央公園でひと休みぐらしか楽しみがありません。またコロナで買い物も時間をずらして、早朝とか夜、夕食が終ってからなど、今は60代ですが、あと10年後どうなっているか…想像するだけでゾッとします。母も「すそのーる」を利用したいそうですが、裾野赤十字病院に行くには、乗り換えなくては行く事ができないようです。私もルートがよくわかりません。広報にルートが年に1回しか掲載されませんから、季節によって「○ルート（西・東）の○（場所）のさくら、つつじ、あじさいが見頃です、ピクニックにいかがですか？」とか、ただの店・駅に行くまでの交通手段でなくて、親子のマナーセミナーとか、裾野名所案内とか企画したらいいのに。富沢地区の中学生を「すそのーる」に乗せる事はできませんか？
【女性/60代/西】
- 今の所、自分の車で移動できるが、10年後を考えると「すそのーる」が重要だと思う。
【女性/70代/西】
- 「すそのーる」バス、人がほとんど乗っていない様な状態で走っている。もっと小型の車に変更したらどうか。
【男性/70代/西】
- 「すそのーる」の利用者が少ない。乗車ゼロを何回も見ている。運賃の見直しが必要なのではないか（無料にする）。休日の運行を実施するとか、市民にアンケートを取ったら良いと思う。
【男性/70代/西】
- 「すそのーる」、いつ見ても乗っている人がいません。ムダではないでしょうか。本当に必要としている地区に、「すそのーる」は必要だと思います！富岡地区でバス通学している子供達に利用できないでしょうか。
【女性/40代/富岡】
- 「すそのーる」を千福が丘まで運行して下さい。お年寄りの交通手段が限定されています。朝夕路線バスのみで、お買い物や通院が不便。下からの登り、下りの距離が長く、タクシー代もかさむ。お年寄りの行動時間は、通学者の後の昼間の時間。交通手段が無い。年ごとに高齢者の人口が増えているので考慮して欲しい。
【男性/50代/富岡】
- 「すそのーる」は一度乗ってみたいです。今はマイカーですけど、いずれは高齢者です。きっと、「すそのーる」を使用するでしょう。いつまでも、「すそのーる」を続けて下さい。
【女性/60代/富岡】
- 現在は、まだ運転できますけど、5年先が、「すそのーる」も通っていない所なので、病院や、その他の事が不便になります。
【女性/70代/東】
- 免許返納した際に、又は高齢者への補助が裾野市はない。近隣市町はあるので、タクシー券など検討して欲しい。
【女性/70代/西】
- 歳をとって自力で遠くの町へ行けなくなった時、「すそのーる」に乗って市街地へ行き楽しく買い物ができたり、おいしい物が食べられたり、いろいろ寄り道をして歩き「すそのーる」で帰って来る。そんなことができたらいいなと思う。
【女性/60代/深良】
- 歩いて5分以内のところにバス停など、移動交通手段があるとよい。一人で気楽に出歩きたい。
【女性/80代以上/深良】
- 現在、呼子地区に暮らしていますが、高齢になり運転免許証を返納した場合、市街地までの買物等移動手段に不安がある。「すそのーる」は呼子まで運行しないし、どうでしょう。市で分譲した土地を購入したのに生活に不便を感じています。
【男性/50代/富岡】
- 今は車移動で生活していますが、将来的に運転ができなくなったら住みづらと思います。近くは空き家が多いですね。買い物も宅配などを時々利用しています。高齢になっても安心して住める様にして欲しいですね。
【女性/60代/富岡】

- 現在、私は公共交通機関の少ない地域に住んでいます。歳を取って車の運転ができなくなって、買物・病院通院に不自由する事を考えると、心配です。近所を見ても年齢が同じ人が多いので、免許を返納するまでに何かの対策を考えてもらいたいと願っています。 【 /60代/富岡】
- 私達の地域には「すそのーる」の運行はありませんが、須山にあるレジャー施設の恩恵を受けて路線バスに恵まれておりますが、市の中心部に向かう事が不自由になります。今現在はまだ車の運転ができますが、5～10年後はわかりません。 【男性/70代/須山】
- 「すそのーる」は私の地域には来ていないと思います。十里木高原ですが、高齢者も多いので是非、こちらまで来て欲しいと思っています。高齢になると、こちら別荘地に住む人も少なくなります。バスが走っていますが、元大昭和の別荘地は来ていません。バスが走ってくると、もっと多くの人に住んでくれると思います。また、近くにコンビニやスーパーができるのもっと有難いと思います。 【女性/70代/須山】
- 民間バスは空車が多い。燃料をムダに使っている。エコになっていないと感じる。又、路線を確保する目的だけで運行させる事は、他業者のくい込みの邪魔をしているだけで、発展性が無いし、ムダに補助を出していると感じる。皆が（業者も市民も）ハッピーになれる取組に期待します。 【男性/60代/富岡】
- ヘルシーパーク行バスに途中下車してもよい客を乗車させてはと思う（「すそのーる」と同じようにしてはと思う）。 【 / / 】

《道路》

- 麦塚から岩波方面へ抜ける道が荒れている。交通量もあるため、舗装して頂けると嬉しい。 【男性/30代/西】
- 道路の整備を早く進めてもらいたい。 【男性/40代/東】
- 通勤時間帯に道路工事や電気工事をやるのはやめて欲しいです。渋滞の原因となるので時間をずらしてやって欲しいです。 【女性/40代/東】
- 道が狭くて困る事が有ります。 【女性/50代/東】
- 駅や道路の工事が途中で止まっている様な印象をうけます。又、何故、こんな所にこんな広い道路が？と感じる場所もあります。 【女性/50代/東】
- 東地区の畑の中の道路（先が見えない…費用は！？）必要ですか？ 【女性/50代/東】
- 三島駅への裾野市側の道路整備を急ぎ、裾野市は暮らしにも、通勤にも良い街だという印象を創っていただきたい。（裾野市には特別な観光地もないため） 【男性/70代/東】
- 東地区の中途半端な道路を早く繋いで。裾野に入った途端、暗い道路が多すぎる。せめてメイン通りを明るく！！ 【女性/70代/東】
- 市内の道路は歩道整備されていません。早急に子どもや高齢者が安心して歩ける歩道を作ってください。平松、深良線の道路完成を皆さん待ち望んでいます。 【男性/70代/東】
- 車道は広くしているが、歩道は広くしないのか。 【男性/20代/西】
- 道路の舗装についてですが、少しでもいいから改善できる所から直してもらいたい！ 【男性/40代/西】
- 市内の道路ですが、雨の日に傘をさして歩道を安全に歩けません。狭い上に電信柱や植込みがじゃまになる所が多々あります。道路は車が走行するだけではないはず。これから免許を返上する年代が増えれば歩行者も増えます。安心して歩けるよう、道路整備に予算を使っていただきたいと思います。 【女性/60代/西】
- 裾野市は道路が狭い。周辺の長泉を参考にしたらどうか？ 【男性/70代/西】

- 246号線の渋滞緩和に取り組んで欲しい。【女性/20代/富岡】
- 道路設備に大変不満があります。子供の通学路（須山街道）に歩道がなく、すぐ近くを車が高速で走っていて、いつひかれてもおかしくありません。夜に街灯がない道が多くあり、暗くて自転車などにぶつかりそうになります。脇道から県道などに出る所にカーブミラーが無いため、車が出にくい。【男性/40代/富岡】
- 駅前開発より、車社会に適した場所を開発するべき。【女性/50代/富岡】
- つながっている道路、抜けやすい道を作ってほしい。246と須山街道、旧246、広域農道など、どれも乗り換えにくいです。長泉のようにきちんとした道をつくらないと通りにくくて使わなくなってしまう気がします。車を利用する事が多いので、駅周辺より、246沿いの開発をしてもらえると生活しやすいです。よろしくお願いします。【女性/50代/富岡】
- 千福が丘～須山方面に抜ける道路開発、願いたい。1本道では災害時不安であります。【 /60代/富岡】
- 須山4区（十里木）地区（850m）は地区民が交通上の危険を常時感じている。人家南側へのバイパスルートを実現して、地区の安全安心を実現してください。当地区の道路は大型車両が通行できる道路ではなく、又拡幅道路は地区民にとって危険度が現在より大きくなる。現道を通行中の大型車は徐行してのすれ違いをしている。【男性/70代/須山】

《公園・プール》

- 長泉や御殿場のような、子供が遊べる大きな公園などを作って欲しい。【女性/30代/西】
- 自然はあるが、自然をゆっくり感じられる場所がない。特に公園は、ごちゃごちゃした中にしかなく、ゆっくりできない。景観も何もない。運動公園だけはすばらしいが、車で行く必要があり、近所にふらっと行ってリラックスできる緑地公園、ジョギングコース、ジム等の運動施設が欲しい。長泉町の様に。【男性/30代/富岡】
- 公園が少な過ぎる。【男性/40代/富岡】
- 実家の街では、市中の公園に、朝6:30ラジオ体操が流れ、それに合わせて高齢者が集まり、お喋りして、モーニングやお茶して散っていきます。裾野にもそんな場所があれば、交流が生まれ、魅力的になるのになあ…と感じます。（←市の幼稚園・保育園・小学校の園庭、校庭を活用しては？）【女性/50代/東】
- 緑地公園が少ない。（隣の御殿場市に比べて）フラットな作りの公園が無い。【 /70代/東】
- 須山地区公園の計画は進んでいるのか？【 /70代/須山】
- 市営プールが閉鎖されてしまって、水泳ができない。子供が遊べるような公園が少ない。【男性/40代/富岡】
- プールがなくなって不便になりました。温水プールをぜひ作って欲しいです。市県民税を支払っておりますが、あまり公共サービスが充実しておらず、見直していただきたい。【女性/40代/富岡】
- 屋内市営プールを作って欲しい。【女性/40代/西】
- 駅前開発に使う税金を新しい市営プールの建築に使用して欲しかったです。プールが老朽化で、作り直す予定もないなんて、裾野市民であることが悲しくなります。他の市は屋内プール施設があります！子供の気持ちも考えて欲しい。【女性/40代/富岡】
- 30年以上前に裾野市に移り住みました。当時市営温泉プールがなかったのですが、市財政から考えてすぐできるとしていました。隣接の町がどんどん良くなるのを見ると、正しい運用ができているのか疑問です。【男性/60代/富岡】

- 市政の方向性がわからない。高齢者の人口が多くなっているのが、今の現実。ストレスの発散や生活習慣病予防、基礎代謝の向上の為に運動による効果があると思う。施設（プール・ウォーキング）が無い市に…。トップ交代希望。 【男性/60代/東】
- つい先日、私の子供、知り合いの子供と私（計7人）で川遊びセット（アミやバケツ、サンダル）を持参し、中央公園（黄瀬川と佐野川の合流地点の川辺の砂浜）へ行きました。夏場を中心に毎年数回利用させて頂きますが、今回初めてそこには「立入禁止」の札がありました。数日前より楽しみにしていた子供たちの手前、私はたいへん困惑し、なぜダメなのか？と判然としない点が残りました。その日は何もできずそのままひき返しましたが、私たちと同じ思いをしたグループは他にも多数いると思われます。中央公園は整備された安全、安心に自然にふれ合える場所です。このままでは私たちはとても承服できません。楽しみを奪わないで下さい。梅雨が明け本格的な夏になる前に、どうか早急に対処してもらえ様、担当の方にお伝え下さい。 【男性/40代/西】

《自然・景観・観光》

- 長泉町を手本とした街づくり。首都圏からの観光客を呼び込み（登山、ハイキング客をターゲット）電車で訪問する人々を想定し、ハイキング後、ヘルシーパークへバスで行ける様な「すそのー」ダイヤを作成。入浴後「御殿場駅」「三島駅」へ向かう「すそのー」も用意する。（15:00 裾野駅→中央公園→文化センター→岩波駅→15:30 ヘルシーパーク/17:30 ヘルシーパーク→御殿場駅/17:30 ヘルシーパーク→三島駅。）首都圏でSuica、PASMOで入場した利用者がJR東海の駅で清算なしで出場できる様にJR東海・東日本へ要望する。「ウーブン・シティ」玄関口として、岩波駅周辺の開発（未来の街にふさわしい入口へ）。 【男性/40代/富岡】
- 自粛中に気付いたのだが、黄瀬川沿いの遊歩道を歩いてみて、勿体ないと感じた。途中で途切れたり、歩きにくい所などもあり、ココをもっとキレイにして、ずーっと川沿いがつながるようにするべき。現状は柵も錆びつき雰囲気もさびれた感じで暗く、イメージが良くない。良い感じの街灯もつけて明るいさわやかな遊歩道にすれば裾野市のイメージもマシになる。せっかくなので活かしてほしい！ 【女性/40代/西】
- 周辺の市町村と比べ、とても目立たない、おとなしい印象があります。 【女性/50代/東】
- 長泉町で勤務しています。路線バスや乗合タクシーの乗客も割と多く、又、運動公園をウォーキングする高齢者も多く見かけます。裾野にも安心して歩けるウォーキングコースや休憩スポット、ちょっとした名所案内看板があると良いのかなと思います。深良の跡線橋や、いずみ大橋など、富士山の眺めをもっとアピールできる工夫があっても良いのでは？（生涯学習センターテラス、市役所屋上を開放するとか…）個人的には手紙を書くのが好きなので、市内から撮影した富士山の絵ハガキや切手があれば嬉しいです。（裾野市の宣伝になります！！） 【女性/50代/東】
- 裾野市は住んでも景色も素晴らしいです。もっと、そこを有名にして全国の人に来てもらえて、交流できたら更に楽しい街になるでしょう。ヘルシーパークの湯質も最高です。 【男性/60代/富岡】
- 「田園未来都市すその」づくりで宅地と公園を作り、快適な暮らし、コンクリート等で固めた道を作り、排水溝での雨水処理は河川へ流し込む。下流地区はどうなるか。農地がなくなり、地球温暖化に協力しているかも。市街化調整区域内での田園風景よりも、市街化区域内での田園風景を作る気はありますか。 【男性/70代/西】
- 「御師」の家がボロボロになっていくが、保存の計画はあるのか？ 【 /70代/須山】

《衛生環境》

- 資源ゴミの時に人が立つのを止めて欲しい。捨てづらいし、立つ時も朝が早く、小さい子供がいるのですごく大変で困ります。小さい子供を育てやすい街にして欲しい。 【女性/30代/西】
- 燃えるゴミの収集ですが、週3回にしてもらえると助かります。（私の実家は、週3回の収集です。） 【女性/40代/東】
- 資源ゴミ（缶・ビンなど）の回収場所が区に1か所であり、運転できなくなった時、回収場所まで持参する事が困難となる。ゴミステーションで回収できれば良いが、回収箱を置く場所がない。電話をすれば回収してくれる方法があれば良いと思う。 【男性/70代/東】
- ゴミ収集の会社の人ももう少し考えて欲しい。自分たちも当番制で片づけをするが、車に入れる時、袋が破けても平気で出発してしまう事が度々です。仕事だから、ほうきや、ちりとりなどを持って、心を置いてもらいたい。そうしたら感謝度が高まります。 【女性/70代/西】
- アパート居住者のゴミの出し方が良く理解されていない。出す日時・決められた袋・区・氏名等がデタラメ。回覧板は以前アパートに廻っていたのですが、1戸に何日も滞るため現在アパートは抜きにしているので、ゴミ出しのトラブルが発生した場合に回覧等で知らせがあるのですが、伝わらないので余計に改善がされず困っています。アパートのオーナーさんは地元の方なのですが、管理会社に全て任せている為、ノータッチです。どうしたものでしょうか？管理会社は新規入居者には詳細に説明する必要が責務です。猫のフン害について。近所でネコを家外で何匹も飼っていて、毎年子ネコが生まれ少しも減ることなく、近隣の戸建ての家の庭にフンをするので、何軒もの家で迷惑を被っている状況です。ご近所ということもあり、なかなか言いにくい為、泣き寝入りです。 【女性/70代/西】
- ゴミ処理対策として、プラズマ・水中アークで処理することにより、水素発生・発電…無公害で資源の再利用ができる。すでに実用化されている。ウーブン・シティに取り入れてみたら良い。 【 / / 】
- 千福が丘の下水道を整備して欲しい。 【女性/20代/富岡】
- 義母が訪ねてきた際、あまりにも不便な所でびっくりしていました。御殿場市が半期の水道代が無料になり、裾野もそうあってほしいです。 【男性/50代/富岡】
- 伊豆島田の交差点からアルミニウム工場の裏を通る道路の側溝が土砂やゴミで埋まって役にたたない。特にアルミニウム工場の裏のお墓入口のカーブ。南小前の直線路の側溝に通じる穴。少なくとも1年に1回くらいは掃除して欲しい。 【女性/60代/西】
- 耕作放棄地における雑草の繁茂による花粉飛散の防止施策を。 【男性/80代以上/西】
- 運動公園の西側の側溝に農業用ビニール片が木に引っ掛っている、取り除いてもらいたい。 【 / / 】

《安全・安心》

- 以前は気付かなかったことでも、子供を持って初めて気付くことが多くありました。身近に崖崩れしそうで危ない箇所が何ヶ所もあります。用水路に蓋が無いので落ちたら危険だと感じることもありました。又、近くに自転車など練習したり、お砂場で遊べる様な公園や広場があまり無く、車で遠くまで行く事も多いです。子供目線、親目線で日常の安全を見直して頂ければと思います。 【女性/30代/東】
- 岩波の永続橋と旧246との交差点に信号をつけて欲しい。道に信号がないため車のスピードが速く歩行でなかなか渡れない。あぶない。夜暗いところに外灯を付けて欲しい。 【女性/40代/深良】

- 犯罪抑止等の為、各地区への街頭防犯カメラの設置を検討いただきたいです。予算の都合等もあると思いますが、中長期の実現を見据えて対応いただけたらと思います。地区の住民の中でも同様の声が多数あります。
【男性/30代/富岡】
- 西小学校への通学路について。大雨の際、ところどころに水が溢れ、車が注意、徐行してくれば子供はぬれなくて済む場面を多く見受けます。広報等で注意を促す事（呼びかけ）は可能でしょうか。又、個々の運転手にも問題はありますが、雨の日でなくても普段から子供を見たら徐行する事に心を寄せて頂けたら、子供達は安心して通学できる。そんな優しい裾野であってほしいと希望します。（小学3年、小学1年の祖母です）
【女性/70代/西】
- 災害が多くなっているように思われますが、地域の避難訓練で普通に動ける方は問題ないと思います。自力で動けない（移動困難な方々）、医療器、補助具等使用等の方々の避難や、要援護者に対する対策がまだ確立していないので、不安があります。個人情報の中で困難な面もあるかと思われますが、早期の対策が必要ではないかと時々考えます。周囲がそう思っても当事者本人が不要と考えることもあるかとは思いますが…。可能であればご検討すみませんがよろしくお願ひいたします。
【女性/50代/東】
- 裾野市佐野にあったスーパーは、1月15日（昨年？）から、つぶれたままになっています。台風等来た際、こわれかけた看板の破片が飛んできそうで、大変恐れています。以前、台風が来た際も、看板の破片が飛んで行ったのを拝見しています。早目の撤去をお願いしたいです。
【男性/40代/西】
- 河川、昨年大雨で土砂が積もっている。入田川は青葉台の下、大きな石で浅くなっている。大場川は出逢橋の下三島方面からの出合は先月除去したが、また今月の雨で少し積もっている。大場川の出逢橋下方50メートル、柏木屋敷東側土砂が積もっているため、除去してもらいたい。
【男性/80代以上/東】
- 市内の主要河川の中に浚渫を必要とする箇所が散見され、大雨が予想されるこれからが心配です。
【男性/80代以上/西】
- 市所有の土手、水路が崩れているので市へ申し込みを区の方よりしてあるようですが、もう何年も経っているのに施工されません。雨がひどい時には、私所有の土地へあふれてしまいます。早目に何とか施工して下さい。お願い致します。
【女性/80代以上/西】
- 停電が多いです。引っ越してきて、すでに人生で経験した停電の数を超えました。雷に弱い。もっと強くして欲しい。
【女性/30代/深良】
- 土日の早朝から空砲のけたたましい音が響き渡ってうるさいので何とかして欲しいです。（そもそも農家の空砲なのか、自衛隊の空砲なのか良く判りません。市として情報を共有して欲しいです。どこが空砲を撃っているのか、またどんなスケジュールで空砲を撃つのか知らせて欲しいです。）
【女性/40代/東】

《情報環境、広報》

- このアンケートをスマートフォンに入力（回答）し送信を試みたが失敗した（数回操作）。“コロナ接触アプリ”でも言える様に、デジタル化について、方策（勿論推進してほしい）を考えてほしい。
【女性/60代/富岡】
- 広報すそのについて①見やすさに欠ける。特にインフォメーションでは、もっと見やすさを追求してほしい。②「インフォメーション」に、市民からの情報欄を設けてほしい。裾野ジャーナルがなくなった為、市民の情報（例えば、文化関係の会員募集、発表会のお知らせなど）を掲載できる欄、又は項目を入れてほしい。市民が広報すそのに興味をもっと持っていただく為に、是非市民コーナーを作っていただきたい。
【 /70代/東】

- 屋外で広報無線を沼津や清水町のように流してください。 【女性/40代/東】
- 例えば、広報無線ですが、利用している人が少なく、理由として、うるさい・無線がとどかない、ガーガーと言って、音声が聞きづらい等です。私は地元なので、関心があり利用していますが、とても残念です。無線からタブレットの様な物に変えて、市長のあいさつで顔が見られたらなーと思う時があります。ちなみに、広報すそのも、利用者が少ないですね。考えてみて下さい。 【男性/60代/東】
- 各メディア（新聞・TV・雑誌等）で裾野市が取り上げられることが少ないという印象がある。つまり、発信力が弱いのではないかな？ 過日、TV番組の中で駅近くに停まっているタクシードライバーが須山の浅間神社のことを知らなかったり、地元の人が景ヶ島の柱状節理のことを知らなかったり、とても残念に思った。市内の見どころ（歴史的・地理的 etc.）をもっと市民に認知してもらう策を考えてほしい。（駅前に「宗祇法師終焉の地」という石碑を建てては？「江戸時代の水路トンネル・深良用水のある町」など） 【女性/60代/深良】
- すそのんポロシャツをもっとオープンにアナウンスしたり、WEBで注文販売したらどうか？ すその水餃子も、もっと市民に広く親しまれるものに。郷土愛を全面に押し出せる企画があっても良いのでは？ 【女性/50代/富岡】
- 「infra」と言えば、交通機関だけではなく、通信機関の不自由を「今回のインフルエンザ」で感じました。「stay home」で在宅勤務をするにも「internet」の不具合を強く感じました！「コネクティッド・シティ」も素晴らしい計画ですがせめて「internet 光回線」の整備だけでも総務省に働き掛けて頂きたいです！ 【男性/70代/須山】

《財政運営》

- 近隣市町村に比べ気になる点。市街地に活気を感じられない。道路、公共施設等のインフラの老朽化が進んでいる。小学校の支援員削減等、将来を担うべき人材への予算配分が十分でない。公共交通インフラ（バス、鉄道等）が脆弱。支出を減らすことも重要ですが、住民生活を充実させるためにメリハリのある予算の執行を要望します。 【男性/40代/西】
- 市の職員から財政が厳しいという言葉聞きます。しかし、その割には、節約しようという雰囲気を感じられません。A：「逋送便に新しい封筒を使用している」。B：「逋送便の宛名書きに『すそのん』のカラーイラストがある」。C：「市役所2階以上の蛍光灯がすべて点灯している」…あげればきりがありません。Aなら「使った封筒を再利用する」。Bなら「使った封筒を再利用し、いくつも宛名を書ける欄を1枚の紙に作成し、その欄が宛名で埋まったら、その紙の上に同様の紙を貼っていく」。Cなら「蛍光灯ランプを1本おきにはずす」。考えればいくらでも節約できる。市民が納める血税を無駄にしない方法を考え実践してもらいたい。また、お金をかけなければいけないところにはお金をかけ、かけなくてもよいと思われるところはかけない。軽重をつける施策をしてほしい。どの部署も一律何%予算削減するといった取組はいかがなものか。この調査にしても「費用対効果」を考えたときに、多額の税金を使っているのに見合った効果があるのか検討すべきだと思う。 【男性/60代/西】
- 裾野駅前通りの開発は、何だったんでしょうか。税金がムダに使われたとしか思うことができません。（市民にしっかりと説明すべきです！）閑散とした裾野駅周辺を見るたびに悲しくなります。何をどうしたいのでしょうか、全くイメージできません。どうしたいのですか？ 【女性/40代/富岡】
- 時間のかかりすぎている駅前開発の為に、市政に期待が持てなくなっていました。住めば都というだけで、ずっと住み続けたいと思っていますが、何かわくわくする街になって欲しいと願っています。自分から動く案が浮かばないので、市からの発信で賛同できたら協力させていただきます。宜しく願い致します。 【女性/60代/東】
- 駅前開発の浪費を考えて欲しい。もっとやらないといけない事があると思います。 【男性/40代/富岡】

- 駅前の整備改善は何時迄？遅々工事に財政の無駄を感じる。 【 /70代/東】
- 裾野駅周辺の開発と、「すそのーる」、見ても人が全然乗っていませんが、走らせる事に意味はありますか。何かもったいない様な気がします。 【女性/70代/富岡】
- 公共施設等、この数年で民間委託が（保育園、体育館、生涯教育センター、児童室、給食センター）増えています。民間にお任せして良いものもあると思いますが、営利目的の民間企業では利益がなければ撤退することも考えられ、そうなればサービスも低下してしまうのではないかと考えます。大切なものについては、市の方でしっかり責任を持って、運営していただきたいと思います。裾野市は文化的な取組が、他市町村に比べ少ないように思います。このアンケートを見ても、そういう点からの切り口が薄いように思いました。今、はやりだからぱっと飛びつくのではなく、10年先、20年先、それよりもっと先を長い目で見て、良いと思えるまちづくりをしていただければ幸いです。よろしく願いいたします。 【女性/50代/東】
- 仕事場が長泉の為、長泉地区の良い所を耳にする事が多い。例：コロナマスクの届くのが早かった。水道料（何か月かなあー）無料にする。給食費無料など。 【女性/70代/西】
- 駅西開発整理事業を進めるため、市債の発行により事業のスピード化を計る。新型コロナウイルス、国に災害指定するよう、地方発信すべきである。国からの交付金を、国に帰すような具策はやめてほしい。自国通貨発行できる国は、財政破綻はしない。国債を有効に発行し、公共投資を増やし、緊縮財政をやめることにより、永い20数年に渡るデフレを脱却するよう、地方から国に意見を発信すべきである。水道民営化絶対反対！消費税まず5%→廃止へ。裾野市発行の仮想通貨で、裾野市の財制を豊かにできる。 【 / / 】

《行政全般》

- 人も景観もとても良い所だと思いますが、都市計画がうまくいってないのかなあ？と思うような所が多々あります。いい所なのにもったいないと感じています。 【女性/30代/西】
- 今後の市の政策などに不安です。自家用車の利用ができなくなった時、ここで生活して行くのは無理だと思えます。子育て世代、年寄りには生活がしにくい市に年々なってきたように感じます。ウーブン・シティより、今の市民の生活をしっかり見てもらいたいです。市の人口も減るだけだと思います。 【女性/30代/富岡】
- 裾野市の所得平均は高いと言われていますが、そうではないと感じている市民が多いのではと思いますし、私は節約生活をしています。子育てや教育にも格差社会を感じます。他市で子育てした方がよかったのかも今さら考えてしまう時があります。税金を学生や学校にもっと使って欲しいです。西地区区画整理は今となっては失敗で、思い切って止める事はできないのですか？お店が撤退ばかりで日々の買い物も不便です。不便さには慣れていますが、さすがにしんどいです。若者や働き盛りの層が流出してしまうのは市に魅力や仕事場が少ないからですね。相当に頑張っている職員さんもおられ感謝しておりますが、ご自分で責任を取る事を避け、自身を守る言動の職員さんばかりで市政が良くなるとは思えません。古いルール通りで変えようとする姿勢に残念です。頑張らなくてもお給料がほぼ安定なシステム上におられるからです。毎年調査で指摘されているにも関わらず、職員さんの意識に進歩が無く何のためのアンケートなのか疑問です。言っている事が分かりますか？ 【女性/40代/東】
- 裾野市は住みやすい所だと思うが、特徴がない。人材を育成する必要がある。規制が多く発展しない（市街化調整区域が多いなど）。若い人たちが住みたい、ここで仕事をしたいと思えるような街づくりを考えるべきだ。 【女性/60代/富岡】

- おもねらないで欲しい（当アンケートにもおもねりを感じる）。あるべき方向性の模索とトライアンドエラーを続けて欲しい。マスコミやノジーマイノリティーの声は程々に聞き入れる姿勢でいい。流行りの SDGs のように「誰も取り残さない」と肩肘張る必要はない。最大多数の最大幸福の追求以外にはできないので、それ以上は（地公体以外の）有志でやればいい。 【男性/40代/西】
- 最近の裾野市の状況は近隣の市町村に較べて見劣りする事が多いと感じている。裾野市の将来のビジョンがはっきりしない。また、市長のリーダーシップ不足による行政の低迷が目立つ。また、須山、下和田方面の無秩序なソーラーパネル設置に対する対応を誤ると将来、取り返しのつかない事になると心配している。 【男性/70代/西】
- 市に対して意見：裾野市は近隣の市、町に比較し遅れを取っている。裾野市に移住し 55 年になるが、当時と比較しても殆ど進歩が無い。現在の駅西地区の開発である。半世紀前はもっと活気があった。現在では、商店街は落ち込んでおり、昔の面影すらない。客を近隣の長泉、沼津に取られ、御殿場にさえ取られ寂しい街になってしまっている。特に、この数年「今の市長になってから」の落ち込みが激しく、儲かっている店が無いように思われる。大型量販店、飲食店の進出は無く、少しは近隣の市町を見習うべきである。市長や職員の報酬を上げる事を考える前に、もう少し街の事を考えるべきだ！もうひとつ言わせて貰うと、今回のヘルシーパークの値上げである。市民と市外客が同一料金なのはおかしい。御殿場や、小山町のように差をつけても良いのではないか。またこの度の、新型コロナウイルスに関する休業協力金においてもしかり、休業で、収入が無く、生きるか死ぬかの店舗が多いことも忘れてはならない。御殿場の若林市長のとった決断には敬意を表する。予算が無い事は分かるが、こんな時こそ、市長のリーダーシップを発揮するべきだ！裾野には東西に通じる道路が 1 本も無い、東から来て新道を通り旧 246 までではきたがそこで止まってしまっている。そこを延長し桃園をぬけ、国道 246 号バイパスと繋げば良く、また伊豆島田の桜通りに繋がる通りを、駅前通りと繋がる通りを考えてもらいたい。市長として、ただ名前だけ残せばいいのではなく、後世に残る功績を残して貰いたい。市長 2 期目に入ったのだから、そろそろ実行のある市長の思案を希望する。市長をやったんだから、何か後世に残る形で次期市長にバトンタッチしてほしい。前市長、前々市長の様な行動力を強く望みます。 【男性/70代/西】
- まちづくり課、シビックプライド推進室、みらい政策課、戦略広報課、行政課は名称で仕事内容がイメージできない。 【男性/50代/深良】
- 国保年金課の対応がいつも良い。（全ての課に行っているわけではないので比較は難しいが。）確定申告の相談会を行っているが、パソコンも置いてあるととっても良い。（一定期間） 【男性/60代/東】
- 御宿あたり（岩波駅とか）に市役所の支所ができてほしい。（理由として、高齢者の方で市役所に用事があつたらしいのですが、とてもきついとおっしゃっていました。） 【女性/30代/富岡】

《市職員・市議会議員》

- 残念ながら市長の顔が全く見えません。災いが起きると、なおさら感じています。 【女性/60代/須山】
- 市民税にて給与を貰っている役所の公務員の方々、市議会議員の皆さんはちゃんと仕事をしているのか…。残念です。魅力ある裾野市にする為の努力を期待していないが、望みます。このアンケートが無駄にならないように施策を進めて下さい。 【女性/50代/富岡】
- 希望。議員を減らしてほしい。 【 /60代/富岡】
- 市議会議員が多すぎる。（市の人口の割に） 【女性/70代/西】

- 公務員の待遇が優遇されすぎている。全ての面で。【男性/40代/富岡】
- 芝と田んぼと家しかない町。あと工場。職員には、でもがんばってほしいと思う。【男性/40代/東】
- 親元に住む独身の市職員が地域の行事に全く参加しない（親のみ参加）如何なものか。【女性/40代/東】
- 市役所の方が時々上目線で対応します。気分悪いです。【女性/60代/富岡】
- 市民課窓口の対応について。証明書の発行等で市民課窓口を利用したが、とにかく時間がかかる。申請者がいない時でも10分かかると言われた。窓口で質問しても、対応した女性の方から適確な答えが返ってこない。対応や説明が不親切と感じた。これから改善して欲しい。【女性/60代/東】
- 市職員の受験資格、年齢制限の幅を広げて欲しい。過去の勤務年数や経験者を優遇して欲しい。【女性/30代/富岡】
- 市議会は市民の代表である市議が出席しているが、議員の意見や質問の程度が低く、自分自身で考えて行動すればできる事をわざわざ質問したり、裾野市の未来につながる事では無く、どうでもいいような意見が多数である。議員の質の低下は議員数が多い現状に問題があると感じる。また、コロナ禍で市民の事を考え、行動している議員も皆無だと感じる。議員報酬は削減すべき。裾野市長もコロナ禍で何をしたのか？自営業はリスクがつきものではあるが、コロナ禍でも自己責任なのか？裾野市にコロナ感染者は今のところ0人ではあるが、市長の対策等は全てにおいて右にならえで、知識、行動力において市の長ではないと感じる。新しい生活様式を広める事が貴方の仕事（やるべきこと）ではありません。【男性/30代/西】

《その他》

- 裾野に来て35年目になります。日本の霊峰富士を背景に、気候も温暖で生活するには非常に住みやすい街だと思えます。また、住民の方も静岡県人特有の中庸（中立）を重んじ、あまりイデオロギーにとらわれず、自由闊達に誰とでも気軽に話し合いのできる素晴らしい県民性を持った皆さんだと思っております。少子高齢化が進む現在にあって、わが地域は市の誘致活動とも相まって、戸建て住宅の数が増え、今では旧戸をしのぐ勢いで、子供の数も徐々に増え続け、以前にも増して地域に活気が出てきている感があります。また、旧戸との連携もとれて、お互いの意見を互いに認め共有する、ウィンウィンの関係が続けております。新戸からは子育て関連で、公園やレクリエーション施設の充実や子供会等地域活動の活性化、また旧戸からは農業の後継問題、増え続ける高齢者対策等、様々な意見をよく耳にします。今後とも素晴らしい我が地域、我がふるさとを守っていくことこそ、我々の使命と思い、日々地域行事や行政活動への協力等、積極的に参加していきたい。【男性/60代/西】
- この街に来て25年過ぎました。県外育ちの私は気候も好きになりました。人生の終活に入るこのごろ、この街のいいとこ、悪いとこは解って来ました。すべていえる事は他の市と比べると遅いと思えます。買い物をするスーパー、個人商店、食堂等が少なく、すべてやるのが遅いのです。私は地震で震度6の経験、水害は3回も経験しています。火山の灰の経験もあります。身体の自由がきけば（直れば）経験を生かしたいと思えます。【男性/70代/深良】
- これほど魅力のない市もめずらしいのではないかと常々思っています。長泉は多めに参考になる事が多いと思えます。最近御殿場もがんばっている。裾野は何をめざしているのか、人口の減少、しょうがないよね。【男性/70代/須山】

- 気候も温暖ですし、県民性もおだやかな気質だと思いますので住み良いと思います。未来都市に関心があり、どんな裾野市になるか期待しています。がんばって下さい。 【女性/80代以上/富岡】
- 色々と参考になる事がありますが、十数年前に県外の山へ行って足腰を痛めて現在に至っています。自分の体を思うように行かないので、何をするのも面倒になるので家で読書をしたり、手芸をやったりしております。広報や朝夕の広報無線で色々な放送を聞くのが楽しみです。田園未来都市がどの様になるか楽しみにしています。 【女性/80代以上/西】
- 裾野市を住みやすい都市にするにはどうしたら良いか。昔は充分満足していたのに自家用車を持った途端、沼津、三島、清水町が良く見えて来た。今、高齢で免許証返上し町の外へ一歩も出ていないと他所の事は解らない。市内の事も話す相手も居なければ、解らない事だらけ。できるだけ解答はしたが、一部は思い込みもある筈。解答できない場面もありましたが、ご勘弁下さい。今、3歳のひ孫が可愛くて、甘やかしを直そうとすると嫌われて寄り付かなくなります。教育の難しさをボケ老人になって初めて味わっています。こんな老人の回答参考になるのでしょうか？ 【男性/80代以上/西】
- 今は子育てのお手伝いで忙しいため、いろいろな行事に参加できません。これから考えます。【 /60代/須山】
- 住んでいる所が十里木で毎日日本一の富士山を見えていますので四季折々の美しい景色を見られて晩年を送れることに感謝しております。 【女性/80代以上/須山】
- 裾野市のますますの発展を祈ります。 【男性/60代/深良】
- 主人が自衛隊員のため、富士学校に来たので結婚をして須走で5年、子供の学校の件で御殿場に移り、子供が小・中・高・大学卒業まで住みました。主人が部隊を定年になり、裾野に家を買って主人の母と3人で住んでいましたが、母が亡くなり、主人も2年前に死亡。長男も亡くなり、二男と私になりました。私はおかげ様で、なんとか元気。二男は体が弱いようです。私も9年生まれなので、そう長くは無いと思います。もしもの時は、市にお世話をかけますが、墓は霊園にあります。 【女性/80代以上/東】
- 市外から、裾野市に嫁に来ました。私にとって裾野市は長年住んでいました三島市よりも落ち着いて、自然が豊かで、住民の方達も良く、とても安心して暮らしております。 【男性/50代/西】
- 恵まれた美しい裾野！！北は日本一の富士山を毎日見られ、東は美しい箱根山、西は愛鷹山、南は駿河湾一望。災害は感じられず。静かで平穏な平野である裾野市です。私自身も好きな事をやって過ごしております。幸せです！！ 【女性/80代以上/東】
- これからは、裾野市の活動に関心を持ちます。 【男性/50代/西】
- ネット中継して欲しい 【男性/50代/深良】

《この調査について》

- 市民意識調査は本当に無作為なのか、疑いたくなるほど頻りに当たります。これまでの結果がスピード感を持って市政に活かされていないのを見ると、パワーバランスが高齢者に寄っている町なのだと改めて思います。（だから変えるべきものが変えられない。）みらい政策課では、未来を担い、未来を生きる世代に光を当てて、これからの裾野市をデザインしてほしいと思います。 【女性/30代/東】
- 質問が漠然としていて答えにくい。今、裾野市がどんな環境教育や産業誘致をしているかがわからない。他の市町村に住んだことがないので、いまいち答えにくかった。 【男性/40代/東】
- アンケートの量が多すぎる。粗品もないのはいかがなものか？封筒はテープ付が当然では？ 【男性/40代/西】

- いろいろ聞きたい項目があるのはわかりますが、ついでに聞いておこうという感じの設問がいくつかあったように思います。生涯学習・青少年育成、お墓、電子決済等。これらの設問は、この程度の聞き方では得るものがないと思います。聞きたい項目をもう少し絞り込んで、しっかり聞いた方が良いのではないのでしょうか。電子決済とひとこと言っても、クレジットカードと電子マネーではかなり利用状況が違いますが、この設問ではそこがわかりません。何のために聞いているのか不明な設問だと思います。この設問で「ときどき利用している」がある世代、ある性別で一番多かったとしても、それで何がわかるのでしょうか。 【男性/60代/東】
- 子供がいないのに教育の問い、公共施設を利用していないのに満足度、重要度の問いなど、答えようのない設問が多い。 【男性/60代/東】
- 介護のため裾野市に転居。時間的に余裕無く、市政に対し不明な点が多いせいか、アンケートの回答も迷いながら記入。問2. 漠然とした質問内容→もう少し具体的に！して欲しい… 【女性/60代/富岡】
- 質問の数が多くて、よくわからない項目が多い。 【男性/60代/富岡】
- 自分の日常生活に関係が薄い事項では、回答するのに判断できない項目があり、回答に「わからない」又は「関心なし」などの項目が欲しい。 【女性/70代/富岡】

まちづくりにあなたの声を！

令和2年度 裾野市市民意識調査 ご協力をお願い

市民のみなさまには、日頃より裾野市政に格別のご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

裾野市では現在、『「富士山の裾野 田園未来都市 すその」の挑戦』というまちづくりのコンセプトのもとに各種の施策を進めております。

市民のみなさまの意見を広く取り入れ、市民と行政が一体となったまちづくりを実現するため、本年度も「裾野市市民意識調査」を実施することといたしました。この調査は、市内にお住まいの満 20 歳以上の方から無作為に抽出した 1,000 人の方に回答をお願いしております。

なお、この調査は無記名でご回答いただき、調査の結果はすべて統計的に処理し、他の目的には一切使用いたしませんので、みなさまにご迷惑をおかけすることは決してございません。

また、調査結果は広報紙、市のホームページに掲載し、諸施策推進のための基礎資料として活用させていただきます。

ご多忙のところ誠に恐れ入りますが、調査の趣旨をご理解いただき、みなさまの率直なご意見をお聞かせくださいますようお願いいたします。

調査の回答は、記入済の調査票を同封の返信用封筒（切手は不要です）に入れてご投函いただくか、インターネット回答（裏面参照）により、7月20日（月）までにご回答をお願いいたします。

令和2年 7月

裾野市長 高村 謙二

調査票 記入上の注意

1. 宛名のご本人がご回答ください。
2. ご記入は、鉛筆または黒のボールペンをお使いください。
3. ご回答は、指示の数だけ選んで、あてはまる番号に○をつけてください。
4. 「その他（ ）」を選択する場合や「（具体的に： ）」の欄にご記入する場合は、番号に○をつけ、（ ）の中に具体的にご記入ください。
5. 調査票の最後にある記入式回答の には、直接ご記入ください。
6. 返信用封筒には、この調査票を三つ折にして封入し、ご投函ください。

※このアンケートについて、不明な点などがありましたら、下記までお問い合わせください。

裾野市企画部みらい政策課 電話 995-1804

この調査は、

- ① 郵送回答（この調査票に直接記入し、同封の返信用封筒にて送付）
- ② インターネット回答

のどちらかの回答方法を選べます。

※インターネット回答の場合は、右記の
IDを入力し、ご回答ください。

（この調査によって、個人が特定されることはありません。）

- インターネット回答は、パソコン、スマートフォン・タブレット端末、携帯電話のいずれかで、次の URL 又は二次元バーコードからアクセスしてください。

① パソコン



[https://www.shinsei.elg-front.jp/shizuoka2/uketsuke/dform.do?
id=1592208413540](https://www.shinsei.elg-front.jp/shizuoka2/uketsuke/dform.do?id=1592208413540)

② スマートフォン・タブレット端末



[https://www.shinsei.elg-front.jp/shizuoka2/uketsuke/sform.do?
id=1592208413540](https://www.shinsei.elg-front.jp/shizuoka2/uketsuke/sform.do?id=1592208413540)

二次元バーコード（パソコン・スマートフォン等共通）



最初に、あなた自身やご家族のことについてお聞きします

・すべての項目について、当てはまる番号を○印で囲んでください。(項目ごと1つに○)

①性別	1. 男性	2. 女性	3. その他
②年齢	1. 20代	2. 30代	3. 40代
	4. 50代	5. 60代	6. 70代
	7. 80代以上		
③結婚の有無	1. 結婚している(事実婚を含む) 2. 結婚したが、死別・離別した(今は独身) 3. 結婚していない(独身)		
④子どもの段階 (一番下の子ども の年齢でお答え ください)	1. 子どもはいない	2. 小学校入学前	
	3. 小学生	4. 中学生	
	5. 高校生	6. 専門学校・短大・大学・大学院に在学	
	7. 社会人	8. その他()	
⑤世帯状況	1. 1人暮らし	2. 夫婦のみ	
	3. 親と子(2世代)	4. 祖父母と親と子(3世代)※敷地内同居含む	
	5. その他()		
⑥居住地区	1. 東地区(久根、公文名、稲荷、茶畑、平松、麦塚)		
	2. 西地区(石脇、佐野、大畑、桃園、富沢、二ツ屋、伊豆島田、水窪)		
	3. 深良地区(岩波、深良)		
	4. 富岡地区(下和田、呼子、今里、金沢、上ヶ田、葛山、御宿、千福、千福が丘)		
	5. 須山地区(須山)		
⑦居住年数 (通算で裾野市 に居住している 年数)	1. 5年未満	2. 5～10年未満	
	3. 10～20年未満	4. 20～30年未満	
	5. 30年以上		

裾野市の市政全般についてお聞きします

問1 あなたは裾野市の政策全体についてどの程度満足していますか。(1つに○)

- | | |
|-----------|---------------|
| 1. 満足している | 2. まあまあ満足している |
| 3. 普通 | 4. やや不満である |
| 5. 不満である | 6. わからない |

問2 裾野市が行っている取組や生活環境についてどのように感じていますか。下の表のア～モまでの各項目について、あなたの生活における「満足度」と「重要度」それぞれについてお答えください。(項目ごと1つに○)

		(1) 満足度					(2) 重要度				
		満足	まあ満足	普通	やや不満	不満	重要	まあ重要	普通	やや重要でない	重要でない
記入例：市民の健康づくりへの支援		②	1	0	-1	-2	②	1	0	-1	-2
健康・福祉	ア 市民の健康づくりへの支援	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
	イ 子育て世帯への支援	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
	ウ 病院、かかりつけ医による医療	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
	エ 救急医療体制の充実	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
	オ 高齢者の生きがい対策	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
	カ 障がい者への支援	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
教育・文化	キ 小・中学生の「学力の向上」や「人間性の育成」を目指す教育	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
	ク 地域全体で子どもの成長を見守る環境	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
	ケ 生涯学習センター・公民館を拠点とするサークルや教室などの生涯学習活動	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
	コ 市民文化センターや図書館の活用等による文化・芸術の振興	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
	サ スポーツ・レクリエーション活動の推進	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
生活・環境	シ 環境教育・実践活動の推進	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
	ス ごみの適正処理、資源の再利用	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
	セ 安全・安心で快適な住環境	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
	ソ 地震・水害などへの防災対策	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
	タ 交通安全対策の推進	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
	チ 地域や団体などの活動への支援	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
	ツ 男女共同参画の推進	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
都市基盤	テ 市街地・駅周辺部での快適な暮らし	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
	ト 公園などの身近な緑地の環境整備	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
	ナ まちなみや自然の景観の美しさ	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
	ニ 幹線道路や生活道路の整備	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
	ヌ バス路線や便数	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
	ネ 河川や水路の整備	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
	ノ 良質な水道水の安定供給	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2

		(1) 満足度					(2) 重要度					
		満足	まあ満足	普通	やや不満	不満	重要	まあ重要	普通	やや重要でない	重要でない	
産業経済	ハ	企業誘致の推進	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
	ヒ	創業・起業しやすい環境	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
	フ	買い物がしやすい環境	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
	ヘ	農林業の振興	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
	ホ	地域資源を活かした観光施策	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
行政経営	マ	市の魅力を高めるシティプロモーション	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
	ミ	データ利活用や ICT 導入の推進	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
	ム	公共施設等の計画的な管理	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
	メ	効率的な行財政運営	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2
	モ	市職員に対する信頼度	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2

問3 現在のご自分の生活に満足していますか。(1つに○)

- | | |
|-----------|---------------|
| 1. 満足している | 2. まあまあ満足している |
| 3. 普通 | 4. やや不満である |
| 5. 不満である | |

問4 あなたはこれからも裾野市に住み続けたいと思いますか。(1つに○)

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. ずっと住み続けたい | 2. どちらかといえば住み続けたい |
| 3. いずれは市外に転出したい | 4. 市外に転出したい |
| 5. わからない | |

問5 あなたはワークライフバランス（仕事と生活の調和）について知っていますか。

(1つに○)

- | |
|-------------------------|
| 1. 具体的に内容まで知っている |
| 2. なんとなく知っているが、詳しくは知らない |
| 3. 聞いたことはある |
| 4. 聞いたことがない |

問6 性別に関わりなく個性や能力を発揮できる機会が確保されていると思いますか。(1つに○)

- | | |
|----------|---------|
| 1. そう思う | 2. 思わない |
| 3. わからない | |

健康づくりやスポーツ活動についてお聞きします

問7 ご自分の健康についてどのように感じていますか。(1つに○)

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. 大いに健康 | 2. まあまあ健康 |
| 3. あまり健康ではない | 4. わからない |

問8 ご自分やご家族の病気の予防や健康管理について相談できる「かかりつけ医」がいますか。(1つに○)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問9 あなたはこの1年間でスポーツや運動(1回あたり30分程度以上、散歩・ストレッチ等の軽運動を含む)をどれくらいの頻度で行いましたか。(1つに○)

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1. 週に6~7回 | 2. 週に4~5回 |
| 3. 週に2~3回 | 4. 週に1回 |
| 5. 週に1回未満で、月に1回以上 | 6. 月に1回未満で、年に1回以上 |
| 7. ほとんどスポーツや運動をしていない | |

問10 スポーツや運動を頻繁に行うために、障害となっている理由がありますか。(当てはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1. 仕事などで忙しく時間がない | 2. 場所や施設が近くくない |
| 3. お金がかかる | 4. はじめるきっかけがない |
| 5. 施設や教室の利用時間が合わない | 6. 一緒にする仲間がない |
| 7. 病気、高齢など身体的な理由 | 8. スポーツに関する情報がない |
| 9. 苦手、嫌い、興味がない | 10. 指導者がいない |
| 11. 特に理由はない | 12. その他() |

問11 習慣的な運動によって、自分が健康を保つことができると感じますか。(1つに○)

- | | |
|----------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
| 3. わからない | |

問12 普段利用するスポーツ施設はどれですか。(当てはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1. 市内の公共スポーツ施設 | 2. 市内の民間スポーツ施設 |
| 3. 市内小中高校の体育館、グラウンド | 4. 市外のスポーツ施設 |
| 5. スポーツ施設は利用していない | 6. その他() |

生涯学習、青少年育成についてお聞きします

問13 あなたは過去1年間に何らかの学習をしましたか。(1つに○)

- | | |
|-------|----------|
| 1. した | 2. しなかった |
|-------|----------|

問14 あなたは過去1年間に青少年育成活動に参加しましたか。(1つに○)

- | | |
|---------|------------|
| 1. 参加した | 2. 参加しなかった |
|---------|------------|

防災に対する備えについてお聞きします

問15 あなたは、地震、富士山火山、土砂災害等自然災害に対する備えを行っていますか。
(1つに○)

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 行っている | 2. 行っていない |
|----------|-----------|

問16 あなたは、食料・水の備蓄を実施していますか。(1つに○)

- | | |
|---------|------------|
| 1. 1日分 | 2. 2～3日分 |
| 3. 約5日分 | 4. 約7日分 |
| 5. 8日以上 | 6. 実施していない |

問17 あなたは、家具等の転倒防止を実施していますか。(1つに○)

- | | |
|-------------|----------------|
| 1. 概ね実施している | 2. 半分くらい実施している |
| 3. 一部実施している | 4. 寝室のみ実施している |
| 5. 実施していない | |

問18 あなたは「一時避難地」「広域避難地」はどこか知っていますか。(1つに○)

- | |
|-------------------------------|
| 1. 「一時避難地」「広域避難地」とも知っている |
| 2. 「一時避難地」は知っているが「広域避難地」は知らない |
| 3. 「一時避難地」は知らないが「広域避難地」は知っている |
| 4. 「一時避難地」「広域避難地」とも知らない |

問19 お住まいの住宅には、条例により設置が義務づけられている部分に住宅用火災報知器を設置していますか。(1つに○)

※【条例により設置が義務づけられている部分とは】寝室、階段（寝室が2階以上の階にある場合）

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 設置している | 2. 一部設置している |
| 3. 設置していない | |

お墓の所有状況についてお聞きします

問20 あなた、またはあなたのご家族は、お墓をお持ちですか。(1つに〇)

1. 既に市営墓地にお墓を持っている
2. 市営墓地以外の場所にお墓を持っている
3. 今はお墓を持っていないため、今後市営墓地を求めたいと思っている
4. 今はお墓を持っていないため、今後市営墓地以外でお墓を求めたいと思っている
5. 今はまだ考えていない
6. その他 ()

電子決済の利用状況についてお聞きします

問21 あなたは、日頃の買い物で「電子決済」を利用していますか。(1つに〇)

※【電子決済とは】クレジットカード、デビットカード、電子マネー（PASMO、TOICA、Suica、楽天Edy、nanaco、WAON等）、QRコードなど、電子的なデータの送受信により決済処理する方法。

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. よく利用している | 2. ときどき利用している |
| 3. ほとんど利用しない | 4. 全く利用しない |
| 5. 知らない、わからない | |

公共交通の利用状況についてお聞きします

問22 お住まいの地域での移動に対する現在の外出状況について、お答えください。
(項目ごと1つに〇)

		でき ひとり で十分	でき ひとり で何と か	誰か の助け があれば できる	でき ない
記入例：職場・学校先への移動について（通勤・通学者のみ）		②	1	0	-1
①	職場・学校先への移動について（通勤・通学者のみ）	2	1	0	-1
②	買物先への移動について	2	1	0	-1
③	通院先への移動について	2	1	0	-1
④	公共施設への移動について	2	1	0	-1
⑤	金融機関への移動について	2	1	0	-1

問23 お住まいの地域での移動に対する将来の不安について、お答えください。将来については10年後、現在のお住まいで生活していたと仮定し、家族構成、家族の年齢等を考えてお答えください。(項目ごと1つに○)

		不安がない	不安がある
記入例：職場・学校先への移動について（通勤・通学者のみ）		①	-1
①	職場・学校先への移動について（通勤・通学者のみ）	1	-1
②	買物先への移動について	1	-1
③	通院先への移動について	1	-1
④	公共施設への移動について	1	-1
⑤	金融機関への移動について	1	-1

問24 『すそのーる』は平成31年4月1日から運行ルートを更新しました。平成31年4月1日以降の利用状況について教えてください。(1つに○)

1. 以前より利用するようになった	2. 利用頻度は変わらない
3. 以前より利用しなくなった	4. 以前から利用しておらず、リニューアル後も利用していない

問25-1 外出時の交通手段に、市内で運行中の『すそのーる』を利用していますか。
(1つに○)

1. 週に5日以上	2. 週に3～4日
3. 週に1～2日	4. 月に2～3日
5. 月に1回	6. 年に数回
7. すそのーるは利用していない	8. その他()

問25-2 「7. すそのーるは利用していない」とお答えの方にお聞きします。『すそのーる』を利用しない理由は何ですか。(当てはまるものすべてに○)

1. バスの運行本数が少ないから	2. 目的地へ行くバスがないから
3. バスの運行時間帯が合わないから	4. バス停留所が自宅近くにないから
5. 運賃が高いから	6. 自家用車（送迎含む）で移動するから
7. バイクや自転車、徒歩で移動しているから	8. その他()

問26 『すそのーる』の運行サービスについて、あなたのお考え（利用していない方はイメージ）をお答えください。（項目ごと1つに○）

	満足	まあ満足	普通	やや不満	不満
記入例：運行本数	②	1	0	-1	-2
① 運行本数	2	1	0	-1	-2
② 運行時間帯	2	1	0	-1	-2
③ 運行ルート	2	1	0	-1	-2
④ 運賃	2	1	0	-1	-2
⑤ 他のバスや鉄道との乗り継ぎのしやすさ	2	1	0	-1	-2
⑥ 時刻表・路線図等の運行情報案内	2	1	0	-1	-2
⑦ 全般のサービス	2	1	0	-1	-2

広報紙についてお聞きします

問27 「広報すその」の内容のうち、どのコーナーをよく読んでいますか。
（当てはまるものすべてに○）

1. 特集ページ	2. インフォメーション（お知らせ）
3. 救急協力医	4. すそのびと
5. フォトグラフ	6. その他（ ）

問28 市の情報を調べる際に、何を使用して情報を得ますか。（当てはまるものすべてに○）

1. 広報すその（広報紙）	2. 新聞記事
3. 広報無線	4. ウェブ（ページ）サイト
5. フェイスブック	6. FMラジオ
7. その他（ ）	

市民協働によるまちづくりや地域活動についてお聞きします

問29 あなたは、市政のあり方やまちづくりを考える場へ参加したいと思いますか。（1つに○）

1. 参加したい	2. 参加したくない
3. わからない	

問30 あなたは地域活動（自治会の活動やボランティア活動など）に参加していますか。

（1つに○）

1. 参加している

2. 参加していない

問31 地域や団体などの活動に満足していますか。（1つに○）

1. 満足している

2. 満足していない

3. どちらとも言えない

裾野市や、あなたが暮らしている「地域」への思い・考えについてお聞きします

問32 裾野市や、あなたが暮らしている「地域」への思い・考えをお尋ねします。

（項目ごと1つに○）

※ここでいう「地域」とは、特定の範囲を指すのではなく、あなたが暮らしている（住む・働く・遊ぶ など）、
「自分の地域」だと思ふ範囲を想定してください。

	そう思う	どちらかという そう思う	どちらとも言えない	そう思わない どちらかという	そう思わない
記入例：地域が好きだ	②	1	0	-1	-2
① 地域が好きだ	2	1	0	-1	-2
② 地域の雰囲気や土地柄が気に入っている	2	1	0	-1	-2
③ 地域は住みやすいと思う	2	1	0	-1	-2
④ 地域にずっと住み続けたい	2	1	0	-1	-2

裾野市議会についてお聞きします

問33 あなたは市議会の活動内容に興味・関心がありますか。（1つに○）

1. 興味・関心がある

2. 興味・関心が少しある

3. 興味・関心があまりない

4. 興味・関心はない

その他、ご意見がありましたらご自由にお書きください



アンケートは以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。

ご回答いただいた本調査票は、そのまま同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに、

令和2年7月20日（月）までに投函してください。

令和2年度 裾野市市民意識調査報告書

発行年月 令和2年11月

発行 裾野市 企画部 みらい政策課

〒410-1192 静岡県裾野市佐野1059番地

電話:055-995-1804 FAX:055-995-1861

Eメール:kikaku@city.susono.shizuoka.jp

